

SHARP®

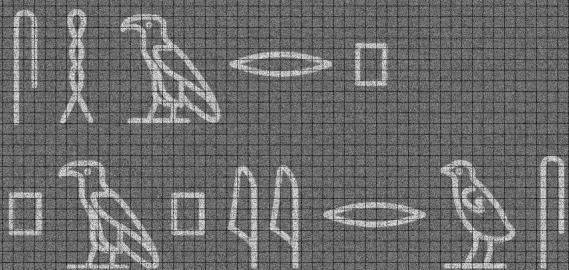
電子辞書

形名 PW-LT300

取扱説明書

Papyrus

[バピルス]



よくあるご質問……257ページ

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

この取扱説明書は、お客様ご相談窓口のご案内とともに、いつでも見ることができる場所に必ず保存してください。

ご使用前のおことわり

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品および付属品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

◆ 著作権に関するご注意

本製品を利用して著作権の対象となっている著作物を利用することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権などを有しているか、あるいは複製などについて著作権者などから許諾を受けているなどの事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権などを侵害することとなり、著作権者などから損害賠償などを請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



警告

人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



記号は、気をつける必要があることを表しています。



記号は、してはいけないことを表しています。



記号は、しなければならないことを表しています。

◎本体の取り扱いについて

⚠ 注意

- 電池は誤った使いかたをすると、破裂や発火の原因となることがあります。また、液もれして機器を腐食させたり、手や衣服などを汚す原因となることがあります。以下のことをお守りください。
- プラス“+”とマイナス“-”の向きを表示どおり正しく入れる。
- 種類の違うものや新しいものと古いものを混ぜて使用しない。
- 使えなくなった電池を機器の中に放置しない。
- もれた液が目に入ったときはきれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断を受ける。障害をおこす恐れがあります。
- もれた液が体や衣服についたときは、すぐに水でよく洗い流す。
- 水や火の中に入れたり、分解したり、端子をショートさせたりしない。
- 充電電池は使用しない。
- 長期間使用しないときは、液もれ防止のため電池を取り外す。

◎イヤホンの取り扱いについて

⚠ 警告

事故を防ぐために、次のことをお守りください。

- 自動車やバイク、自転車などを運転中は、イヤホンを絶対に使わないでください。
- 歩行中は周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げ過ぎないでください。特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。



⚠ 注意

- イヤホンで聞くとときは、音量の設定に十分気をつけてください。思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因になることがあります。また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。



◎カードの取り扱いについて

⚠ 注意

- SDメモリーカードやコンテンツカードの取り付け・取り外しをするときはカードの挿入口を顔のほうに向けしないでください。急に指を離すとカードが顔に向かって飛び出してくることがあります。

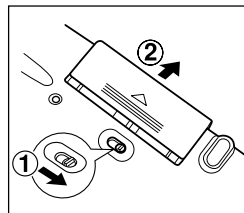


初めてお使いになるときは

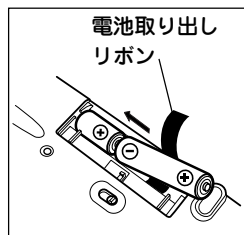
まず、乾電池を入れてからお使いください。

乾電池を入れる

- 1 本体裏面の電池ふたスイッチを“解除”側にします。



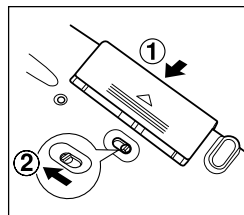
- 2 電池ふたを矢印の方向に水平に引いて外します。



- 3 同梱されている乾電池を入れます。

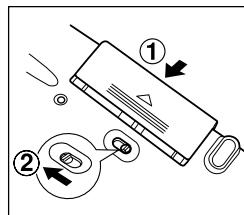
向きをまちがえないように入れてください。

- リボンの上から電池を入れます。リボンの先端が電池の下に隠れないようにしてください。

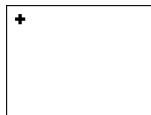
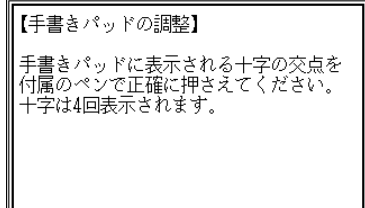


- 4 電池ふたをもとどおり水平に差しこんで取り付けます。

- 5 電池ふたスイッチを“ロック”側にします。

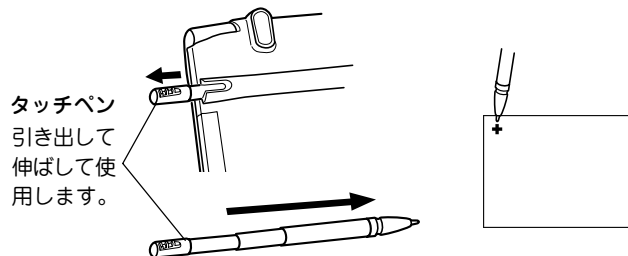


6 本体を開き (入/切) を押して電源を入れます。 手書きパッドの調整画面が表示されます。

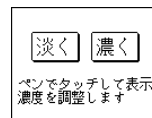
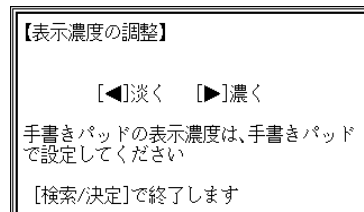


- もし、違う画面が表示された場合は、251ページを参照して、リセット操作をしてください。
- もし、電源が入らないときは次の操作をしてください。
 - 電池ふたスイッチが“ロック”位置になっていることを確認して、もう一度 (入/切) キーを押してください。
 - それでも電源が入らないときは、手順1～6の方法で電池を入れ直してみてください。

7 タッチペンを取り出して伸ばし、手書きパッドに表示される + (十字) マークの交点に正確にタッチします。



+マークは、タッチすると別の場所に表示されますので、順番にその交点にタッチしてください。
+マークは4カ所に表示され、全てタッチすると表示濃度調整画面になります。



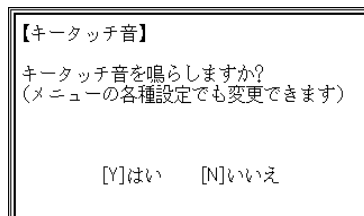
8 淡く (◀)、濃く (▶) キーを押してメイン画面の表示濃度を見やすい濃さに調整します。

- メイン表示の表示濃度は、どの画面でも調整することができます。(P.24ページ)

9 手書きパッドの 淡く、濃く にタッチして、手書きパッドの表示濃度を見やすい濃さに調整します。

10 表示濃度調整後 検索/決定 を押します。

キータッチ音 (キーを押したとき“ピッ”と鳴る音) の設定確認画面が表示されま
す。



11 または キーを押して、鳴らす／鳴らさないを選びます。

かな入力方法の設定画面になります。

【かな入力方法】

かな入力方法を設定します
ローマ字入力にしますか？
(メニューの各種設定でも変更できます)

はい いいえ

12 ローマ字入力に設定する場合は キーを押し、50音入力に設定する場合は キーを押します。

メインメニュー画面(コンテンツ※等選択画面：🔊 17ページ)が表示されます。

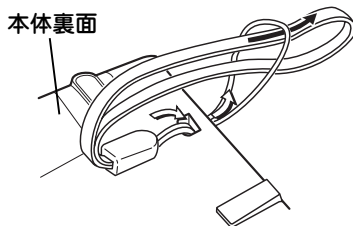
- ◆ キータッチ音の設定や、かな入力方法の設定は後で切り変えることができます。(🔊 23ページ)

※ コンテンツ

コンテンツは文章などの内容や項目を指す言葉です。収録されている辞書、書籍等を特定せずに示すとき「コンテンツ」と記載します。

市販のストラップを取り付けるときは市販のストラップを取り付けることができます。図のように裏面の取り付け穴に通して取り付けてください。

注) ストラップを取り付けてストラップを持って振り回したり、強く引っ張るなど、ストラップに過重がかかる行為は行わないでください。故障や破損の原因となります。



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。

- この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。

もくじ

安全にお使いいただくために	2
初めてお使いになるときは	3
乾電池を入れる	3

基本編

12

基本的な操作や設定

13

使用上のご注意とお手入れ	13
各部のなまえとはたらき	14
本書でのキーやボタンの記載方法について	15
電源を入れる/切る	15
画面表示について	16
表示シンボル	16
操作ガイドメッセージ(ヒント)	16
基本的な画面での操作のしかた	17
メインメニュー画面でコンテンツなどを選ぶ	17
すべてのコンテンツリスト(一覧)から選ぶ	18
コンテンツ等選択キーから選ぶ	18
リスト表示画面などでの項目の選択と画面送り	19
詳細画面などでの画面送り	19
オートスクロール機能での自動画面送り	20
画面の文字サイズを切り替えて見る	20
詳細画面を簡条書きで見る(早見機能を使う)	20
候補の言葉の意味を一部見る(プレビュー表示)	21
画面の文字を1行ごとに拡大して見る(ズーム機能)	21
戻る、リスト、クリアの使いかた	22
各種設定	23

キータッチ音を入れる/切る	23
かな入力方法の切り替え	23
オートパワーオフ時間の設定	23
表示濃度を調整する	24
プレビュー表示の入(あり)/切(なし)の切り替え	24
音声再生速度の切り替え	24
手書きパッドの設定をする	25
電源を入れたときの画面(オープニング画面)を設定する	26

基本的な使いかた

27

キーによる文字の入力と修正のしかた	27
日本語の入力方法	27
英語の入力方法	29
入力した文字を修正する	30
手書きパッドで文字を手書き入力する	31
手書きパッドの各部のはたらき	31
手書きパッドで手書き入力をする	32
手書きパッドの他の機能	35
日本語や英語で辞書を引く	36
読みやスペルの一部を省略して検索する	38
画面上に表示される「  」(タブ)の使いかた	39
画面に「  」マークが表示されたときは	40
「  」マークが表示されたときは(音声を聞く)	41
英単語や例文を読み上げる(音声読み上げ機能)	42
イヤホンで音声を聞くときは	44
辞書などを一括して調べる(一括検索)	45
あいまいな語を探す	46
詳細画面から別の語を調べる(W検索を使う)	47
画面内の語を調べる(Sジャンプを使う)	48

一度調べた語を再度調べたいとき(しおりを使う)	51
しおりを削除する方法	51
くり返し見たい語を登録する(単語帳を使う)	52
単語帳に語を登録する	52
各コンテンツの画面から、登録した語を見る	53
コンテンツ一覧から、登録した語を見る	53
マーカーを使う	54
単語帳を削除(登録を解除)する方法	56
よく使うコンテンツはMy辞書に登録(My辞書設定)	57
辞書などの登録を解除する	58
My辞書を使う	58
My辞書ミニを手書きパッドに表示させる/させない	58
メニューをよく使う順番に並べ替える	59
並べ替えの手順	59
メニューの並びを初期設定に戻す	60
電子辞書に名前を登録する	61
暗証番号と名前を登録する	61
名前をオープニング画面に設定する	61
登録している暗証番号を変更する	62
登録している名前を変更する	62
登録している名前、暗証番号を削除する	63

コンテンツ・機能説明編 64

『リーダーズ英和 & リーダーズ・プラス』を使う	65
スペルから英単語の意味などを調べる	65
リーダーズで成句を調べる	66
スペルチェック機能を使う	67

『ジーニアス英和大辞典』を使う	68
スペルから英単語の意味などを調べる	68
英和大辞典で成句を調べる	69
スペルチェック機能を使う	69
『グランドコンサイス和英辞典』を使う	70
日本語の読みや漢字から英訳を調べる	70
『OXFORD英英辞典(ODE、OALD)』を使う	71
スペルから単語の意味を調べる	71
英英辞典(ODE、OALD)で成句を調べる	72
スペルチェック機能を使う	72
『Thesaurus(類語辞典)』を使う	73
英単語を探して、その類語を調べる	73
Tableの内容を調べる	74
Thesaurus(類語辞典)で成句を調べる	75
スペルチェック機能を使う	75
『Collocations(連語辞典)』を使う	76
英単語を探して、その連語を調べる	76
スペルチェック機能を使う	77
『英和活用大辞典』を使う	78
英単語を探して、連語を調べる	78
連語検索を行う	79
スペルチェック機能を使う	80

『TOEIC® テスト 英単語・熟語マスタリー2000』を使う	81
英単語を学習する	81
英単語や例文のテストをする	82
スペルから英単語を調べる	84
例文を音声で聞く	84
「このコンテンツについて」を読む	85
シャッフルテストで腕試しをする	86
『TOEIC® テストの英文法』を使う	87
問題を解きながら英文法を学習する	87
学習した内容をテストする	88
文法の知識を見る(Coffee break)	89
「このコンテンツについて」を見る	90
シャッフルテストで腕試しをする	90
『英会話とっさのひとこと辞典』を使う	91
場面別に会話文を調べる	91
キーワードの読みまたはスペルから探す	92
『英文ビジネスレター事典』を使う	93
キーワードから決まり文句を探す	93
レターの基礎知識や例文を見る	93
『スーパー大辞林・逆引きスーパー大辞林』を使う	94
日本語の言葉や意味を調べる	94
後ろにつく文字から言葉を探す(逆引きスーパー大辞林)	95
アルファベット略語や数字・記号から始まる語を調べる	95

人名や地名などの分野から探す	96
グループから調べる	97
慣用句を調べる	98
『類語新辞典』を使う	99
言葉を探して、その類語を調べる	99
分類から検索する	100
『パーソナルカタカナ語辞典』を使う	101
カタカナ語/略語の意味を調べる	101
『漢字源』を使う	102
読みがわからない漢字を手書きで調べる	102
漢字の熟語を調べる	103
読みがわからない漢字を部品読みで調べる	103
音読みや訓読みから漢字を調べる	104
部首画数、総画数で漢字を調べる	105
『百科事典 マイペディア』を使う	106
言葉の意味などを調べる	106
『日経パソコン用語事典2007』を使う	107
言葉を探して意味を調べる	107
分類から用語を探す	108
『経済新語辞典 06』を使う	109
読みなどから用語を探す	109
アルファベットから始まる用語を探す	109

コラムを見る	110
各種の用語辞典を使う	111
読みや漢字で用語を探す	111
アルファベットから始まる用語を探す	111
カードの使いかた	112
カードの取り付けかた/取り外しかた	112
カードを取り付ける	112
カードを取り外す	113
『MP3プレーヤー機能』を使う	114
MP3データについて	114
MP3プレーヤー機能の使いかた	115
準備をする	115
MP3データを再生する	115
繰り返し再生を設定する	117
カードのメモリーを確認する	117
カードを初期化(フォーマット)する	118
『例文検索機能』を使う	119
日本語の読みから例文を調べる	119
英単語のスペルから例文を調べる	120
『手紙文作成』を使う	121
手紙文を作成する	121
作成した手紙文(文例)の保存は	122

『便利計算機能』を使う	123
消費税電卓で計算をする	123
消費税率を変更する	125
通貨換算をする	126
通貨のレートを設定する	126
通貨を換算する	127
単位換算をする	127
年号計算をする	128
年齢計算をする	130
年齢を調べる	130
生まれた年(誕生年)を調べる	131
ある年齢になる年を調べる	132

資料編 内蔵コンテンツの凡例(はんれい)など	134
リーダーズ英和辞典&リーダーズ・プラス	135
ジーニアス英和大辞典	149
グランドコンサイス和英辞典 凡例	160
OXFORD英英辞典(OED)	162
OXFORD現代英英辞典(OALD)	175
OXFORD Thesaurusガイド(類語)	181
OXFORD Collocationsガイド(連語)	185
英和活用大辞典	190
スーパー大辞林(凡例)	199
(付表・絵図)	205
類語新辞典(凡例)	228
漢字源(JIS版)	236
百科事典 マイペディア	239

英文ビジネスレター事典	242
学研 パーソナルカタカナ語辞典	243
参考	244
機能別利用可/不可コンテンツ	245
文字サイズの切り替えと保持グループ	245
早見機能が使えないコンテンツ	246
ズーム機能が使えるコンテンツ	246
“?”、“～”が使えるコンテンツ	246
一括検索できるコンテンツ	246
しおり機能がないコンテンツ	247
ジャンプできるコンテンツ	247
単語帳があるコンテンツと登録できる語	248
「他の辞書で調べる」で調べられるコンテンツ	248

お問い合わせは	256
よくあるご質問	257
保証書(保証規定)	260
故障かな?と思ったら	262

参考にしてほしいこと 249

電池交換のしかた	249
使用している電池	249
電池の交換時期	249
電池の交換手順	250
異常が発生したときの処理	251
リセット操作	251
異常を知らせるメッセージが表示されたときは	251
ローマ字→かな変換表	252
仕様	254
アフターサービスについて	256
保証について	256
補修用性能部品の保有期間	256
修理を依頼されるときは	256

お願い

この製品に収録されている辞書など各コンテンツの内容は、それぞれの書籍版コンテンツに基づいて、出版社より電子データとして作成、提供されております。それぞれのコンテンツにおける誤記・誤植、誤用につきましては弊社ではその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

この製品に収録されている内容は、次の辞書・書籍にもつき編集しています。

『リーダーズ英和辞典 第2版』★ 研究社 (1999年4月 発行)
(Copyright © Kenkyusha Ltd., 1999-2006)

『リーダーズ・プラス』★ 研究社 (1994年6月 発行)
(Copyright © Kenkyusha Ltd., 1994-2006)

『ジーニアス英和大辞典』大修館書店 (2001年4月 発行)
(Copyright © KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2001-2006)

『グランドコンサイス和英辞典』三省堂 (2002年6月 発行)
(Copyright © Sanseido Co., Ltd. 2006)

『OXFORD 現代英英辞典』Oxford University Press (2005年2月 発行)
(Oxford Advanced Learner's Dictionary seventh edition © Oxford University Press 2005)

『OXFORD Dictionary of English 第2版』Oxford University Press
(2003年8月 発行)
(Oxford Dictionary of English 2e © Oxford University Press 2003)

『OXFORD Thesaurus 第2版』Oxford University Press (2002年7月 発行)
(Concise Oxford Thesaurus 2e © Oxford University Press 2002)

『OXFORD Collocations』Oxford University Press (2002年4月 発行)
(Oxford Collocations Dictionary for Students of English © Oxford University Press 2002)

『新編 英和活用大辞典』研究社 (1995年7月 発行)
(Copyright © 1995, 2004 株式会社研究社)

『TOEIC® テスト 英単語・熟語マスタリー2000』旺文社 (2003年8月 発行)
(Copyright © obunsha)

『TOEIC® テストの英文法』PHP研究所 (2001年8月 発行)
(Copyright © Naomi Koike 2001)

『英会話とっさのひとこと辞典』DHC (1999年3月 発行)
(Copyright © Ichiro Tatsumi, Sky Heather Tatsumi, 1998)

『英文ビジネスレター事典』三省堂 (1999年5月 発行)
(Copyright © Sanseido Co., Ltd. 2001)

『スーパー大辞林』*1 三省堂
(Copyright © Sanseido Co., Ltd. 2005)

『類語新辞典』角川書店 (1981年1月 発行)
(Copyright © Susumu Ōno/Masando Hamanishi 1981)

『パーソナルカタカナ語辞典』学研 (1999年10月 発行)
(Copyright © Gakken, 1999)

『漢字源(JIS版)』*2 学研 (2002年4月 発行)
(Copyright © Gakken, 2003)

『百科事典 マイベディア』*3 日立システムアンドサービス
(All Rights Reserved. Copyright © 2006 Hitachi Systems & Services, Ltd.)

『日経パソコン用語事典2007』日経BP社 (2006年10月 発行)
(Nikkei Personal Computing Encyclopedia 2006/Copyright © Nikkei Business Publications, Inc. 2006)

『経済新語辞典 06』日本経済新聞社 (2005年9月 発行)
(Copyright © Nihon Keizai Shimbun, Inc. 2005)

『経営用語辞典』日本経済新聞社 (2000年5月 発行)
(Copyright © Hideyuki Kudo 1996)

『流通用語辞典』日本経済新聞社 (2000年10月 発行)
(Copyright © Nihon Keizai Shimbun, Inc. 1970)

『株式用語辞典』日本経済新聞社 (1999年6月 発行)
(Copyright © Nihon Keizai Shimbun, Inc. 1968)

『広告用語辞典』日本経済新聞社 (1997年4月 発行)
(Copyright © Nikkei Advertising Research Institute. 1997)

『会計用語辞典』日本経済新聞社 (2000年7月 発行)
(Copyright © Nihon Keizai Shimbun, Inc. 1978)

『金融用語辞典』日本経済新聞社 (1998年4月 発行)
(Copyright © Mitsuhiro Fukao 1998)

『保険用語辞典』日本経済新聞社 (1997年7月 発行)
(Copyright © Koichi Hiroumi, Yoshikazu Hanawa 1985)

★ 2006年9月現在のデータ・項目を改訂、および追加収録しています。

※1 「スーパー大辞林」は、書籍版「大辞林 第二版」に約1万9千項目を増補・収録した電子版の辞書であり、書籍版は刊行されていません。

※2 書籍版「改訂新版 漢字源」にもとづいて「漢字源 JIS 漢字版」として編集したものです。

※3 「マイベディア」は書籍版(平凡社発行)に最新(2006年8月)のデータ・項目を改訂および追加収録しています。書籍版は現在刊行されておりません。

● 本書中の社名や商品名は各社の登録商標または商標です。

● TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS). This (publication/product) is not endorsed or approved by ETS.

●  SDロゴは商標です。

基 本 編

基本的な操作や設定

使用上のご注意とお手入れ

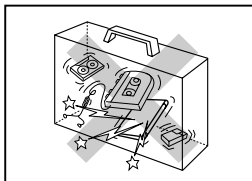
- 製品をズボンのポケットに入れたり、落としたり、強いショックを与えたりしないでください。

大きな力が加わり、液晶表示部が割れたり、本体が破損することがあります。特に満員電車の中などでは、強い衝撃や圧力がかかる恐れがありますので注意してください。



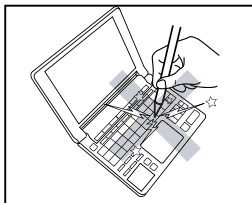
- ポケットやカバンに、硬いものや先のとがったものと一緒に入れないでください。

傷がついたり、液晶表示部が割れたりすることがあります。



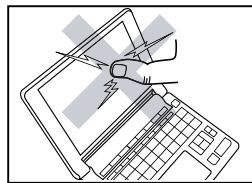
- キーや手書きパッドを爪や硬いもの、先のとがったもので操作したり、必要以上に強く押さえないでください。

キーや手書きパッドを傷めることがあります。(手書きパッドは付属のタッチペンで操作してください。)



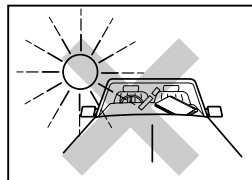
- 表示部を強く押さえないでください。

割れることがあります。



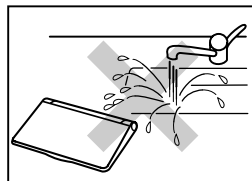
- 日の当たる自動車内・直射日光が当たる場所・暖房器具の近くなどに置かないでください。

高温により、変形や故障の原因になります。



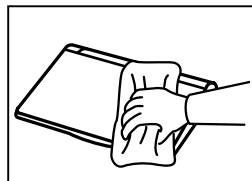
- 防水構造になっていませんので、水など液体がかかる場所での使用や保存は避けてください。

雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。



- お手入れは、乾いたやわらかい布で軽くふいてください。

シンナーやベンジンなど、揮発性の液体やぬれた布は使用しないでください。変質したり色が変わったりすることがあります。

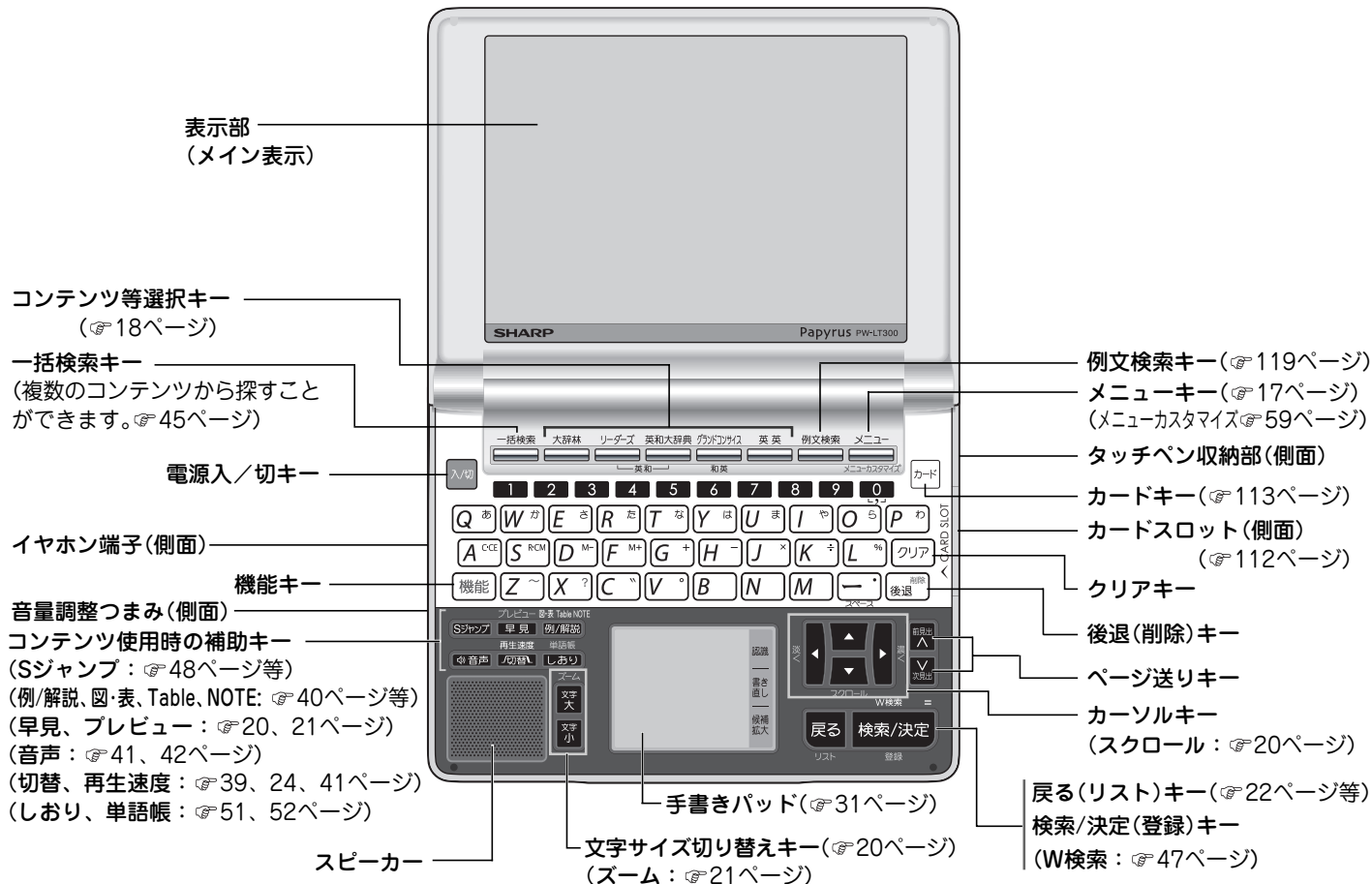


- 電子辞書の電源が入ったままで、別売のカードの抜き差しはしないでください。

データの消失や故障の原因になります。

- キャッシュカードなど、磁気カードを近づけないでください。データが消える恐れがあります。

各部のなまえとはたらき



本書でのキーやボタンの記載方法について

- 手書きパッドのボタン：二重枠()で囲んで表します。

例  **候補拡大** と記載

- その他のキー：丸みのある枠()で囲んで表します。

例  **文字小** と記載

ただし計算例の数字などは枠で囲まずに記載します。

- キーには2種類以上の機能が書かれているものがあり、これらは入力状態や画面の状態によって、選択できる文字や機能が異なります。本書では、そのとき使用する機能のみを記載しています。

例1		W または か と記載
例2		例/解説 または 図・表 、 NOTE 、 Table と記載
例3		検索/決定 または = 、 W検索 、 機能 登録 と記載

注： **機能 登録** の記載は、 **機能** キーを押して離れたあと、 **登録** キーを押すことを示します。

- 緑色で書かれた機能は **機能** を押して離れたあと、それぞれのキーを押します。

例： **機能 削除** や **機能 ?** のように記載します。

電源を入れる／切る

電源は、下記のキーで入れることができます。

それぞれのキーで電源を入れたときの画面が次のようになります。なお、電源を切るときは **入/切** を押します。

電源を入れるキー	電源が入ったときの画面
入/切	電源が切れる前の画面に戻ります。 (レジューム機能) オープニング画面を表示する場合はオープニング画面表示後、電源が切れる前の画面になります。 デモ(商品紹介)を設定している場合はデモの開始確認画面が表示されます(オープニング設定：  26ページ)。
メニュー	メインメニュー画面(コンテンツ等選択画面：  17ページ)になります。
一括検索 、 大辞林 リーダーズ 、 英和大辞典 グランドコンサイス 、 英英 例文検索 、 カード	それぞれのコンテンツや機能の最初の画面(入力画面など)、または各コンテンツの選択画面になります。 (ダイレクトオン機能)

オートパワーオフ機能

この製品は、電池の消耗を防ぐため、キー操作が一定時間ないと自動的に電源が切れます。この時間は最初5分間に設定されていますが、23ページの方法で変更することができます。

画面表示について

表示シンボル

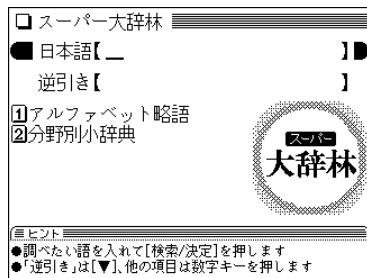
画面の端などに表示される表示シンボルは、製品の状態などを示します。

シンボル	意 味
	画面の右上に表示され、電池が消耗していることを示します。速やかに新しい電池と交換してください。(249ページ)
	画面の右上に表示され、矢印の方向に、まだ表示されていないデータがあることを示します。 ▼、▲：1行ずつ画面を送ります。 ▽、△：1画面ずつ画面を送ります。
	ズームウィンドウ(21ページ)内で表示されていないデータがあります。 ▶、◀：内容を左右に送ります。
	このシンボルは画面の左上に表示されます。 (機能) が押されたことを示し、キーボード上の緑色で書かれた機能を選択できます。 (状況により選択できない機能があります。)

操作ガイドメッセージ(ヒント)

画面下に操作ガイドメッセージが表示されることがあります。

操作ガイドメッセージには、状況に応じた簡単な使いかたが記載されています。操作が分からなくなったときなどに利用します。



操作ガイドメッセージ
(例)

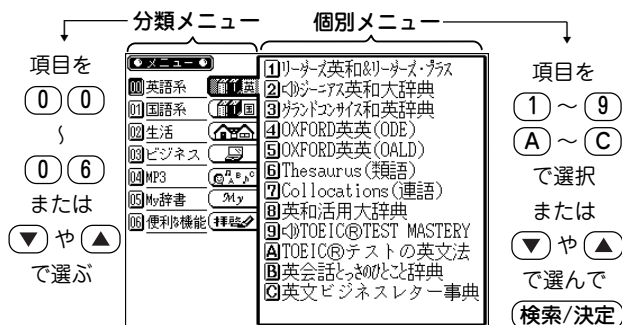
基本的な画面での操作のしかた

ここでは、各コンテンツを使用するために必要な、基本的な画面送りや、項目などの選択の方法を説明します。

メインメニュー画面でコンテンツなどを選ぶ

メニュー を押してください。

次のメインメニュー画面が表示されます。



メインメニュー画面(コンテンツ等選択画面)

メニューの選びかた

メニュー を押したときは分類メニューの先頭の「00 英語系」が選ばれ、数字が反転表示(白黒反転)されています。

● 数字キーで選ぶ

- 1 分類メニューの項目を、左の英数字(00 ~ 06)に対応するキー(0 0 ~ 0 6)を押して選びます。
選んだ項目の個別メニューにカーソル(英数字の反転表示)が表示されます。
- 2 個別メニューでは、コンテンツなどを左の英数字に対応するキーを押して選びます。
選んだコンテンツなどの画面が表示されます。

● カーソルキーと **検索/決定** で選ぶ

- 1 選びたい分類メニューの項目に ▼、▲ でカーソルを移し **検索/決定** または ► を押します。
カーソルが個別メニューに移動します。
- 2 個別メニューでは、コンテンツなどを ▼、▲ で選び **検索/決定** を押します。
選んだコンテンツなどの画面が表示されます。

- 個別メニューにカーソルがあるとき、**戻る** または ◀ を押すと、カーソルが分類メニューに戻ります。

本書では、コンテンツ等を選ぶ場合、上記の「数字キーで選ぶ」方法で説明を行います。

すべてのコンテンツリスト(一覧)から選ぶ

メニュー (0) (6) (4) と押すと、すべてのコンテンツリスト(一覧)が表示されます。

Electronic Dictionary ● すべてのコンテンツ ●		
01 リーダーズ英和	10 英文レター	24 保険用語
02 リーダーズ・プラス	11 スーパー大辞林	25 会計用語
03 ジーニアス英和大	12 英語新辞典	26 広告用語
04 コンサイス英和	13 パンツルカタ語	
05 英英 (ODE)	14 漢字源	
06 英英 (OALD)	15 百科事典	
07 Thesaurus	16 パンツ用語	
08 Collocations	17 経済新語	
09 英和/活用	18 経営用語	
10 TOEIC®マスキ	19 株式用語	
11 TOEIC®英文法	20 金融用語	
12 とっさのひとこと	21 流通用語	

選択したいコンテンツの左側の数字に対応する数字キーを押すか、▼、▲、▶、◀ でカーソル(数字の反転表示)を移して **検索/決定** を押すとコンテンツの画面になります。

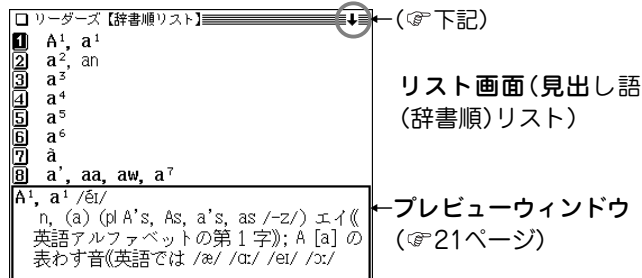
コンテンツ等選択キーから選ぶ

コンテンツ等選択キーは、下記のように直接コンテンツを選ぶキーです。

- 大辞林** : 大辞林の入力/選択画面(最初の画面)を開きます。
- リーダーズ** : リーダーズ英和辞典&リーダーズ・プラスの入力/選択画面(最初の画面)を開きます。
- 英和大辞典** : ジーニアス英和大辞典の入力/選択画面(最初の画面)を開きます。
- グランドコンサイス** : グランドコンサイス英和英辞典の入力画面(最初の画面)を開きます。
- 英英** : OXFORD英英辞典(OALD)の入力/選択画面(最初の画面)を開きます。

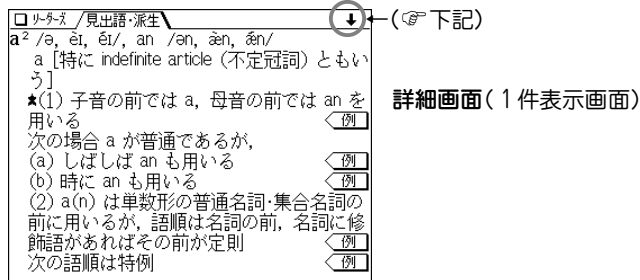
リスト表示画面などでの項目の選択と画面送り

メニュー 0 0 1 と押し、検索/決定 を押してください。英和辞典のリスト(一覧表示)画面になります。



詳細画面などでの画面送り

左の見出し語リスト画面で 2 を押してください。
「a², an」(見出し語)の詳細画面に訳語が表示されます。



各項目(各語)を選択する方法

数字キーで選ぶか、▼、▲ でカーソル(数字の反転表示)を目的の項目へ移動させて 検索/決定 を押します。

画面を送って別の内容を見る方法

画面の右上に“↓”や“↑”シンボルが表示されたときは画面外に隠れている内容があります。

(1) ▼、▲ でカーソルを1行ずつ移動させていくと、最下(上)行以降は画面が送られます。

(2) ∨、∧ で、1画面分ずつ画面が送られます。

● ▼、▲ や ∨、∧ を押したままにすると、連続して画面が送られます。

画面を送って隠れている内容を見る

画面の右上に“↓”や“↑”シンボルが表示されたときは画面外に隠れている内容がありますので ▼、▲ または ∨、∧ で画面を送って内容を見ます。

次(前)の見出し語の内容を見る

機能 次見出 (∨)、機能 前見出 (∧) と押すと、並び順で次または前見出し語などが表示されます。

オートスクロール機能での自動画面送り

▼、▲ や ▽、△ で画面を送っていく代わりに、自動的に画面を送ることもできます。

“↓”シンボルが表示されている画面で、**機能** **スクロール** (▼)と押すと、自動的に画面(カーソル)が順方向に送られていきます。

送られている方向と逆向きの ▲ または ▽ キーを押すと、送り方向を変更することができます。

また、送り方向と同じ向きの ▽ または ▲ キーを押すとスピードが速くなり、もう一度押すと元の速さに戻ります。

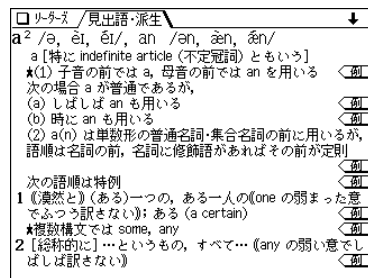
目的の語や内容が表示されたときは ▼ を押して自動送りを止めます。

画面の文字サイズを切り替えて見る

リスト画面や詳細画面で **文字 小**、**文字 大** を押すと表示される文字の大きさが切り替わります(切り替えられる文字サイズ、コンテンツは245ページをご覧ください)。

例えば、前ページの詳細画面で **文字 小** を押すと文字が小さくなり、**文字 大** を押すと文字が大きくなります。

- 文字サイズは、次に切り替えるまで保持されます。

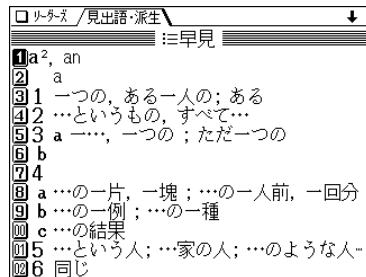


12ドット文字での表示例

詳細画面を簡条書きで見る(早見機能を使う)

早見機能は、コンテンツの詳細画面の例文や補足説明などを省略し、意味などを簡条書きで表示させることができます。概略だけを素早く見たいときなどに、お使いいただけます。

- 1 前ページの詳細画面で **早見** を押します。
早見画面が表示されます。



- **早見** で詳細画面と早見画面が交互に切り替わります。

- 2 見たい語(意味)を表示させて数字キーで選びます。
選んだ語(意味)を先頭に表示した詳細画面になります。

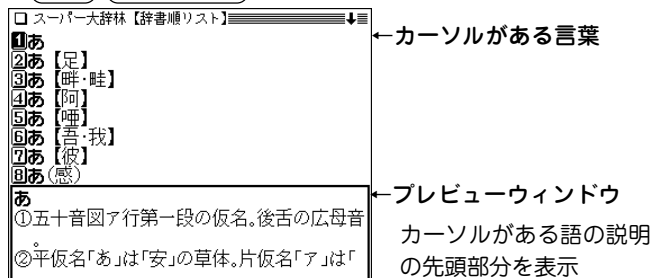
◆早見機能が使えないコンテンツは246ページをご覧ください。

候補の言葉の意味を一部見る(プレビュー表示)

用語を調べるとき、多くの言葉がリスト表示されて目的の言葉がどれか迷うことがあります。

このようなときに、説明などの一部を見る機能です。

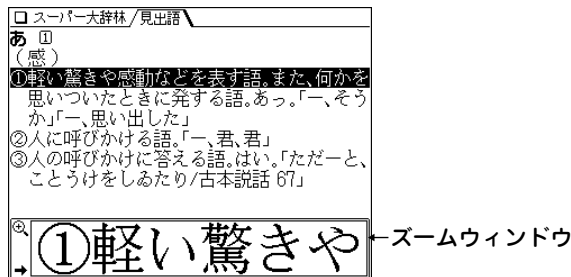
大辞林 **検索/決定** と押してください。大辞林の辞書順リストが表示され、先頭言葉の説明の一部が下側の窓(プレビューウィンドウ)に表示されます。もし、窓を表示しないときは **機能** **プレビュー** と押してください。



- **▼**、**▲** でカーソルを別の語へ移すと、その語の説明などが表示されます。
- **機能** **プレビュー** と押すごとに、プレビュー表示の入(あり)/切(なし)が切り替わります。
プレビュー表示入(あり)のときは、リスト画面にプレビューウィンドウが表示されます(漢字源や、タイトルなどの項目を選んでいく形式のリスト画面、窓(ウィンドウ)に表示されるリスト画面などを除く)。
- プレビュー表示の入/切は24ページの方法でも切り替えることができます。

画面の文字を1行ごとに拡大して見る(ズーム機能)

大辞林 **検索/決定** **⑧** と押し、**機能** **ズーム** と押してください。画面下にズームウィンドウ(窓)が表示され、対象行の文字が最大の文字サイズで表示されます。**▼**、**▲** で行を選び、**▶**、**◀** で左右に送って見たいところを表示させます。



- ズームウィンドウ内は“→”、“←”シンボルの表示に従って **▶**、**◀** で1文字ずつ左右に送ることができます。
また **▼**、**▲** で1行ずつ送ることができます。
- ウィンドウを閉じるときは **戻る** を押します。

戻る、リスト、クリアの使いかた

これらのキーは、次のように働きます。

戻る …… 前の画面に戻ります。

クリア …… 各コンテンツの入力画面や最初の画面などに戻ります。

機能 **リスト** …… 表示していた見出し語などから始まるリスト(一覧表示)画面になります。

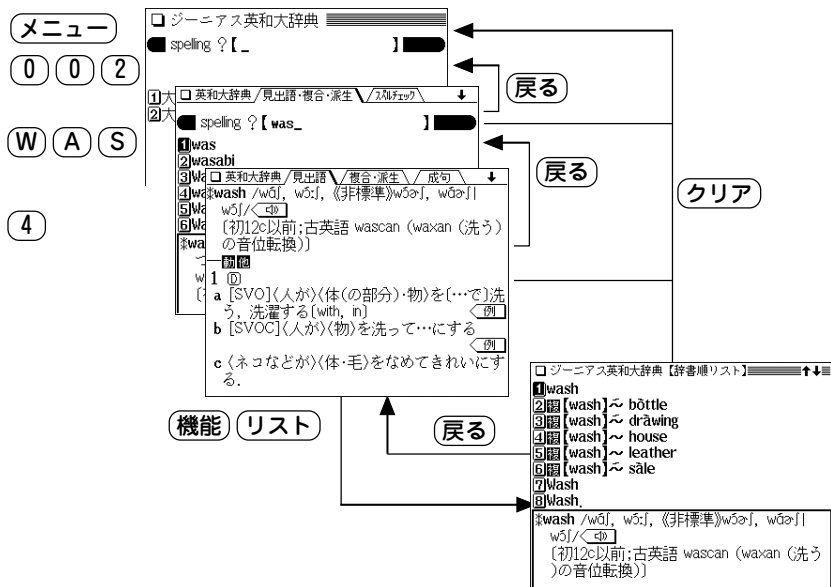
なお、コンテンツにより動作が異なる場合があります。

● 詳細画面などに複数のタブ(39ページ)があるとき、**切替**でタブ(画面)を切り替えていた場合や、画面を送っていた場合でも、**戻る**を押すと前のリスト画面などに戻ります。

● テスト機能があるコンテンツなどでは、テスト中に**戻る**や**クリア**を押すと、中断や終了の確認画面が表示される場合があります。

このときは、画面に従って **Y** または **N** を押します。

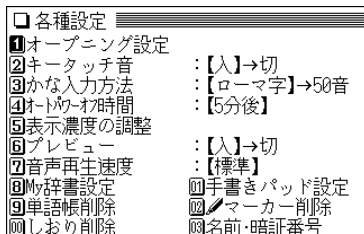
Y を押したときは、前のリスト画面やコンテンツの最初の画面などに戻ります。



各種設定

ここでは、使いやすく設定を変える方法を説明します。

〔メニュー〕〔0〕〔6〕と押し、〔7〕を押してください。各種設定のリスト画面が表示されます。



各種設定のリスト画面

各項目を〔1〕～〔9〕、〔0〕〔0〕、〔0〕〔1〕～〔0〕〔3〕で選んで設定や切り替えなどを行います。

- オープニング設定：☞26ページ
- しおり削除：☞52ページ
- 単語帳削除：☞56ページ、マーカー削除：☞56ページ
- My辞書設定：☞57ページ
- 名前・暗証番号設定等：☞61ページ

キータッチ音を入れる／切る

キーを押したとき「ピッ」と鳴るキータッチ音の「入」、「切」を切り替えます。

- 1 各種設定のリスト画面で〔2〕を押します。
キータッチ音の「入」と「切」が切り替わって(メッセージを一時表示して)、メインメニュー画面に戻ります。

かな入力方法の切り替え

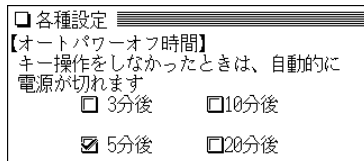
ひらがなの入力方法をローマ字かな入力方式から50音かな入力方式に(またはその逆に)切り替えることができます。

- 1 各種設定のリスト画面で〔3〕を押します。
入力方式が切り替わり(メッセージを一時表示して)、メインメニュー画面に戻ります。
- 文字入力：☞27ページ

オートパワーオフ時間の設定

キー操作がなかったとき自動的に電源が切れる時間を下記の方法で設定できます。(初期状態では「5分後」に設定されています。)

- 1 各種設定のリスト画面で〔4〕を押します。



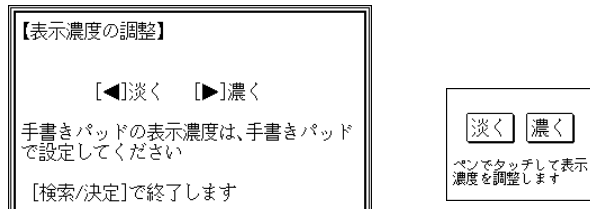
オートパワーオフ時間
設定画面

- 2 〔▲〕、〔▼〕、〔◀〕、〔▶〕で“✓”を移動させて時間を選び、〔検索/決定〕を押します。
時間が設定され、メインメニュー画面に戻ります。

表示濃度を調整する

メイン表示および手書きパッドの表示濃度を調整します。

- 1 各種設定のリスト画面で **5** を押します。



- 2 メイン表示は **◀**(淡く)、**▶**(濃く) で見やすい濃さに調整します。

手書きパッドは、表示されている **淡く**、**濃く** にタッチして見やすい濃さに調整します。

- 3 調整が終わったら **検索/決定** を押します。
メインメニュー画面に戻ります。

- メイン表示の濃度調整は各画面で、**機能** **◀**、**機能** **▶** と何回か押しても調整できます。
機能 を押して離れた後、**◀** または **▶** を押したままにすると、濃度が連続的に変わっていきます。

プレビュー表示の入(あり)/切(なし)の切り替え

プレビュー表示(📄 21ページ)の入/切を切り替えます。

- 1 各種設定のリスト画面で **6** を押します。

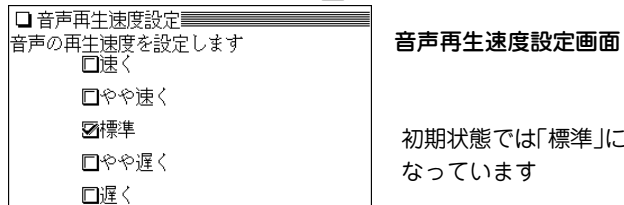
プレビュー表示の「入」と「切」が切り替わって(メッセージを一時表示して)、メインメニュー画面に戻ります。(初期状態では「入」になっています。)

- プレビュー表示ができる画面で **機能** **プレビュー** と押しても入/切が切り替わります。

音声再生速度の切り替え

音声再生(📄 41、42ページ)の速さを切り替えます。

- 1 各種設定のリスト画面で **7** を押します。



- 2 **▲**、**▼** で“✓”を移動させて速度を選び **検索/決定** を押します。

再生速度が設定され、メインメニュー画面に戻ります。

- 音声再生の画面で **再生速度** を押して切り替えることもできます(📄 41、42ページ)。

手書きパッドの設定をする

「手書きパッドの調整」と「My辞書ミニの設定」ができます。

●手書きパッドの位置調整をする

手書きパッドは、キーなどが表示される位置と、実際にタッチしたと認識される位置がずれる場合があります、このずれが小さくなるように調整します。

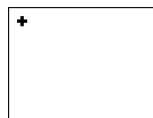
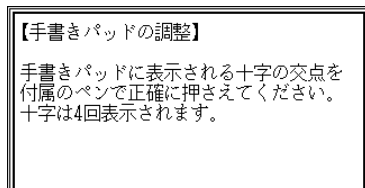
1 各種設定のリスト画面で ① ② と押します。

- ☐ 手書きパッド設定
- ☒ ①手書きパッドの調整
- ☐ ②My辞書ミニの設定

設定項目選択画面

2 ① で「手書きパッドの調整」を選びます。

手書きパッドに + マークが一つ表示されます。



3 付属のタッチペンで、+ マークの中心(線の交点)に正確にタッチして離します。

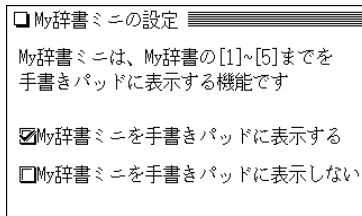
タッチして離すと別の位置に + マークが表示されますので、同様に中心にタッチします。+ マークは4カ所に表示されます。4カ所タッチすると調整が終了し、メインメニュー画面に戻ります。

●My辞書ミニを表示させる／させないを設定する

手書きパッドにMy辞書ミニ(My辞書の先頭5コンテンツ)を表示させ、手書きパッドから選べるようにできます。

1 先の設定項目選択画面で ② を押して「My辞書ミニの設定」を選びます。

表示の選択画面が表示されます。



2 ▲、▼ で“✓”を移動させて「…表示する」または「…表示しない」を選び **検索/決定** を押します。

選択した項目が設定され、メインメニュー画面に戻ります。(初期状態では「…表示する」になっています。)

電源を入れたときの画面(オープニング画面)を設定する

入/切 を押して電源を入れたときに一定時間表示される画面(オープニング画面)を設定することができます。

- 表示あり : 「ひとこと英会話」*を表示します。
 表示なし : 電源が切れる前の画面を表示します。
 デモ(商品紹介) : 商品の紹介をデモ形式で表示します。
 名前 : 登録した名前を表示します。

1 **メニュー** **0** **6** **7** と押し、**1** を押してオープニング設定画面にします。

☐ オープニング設定
 電源を入れた時の表示画面を設定します

☐ 表示あり<ひとこと英会話>
☒ 表示なし
☐ デモ(商品紹介)
☐ 名前

初期状態では「表示なし」になっています

2 **▲**、**▼** で“✓”を移動させてオープニングの設定を選び、**検索/決定** を押します。

- 「表示あり」、「表示なし」、「名前」を選んだ場合は、メインメニュー画面が表示されます。
- 「デモ(商品紹介)」を選んだ場合は、デモの開始確認画面が表示されます。この画面で **Y** を押すとデモが始まります。
 また、**N** を押すとメインメニュー画面になります。

次回から **入/切** で電源を入れるとデモの開始確認画面が表示されるようになります。

オープニング画面を停止してコンテンツを使いたいときはオープニング画面表示中にコンテンツ等選択キーや **クリア** キーなど、いずれかのキーを押します。

オープニング画面を表示しないようにするには手順2で「表示なし」を選んで **検索/決定** を押します。

※ オープニング画面で表示される「ひとこと英会話」の内容は、語学春秋社刊行「英会話 Make it!」から抜粋・電子化されたデータです。

基本的な使いかた

ここでは、辞書など(コンテンツ)を調べるための文字の入れかたや、全体に関係する機能などの基本的な使いかたを説明します。

キーによる文字の入力と修正のしかた

日本語の入力方法

キーによる日本語の入力方式は、「ローマ字かな入力方式」と「50音かな入力方式」の2種類があります。

入力方式を切り替えるときは **メニュー** **0** **6** **7** **3** と押します。(☞23ページ)

次の例題で文字の入力のしかたを練習しましょう。

- 入れまちがえたときは30ページを参照して直してください。
- キーで漢字を入力することはできません。漢字は手書きで入れます(☞31ページ)。

【例題】「じゅんぷう」と入れましょう。

1 **メニュー** **0** **1** **1** と押してスーパー大辞林を選びます。

2 「じゅんぷう」と入れます。

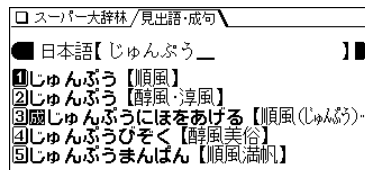
ローマ字かな入力の場合：

J **U** **N** **(** **N** **)** **P** **U** **U**

50音かな入力の場合：

さ **さ** **ゝ** **や** **や** **や** **や** **や** **わ** **わ** **わ** **わ** **わ**
は **は** **は** **ゝ** **あ** **あ** **あ** **▶**

• **ゝ** は **C** キー、**ゝ** は **V** キーです。



- 50音かな入力では、最後の文字を入れた後、**▶** を押して文字を確定させます。
- 新しい言葉を引くときは、**クリア** を押して前に入れた文字をすべて消します。

ローマ字かな入力方式での入力について

ローマ字のスペルでひらがなを入力する方法は、「ローマ字→かな変換表」(㊦252ページ)を参照してください。

- ゐは (W) (Y) (I)、ゑは (W) (Y) (E) と押して入れます。

50音かな入力方式での入力方法

50音によるひらがなの入力では、例えば (あ) を押していくと、次の順番で表示が変わります。

あ→い→う→え→お→あ→い→う→え→お→あ……

入力したい文字を表示させて、次の文字を入れるか、(▶) を押すと入力文字が確定されます。

キーごとの収録文字	(あ)	あ	い	う	え	お	あ	い	う	え	お
	(か)	か	き	く	け	こ					
	(さ)	さ	し	す	せ	そ					
	(た)	た	ち	つ	て	と	っ				
	(な)	な	に	ぬ	ね	の					
	(は)	は	ひ	ふ	へ	ほ					
	(ま)	ま	み	む	め	も					
	(や)	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ				
	(ら)	ら	り	る	れ	ろ					
	(わ)	わ	ゐ	ゑ	を	ん	わ				

- 濁音、半濁音は清音の後に (゛)、(゜) を押して入れます。

ざっぴ → (さ) (゛) (た) (た) (た) (た) (た) (た)
 ざ っ
 (は) (は) (゜) (▶)
 び

- 同じ行(あ行など)の文字が続くときは、(▶) で文字を確定させます。

あいあい → (あ) (▶) (あ) (あ) (▶) (あ) (▶) (あ) (あ) (▶)
 文字を確定させる

- 長音符は (ー) を押して入れます。

あーち → (あ) (ー) (た) (た) (▶)

スペースやアポストロフィ(')、ハイフン(ー)は入る?

スペースやアポストロフィ(')、ハイフン(ー)は入れることができません。探したい語にこれらの文字・記号がある場合は、省いて入力してください。

ひらがな、カタカナを切り替えて入れる方法は?

キーから入力する場合、コンテンツによってひらがなが入力されるかカタカナが入力されるかが決まっています。切り替えることはできません。

手書きパッドを使った手書き入力(㊦31ページ)では、ひらがな、カタカナの両方を入れることができます。

ただし、検索はひらがな、カタカナを区別せずに行いますので、どちらを入れて検索しても同じ言葉が探し出されます。

英語の入力方法

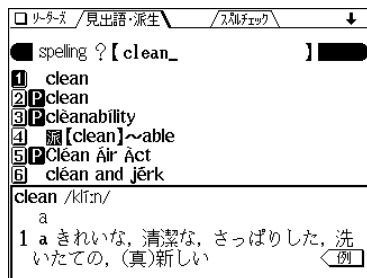
次の例題で文字の入力のしかたを練習しましょう。入れまちがえたときは次ページを参照して直してください。

【例題】「clean」と入れましょう。

1 **メニュー** **0** **0** **1** と押して英和辞典にします。

2 「clean」と入れます。

C **L** **E** **A** **N** と押します。



- 新しい言葉を引くときは、**クリア** を押して前に入れた文字をすべて消します。

スペル入力時の参考

1. 見出し語にスペース、「-」、「'」、「/」、「.」などがある場合、これらは省いて入力し、検索します。

(例) fast food → fastfood で検索する
weak-kneed → weakkneed で検索する
let's → lets で検索する

2. 見出し語が大文字の場合も、小文字で検索します。

(例) AC → ac で検索する
USA → usa で検索する

3. 数字は英語のスペルで検索します。

(例) 18 → eighteen で検索する

4. 「&」は「and」と入力します。

0、**-** キーの使いかた

0 キーはメニュー画面でメニューを選択したり、便利計算機能で数字の「0」を入力するときに使用しますが、テスト機能があるコンテンツで、答えにアポストロフィ「'」が含まれているときに、このキーで入力します。

- キーは各検索画面の読み入力で、長音符(ー)を入力するときや、便利計算機能で小数点を入力するときに使用しますが、テスト機能があるコンテンツで、答えが2語以上になるときに、このキーで区切りのためのスペースを入力します。

アポストロフィやスペースは英和や英英などの辞書では入力できません。

入力した文字を修正する

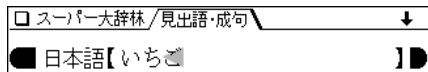
スーパー大辞林の入力画面で、入力した文字の修正のしかたを練習しましょう。

余分な文字を削除する

【例題】「いちご」を「いご」に直してみましょう。

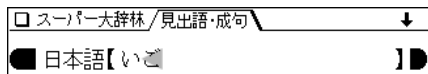
1 スーパー大辞林の入力画面で「いちご」を入れます。

2 ◀ で“いちご”の“ご”にカーソルを移します。



3 後退 を押します。

“ち”(カーソルの前の文字)が削除されます。



カーソル位置の文字を削除する

カーソル位置の文字は 機能 削除 と押すと削除されます。

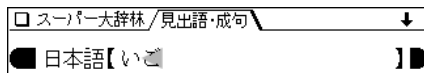
入力した文字をすべて削除する

クリア を押すと入力した文字がすべて削除されます。

文字を追加する

【例題】「いご」を「いちご」に直してみましょう。

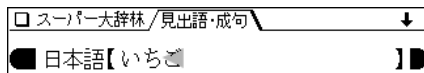
1 ◀ で“いご”の“ご”にカーソルを移します。



● カーソルのある文字の前に新たな文字を追加できます。

2 “ち”を入力します。

“ち”が追加されます。



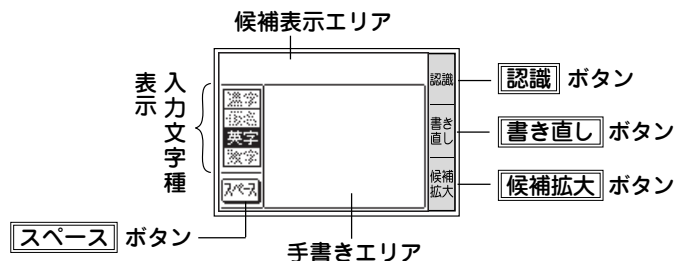
● 50音かな入力では文字が確定するまでカーソル(◀または▶)が表示されません。▶ で確定させてください。

手書きパッドで文字を手書き入力する

各コンテンツの入力画面では、手書きパッドを使って文字などを手書き入力することができます。

手書きパッドの各部のはたらき

各コンテンツの入力画面などで入力欄にカーソルがあると、手書きパッドが手書き入力パッドになります。



手書きエリア : タッチペンで文字を手書きします。

候補表示エリア : 手書きした文字が認識され、候補となる文字が表示されます。

このとき、左端の候補の文字がコンテンツの入力欄にも入っていますので、違う候補を入れたいときは、その候補の文字にタッチします。

入力文字種表示 : 入力できる文字種は反転表示、入力できない文字種は薄く表示されます。

漢字

漢字が入力できます。

仮名

ひらがな、カタカナが入力できます。

英字

英字が入力できます。

数字

数字が入力できます。

スペース

: テスト機能で、解答にスペースを入れるときにタッチします。スペースを入れられるときにのみ、このボタンが表示されます。

候補拡大

: 候補表示エリアの候補を拡大して表示させるときや、元に戻すときにタッチします。拡大した文字は手書きエリアに表示されます。

書き直し

: 手書き文字が正しく認識されなかったときにタッチして候補を消去します。手書き文字を書き直すときに使用します。

認識

: 手書きした文字が自動的に認識される前に認識させたいときにタッチします。

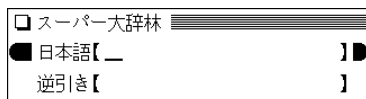
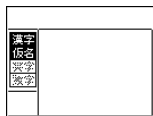
注 : 手書きパッドは、手書き入力以外にも使用されます (P.35ページ)。

手書きパッドで手書き入力をする

【例題】スーパー大辞林で「持つ」を入れましょう。

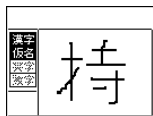
1 **メニュー** **0** **1** **1** と押します。

スーパー大辞林の入力／選択画面になります。
手書きパッドは漢字・仮名が入力できるようになります。

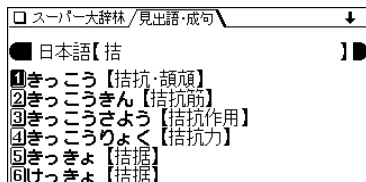
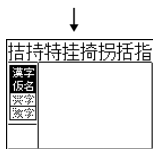


2 手書きエリアにタッチペンで「持」と書きます。

手書きパッドからペンを離して1～2秒で手書き文字が認識され、候補の文字が候補表示エリアに表示されます。

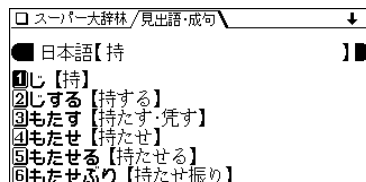
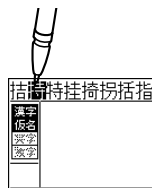


候補表示エリアの左端の文字が入力欄にも入り、辞書の検索が行われます。



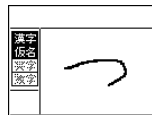
3 入力欄に入っている文字が、目的の文字ではないときは、候補表示エリアの目的の文字にタッチペンでタッチ(選択)します。

入力欄の文字が選択した文字に入れ替わります。

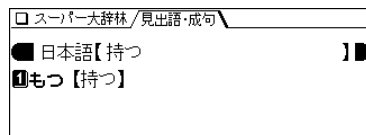
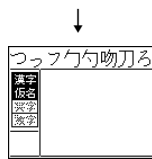


● 候補にないときは、**書き直し** または **後退** で消して、もう一度手書きしてください。

4 同様にして「つ」を書き、入力欄に入れます。



新たに書き始めると、前の文字が確定され、候補が消えます。＊



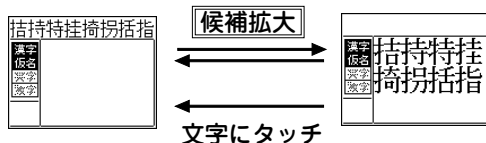
※ **スペース** でスペースを入れたときや、キーで文字を入れたとき、また **◀**、**▶** で入力欄のカーソルを移動させたときなどにも、文字が確定されて候補が消えます。

注：次のような場合は手書きパッドの位置調整をしてみてください(25ページ)。

- 手書きしている文字とペンの位置がずれている。
- 候補の文字にタッチしても、ずれた位置で選択される。
- ボタンが、タッチした位置とずれた位置で働く。

候補の文字を大きく表示させたいときは

候補表示エリアに候補が表示されているとき「候補拡大」にタッチすると、候補が手書きエリアで拡大表示されます。拡大表示された候補にタッチすれば、候補表示エリアでタッチしたときと同じように選択されて入力欄に入り、通常の画面に戻ります。



- 新たに文字を書くときは通常の画面に戻してから書いてください。

手書き入力のご注意

- 文字は、途中で止めないで速やかに書いてください。タッチペンで文字を書いて、手書きパッドからペンを離すと、約1秒後に認識が行われます。ただし、英字や漢字など、文字によって認識が行なわれる時間は異なります。早く認識させたいときは「認識」で認識させてください。

文字を書いている途中でペンを離して間をおくと、その時点で文字が書き終わったものとみなして認識されてしまいますので、途中で止めないで速やかに書いてください。

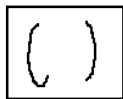
また、紙などに書かれている文字を確認しながら書く場合は、確認するとき手書きパッドからペンを離さないで確認してください。ペンを離さなければ認識は行なわれません。

- 漢字や仮名は楷書で1字ずつ丁寧に書いてください。行書など続け字は認識されない場合があります。
- 数字や文字などは1字ずつ書いて認識させてください。数字を2桁以上書いたり、アルファベットを筆記体で続けて書いたりすると違う文字と認識されます。
- 文字は手書きエリア内からはみ出さない範囲で、大きく書いてください。ただし、仮名の小さい文字は、小さく書いてください。
- なるべく正しい筆順で書いてください。
- 文字の1画(線)が途切れないように書いてください。
- 文字が傾きすぎないように書いてください。
- はねやかざりをつけすぎないように書いてください。
- 文字を仮名で入れて漢字に変換する機能はありません。
- 認識できる漢字の範囲はJIS第1水準、第2水準の漢字です。

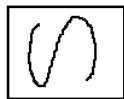
手書き認識について

手書き入力の際には、次のような点に気をつけていただくと認識されやすくなります。

- 1 続け字にならないように（画数がはっきりとわかるように）書きます。

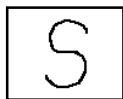


良い例

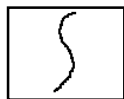


悪い例

- 2 崩さず、ていねいに書きます。



良い例



悪い例

- 3 あまり傾かないように書きます。

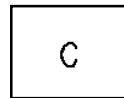


良い例



悪い例

- 4 「C」と「c」など大文字と小文字が同じような文字は、区別がつきやすいように、小文字を小さく書きます。



小文字

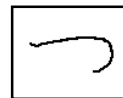


大文字

「っ」などの小さい文字も小さく書きます。



小さい「っ」



大きい「つ」

文字を書くときは、強く押さえないで軽く書いてください。

手書きパッドの他の機能

各コンテンツの文字が入力できる画面では、手書きパッドは入力パッド(手書き入力パッド)になりますが、他の画面では、別の機能が割り当てられます。

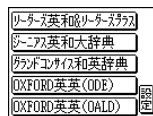
●テスト解答画面(Y/N解答画面)



テストの解答をY(yes)、N(no)で答える画面で表示されます。

タッチすれば、それぞれ **(Y)**、**(N)** を押したときと同じ働きをします。

●My辞書ミニ表示

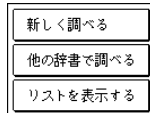


メイン表示がメニュー画面などでは、My辞書(☞57ページ)に設定しているコンテンツを先頭から5件表示します。コンテンツ名にタッチすると、そのコンテンツの画面になります。

設定 にタッチするとMy辞書の設定画面になります。(☞57ページ)

- My辞書ミニを表示しないように設定することもできます(☞25ページ)。

●検索選択画面



メイン表示が詳細画面(1件表示画面)などでは手書きパッドは検索選択画面になります。

新しく調べる: タッチするとコンテンツの入力画面などに戻ります。

(**クリア**) を押したときと同じ働き)

他の辞書で調べる: 詳細画面で、表示している見出し語などを他の辞書で調べることができます。

タッチすると「他の辞書で調べる」ウィンドウに候補が表示されます。

候補を選択すれば、内容が表示されます。(検索できるコンテンツ: ☞248ページ)

リストを表示する: 詳細画面の見出し語を先頭とするリスト表示になります。

(**機能** **リスト**) と押したときと同じ働き)

- 各キーは、使用できない場面では薄く表示されます。

日本語や英語で辞書を引く

ここでは基本的なコンテンツ(辞書など)の引きかたを説明します。

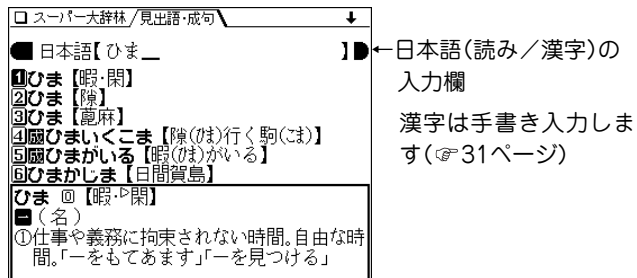
スーパー大辞林や和英辞典では見出し語やその読みを入れ、英和辞典や英英辞典ではスペルを入れて目的の語を探し、その内容を見ます。

読みなどの文字を入力していくと、その文字が先頭に含まれる見出し語を検索してリスト(一覧)表示します。

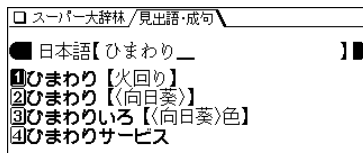
リストに表示された見出し語(候補)から、目的の語を選んで、その説明内容(意味など)を見ることができます。

【例題】スーパー大辞林で“向日葵”を「ひまわり」で調べる

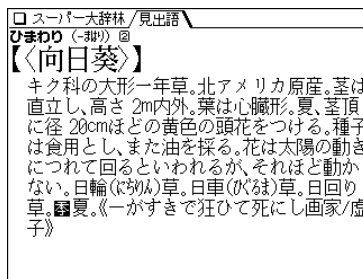
- 1 スーパー大辞林の入力画面で「ひま」と入れます。
「ひま」を先頭に持つ語が候補としてリスト表示されます。



- 2 続いて「わり」と入れます。
候補が絞り込まれて表示されます。



- 3 数字キー(ここでは「2」)で目的の語を選びます。
詳細画面になり、意味などが表示されます。



- **戻る** を押すと前の画面に戻ります。
- **機能** **リスト** と押すと辞書順(収録順)リスト表示になります。

新しい言葉を引くときは

クリア を押して入力画面に戻り、読みなどを入れます。
詳細画面ではキーで文字を入れると入力画面になります。

日本文字やスペルを入力中に、候補がなくなったときは

前ページの例では、読みなどを入れていくと候補が絞り込まれていきますが、該当する候補がなくなると次のような画面を表示します。

(1) スーパー大辞林の例 (漢字入力時)

□ スーパー大辞林 / 見出語・成句

日本語【一葉木】

《該当語なし》

(2) スーパー大辞林の例 (仮名入力時)

□ スーパー大辞林 / 見出語・成句

日本語【いちようく】

①《該当語なし》→並び順の近い語を表示

(3) 英和辞典の例

□ リーダー / 見出語・派生 / スペルチェック

spelling ? 【text_】

①《該当語なし》→並び順の近い語を表示

②《該当語なし》→スペルチェックへ

「戻る」を押したときは、入力画面に戻ります。

(2)、(3)の例で、① または 「検索/決定」を押すと、50音順またはアルファベット順で、入力した仮名(読み)またはスペルよりも後の語がリスト表示されます。

(3)の例で、② を押すと、スペルチェック画面が表示されます(スペルチェック： 67ページ)。

【検索の種類】

検索には次の種類があり、コンテンツによって使い分けられています。

絞り込み検索：前ページの例のように、文字を1文字入れるごとに候補が絞り込まれていきます。

頭出し検索：入れた文字が先頭に含まれる語を探し、その語から始まる収録順リストを表示します。該当する語がないときは、並び順で次の語から始まるリストを表示します。

キーワード検索：入れた文字(単語)が含まれる文を探します。英和辞典の成句検索などで用いられます。

完全一致検索：入れた日本文字またはスペルが完全に一致する語を探します。一括検索(45ページ)で用いられます。

注：検索する語によっては検索に時間がかかることがあります。

読みやスペルの一部を省略して検索する

(“?”や“~”を使う)

読みや単語の一部を“?”(ワイルドカード)または“~”(ブランクワード)に置き換えて検索することで、はっきりしない語も探すことができます。

ワイルドカード: “?”は文字数がわかっているとき、不明な文字の代わりに入力します。
(読み: 最大12個、スペル: 最大19個)
(例) 「う???ざくら」 「se????y」

ブランクワード: “~”は文字数もわからないとき、複数の文字の代わりに1個だけ入力します。
(例) 「う~ざくら」 「se~y」 「~men」

- “?”は先頭に使えません。“~”は最後に使えません。
- “?”と“~”を同時に使うことはできません。
- “?”は **機能** (?) (X ?), “~”は **機能** (~) (Z ~) と押して入れます。

◆ “?”、“~”が使えるコンテンツ: 246ページ

【例題】スーパー大辞林で「みず???り」と入れて探します。

1 スーパー大辞林の入力画面で「みず???り」と入れます。

2 **検索/決定** を押して検索します。

3 目的の語を数字キーで選択します。

詳細画面になり、意味などが表示されます。

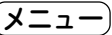
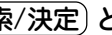
- **戻る** を押すと前の画面に戻ります。
- **機能** **リスト** と押すと収録順(辞書順)のリスト表示になります。

画面上に表示される「」(タブ)の使いかた

画面によっては上部に「」マーク(タブ)が表示されます。

タブは、現在の表示の種類(見出し語など)を示します。また、タブが複数表示されているときは、関連する内容があることを示し、「」で切り替えて内容を見ることができます。

【例題】英和大辞典の画面でタブを切り替えましょう。

1      と押し、 を押します。

「a, A」の詳細画面が表示され、上部に3種類のタブが表示されます。

英和大辞典 / 見出し語 / 複合・派生 / 成句
↓

a, A / ɛɪ / < 例 >

④ (複合・派生)

1 英語アルファベットの第1字。

2 a, Aの表す音; A字形のもの(「アルファベットの各文字についても同様」)。

3 第1番目の(もの); アルファ(alpha); (数学) 第1の既知数[量](cf. b, B / c, C); (論理) 全称肯定(cf. e, E 5)。

4 a (品質が) 最高級のもの < 例 >

b (英) (社会的・経済的区分の) Aクラス階層(第1位の所得階層; 上級管理職階層; 高収入専門職)。

← タブ

 で切り替える

2  を押します。

複合・派生のタブが選ばれ、見出し語に関連する複合語・派生語が表示されます。

英和大辞典 / 見出し語 / 複合・派生 / 成句
↓

[a, A]

④ A battery

《主に米》(電子工学) A 電池(cf. B battery)

④ A bursary

《NZ》A奨学金《大学・工業技術専門学校(polytechnic)などへ進学する学生のための2つの奨学金のうち額の高い方; cf. B bursary》。

④ A horizon

→ 見出し語

④ A level

3 もう一度  を押します。

成句のタブが選ばれ、見出し語に関連する成句(熟語)が表示されます。

英和大辞典 / 見出し語 / 複合・派生 / 成句
↓

[a, A]

④ A to Z

② from A to B

③ from A to Z [izzard, Zed]

④ not know A from B

⑤ the A to Z of ○

• 数字キーで成句を選べば、その訳語などを見ることができます。

◆ さらに  を押すと見出し語の詳細画面に戻ります。

画面に ◀ マークが表示されたときは

◀ 型マークは下記の種類があり、関連する例文や解説、コラム(NOTE)、図、表が収録されていることを示します。

このマークが表示されている画面で **例/解説** () を押すとマークが白黒反転表示になります。

マークが複数あるときは 、、、 で反転表示を調べたいマークに移します。

検索/決定 を押すと、収録されている内容が表示されます。

- 例や解説マークが複数あるときは  (**例/解説**) や  で順番に表示させることができます。
- 図や表マークが複数あるときは **戻る** で図などを閉じ、マークを選び直して **検索/決定** を押します。

終了するときは **戻る** を2回押します(1回目で例/解説や図などが閉じ、2回目でマークの反転表示が解除されます)。

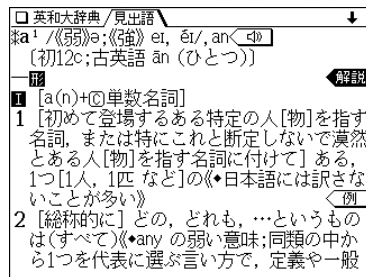
◆ マークの種類と、表示されるコンテンツ例

- ◀ **例**、◀ **解説** : 英和大辞典など ◀ **NOTE** : 英英辞典など
- ◀ **Table** : Thesaurus(類語) ◀ **図** : マイペディアなど
- ◀ **表** : 日経パソコン用語事典など
- ◀  マーク(音声マーク)は41ページをご覧ください。

【例題】 英和大辞典の画面で例や解説を見ましょう。

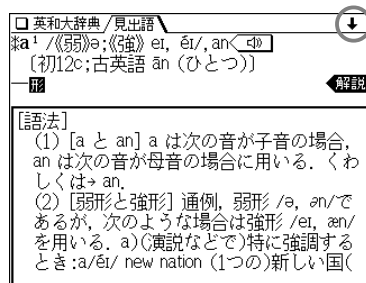
1 **メニュー**    と押し、**A**  と押します。

2 **例/解説** を押します。



◀ マークの反転表示

3 、、、 でマークを選び、**検索/決定** を押します。



下のウィンドウ内に表示されていない部分があることを示します。

◀ 例/解説ウィンドウなど

- ウィンドウ内に表示されていない部分がある場合は、  や   で送って確認します。

4 別の例や解説があるときは  (**例/解説**) や  で表示させます。

5 終了するときは **戻る** を2回押します。

1回目で例/解説ウィンドウが閉じ、2回目でマークの反転表示が解除されます。

◀▶マークが表示されたときは (音声を聞く)

メインメニュー画面で◀▶マークが付いているコンテンツにはMP3形式の音声データが収録されている画面があり、その箇所に◀▶マーク(音声マーク)が表示されます。

【音声再生方法】

1 ▶▶ が画面下部に表示されるテスト画面

(画面例) 解答【 _ 】 } この範囲に音声
●解答を入力し、[検索/決定]を押します ▶▶マークを表示

- ▶▶ を押すと音声再生されます(再生中はマークが反転(◀▶)します)。

2 ▶▶ が上記以外に表示される画面(再生対象の語や文の後ろ、会話文の前などに表示)

□ TOEIC/見出語/例文
Each item is individually priced, but you can also buy a set for a slight discount. (51) ▶▶
それぞれの品目が個別に値付けされているが、少し値引されたセットを買うこともできる。

- ▶▶ を押すとマークが反転表示(◀▶)になり、その後 [検索/決定] を押すたびに音声再生されます。

◀▶ が複数あるときは ▼、▶ などて反転を目的のマークへ移して [検索/決定] を押します。

なお、英単語などが反転しているときはTTS(次ページ)で読み上げます。

- マークを◀▶に戻すときは 戻る を押します。

- ◆ 音声再生を途中で止めるときは 戻る を押します。
- ◆ 本体左横にある音量調整ダイヤルを中間位置ぐらいにしてお試しいたきながら、適正な音量に調整してください(45ページ)。

【例題】TOEIC® TEST MASTERY で音声再生しましょう。

1 メニュー 0 0 9 と押し、2 1 2 と押し て項目を選択していきます。

□ TOEIC/見出語/例文
item [aitem] (51)
[名]品目:(新聞記事などの)1項目

2 切替 を押して例文を表示させ、▶▶ を押して ▶▶ マークを反転表示させます。

【標準】:[切替]で速度切替,[検索/決定]で発音
Each item is individually priced, but you can also buy a set for a slight discount. (51) ▶▶ ← ▶▶ を反転させる
それぞれの品目が個別に値付けされているが、少し値引されたセットを買うこともできる。

3 検索/決定 を押します。 音声再生されます。

- ◆ 上記 2 で ▶▶ (反転)表示しているときは 再生速度 (切替)で音声再生速度が切り替わります。また、24ページの方法で切り替えることができます。

MP3形式の音声データは米国のネイティブスピーカー(native speaker)の音声を収録しています。

英単語や例文を読み上げる(音声読み上げ機能)

英和辞典、和英辞典など多くの収録コンテンツで、表示される英単語や英語例文、数字などをTTS(Text To Speech: 合成音声)で読み上げさせることができます。

注: 44ページの「音声読み上げ機能について」もお読みください。

◆本体左横にある音量調整ダイヤルを中間位置ぐらいにしてお試しいたきながら、適正な音量に調整してください。

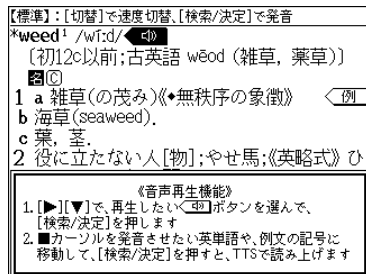
【例題1】TTSで単語や数字などを読み上げさせましょう。

1 **メニュー** **0** **0** **2** と押し、**W** **E** **E** **D** **検索/決定** と押します。

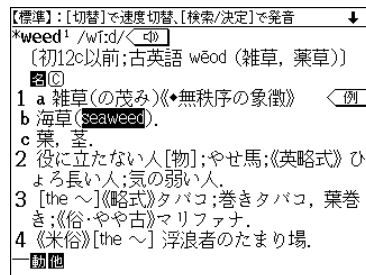
2 **音声** を押します。

■カーソル(文字の反転表示)が表示されます。

(**音声マーク**) マーク(音声マーク)が表示されているときは、音声マークが反転します。)



3 ▼、▶などで反転表示(カーソル)を読み上げたい単語へ移し、**検索/決定**を押します。
 カーソル位置の(反転している)単語が読み上げられます。

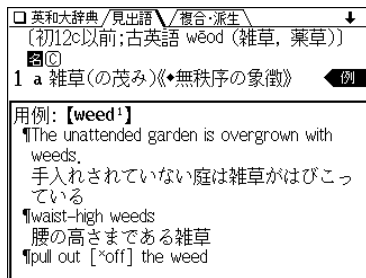


- 音声再生中に**戻る**を押すと再生が中止されます。
- 読み上げ終了後**戻る**を押すと■カーソルが消えます。

◆上記の文字などが反転している画面では**再生速度**(**切替**)で音声再生速度が切り替わります。また、24ページの方法で切り替えることができます。

【例題2】TTSで例文を読み上げさせましょう。

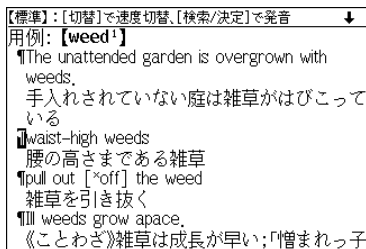
- 1 前ページ手順1の後、**例/解説** **検索/決定** と押して例文を表示させます。



- 2 **例文** を押します。

■カーソル(文字の反転表示)が表示されます。

- 3 **例文**、**例文** など読み上げる例文の例文マーク(↑)へ反転表示(カーソル)を移し、**検索/決定** を押します。例文が読み上げられます。



←例文マーク(↑)に反転表示(カーソル)があるときその例文を読み上げる。

- 読み上げ終了後 **戻る** で前の画面に戻ります。

注: 例文内のカッコで囲まれた語は読み上げません。

TTSの読み上げ機能が働かないコンテンツ

- テスト機能があるコンテンツのテスト画面では、読み上げ機能は働きません。
- 別売のコンテンツカードの中には、読み上げ機能が働かないものがあります。

例文を読み上げ可能なコンテンツと例文マーク

- ◆ 英語例文の読み上げ可能なコンテンツと、《 》内に例文マークを示します。
- リーダーズ英和&リーダーズ・プラス 《↑》
- ジーニアス英和大辞典 《↑》
- グランドコンサイス和英辞典 《↑》
- OXFORD英英辞典(ODE) 《◇》
- OXFORD英英辞典(OALD) 《◇》
- Thesaurus 《↑》
- Collocations 《・》
- 英和活用大辞典 《↑》
- TOEIC® テストの英文法 《●》、《・》(「テストをする」は除く)
- 英会話とっさのひとこと辞典 《・》、《▷》、《▶》、《↔》、《→》

音声読み上げ機能について

本製品の音声読み上げ機能は (株)東芝製TTS(Text-to-Speech)ソフトウェアを使用しています。

このソフトウェアは「閉ループ学習(Closed Loop Training)に基づく音声合成方式」を採用しています。(☞下記)

音声読み上げ機能は、英単語や英語例文を一切の誤りなく読み上げること保証するものではありません。また、

- 英語以外(ドイツ語など)を読み上げた場合、英語と見なして読み上げるため発音は正しいものではありません。
- 同じつづりで意味合いにより発音が異なる語などは正しく発音されないことがあります。

なお、お客様または第三者が本機能の使用により生じた損害、逸失利益につきましては、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社および使用許諾権者は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

閉ループ学習(Closed Loop Training)とは

音声合成は、ア や カ など、基になる音(音声素片)を組み合わせて音声を合成しますが、閉ループ学習とは、合成した音声を手本となる音声(肉声)にできるだけ近くなるような音声素片を生成する技術です。この生成された音声素片を用いることにより、より人の声に近い音声を合成することができます。

イヤホンで音声を聞くときは

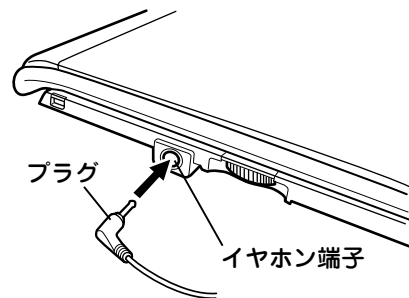
付属のイヤホンで音声を聞くときは、イヤホンのプラグを本体左側面のイヤホン端子に接続します。

- ◆ 本体左横にある音量調整ダイヤルを中間位置ぐらいにしておいてください。

1 **入/切** を押して電子辞書の電源を切ります。

2 イヤホンのプラグをイヤホン端子に接続します。

- プラグは奥まで完全に差し込んでください。

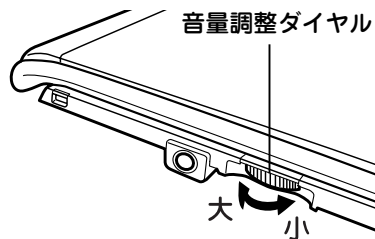


- プラグの抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを引っ張ると故障の原因になります。

3 電子辞書の電源を入れ、音声を再生します(41、42ページ参照)。

- 本体左横にある音量調整ダイヤルで、適正な音量に調整してください。
- ◆ 内蔵スピーカーで音声を聞くときはイヤホンのプラグをイヤホン端子から抜いておいてください。

音量を調整する



音量を上げすぎるとスピーカーやイヤホンからの音が割れたり、歪んだりすることがありますので、聞きやすい音になるように調整してください。

音声が入るの…

41ページに記載の音声再生、42ページに記載の音声読み上げ機能での読み上げにより音声聞くことができます。

また、別売の電子辞書専用コンテンツカードの中には音声データが含まれているものがあり、それらの音声を再生して聞くことができます。これらの音声はモノラルになります。

スピーカーで聞くときのご注意：

MP3データはコンテンツによって音の大きさが異なります。スピーカーで聞いたとき、音量調整を大きくしても音が小さい／音が歪む場合は、付属のイヤホンで聞いていただくことをお勧めします。

辞書などを一括して調べる(一括検索)

複数のコンテンツ(辞書など)を対象にして言葉を調べることができます。

「日本語」または「スペル」を入れ、対象となるコンテンツから見出し語を探します(検索対象コンテンツ：246ページ)。

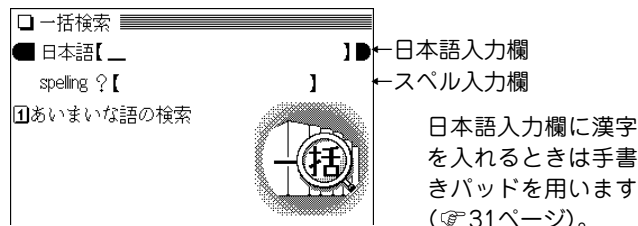
文字の入力中は1字ごとに候補を絞り込む絞り込み検索で探し、文字をすべて入れても候補が多い場合などには、完全一致検索に切り替えて探すことができます。

また、言葉の一部が分からないような、あいまいな語を調べることもできます。

【例題】「かいけい」を一括検索しましょう。

1 一括検索を押します。

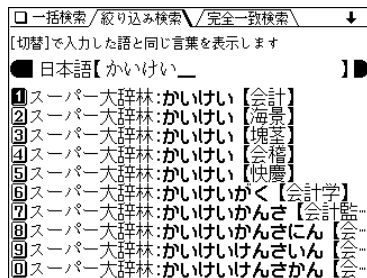
一括検索の入力画面になります。



2 日本語入力欄に「かいけい」を入れます。

1字入れるごとに候補が絞り込まれていきます。

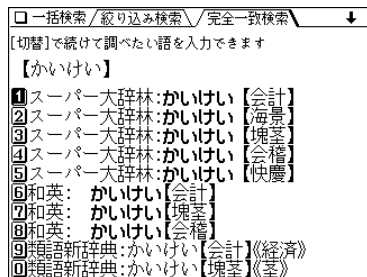
●英単語を調べる場合は(▼)でスペル入力欄にカーソルを移し、スペルを入力します。



候補は最大100件まで探し出されます。

この画面例ではレビュー表示を「切」にしています。

3 完全一致検索で見るときは **〔切替〕** を押します。 入力した文字と一致する見出し語がリスト表示されます。



この画面例ではレビュー表示を「切」にしています。

- 入力した文字を変更するときは **〔切替〕** を押して絞り込みの画面に戻って行きます。

4 目的の語を数字キーで選びます。 収録されている辞書などの詳細画面になり、意味などが表示されます。

- **〔戻る〕** を押すと前の画面に戻ります。

候補がないときは

手順2で日本文字やスペルを入れていったとき、該当する候補がなくなると《該当語なし》と表示されますので、文字を修正・変更する、または **〔クリア〕** を押してから、新たに入力してください。また、**〔切替〕** を押して完全一致検索に切り替えたときに、該当する語がない場合は、「見つかりません」と一時表示をして、文字入力中の画面に戻ります。

一括検索について

- 目的の語を選択した後は、通常の調べかたで表示させたときと同じ動作になります。
- 目的の語を選択した後の画面で **〔クリア〕** を押したときは、一括検索の入力画面に戻ります。

あいまいな語を探す

後ろのほうだけわかっている語や、前後はわかるが途中があいまいな語を探すことができます。

【例題】「inf～ent」で探しましょう。

1 **〔一括検索〕** を押します。
一括検索の入力画面になります。

2 ① を押します。
あいまいな語の入力画面になります。

3 ▼、▲ で入力欄を選びます。

ここでは、最下行のスペルの前後入力欄を選びます。

4 左の欄に「inf」を入れ、▶ で右の欄にカーソルを移して「ent」を入れます。

☐一括検索(あいまいな語の検索)

語の先頭がわからないとき
読み? ~[]
spelling? ~[]

語の途中がわからないとき
読み? [] ~[]
spelling? [inf] ~[ent_]

5 検索/決定 を押して検索します。

☐一括検索

①ODE:influent
②ODE:infotainment
③ODE:infrequent
④ODE:infringement
⑤OALD:informal settlement
⑥OALD:infotainment
⑦OALD:infrequent
⑧OALD:infringement

influent /influent/
▶adjective flowing in.
▶noun a stream, especially a tributary, which flows into another stream or lake.

6 目的の語を数字キーで選択します。 詳細画面に意味などが表示されます。

- 戻る を押すと前の画面に戻ります。

詳細画面から別の語を調べる(W検索を使う)

詳細画面に別のウィンドウを開いて、別の語を調べることができます。調べる語は、画面に表示されている必要はありません。

【例題】英和大辞典の画面から調べましょう。

- 1 メニュー 0 0 2 と押して英和大辞典にします。
- 2 例えば「apple」と入れ、1 を押して「apple」の詳細画面を表示させます。
- 3 検索/決定 を押します。
W検索ウィンドウが表示されます。
- 4 検索する言葉(例えば「ぶどう」)を入れます。
● スペルを入れるときは ▼ でカーソルをスペル入力欄へ移して入れてください。

☐ 英和大辞典/見出語 \ 複合・派生 \ 成句 \

apple /æpl/ <apple>

(初12c以前:古英語 æppel (果実, リンゴ))

①

W検索

日本語【ぶどう】

spelling? []

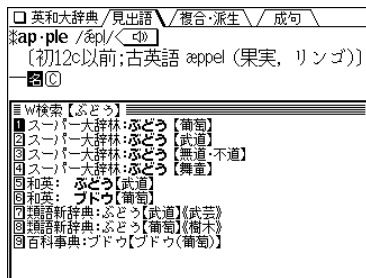
ヒント

● 調べたい語を入れて[検索/決定]を押します

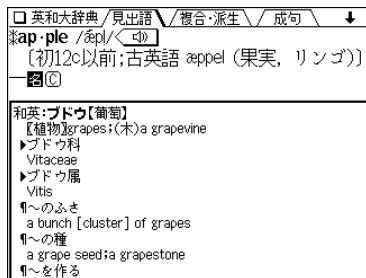
● 英単語は[▼]を押します

← W 検索ウィンドウ

- 5 検索/決定 を押します。
W検索ウィンドウに候補が表示されます。



- 6 表示させたい語を数字キー(ここでは **6**)で選びます。
W検索ウィンドウに詳細画面が表示されます。



- 7 **検索/決定** を押すと、W検索ウィンドウに表示されているコンテンツ(辞書など)の詳細画面になります。
• **戻る** を押すと前の画面に戻ります。

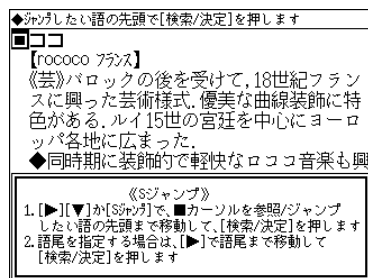
画面内の語を調べる(Sジャンプを使う)

詳細画面に表示される任意の語の意味や訳語をコンテンツ間を飛び越えて調べることができます(ジャンプできるコンテンツ: 247ページ)。

【例題】カタカナ語辞典の画面からジャンプしましょう。

- 1 **メニュー** **0** **1** **3** と押し、「ロココ」と入れて
検索/決定 を押します。

- 2 **Sジャンプ** を押します。
■カーソル(文字の反転表示)が表示されます。



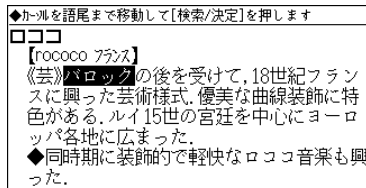
→ジャンプの操作ガイドメッセージ

- 3 **▼** **▲** **▶** **◀** で反転表示(カーソル)を移して調べたい語を選びます。

- 英単語やジャンプマーク(▶)が示す語は、その語全体が選ばれ反転表示になります。これらは **Sジャンプ** で、順番に選ぶこともできます(50ページ)。
- その他の漢字、ひらがな、カタカナの語は、次のように範囲指定をして選択します。

「バロック」を範囲指定する場合

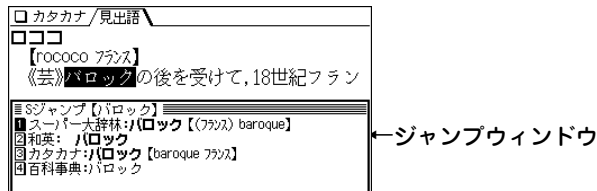
先頭文字「バ」にカーソル「■」を移して **〔検索/決定〕** を押し、続いて **▶** で最後尾の文字「ク」までカーソル「■」を移動させます(1文字の指定では、この操作は不要です)。



- 範囲指定について、次ページも参照ください。
- 指定を解除するときは **〔戻る〕** や **〔クリア〕** を押します。

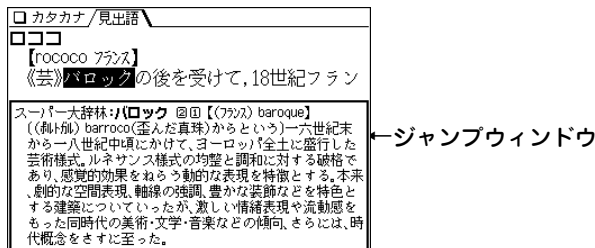
4 **〔検索/決定〕** を押します。

ジャンプウィンドウに候補が表示されます。



- 候補は、選択した語と一致する語、一致する語がないときは選択した語を先頭を含む語が表示されます(英単語は一致する語のみ表示)。なお **▶** が示す語や、1語だけ一致するときは、ウィンドウに詳細画面が表示されます。
- 候補になる語が1語もないときは「見つかりません」と一時表示されます。
- 候補は最大150件まで検索されます。

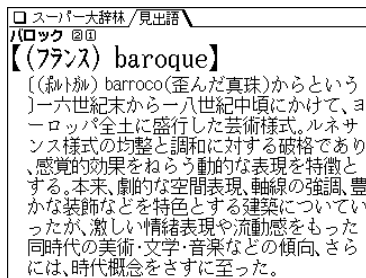
5 表示させたい語を数字キー(ここでは①)で選びます。ジャンプウィンドウに詳細画面が表示されます。



- 画面右上に「↓」や「↑」シンボルが表示されているときは、**〔V〕** **〔^〕** などウィンドウ内を送ることができます。

6 **〔検索/決定〕** を押してジャンプします。

選択した語の詳細画面が表示されます。



- **〔戻る〕** を押すと前の画面に戻ります。

コンテンツを指定してジャンプするには

- 手順4で **検索/決定** の代わりに **大辞林** や **リーダーズ**、**英和大辞典**、**グランドコンサイス**、**英英** を押すとそのコンテンツが検索対象になります。

ジャンプについて

- ジャンプした後は、通常の調べかたで表示させたときと同じ動作になります。
- ジャンプした先の画面で **クリア** を押したときは、ジャンプを始める前に使用していたコンテンツの入力画面などに戻ります。
- ジャンプ先でジャンプをする、というようにジャンプを重ねた場合、**戻る** で最大10回までは戻ることができます。10回を超えてジャンプを重ねた場合、11回目の戻りでリスト画面などへ戻ります。

ジャンプマークのジャンプ

- 各コンテンツの詳細画面で“**→**”マークの後に示される語は同じコンテンツ内でジャンプします。

→ マークで示す語や英単語の選択

- 画面内に“**→**”マークで示す語や、英単語が表示されている場合は、**(Sジャンプ)** を押すたびに、表示されている“**■**”カーソルより後の、“**→**”マークで示す語、および英単語へカーソルが移っていきます。

表示されている最後の語までカーソルが移った後は、1行ずつ画面を送り、対象の語が出てくれば、その語にカーソルが移ります。

行き過ぎたときは **▲** や **◀** でカーソルを戻してください。

範囲指定について

- 範囲指定できるのは、漢字、ひらがな、カタカナが連続している場合です。英字、数字、記号、マークなどがあると、そこで範囲指定は止まります。
- 範囲指定をしているとき、画面を送ることはできません。範囲指定したい語が、すべて画面に表示されていることを確認してから範囲指定の操作をしてください。

一度調べた語を再度調べたいとき(しおりを使う)

この製品では、一度調べた語は“しおり”として新しいものから100件まで自動的に記憶されます。

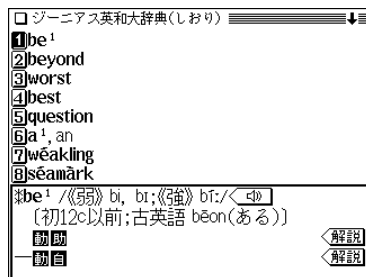
もう一度同じ語を調べたいときは、しおりのリスト(一覧)表示から引き出して調べることができます。

【例題】英和大辞典でしおりを使いましょう。

1 **メニュー** **002** と押して、英和大辞典の画面にします。

2 **しおり** を押します。

しおり表示画面になり、英和辞典で調べた語が、新しいものから順にリスト表示されます。



しおり表示画面

3 目的の語を数字キーで選びます。
選択した語の詳細画面が表示されます。

しおりについて

各コンテンツの最初の画面などで、**しおり** を押して調べることができます(しおり機能がないコンテンツ：P247ページ)。

なお、しおりの表示のされかたはコンテンツにより異なる場合があります。

- しおりの記憶件数が100件を超えるときは、古いものが消されます。
- 「例文検索」では検索した言葉の履歴(入力履歴)になります。
- 「手紙文作成」では作成した手紙文が保存されます。

しおりを削除する方法

しおりの削除は、1件ずつ、コンテンツ別にすべて、製品内のすべて、の3種類の方法があります。

しおりを1件ずつ削除する方法

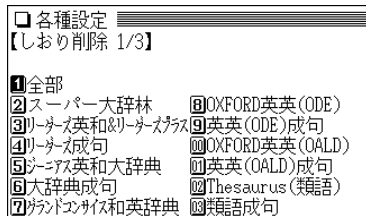
次の手順で削除します。

- 各コンテンツの画面で **しおり** を押して、しおり表示画面にします。
- ▼**、**▲** (漢字源は **▶**、**◀**、**▼**、**▲**) で、削除したい語の番号にカーソル(反転表示)を移します。
- 後退** (または **機能** **削除**) と押します。
削除の確認画面が表示されます。
- Y** キーを押します。
選択した語が削除されます。

しおりをまとめて削除する方法

次の手順で削除します。

- 1 **メニュー** **0** **6** **7** と押して各種設定画面にし、
0 **0** と押して「しおり削除」を選びます。



画面は **▽** **△** で切り替えます。

- 2 数字キーで、しおりを削除するコンテンツまたは「全部」を選びます。

削除の確認画面が表示されます。

- 3 **Y** キーを押します。

選択したコンテンツのしおり、またはすべてのしおりが削除されます。

くり返し見たい語を登録する(単語帳を使う)

この製品には、くり返し見たい語や覚えたい語などを登録しておく「単語帳」があります。

単語帳があるコンテンツは248ページをご覧ください。

単語帳に語を登録する

【例題】英和大辞典の「text」を単語帳に登録しましょう。

- 1 登録したい語の詳細画面にします。

例えば **メニュー** **0** **0** **2** と押して英和大辞典の画面にし、「text」と入れて **検索/決定** を押します。

- 2 **機能** **登録** と押します。

単語帳に登録した旨のメッセージを一時表示し、詳細画面の語が単語帳に登録されます。

- 単語帳の詳細画面からは登録できません。

◆単語帳は各コンテンツで最大200件、全体で3,500件まで登録できます。

各コンテンツの画面から、登録した語を見る

【例題】英大和辞典の単語帳に登録した語を見てみましょう。

- 1 英和大辞典の入力／選択画面にします。
(見たい辞書などの画面にします。)
- 2 **機能** **単語帳** (**しおり**) と押します。
英和大辞典の単語帳が表示されます。



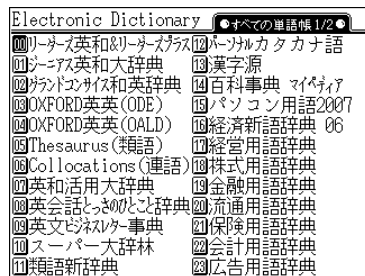
- 3 目的の語を数字キーで選びます。
選んだ語の詳細画面が表示されます。

- 単語帳はコンテンツ(辞書など)のリスト表示や1件表示画面で **機能** **単語帳** と押しても表示されます。
- データは各コンテンツと同様の順番で並びますが、成句などは見出し語よりも後に並びます。
- 前に“/”マークが付いている語は、内容にマーカーを付けていることを示します(☞54ページ)。

コンテンツ一覧から、登録した語を見る

登録した単語帳のデータをコンテンツの一覧から見るすることができます。

- 1 **メニュー** **0** **6** **5** と押して「すべての単語帳を見る」を選びます。(**メニュー** **機能** **単語帳** と押してもよい)
単語帳があるコンテンツの一覧が表示されます。



画面は **▽** **△** で切り替えます。

- 2 目的のコンテンツを数字キーで選びます。
選んだコンテンツの単語帳が表示されます。
- 3 目的の語を数字キーで選びます。
選んだ語の詳細画面が表示されます。

注：別売のコンテンツカード内のコンテンツは、このコンテンツ一覧には表示されませんので、左の方法で単語帳を見てください。

マーカーを使う

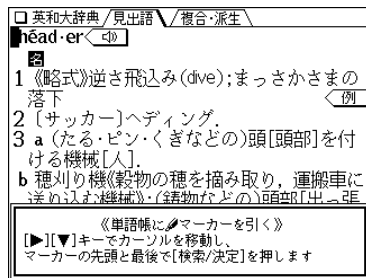
単語帳に登録している語の意味(訳)などにマーカーを引き、その部分を集中的に覚えたり、マーカー部分を隠しておいて、その部分を言い当てるテストができます。

覚えたい英語の意味にマーカーを引く

【例題】英和大辞典の単語帳に「header」が登録されているとき、意味にマーカーを引いてみましょう。

1 英和大辞典の単語帳で「header」の詳細画面を表示させ **機能** **登録** と押します。

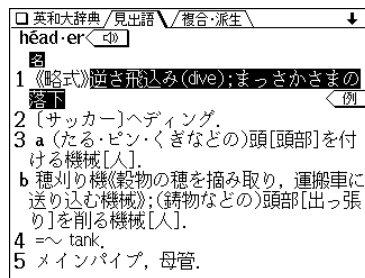
マーカーが引ける画面になります。



先頭にカーソルが表示されます。

2 ▼ ▲ ▶ ◀ でカーソル“■”を先頭の文字「逆」に移して **検索/決定** を押します。

3 ▶ でカーソル“■”を最後尾の文字「下」まで移します(1文字の指定では、この操作は不要です)。



4 **検索/決定** を押します。

「マーカーを登録しました」と一時表示し、登録されます。

マーカーを引ける範囲は

- マーカーは1回で最大120文字まで引くことができます。
- マーカーは1つのデータに5カ所まで引くことができます。
- 項目の終わり(改行)を超えてマーカーを引くことはできません。

マーカーを見ることができるのは

マーカーは単語帳の中だけで見ることができます。各コンテンツで該当する語の詳細画面を表示させてもマーカーは表示されません。

マーカーを消すときは

- 先頭の文字を指定した後、まだ登録していないときは **戻る** を押します。先頭文字の指定が解除されます。

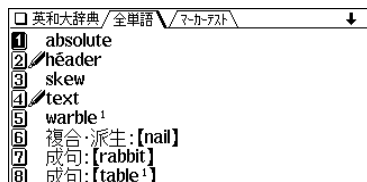
- 登録したマーカーを消すときは、
前ページ手順1～3と同様の手順でマーカーが引かれている文字にカーソルを移し **(検索/決定)** または **(後退)** を押します。
画面に表示されるマーカー削除の確認メッセージに従って **(Y)** を押します。
- 1つのデータに引かれている全てのマーカーを消すときは、
マーカーテストのリスト画面(右記)で、**(▼)** **(▲)** で語を選び、
(後退) を押して、画面に表示されるマーカー削除の確認メッセージに従って **(Y)** を押します。
- 全単語帳、またはコンテンツ別に単語帳のマーカーを消すときは、56ページを参照して消してください。

マーカー部分を使ってテストをする

マーカーを引いた部分を隠して表示させ、その部分を言い当てて覚えたかどうかテストすることができます。

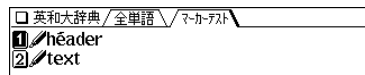
【例題】英和大辞典の単語帳でテストをしてみましょう。

- 1 英和大辞典の入力画面などで **(機能)** **(単語帳)** と押します。
英和大辞典の単語帳の全単語リスト画面になります。



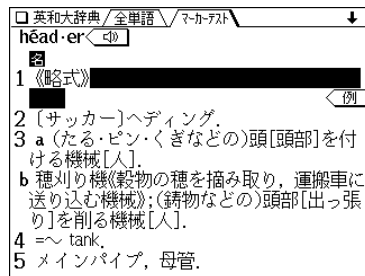
- 2 **(切替)** を押してタブを切り替えます。

マーカーテストのリスト画面に、マーカーを付けた語が表示されます。



- 3 テストしたい語を数字キーで選びます。

詳細画面になります。このとき、マーカーを引いた箇所の文字が隠されています。



- 4 隠されている内容を言います(または考えます)。

- 5 **(検索/決定)** を押して隠れている内容を表示させ、
言った(考えた)答えと一致しているか確認します。

- 別の語でテストするときは **(戻る)** を押してマーカーテストのリスト画面に戻って、選びなおします。

単語帳を削除(登録を解除)する方法

単語帳は、1件ずつの削除、コンテンツ別にすべて削除、製品内のすべての削除ができます。単語帳を削除しても、元の辞書などのデータは削除されません。

単語帳を1件ずつ削除する方法

次の手順で削除します。

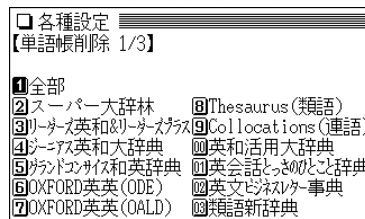
- 1 各コンテンツの画面で **機能** **単語帳** と押して単語帳を表示させます。
- 2 **▼**、**▲** (漢字源は **▶**、**◀**、**▼**、**▲**) で、削除したい語の番号にカーソル(反転表示)を移します。
- 3 **後退** (または **機能** **削除**) と押します。
削除の確認画面が表示されます。
- 4 **Y** キーを押します。
選択した語が削除されます。

- 単語帳の詳細画面で、上記3以降の操作を行っても削除することができます。

単語帳をまとめて削除する方法

次の手順で削除します。

- 1 **メニュー** **0** **6** **7** と押して各種設定画面にします。
- 2 **9** を押して、「単語帳削除」を選びます。



画面は **▼** **▲** で切り替えます。

- 3 数字キーで、単語帳を削除するコンテンツまたは「全部」を選びます。
削除の確認画面が表示されます。
- 4 **Y** キーを押します。
選択したコンテンツの単語帳またはすべての単語帳が削除されます。

マーカーだけをまとめて削除する方法

前記の手順2で **9** の代わりに **0** **2** と押して「マーカー削除」を選び、上記と同様の操作で削除します。

- 単語帳に登録されている語は削除されません。

コンテンツカードの単語帳をすべて削除するときは

別売のコンテンツカードで提供される辞書などに単語帳がある場合に、それらの単語帳をすべて削除するときは、手順3で「カード」を選んで削除してください。

この場合、カードの辞書などの単語帳がすべて削除されます。

注：カード内の辞書などの単語帳データは、カードではなく、本体に記憶されます。

よく使うコンテンツは My 辞書に登録 (My 辞書設定)

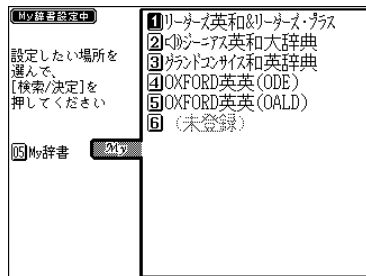
よく使うコンテンツを登録し、メインメニューの「My辞書」や手書きパッドから選べるようになります。

【例題】Thesaurus(類語)を登録します。

1 **メニュー** **0** **5** と押します。

My辞書の選択画面が表示されます。

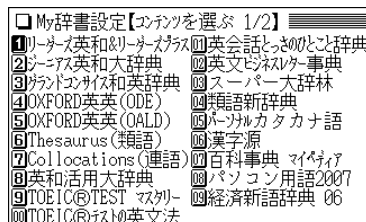
2 **S** を押して My 辞書設定画面にします。



My辞書設定画面

最初は5コンテンツ登録されています。

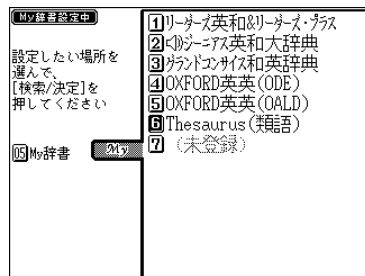
3 コンテンツを登録したい番号を数字キー(ここでは **6**)で選びます。(前画面では **1** ~ **6** が選択できます。)コンテンツの選択画面が表示されます。



コンテンツ選択画面

4 **▽** **△** で登録したい辞書などを探し、数字キー(ここでは **6**)で選びます。

コンテンツが登録され、My辞書設定画面に戻ります。



• 続けて登録する場合は、手順3、4をくり返します。

最大12コンテンツまで登録することができます。

5 **メニュー** や **戻る** などを押して終了します。

◆ 各種設定画面から手順2のMy辞書設定画面を表示させることもできます。

メニュー **0** **6** **7** と押して各種設定画面を表示させ、**8** を押して「My辞書設定」を選ぶと手順2のMy辞書設定画面が表示され、コンテンツの登録などを行うことができます。

すでに登録している番号に別の辞書などを登録したいときは

登録したい番号に別の辞書などを登録すれば、元の登録は解除され、後の辞書などが登録されます。

辞書などの登録を解除する

My辞書に設定した辞書などの登録を解除する場合は、次の手順で行います。

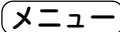
- 1 先の登録手順の3で、解除したい辞書などを数字キーで選びます。

辞書などの選択画面が表示されます。

- 2  を押して画面を送り、「(未登録に戻します)」の項目を表示させて、数字キーで選びます。

選択した番号の辞書などの登録が解除され、My辞書設定画面に戻ります。

My辞書を使う

   と押すと表示されるMy辞書の選択画面で、使いたい辞書などを数字キーで選べば、選んだ辞書などの画面になります。

また、手書きパッドにMy辞書ミニが表示(My辞書の先頭から5コンテンツを表示)されているときは、タッチしてコンテンツを選ぶことができます。

- My辞書から辞書などを選んで各画面にした後、 でメニューに戻った場合は、My辞書ではなく、各カテゴリーのメニューに戻ります。

My辞書ミニを手書きパッドに表示させる／させない

手書きパッドにMy辞書ミニ(My辞書の先頭5コンテンツ)を表示させ、手書きパッドから選べるようにできます。

切り替え方法は25ページの「● My辞書ミニを表示させる／させないを設定する」を参照ください。

メニューをよく使う順番に並べ替える

メインメニューの個別メニューに表示されるコンテンツなどの順番を並べ替えることができます(My辞書、便利な機能を除く)。

よく使用するコンテンツなどを前に配置すれば、利用しやすくなることができます。

並べ替えの手順

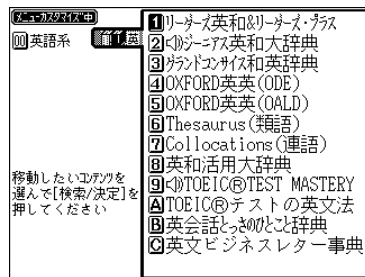
1 **メニュー** を押し、並べ替えたい分類を分類メニューで選びます。

(ここでは **0** **0** と押して「英語系」を選びます。)



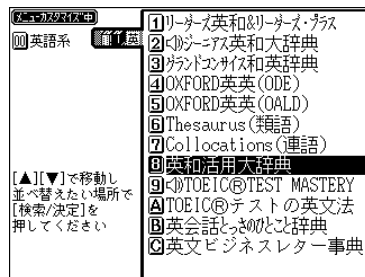
分類メニュー

2 **機能** **メニューカスタマイズ** (**メニュー**) と押します。
メニューカスタマイズ画面が表示されます。

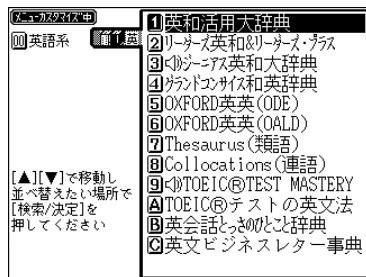


3 **▼** **▲** で移動させたいコンテンツにカーソルを移し、**検索/決定** を押して確定させます。

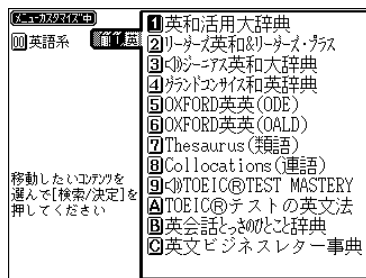
(ここでは『英和活用大辞典』を移動させるコンテンツとして確定させます。)



4 **▼** **▲** で、確定させたコンテンツを移動させます。
1行ずつ入れ替わりながら移動していきます。



5 目的の位置まで移動させた後、**検索/決定** を押して確定させます。



• 続けて移動させる場合は、手順3～5をくり返します。

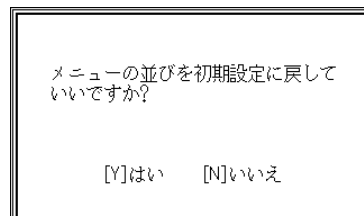
6 すべて並べ替えた後 **戻る** を押して終了します。

メニューの並びを初期設定に戻す

メインメニューのコンテンツなどの並びを初期設定(お買い上げ時の設定)に戻します。

1 **メニュー** **0** **6** **6** と押して「メニューの並びを初期設定に戻す」を選びます。

確認画面が表示されます。



2 **Y** を押します。

メニューの並びが初期の設定に戻って、メニュー画面に戻ります。

ご注意

本取扱説明書では、メインメニューの並びは初期の設定(お買い上げ時の設定)になっているものとして説明しております。メニューを並べ替えている場合は、取扱説明書のキー操作と異なる場合がありますのでご注意ください。

電子辞書に名前を登録する

電子辞書をまちがえて他の人が使用したり、他の人の電子辞書を使用したりしないように、ご自身の名前を登録し、電源を入れたときのオープニング画面として表示させることができます。

名前は暗証番号(パスワード)で保護され、暗証番号が分からないと変更や消去ができません。

暗証番号と名前を登録する

まず、はじめに次の手順で暗証番号と名前を登録します。

- 1 **メニュー** **0** **6** **7** と押し、**0** **3** と押して「名前・暗証番号」を選びます。

暗証番号の入力画面になります。

☐ 名前・暗証番号

暗証番号(数字8桁以内)を設定してください

[]

- 2 数字(8桁以内)で暗証番号(例えば「1234」)を入れます。

☐ 名前・暗証番号

暗証番号(数字8桁以内)を設定してください

[1234_]

- 3 **検索/決定** を押します。
名前の入力画面になります。

- 4 アルファベット(20文字以内)で名前(例えば「YAMADA」)を入れます。

☐ 名前・暗証番号

名前(アルファベット20文字以内)
を入力してください
【YAMADA_ 】

スペースや記号などは
使用できません。

- 5 **検索/決定** を押します。
「登録が完了しました」と一時表示したあと、メインメニュー画面になります。

名前をオープニング画面に設定する

名前をオープニング画面として表示させるには、オープニング設定画面で、「名前」を選択して設定します。

オープニング画面の設定方法は26ページをご覧ください。

ご注意： 暗証番号が分からなくなると名前の変更や削除ができなくなります。暗証番号は、必ず、紙などに控え、他の人に見られることがない所に保管してください。
誕生日や電話番号など、他の人に知られやすい番号は避けてください。

登録している暗証番号を変更する

暗証番号を変更するときは次の手順で行います。

- 1 **メニュー** **0** **6** **7** と押し、**0** **3** と押して「名前・暗証番号」を選びます。

暗証番号入力／変更の選択画面になります。

□ 名前・暗証番号

暗証番号(数字8桁以内)を入力してください

◀ [] ▶

? 暗証番号を変更する

- 名前が登録されていないと、前ページの手順1の画面になります。

- 2 ▼ で「? 暗証番号を変更する」を選び、**検索/決定** を押します。

暗証番号の入力画面になります。

- 3 現在の暗証番号を入れ、▼ でカーソルを下に移して新しい暗証番号(例えば「4321」)を入れます。

□ 名前・暗証番号

暗証番号(数字8桁以内)を変更します

現在の暗証番号【1234 】

■ 新しい暗証番号【4321_ 】 ■

- 4 **検索/決定** を押します。

「暗証番号を変更しました」と一時表示したあと、メインメニュー画面になります。

登録している名前を変更する

登録している名前を変更するときは次の手順で行います。

- 1 **メニュー** **0** **6** **7** と押し、**0** **3** と押して「名前・暗証番号」を選びます。

暗証番号入力／変更の選択画面になります。

- 2 登録している暗証番号(例えば「4321」)を入れます。

□ 名前・暗証番号

暗証番号(数字8桁以内)を入力してください

■ 【4321_ 】 ■

? 暗証番号を変更する

- 3 **検索/決定** を押します。
- 名前の変更／削除選択画面になります。

□ 名前・暗証番号

現在登録されている名前です

【YAMADA 】

■ ? 名前を変更する ■

 ? 名前を削除する

- 4 ▼、▲ で「? 名前を変更する」を選んで **検索/決定** を押します。

名前の入力画面になります。

5 アルファベット(20文字以内)で名前(例えば「SUZUKI」)を入れます。

6 「検索/決定」を押します。 「名前を変更しました」と一時表示したあと、メインメニュー画面になります。

登録している名前、暗証番号を削除する

登録している名前および暗証番号を削除するときは次の手順で行います。名前を削除すると暗証番号も削除されます。

1 先の「登録している名前を変更する」の手順1～3を行います。

2 ▼、▲で「?名前を削除する」を選んで「検索/決定」を押します。

名前削除の確認画面になります。

3 [Y] キーを押します。 「名前を削除しました」と一時表示したあと、メインメニュー画面になります。

[N] キーを押したときは削除を中止してメインメニュー画面になります。

コンテンツ・機能 説明編

『リーダーズ英和&リーダーズ・プラス』 を使う

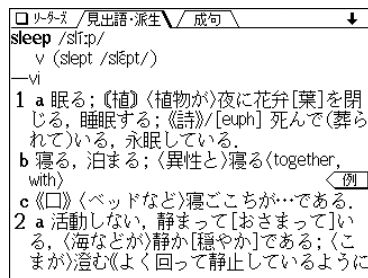
リーダーズ英和辞典とリーダーズ・プラス辞典の両方のデータを使って、英単語の意味を調べることができます。

- 本辞典は、出版社の監修に基づき、リーダーズ英和、リーダーズ・プラスのデータに、増補版 約1,600語を追加して編集・収録しています。



←ここでは「sleep」を調べます。
一文字入れるたびに候補が絞りこまれます。
“P”はリーダーズ・プラス、“+”は増補版のデータを示しています。
“派”は派生語を示しています。

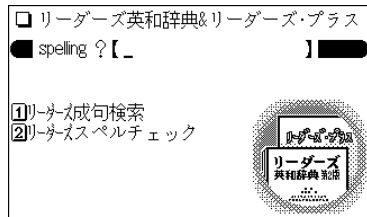
3 目的の語を数字キー(ここでは ①)で選びます。 見出し語の詳細画面が表示されます。



←タブ表示
(切替) で切り替えて見る(☞39ページ)
←例や解説を見るときは(☞40ページ)

スペルから英単語の意味などを調べる

1 [メニュー] [0] [0] [1] と押します。



←スペル入力欄
スペル入力は20文字以内

2 スペル入力欄に調べたいスペルを入れます。

- ◆マークで示される語は、同じコンテンツ内でジャンプして調べることができます。

リスト表示での並び順は

絞り込み中のリスト表示では、リーダーズ、リーダーズ・プラス、増補版と一緒にアルファベット順に並びますが、辞書順リストでは、リーダーズの後にリーダーズ・プラス、その後に増補版が、分かれてアルファベット順に並びます。

英単語のスペルがはっきりわからないときは

手順2でスペルを入れたあと **切替** を押すと、スペルチェック機能(67ページ)に切り替わり、スペルチェックが行えます。

スペル入力時の参考

1. 見出し語にスペース、ハイフン「-」、アポストロフィ「'」がある場合、これらは省いて入力し、検索します。
(例) fast food → fastfood で検索する
weak-kneed → weakkneed で検索する
let's → lets で検索する
2. 見出し語が大文字の場合も、小文字で検索します。
(例) AC → ac で検索する
USA → usa で検索する
3. 数字は英語のスペルで検索します。
(例) 18 → eighteen で検索する

リーダーズで成句を調べる

3つ以内の単語を入力して、それらの単語をすべて含んだ成句だけを検索することができます。

【例題】「take」と「care」を使った成句を調べます。

1 **メニュー** **0** **0** **1** と押し、**1** を押します。
成句検索のスペル入力画面になります。

2 「take」と入れ、**▼** を押してから「care」を入れます。

☐ リーダーズ英和辞典&リーダーズ・プラス
リーダーズ成句検索

spelling 1?	【 take	】
spelling 2?	【 care_	】
spelling 3?	【	】

スペルを複数入れるときは **▼** **▲** で入力欄を移動します。
それぞれ、17字まで入れられます。

3 **検索/決定** を押します。
成句の候補のリストが表示されます。

4 目的の成句を数字キーで選択します。
その成句の訳語などが表示されます。

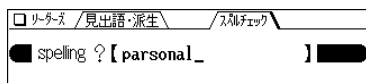
スペルチェック機能を使う

探したい単語のスペルがはっきりわからないときなどにはスペルチェック機能で目的の単語を探することができます。

【例題】「personal」を「parsonal」と、「e」を「a」とまちがえた場合。

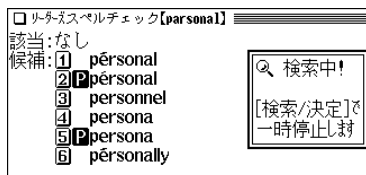
1 **メニュー** **001** と押し、**2** を押します。
スペルチェック機能の入力画面が表示されます。

2 「parsonal」と入れます。



3 **検索/決定** を押します。

検索が開始され、入力したスペルに類似した単語のリストが表示されます。



● 検索が終了すると「スペルチェックを終了しました」と、一時表示をします。

4 目的の単語(またはそう思われるもの)を、数字キー(ここでは **①**)で選択します。

選択した単語の詳細画面が表示されます。

メモ スペルチェック機能について

- 入力したスペルと同じスペルの単語がある場合は、リスト内の「該当:」欄に表示されます。また、類似した単語がある場合は「候補:」欄に表示されます。
- 単語の候補は該当語を含めて最大100件まで検索されます。

思った単語がなかなか出てこない

- 入力したスペルにより、検索に時間がかかることがあります。
- 該当語や候補が1件もない場合は「見つかりません」と表示して入力画面に戻ります。スペル(入力したアルファベット)を変更して、再度検索をしてみてください。

検索中に目的の単語を見つけたときは

- 検索中に **検索/決定** を押すと検索を一時止めることができます。このとき、表示されている候補を数字キーで選択すれば、その訳語(詳細画面)を表示させることができます。詳細画面で **戻る** を押せば、候補のリスト画面に戻ります。
- 候補のリスト画面(検索停止中の画面)で **戻る** を押すと、検索を再開します。中止するときは **戻る** または **クリア** を押します。

…ご注意…

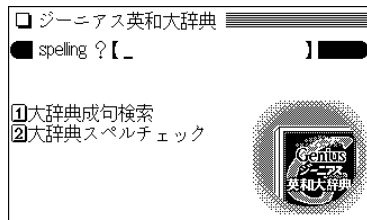
本製品は、下記の辞典ごとにスペルチェック機能があります。それぞれの辞典により収録語・語数が異なるため、同じスペルでチェックを行っても同じ結果が得られない場合があります。

リーダーズ英和&リーダーズ・プラス	英和大辞典
英英辞典(ODE、OALD)	Thesaurus(類語)
Collocations(連語)	英和活用大辞典

『ジーニアス英和大辞典』 を使う

スペルから英単語の意味などを調べる

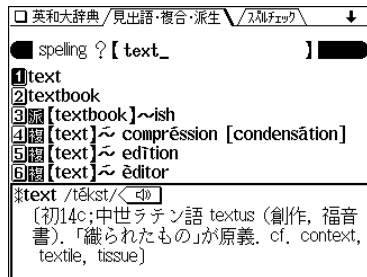
1 **メニュー** **002** と押します。



←スペル入力欄

スペル入力は20文字以内

2 スペル入力欄に調べたいスペルを入れます。

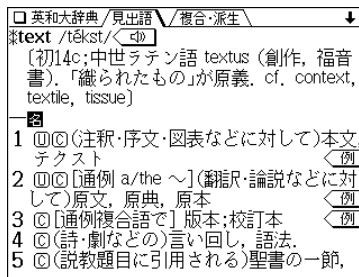


←ここでは「text」を調べます。

一文字入れるたびに候補が絞りこまれます。

“**縮**”は複合語、“**派**”は派生語を示しています。

3 目的の語を数字キー(ここでは **1**)で選びます。
見出し語(text)の詳細画面が表示されます。



←タブ表示

切替 で切り替えて見る(☞39ページ)

←例や解説を見るときは(☞40ページ)

英単語のスペルがはっきりわからないときは

手順2でスペルを入れたあと **切替** を押すと、スペルチェック機能(☞69ページ)に切り替わり、スペルチェックが行えます。

- ◆ 画面に音声マーク(**< 音**)が表示されたときは音声データが収録されています(☞41ページ)。
- ◆ **⇒**マークで示される語は、同じコンテンツ内でジャンプして調べることができます。

英和大辞典で成句を調べる

英語の成句(熟語)を調べたいときには、3つ以内の単語を入力して、それらの単語をすべて含んだ成句だけを検索することができます。

【例題】「take」と「care」を使った成句を調べましょう。

1 **メニュー** **0** **0** **2** と押し、**1** を押します。

成句検索のスペル入力画面になります。

以降は、66ページのリーダーズで成句を調べるの手順2以降と同様の操作で利用することができますのでご参照ください。

スペルチェック機能を使う

探したい単語のスペルがはっきりわからないときなどにはスペルチェック機能で目的の単語を探すことができます。

【例題】「personal」を「parsonal」と、“e”を“a”とまちがえた場合。

1 **メニュー** **0** **0** **2** と押し、**2** を押します。

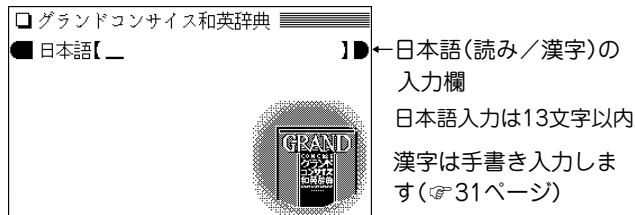
スペル入力画面になります。

以降は、67ページのスペルチェック機能を使うの手順2以降と同様の操作で利用することができますのでご参照ください。

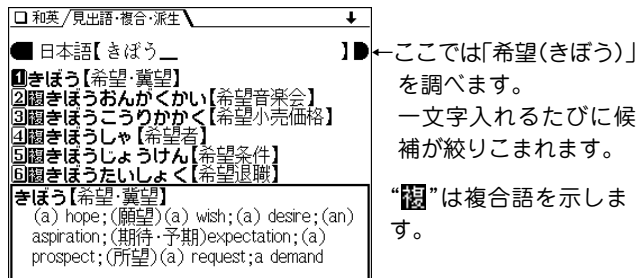
『グランドコンサイス和英辞典』 を使う

日本語の読みや漢字から英訳を調べる

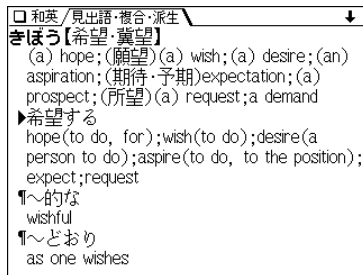
1 **メニュー** **003** と押します。



2 日本語入力欄に調べたい言葉を入れます。
1文字入れるごとに候補が絞り込まれていきます。



3 目的の語を数字キー(ここでは **①**)で選びます。
見出し語の詳細画面(訳語画面)が表示されます。



読み入力時の参考

1. 長音「ー」はないものと見なして検索を行います。したがって、長音を入れても無視して検索されます。
2. 「ー」などは省略して入れます(ーたい→たい)。

◆ **⇨**マークで示される語は、同じコンテンツ内でジャンプして調べることができます。

『OXFORD英英辞典(ODE、OALD)』

を使う

英英辞典は『OXFORD英英辞典(ODE)』と『OXFORD現代英英辞典(OALD)』の2種類を収録しています。

それぞれの辞典は同様の操作で使用することができます。

ODE: Oxford Dictionary of English

OALD: Oxford Advanced Learner's Dictionary

- ここでは『OXFORD現代英英辞典(OALD)』を用いて説明します。

スペルから単語の意味を調べる

単語のスペルを入れ、その意味(英語表記)を調べます。

【例題】「advance」を調べます。

1 **メニュー** **0** **0** **5** と押します。

- 「OXFORD英英(ODE)」で調べるときは **メニュー** **0** **0** **4** と押します。



←スペル入力欄
入力は20文字以内

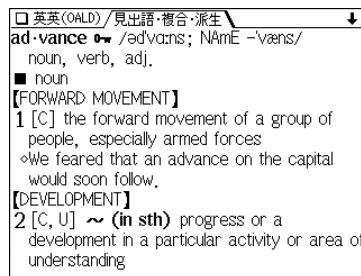
2 スペル入力欄に調べたいスペルを入れます。



←ここでは「advance」を調べるため、先頭の「adv」を入れます。

一文字入れるたびに候補が絞りこまれます。

3 目的の語を数字キー(ここでは **2**)で選びます。
見出し語(advance)の詳細画面が表示されます。



◆ **NOTE** マークが表示されているときは、その語に関するコラムが収録されています(40ページ)。

英単語のスペルがはっきりわからないときは

スペルを入れたあと **切替** で画面を切り替えてスペルチェックが行えます。(右記)

スペル入力時の参考

1. 見出し語にスペース、ハイフン「-」、アポストロフィ「'」がある場合、これらは省いて入力し、検索します。
(例) fast food → fastfood で検索する
weak-kneed → weakkneed で検索する
let's → lets で検索する
2. 見出し語が大文字の場合、小文字にして検索します。
(例) USA → usa で検索する
3. 数字は英語のスペルで検索します。

英英辞典(ODE、OALD)で成句を調べる

3つ以内の単語を入力して、それらの単語をすべて含んだ成句(熟語)を検索することができます。

【例題】「take」と「care」を使った成句を調べます。

1 **メニュー** **0** **0** **5** と押し、**1** で「英英成句検索」を選びます。

成句検索のスペル入力画面になります。

以降は、66ページのリーダーズで成句を調べるの手順2以降と同様の操作で利用することができますのでご参照ください。

スペルチェック機能を使う

探したい単語のスペルがはっきりわからないときなどにはスペルチェック機能で目的の単語を探することができます。

【例題】「personal」を「parsonal」と、「e」を「a」とまちがえた場合。

1 **メニュー** **0** **0** **5** と押し、**2** を押します。
スペル入力画面になります。

以降は、67ページのスペルチェック機能を使うの手順2以降と同様の操作で利用することができますのでご参照ください。

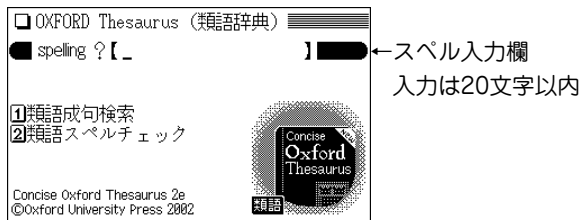
『Thesaurus(類語辞典)』 を使う

単語のスペルから、意味が似た語や関連する語を調べることができます。

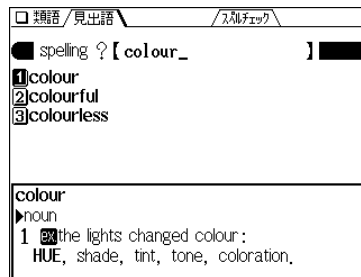
英単語を探して、その類語を調べる

【例題】「colour」を調べましょう。

1 **メニュー** **0** **0** **6** と押します。



2 スペル入力欄に調べたいスペルを入れます。



←ここでは「colour」を調べます。
一文字入れるたびに候補が絞りこまれます。

3 目的の語を数字キー(ここでは **①**)で選びます。
見出し語(colour)の詳細画面が表示されます。



Tableの内容を調べる

詳細画面に<Table>マークが表示されている場合、その見出し語に関するテーブル(リスト)を見ることができます。また、見出し語に関連する他の見出し語にテーブルが収録されているときは、関連する見出し語のテーブルも見ることができます。

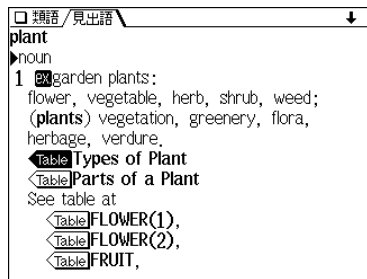
【例題】「plant」に含まれるテーブルを見てみましょう。

1 「plant」の詳細画面を表示させます。

「plant」を入力し、(検索/決定)を押します。

2 (Table) (例/解説)を押します。

最初の<Table>マークが選ばれ(反転表示になり)ます。

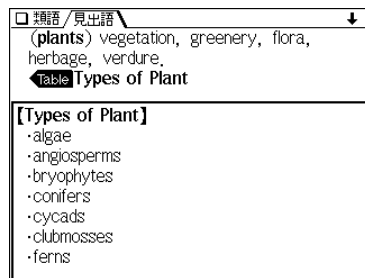


- <Table> の後ろにはテーブルのタイトル、またはテーブルが収録されている見出し語が表示されます。

3 (▼)、(▲)、(▶)、(◀) で反転表示を移して、調べたいマークを選びます。

4 (検索/決定)を押します。

テーブルウィンドウ(窓)が表示され、関連する語が表示されます。



- ウィンドウ内の内容で、表示されていない部分がある場合は、画面右上に“↓”や“↑”が表示されるので (▼) (▲) や (▼) (▲) で送って確認します。

5 次や前のテーブルを見るときは、(▶) ((Table)) や (◀) を押します。

6 終了するときには (戻る) を2回押します。

1回目でテーブルウィンドウが閉じ、2回目でマークの反転表示が解除されます。

Thesaurus(類語辞典)で成句を調べる

3つ以内の単語を入力して、それらの単語をすべて含んだ成句(熟語)を検索することができます。

【例題】「take」と「out」を使った成句を調べます。

1 **メニュー** **0** **0** **6** と押し、**1** を押します。

成句検索のスペル入力画面になります。

以降は、66ページのリーダーズで成句を調べるの手順2

以降と同様の操作で利用することができますのでご参照ください。

スペルチェック機能を使う

探したい単語のスペルがはっきりわからないときなどはスペルチェック機能で目的の単語を探することができます。

【例題】「personal」を「parsonal」と、“e”を“a”とまちがえた場合。

1 **メニュー** **0** **0** **6** と押し、**2** を押します。

スペル入力画面になります。

以降は、67ページのスペルチェック機能を使うの手順2

以降と同様の操作で利用することができますのでご参照ください。

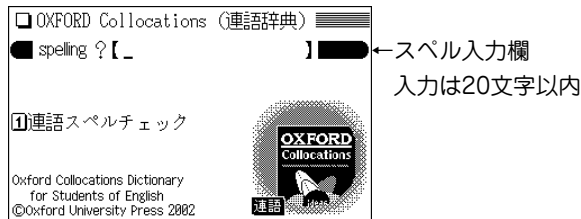
『Collocations (連語辞典)』 を使う

特定の語句の慣用的な使われかたや結びつきかを調べます。

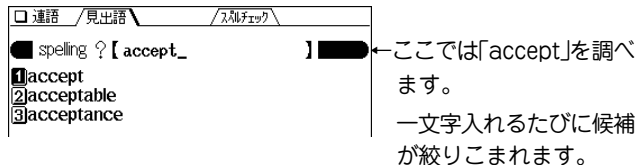
英単語を探して、その連語を調べる

【例題】「accept」に関する連語を調べましょう。

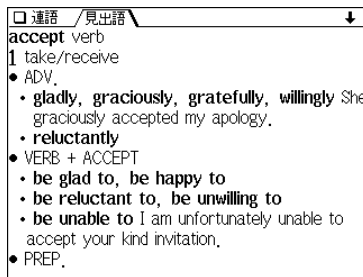
1 **メニュー** **0** **0** **7** と押します。



2 スペル入力欄に調べたいスペルを入れます。



3 目的の語を数字キー(ここでは **1**)で選びます。
見出し語(accept)の詳細画面が表示されます。



英単語のスペルがはっきりわからないときは

手順2でスペルを入れたあと **切替** を押すと、スペルチェック機能(77ページ)に切り替わり、スペルチェックが行えます。

◆ **NOTE** マークが表示されているときは、見出し語に関する参照項目やスペシャルページを見ることができます(40ページ)。

スペルチェック機能を使う

探したい単語のスペルがはっきりわからないときなどはスペルチェック機能で目的の単語を探することができます。

【例題】「personal」を「parsonal」と、“e”を“a”とまちがえた場合。

1 **メニュー** **0** **0** **7** と押し、**1** を押します。
スペル入力画面になります。

以降は、67ページの**スペルチェック機能を使うの手順2**
以降と同様の操作で利用できますのでご参照ください。

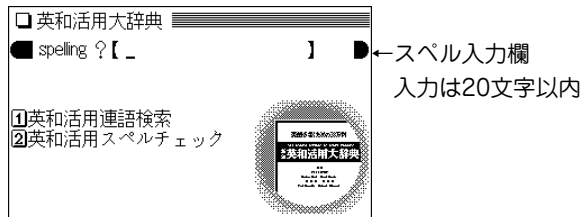
『英和活用大辞典』を使う

本辞典では、単語が慣習的にどのような語と結びついて用いられるかを主に用例を用いて示しています。

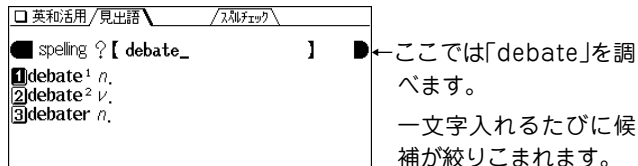
英単語を探して、連語を調べる

【例題】「debate」を調べましょう。

1 メニュー 0 0 8 と押します。



2 スペル入力欄に調べたいスペルを入れます。



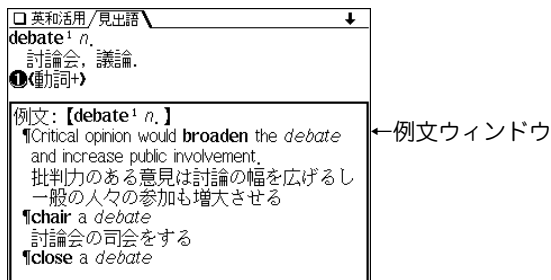
3 目的の語を数字キー(ここでは ①)で選びます。
見出し語(debate)の品詞(分類)が表示されます。

□ 英和活用/見出し語
debate¹ n.
討論会, 議論.
①(動詞+)
②(+動詞)
③(形容詞・名詞+)
④(前置詞+)
⑤(+前置詞)

左の○囲みの数字など*
に対応したキーで分類
を選んで例文を表示さ
せます。

4 見たい例文の分類を数字*キー(ここでは ①)で選びます。

例文ウィンドウ(窓)が表示され、例文が表示されます。



● 別の分類の例文を見るときは(戻る)で手順3の画面に戻って品詞を選びます。

■ 画面内の()で示す品詞(分類)は、見出し語と結びつく語の形を示します。たとえば、見出し語が名詞の場合、(動詞+)はその見出し語(名詞)を目的語に取る他動詞・他動詞句の例文、(+動詞)の表示はその見出し語(名詞)が主語になって取る述語動詞の例文が収録されていることを示します。詳しくは190ページを参照ください。

※見出し語と結びつく分類(品詞など)を選ぶ場合は、各分類の左の①、②など○で囲まれた数字に対応した数字キーを押しますが、分類が多い場合、○で囲まれた英字、記号が表示されている場合があります。その場合は、対応した英字キー、記号キーなどを押すと選ぶことができます。

連語検索を行う

3つ以内の単語を入力して、それらの単語が連語関係にある用例を検索します。

また、連語検索時に「連語検索パターン」を指定すれば、検索される用例を絞り込むことができます。

- 連語検索時に、たとえば「連語検索パターン」に“動詞＋名詞”を選び、動詞のみを入力して検索すると、その動詞がとる目的語の検索ができたり、名詞だけを入力すると、その名詞に共起する(同時に出現する)動詞を使った用例を検索することができます。

【例題】「potato」と“動詞＋名詞”の関係になる連語の用例を調べましょう。

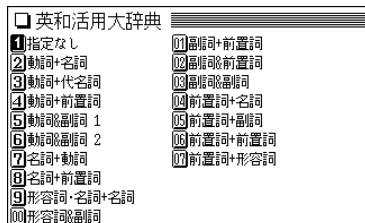
1 **メニュー** **0** **0** **8** と押し、**1** を押します。
連語検索のスペル入力画面になります。

2 「potato」と入れます。

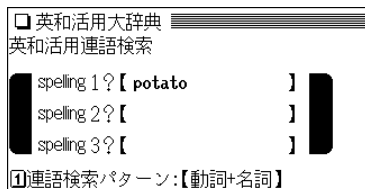
☐ 英和活用大辞典	
英和活用連語検索	
spelling 1 ?	potato_]
spelling 2 ?	]]
spelling 3 ?	]]
① 連語検索パターン: [指定なし]	

複数入れるときは ▼
▲ で入力欄を移動します。
それぞれ17字まで入られます。

3 **1** を押します。
品詞の組み合わせパターン選択画面が表示されます。

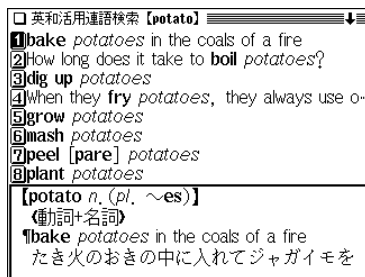


4 目的のパターンを数字キー(ここでは (2))で選びます。

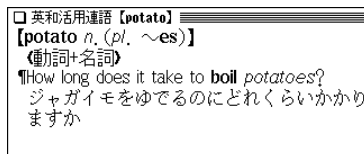


← 選択したパターンを表示

5 「検索/決定」を押します。 用例のリストが表示されます。



6 目的の用例を数字キー(ここでは (2))で選びます。 その用例の収録されている見出し語や訳語などが表示されます。



- 「戻る」を押すと前の画面に戻ります。

スペルチェック機能を使う

探したい単語のスペルがはっきりわからないときなどはスペルチェック機能で目的の単語を探すことができます。

【例題】「personal」を「parsonal」と、「e」を「a」とまちがえた場合。

1 「メニュー」(0)(0)(8)と押し、(2)を押します。 スペル入力画面になります。

以降は、67ページのスペルチェック機能を使うの手順2以降と同様の操作で利用することができますのでご参照ください。

『TOEIC® テスト 英単語・熟語 マスタリー 2000』を使う

TOEICに出やすい英単語1800に、覚えておくべき重要熟語200を加えた計2000単熟語を例文とともに収録しています。また、見出し単語などを隠してテストすることや、例文を音声で聞くこともできます。

- TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS). This publication/product/website is not endorsed or approved by ETS.

英単語を学習する

英単語や熟語の意味や例文を表示させて学習します。

【例題】「最頻出の基本450単語 Rank A 1-450」で学習します。

1 **メニュー** **009** と押します。

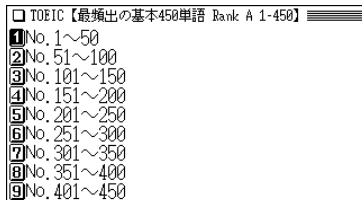


機能選択画面

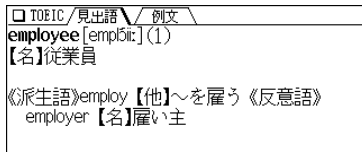
2 ② で「学習をする」の「新規」を選びます。グループ選択画面が表示されます。



3 グループを数字キー(ここでは ①)で選びます。選んだグループ内の分類選択画面が表示されます。



4 分類を数字キー(ここでは ①)で選びます。詳細画面に英単語とその意味などが表示されます。

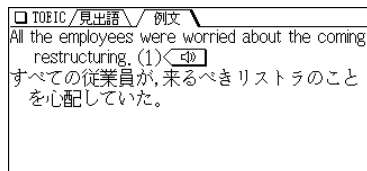


←タブ(🔍 39ページ)

見出し語の後ろの(1)などは、収録している単語の番号(連番)です。

- ▶、◀ (機能 ◯、機能 ◯) で、次や前の英単語の画面が表示されます。(分類などの区切りにかかわらず、すべてのデータを順番に送って表示します。)

5 **切替** でタブを切り替え、例文を表示させます。



例文表示画面

←音声マーク(41ページ)

前回の続きを学習するときは

- 機能選択画面で **①** を押す(「学習をする」の「つづき」を選ぶ)と、前回学習した英単語の詳細画面が表示されます。

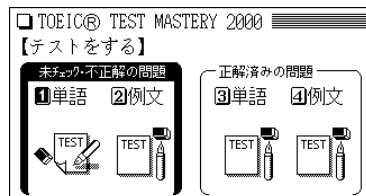
英単語や例文のテストをする

「英単語を学習する」で調べた英単語の意味や例文の語句を隠して表示させ、テストすることができます。

【例題】前ページで学習した英単語をテストします。

- 1** **①**メニュー **①** **①** **①** と押し、**④** で「テストをする」の「新規」を選びます。

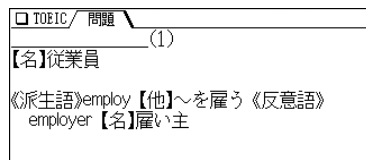
「テストをする」の種類選択画面が表示されます。



- 2** 問題の種類を数字キー(ここでは **①**)で選びます。
選んだ種類のグループ選択画面が表示されます。

- 3** 前ページの手順3~4と同様の操作で項目を選び、英単語のテスト画面を表示させます。

隠れた英単語(下線部分)を考えてください。



←下線部分が隠れています

4 検索/決定 を押して答えを表示させます。

□ TOEIC / 解説

employee [em'plɔɪ] (1)

【名】従業員

《派生語》employ 【他】～を雇う 《反意語》
employer 【名】雇い主

5 正解の場合は (Y) を、不正解の場合は (N) を押します。(ここでは (Y) を押します。)

メッセージが一時表示された後、次の英単語のテスト画面が表示されます。

〈例文テストでの答えの入力〉

前ページの手順2で、(1) の代わりに (2) を押して「例文」を選ぶと、手順3で例文のテスト画面が表示されますので、以降の操作を次のように行ってください。

4 下線の部分に入る語を下の解答欄に入れます。

□ TOEIC / 問題

All the _____ were worried about the coming restructuring. (1)

すべての従業員が、来るべきリストラのことを心配していた。

解答 【employees_】

● 解答を入力し、[検索/決定]を押します

解答欄
単語を入れます(29ページ)

音声再生(41ページ)

5 検索/決定 を押します。

答えの正誤により「正解!!」または「不正解!!」のメッセージを一時表示した後、答えが表示されます。

6 検索/決定 を押します。

次の問題が表示されます。同様に解答していきます。

- (戻る) を押すと中断確認画面が表示され、(Y) を押すと前の選択画面に戻ります。
- (クリア) を押すと中断確認画面が表示され、(Y) を押すと機能選択画面に戻ります。

前回の続きをテストするときは

- 機能選択画面(81ページ)で (3) を押す(「テストをする」の「つづき」を選ぶ)と、前回、最後に表示していた問題のテスト画面が表示されます。

正解率を見るときは

- 機能選択画面(81ページ)で (7) を押して「正解率を見る」を選ぶと、正解率を確認できます。

□ TOEIC 【正解率を見る】

	● 単語	● 例文
全体	■■■■■■■■	■■■■■■■■
Rank A	■■■■■■■■	■■■■■■■■
Rank B	■■■■■■■■	■■■■■■■■
Rank C	■■■■■■■■	■■■■■■■■
Rank D	■■■■■■■■	■■■■■■■■
重要熟語	■■■■■■■■	■■■■■■■■

正解率が10%上がるごとに棒グラフの黒い部分が伸びていきます。

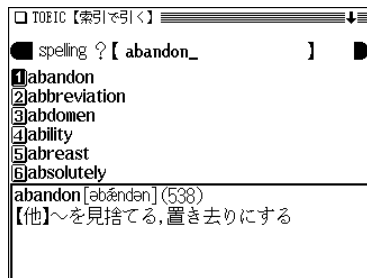
- 正解率を消去するときは (機能) (削除) (後退) と押します。

スペルから英単語を調べる

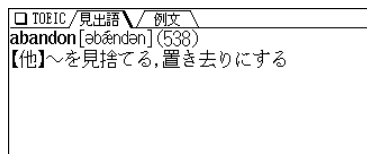
収録されている英単語を、英単語の「スペル」を入力して調べることができます。

【例題】「abandon」の意味や例文を調べます。

- 1 **メニュー** **0** **0** **9** と押し、**5** を押します。
索引検索のスペル入力画面になります。
- 2 「abandon」と入れます。
「abandon」を先頭に持つ語から始まるリスト表示になります。



- 3 語を数字キー(ここでは **1**)で選びます。
英単語の詳細画面が表示されます。

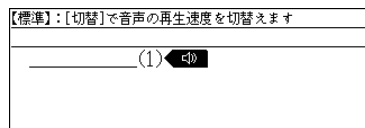


例文を音声で聞く

収録されている英単語の例文を音声で聞くことができます。

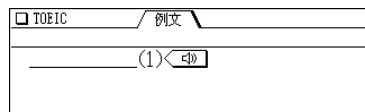
【例題】81 ページで学習した英単語の例文を聞いてみましょう。

- 1 **メニュー** **0** **0** **9** と押し、**6** を押します。
「例文を聞く」のグループ選択画面が表示されます。
- 2 グループを数字キー(ここでは **1**)で選びます。
選んだグループ内の分類選択画面が表示されます。
- 3 分類を数字キー(ここでは **1**)で選びます。
詳細画面が表示されます。



←音声マーク反転
例文は隠されています。

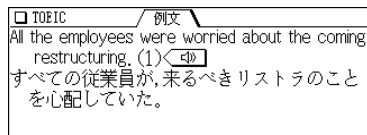
- 4 **検索/決定** を押します。
例文が音声で読み上げられます。
その後、**マーク** マークの反転が解除されます。



- 本体左横にある音量調整ダイヤルで、適正な音量に調整してください。
- 音声の再生速度を変えることができます(24ページ)。

5 検索/決定 を押します。

例文が表示されます。



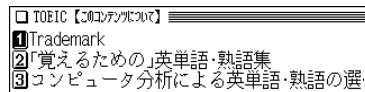
6 検索/決定 を押して、次の例文を表示させます。

- (戻る) を押すと分類選択画面などに戻ります。(＜戻る＞マーク反転時に (戻る) を押すと反転が解除されます。)
- 一度聞いた例文をもう一度聞く場合は (＜聞く＞) で (＜戻る＞) マークを反転表示させ、(検索/決定) を押します。

「このコンテンツについて」を読む

TOEICの商標に関する記載や、このコンテンツの構成などの説明が収録されています。

1 メニュー (0) (0) (9) と押し、(8) を押します。 項目選択画面が表示されます。



2 見たい項目を数字キー(ここでは (2))で選びます。 詳細画面に内容が表示されます。

シャッフルテストで腕試しをする

「英単語や例文のテストをする」でテストした問題の順番をランダムに並べ替えてテストします。

選んだ分類(範囲)に問題が20問以上ある場合は、ランダムに選び出した20問が出題されます。

1 **メニュー** **0** **0** **9** と押し、**9** で「シャッフルテスト」を選びます。

シャッフルテストのテスト選択画面が表示されます。



2 選択画面で項目を選んでいき、問題を表示させます。

- 「すべての範囲から…」や「この単元すべての範囲から…」などを選んだときは、その画面に表示されている全グループの中から20問出題されます。

3 問題に順番に解答していきます(☞ 82～83ページ参照)。

最後の問題に解答すると正解数が一時表示された後、シャッフルテストの選択画面に戻ります。

- テストの途中で **戻る** を押すと中断確認画面が表示され、**Y** を押すと前の選択画面に戻ります。
- テストの途中で **クリア** を押すと中断確認画面が表示され、**Y** を押すと機能選択画面に戻ります。

◆ シャッフルテストの結果は、「正解率を見る」のグラフには反映されません。

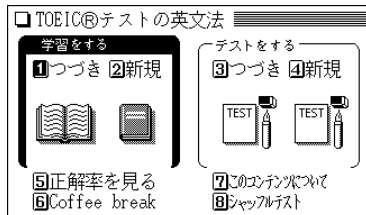
『TOEIC® テストの英文法』 を使う

本コンテンツでは、TOEIC試験で重要な英文法の例題を、5つのレベルに分けて収録しています。
また、意外な文法の知識を「Coffee break」として参照できるようにしています。

- TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS). This (publication/product) is not endorsed or approved by ETS.

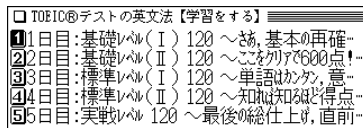
問題を解きながら英文法を学習する

1 **メニュー** **00** **A** と押します。



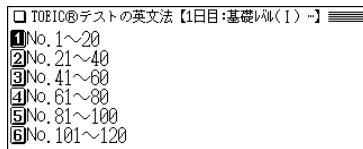
機能選択画面

2 **2** で「学習をする」の「新規」を選びます。
問題のレベル選択画面になります。



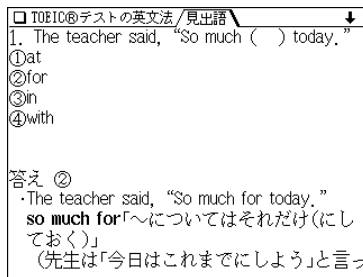
問題の
レベル選択画面

3 レベルを数字キー(ここでは **1**)で選びます。
問題のグループ選択画面になります。



問題の
グループ選択画面

4 グループを数字キー(ここでは **1**)で選びます。
問題と、答え・訳文などが表示されます。



5 問題を解き、答えや訳文などを確認します。
隠れている内容は **▽** や **▼** (**△**、**▲**) で画面を送って表示させます。

6 **機能** **▽** (または **▶**) を押すと次の問題が表示されます。

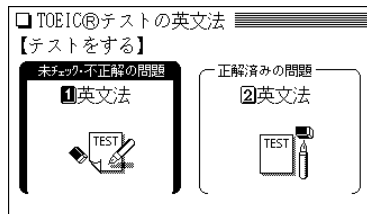
7 手順5～6をくり返して、問題を解き、答えや訳文などを確認していきます。

前回の続きを学習するときは

- 機能選択画面(☞87ページ)で **①** を押す(「学習をする」の「つづき」を選ぶ)と、「学習をする」の前回の続きの問題が表示されます。

学習した内容をテストする

1 **メニュー** **①** **①** **A** と押し、**④** で「テストをする」の「新規」を選びます。
「テストをする」の種類選択画面になります。

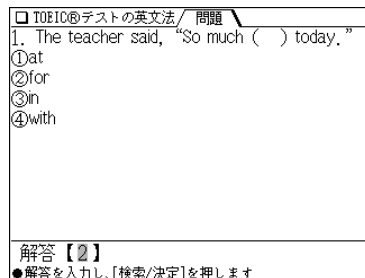


2 問題の種類を数字キー(ここでは **①**)を選びます。
問題のレベル選択画面になります。

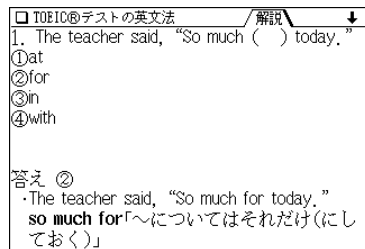
3 レベルを数字キー(ここでは **①**)を選びます。
問題のグループ選択画面になります。

4 グループを数字キー(ここでは **①**)で選びます。
問題が表示されます。正解を考えてください。

5 答えを選び、その番号(例えば「2」)を入れます。



6 **検索/決定** を押します。
答えの正誤により「正解!!」または「不正解!!」を一時表示した後、答えが表示されます。



7 **検索/決定** を押します。
次の問題が表示されます。同様に解答していきます。

- 戻る** を押すと中断確認画面が表示され、**Y** を押すと前の選択画面に戻ります。

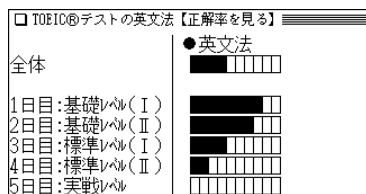
- **クリア** を押すと中断確認画面が表示され、**Y** を押すと機能選択画面に戻ります。

前回の続きをテストするときは

- 機能選択画面(87ページ)で **3** を押す(「テストをする」の「つづき」を選ぶ)、「テストをする」の前回の続きの問題が表示されます。

正解率を見るときは

- 機能選択画面(87ページ)で **5** を押して「正解率を見る」を選ぶと、正解率を確認できます。



- 正解率が10%上がるごとに棒グラフの黒い部分が伸びていきます。
- 正解率を消去するときは **機能** **削除** (**後退**) と押し、画面に従って操作します。

文法の知識を見る (Coffee break)

- メニュー** **00A** と押し、**6** を押します。
「Coffee break」の項目選択画面になります。

☐ TOEIC®デストの英文法【Coffee break】

① 意外な意味でひっかかる多義語①
 ② 意外な意味でひっかかる多義語②
 ③ 基本動詞の意外な用法①
 ④ 基本動詞の意外な用法②
 ⑤ 書き換え可能な重要副詞句

- 見たい項目を数字キー(ここでは **1**)で選びます。
項目の詳細な内容が表示されます。

☐ TOEIC®デストの英文法

意外な意味でひっかかる多義語①

sound= [名] 1. 音 [動] 2. ～に聞こえる [開]

3. 健全な [副] 4. ぐっすり

● Light travels faster than sound. (光は音より早く進む)

● His story sounds true. (彼の話は本当らしく聞こえる)

● All his family are sound. (彼の家族はみんな健康だ)

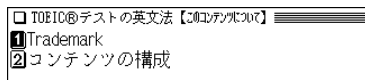
● The baby is sound asleep. (赤ん坊はぐっすり眠っている)

- ▽**、**△** や **▼**、**▲** で画面を送りながら、内容を読んでいきます。

「このコンテンツについて」を見る

TOEICの商標に関する記載や、このコンテンツの構成などの説明が収録されています。

- 1 **メニュー** **0** **0** **A** と押し、**7** を押します。
項目選択画面が表示されます。

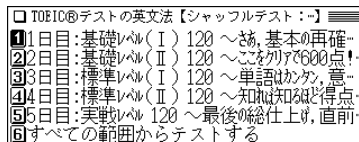


- 2 見たい項目を数字キー(ここでは **2**)で選びます。
詳細画面に内容が表示されます。

シャッフルテストで腕試しをする

「学習した内容をテストする」(P88ページ)でテストした問題の順番をランダムに並べ替えてテストします。
選んだ分類(範囲)に問題が20問以上ある場合は、ランダムに選び出した20問が出題されます。

- 1 **メニュー** **0** **0** **A** と押し **8** で「シャッフルテスト」を選びます。
シャッフルテストのテスト選択画面が表示されます。



- 2 選択画面で項目を選んでいき、問題を表示させます。
- 「すべての範囲から…」や「この単元すべての範囲から…」などを選んだときは、その画面に表示されている全グループの中から20問出題されます。
- 3 問題に順番に解答していきます(P88ページ参照)。
最後の問題に解答すると正解数が一時表示された後、シャッフルテストの選択画面に戻ります。
- テストの途中で **戻る** を押すと中断確認画面が表示され、**Y** を押すと前の選択画面に戻ります。
 - テストの途中で **クリア** を押すと中断確認画面が表示され、**Y** を押すと機能選択画面に戻ります。
- ◆ シャッフルテストの結果は、「正解率を見る」のグラフには反映されません。

『英会話とっさのひとこと辞典』 を使う

場面別に会話文を調べる

会話文を場面別の一覧から調べます。

【例題】「理解しあえるひとこと」を調べます。

1 **メニュー** **00B** と押します。

□ 英会話とっさのひとこと辞典

① 場面別会話

キーワード 読み?【 】

キーワード spelling?【 】

2 **①** で「場面別会話」を選びます。
場面の選択画面に大分類が表示されます。

□ 英会話とっさのひとこと辞典【場面別会話】

① 第1章 毎日の生活でつかうひとこと

② 第2章 会話を楽しくするひとこと

③ 第3章 理解しあえるひとこと

④ 第4章 感情をあらわすひとこと

⑤ 第5章 冠婚葬祭でつかうひとこと

⑥ 第6章 海外旅行でつかうひとこと

⑦ 第7章 ビジネス・レターに役立つひとこと

⑧ 第8章 会話によく使うことわざ・決まり文

⑨ コラム

3 目的の大分類を数字キー(ここでは **③**)で選びます。
中分類が表示されます。

□ 英会話とっさのひとこと辞典【場面別会話】

① 話しあう

② 要求する

③ 相談する

④ いろいろな質問

4 中分類を数字キー(ここでは **①**)で選びます。
小分類が表示されます。

□ 英会話とっさのひとこと辞典【場面別会話】

① 賛成する

② 反対する

③ 肯定する

④ 否定する

⑤ あいまいな返事をする

⑥ 返事を保留する

⑦ 意見を言う・聞く

⑧ 理由を言う・聞く

⑨ まちがいを指摘する

5 小分類を数字キー(ここでは **①**)で選びます。
詳細画面が表示されます。

□ 英会話とっさのひとこと辞典

【賛成する】

『賛成です。』

・I agree.

※やや固い表現。

▶ I think it's very important. (とても大切なことだと思います)

・I agree. (賛成です)

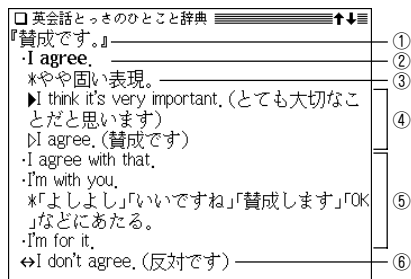
・I agree with that.

・I'm with you.

※「よしよし」「いいですね」「賛成します」「OK」などにあたる。

・I'm for it.

詳細画面に表示される説明の構成



- ① 見出し文：日本語の会話文による見出しです。
- ② 英語見出し文：①に対応する英語会話文です。
- ③ 文・語彙の説明：②のニュアンス・用法・発音・単語や熟語の意味を解説しています。日本人が用いるときに、注意すべきことなども含みます。
- ④ 会話例：②を用いた会話例。対話・問答になっているので、どのような場面での会話か、より具体的にわかります。▶が英語見出し文を使った例文です。
- ⑤ 類似表現：①②とほぼ同じ意味をもつ言い換え表現。ニュアンスの異なるときは、*や()の日本語訳で説明しています。この言い換え表現は、①②とまったく同じ意味とはかぎりませんので注意してください。同じような場面で用いたときに、ほぼ同じ内容を表現できるものです。
- ⑥ 反意文(↔で示す)：①②の文とほぼ対をなす表現です。
 応答表現(→で示す)：①もしくは⑤に答えるときの決まった表現です。

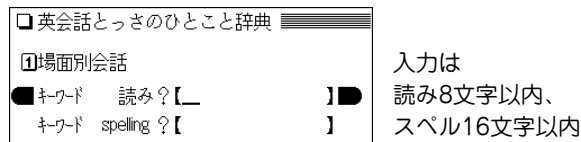
キーワードの読みまたはスペルから探す

会話文に含まれるキーワードから探します。

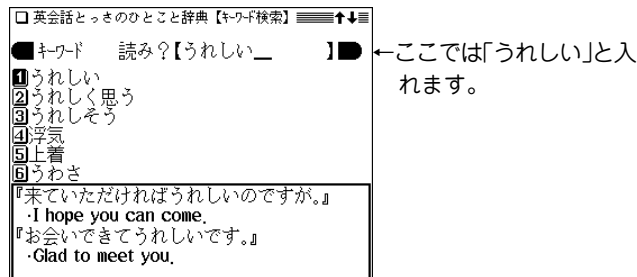
- コラムの内容は検索しません。

【例題】「うれしい」をキーワードとして探します。

- 1 **メニュー** **0** **0** **B** と押し、**▼** で読みの入力欄へカーソルを移します。
 スペルで探すときはスペル入力欄へカーソルを移します。



- 2 入力欄に調べたい語を入れます。



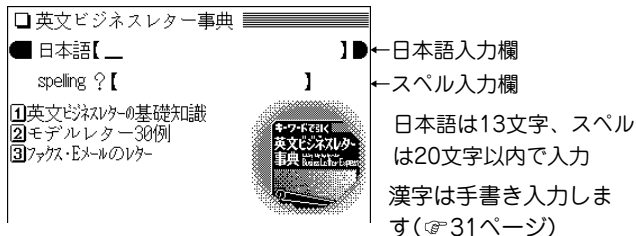
- 3 目的の語を数字キー(ここでは **①**) で選びます。
 詳細画面になり、選んだ語を含む文が表示されます。

『英文ビジネスレター事典』 を使う

キーワードから決まり文句を探す

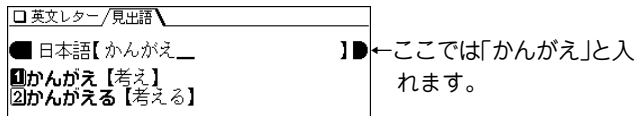
【例題】「考え(かんがえ)」を調べます。

1 **メニュー** **0** **0** **C** と押します。

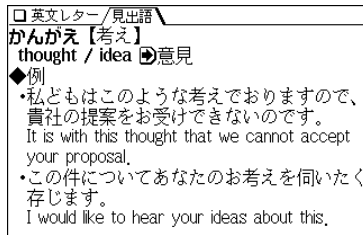


2 入力欄に調べたい語を入れます。

- スペルで探すときはスペル入力欄へカーソルを移して入力します。



3 目的の語を数字キー(ここでは **①**)で選びます。
見出し語(キーワード)を使った決まり文句などが表示されます。



読み入力時の参考

「…」などは省略して入れます(…したい → したい)。

スペル入力時の参考

英字の小文字を入れることができます。検索する語が大文字のときも小文字を入力して検索します。

「一」などの記号やスペースなどは省略して入れます。

レターの基礎知識や例文を見る

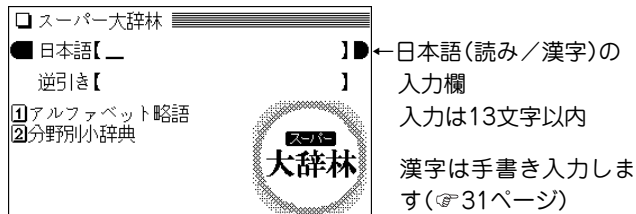
「英文ビジネスレターの基礎知識」、「モデルレター30例」、「ファクス・Eメールのレター」でビジネスレターの書きかたや文例を調べることができます。

- 1 **メニュー** **0** **0** **C** と押します。
- 2 目的のタイトルを数字キーで選びます。
- 3 目的の項目を数字キーで選びます。
解説や文例が表示されます。

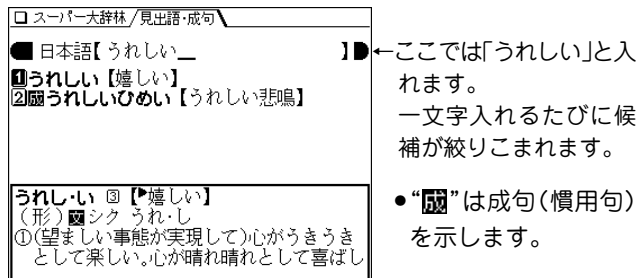
『スーパー大辞林・逆引きスーパー大辞林』を使う

日本語の言葉や意味を調べる

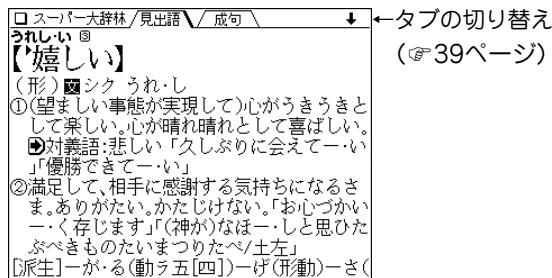
1 **メニュー** **0** **1** **1** と押します。



2 日本語入力欄に調べたい言葉を入れます。



3 目的の語を数字キー(ここでは **1**)で選びます。
詳細画面になり、意味などが表示されます。



読み入力時の参考

1. 外来語などのカタカナも、ひらがなで入れます。
2. 長音は「ー」または、前の文字の母音を入れます。
(例) アパート → 「あばーと」と入れる。または「あばあと」と入れる。

◆ ☐マークで示される語は、スーパー大辞林内でジャンプして調べることができます(☞48ページ)。

後ろにつく文字から言葉を探す(逆引きスーパー大辞林)

「～ゆり」や「～じだい」など、後ろにつく文字から語を探します。

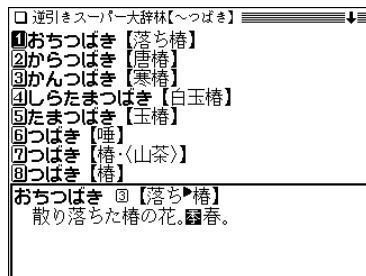
【例題】後ろに「つばき」がつく語を調べましょう。

1 **メニュー** **0** **1** **1** と押し、**▼** を押して逆引きの入力欄へカーソルを移します。

2 調べたい言葉の後ろにつく文字を入れます。



3 **検索/決定** を押して検索します。

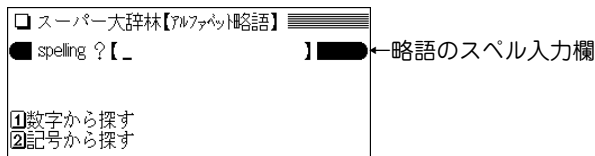


4 目的の語を数字キーで選びます。
詳細画面が表示されます。

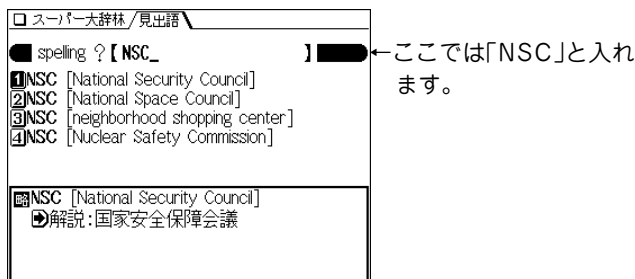
アルファベット略語や数字・記号から始まる語を調べる

アルファベット略語を調べる

1 **メニュー** **0** **1** **1** と押し、**1** を押します。



2 スペル入力欄に調べたい語を入れます。



3 目的の語を数字キー(ここでは **3**)で選びます。
詳細画面になり、意味などが表示されます。

数字や記号で始まる語を調べる

数字で始まる語、記号で始まる語とも同様の操作で調べることができます。

1 **メニュー** **0** **1** **1** と押し、**1** を押します。

2 検索の方法を数字キーで選びます。

数字で始まる語を探すときは **1** で選びます。

記号で始まる語を探すときは **2** で選びます。

3 目的の語を数字キーで選びます。

詳細画面になり、意味などが表示されます。

人名や地名などの分野から探す

下表の分野に分類されている内容をグループと読みから探します。

分野別小辞典のグループ一覧

分野名	グ ル ー プ		
人名	日本 中国・朝鮮	そのほかの外国 神話・伝説	
地名	日本(全国) 北海道 東北地方 関東地方	中部地方 近畿地方 中国地方 四国地方	九州地方 中国・朝鮮 そのほかの外国 極地・海洋
作品名	日本	文学 思想書・宗教書・記録など 映画・演劇 音楽 歌舞伎・浄瑠璃・邦楽(近世)	能・狂言・民俗芸能(中世) 絵画・絵巻 仏像・彫刻・建築物 新聞
	中国・朝鮮	文学 思想書・宗教書・記録など 映画・演劇	音楽 絵画・絵巻 新聞
	そのほか の外国	文学 思想書・宗教書・記録など 音楽	絵画・絵巻 新聞
季語	春		
	夏		
	秋		
	冬		
	新年		
	時候	春 夏 秋 冬 新年	
	天文		
	地理		
	人事		
	動物		
	植物		

グループから調べる

【例題】日本人名「夏目漱石」を調べます。

1 **メニュー** **0** **1** **1** と押し、**2** を押します。



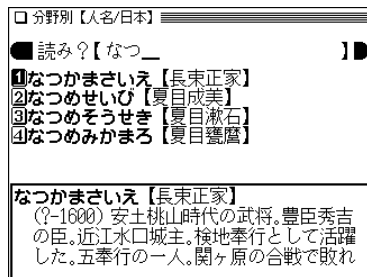
2 分野を選びます。

ここでは **1** で「人名」を選びます。

3 範囲を選びます。

ここでは **1** で「日本」を選びます。

4 名前の読みを入れます。



←ここでは「夏目漱石」を調べるため、「なつ」と入れます。

5 目的の名前を選びます。

詳細画面が表示されます。

分野別小辞典の検索について

- 「地名」、「作品名」、「季語」で検索をするときも、「人名」と同様、内容ごとにグループ分けされた項目を次々と選び、候補を絞り込んでいきます。

慣用句を調べる

スーパー大辞林に収録されている慣用句(成句)を探すことができます。

読み検索： 慣用句の読みの先頭2文字から検索

キーワード検索： 慣用句に関連する語(10文字以内)を3種類まで指定して検索

【例題1】 慣用句の読みの先頭文字から調べます。

1 **メニュー** **0** **1** **1** と押し、**2** を押します。

2 分野を選びます。
ここでは **5** で「慣用句」を選びます。

3 読み入力欄に調べたい文字を入れます。

□ 分野別小辞典 (スーパー大辞林より) 慣用句

● 読み?(先頭2文字)【なま】

キーワード1 【 】

キーワード2 【 】

キーワード3 【 】

←ここでは「なま」から始まる慣用句を調べます。

4 **検索/決定** を押します。

□ 分野別【慣用句】

① 生酔ひ本性(はんしょう)遣(たが)わず

② 生木(なまき)に釘(くぎ)

③ 生木(なまき)を裂く

④ 怠け者(なまけもの)の足から鳥が起(た)つ

⑤ 怠け者(なまけもの)の節句(せつこ)働き

⑥ 牆(かた)に叩(たた)く

⑦ 鯉(なまこ)を瓢箪(ひょうたん)で押さえる

⑧ 牆(かた)を吹(ふ)く

5 目的の慣用句を数字キーで選びます。
慣用句(成句)の詳細画面が表示されます。

- 清音、濁音、半濁音の区別、大きい文字、小さい文字の区別はせずに検索します。
- 該当する慣用句がないときは、収録順で次の慣用句が表示されます。

【例題2】 慣用句に関連するキーワードから調べます。

1 **メニュー** **0** **1** **1** と押し、**2** を押します。

2 分野を選びます。
ここでは **5** で「慣用句」を選びます。

3 **▼** でキーワード入力欄へカーソルを移しキーワードを入れます。

□ 分野別小辞典 (スーパー大辞林より) 慣用句

読み?(先頭2文字)【 】

キーワード1 【いち】

キーワード2 【に】

キーワード3 【 】

←ここでは「いち」と「に」を含む慣用句を調べます。
複数入れるときは **▼** でカーソルを下の欄に移して入れます。

4 **検索/決定** を押します。
慣用句(成句)をリスト表示します。

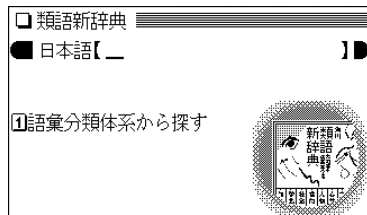
5 目的の慣用句を数字キーで選びます。
慣用句(成句)の詳細画面が表示されます。

『類語新辞典』を使う

言葉を探して、その類語を調べる

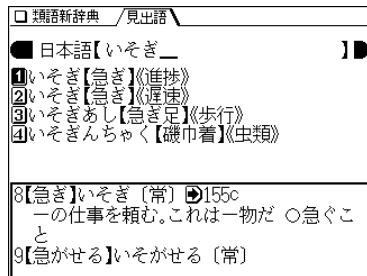
言葉の意義(意味)が似ている語や関連する語を調べることができます。

1 **メニュー** **0** **1** **2** と押します。



1D ← 日本語(読み／漢字)の入力欄
漢字は手書き入力します(☞ 31 ページ)

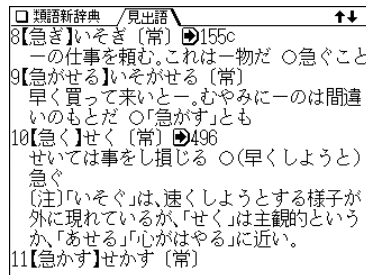
2 日本語入力欄に調べたい言葉を入れます。



1D ← ここでは「急ぎ(いそぎ)」を調べます。
一文字入れるたびに候補が絞りこまれます。

• 《 》内は、その語が属する小分類名を示しています。

3 目的の語を数字キー(ここでは **①**)で選びます。
詳細画面に選んだ語を先頭にした類語が表示されます。



読み入力時の参考

1. 外来語などのカタカナも、ひらがなで入れます。
2. 長音は「ー」または、前の文字の母音を入れます。
(例) アパート → 「あばーと」と入れる。または「あばあと」と入れる。

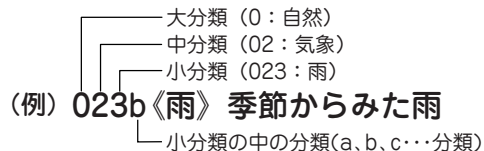
◆ 詳細画面では、各小分類の内容は一つにつながっていて、▼ や ▼ など画面を送れば小分類内のすべての内容を見ることができます。
データの先頭に大分類名と中分類名が表示されます。

分類から検索する

すべての語彙(ごい)は大分類、中分類、小分類に分類され、必要に応じてa、b、c…に分類されています。

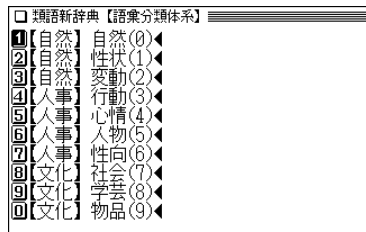
この分類から、類語を調べます。

なお、大・中・小分類には番号が付けられ、左から1桁目が大分類、2桁目が中分類、3桁目が小分類を表します。



【例題】季節からみた雨に関する語を調べましょう。

1 **メニュー** **0** **1** **2** と押し、**1** を押します。
大分類が表示されます。



2 大分類を選びます。

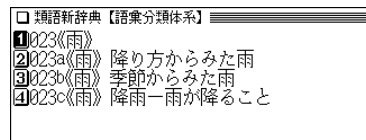
ここでは **1** で「【自然】自然」を選びます。中分類が表示されます。

3 中分類を選びます。

ここでは **3** で「気象：大気の状態と現象」を選びます。
小分類が表示されます。

4 小分類を選びます。

ここでは **4** で「雨：空から降ってくる水滴」を選びます。
a、b、c…の分類が表示されます。



a、b、c…分類がない
ときは詳細画面になります

5 分類を数字キー(ここでは **3**)で選びます。

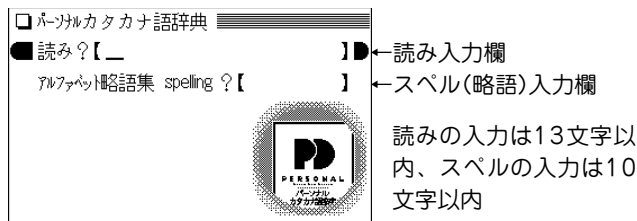
詳細画面になり、類語が表示されます。

『パーソナルカタカナ語辞典』 を使う

カタカナ語／略語の意味を調べる

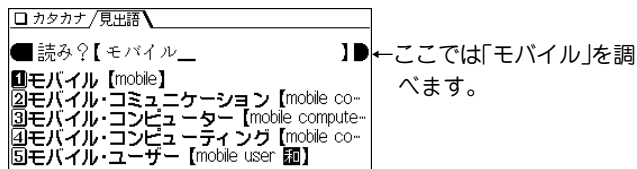
カタカナ語(外来語など)や、アルファベット略語の意味などを調べることができます。

1 **メニュー** **0** **1** **3** と押します。

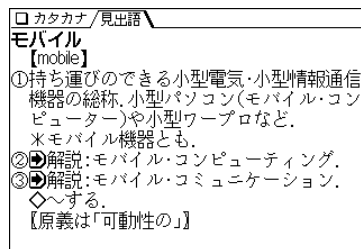


2 入力欄に調べたい言葉や文字を入れます。

- 略語を調べる場合は、**▼** でカーソルをスペル入力欄に移して入力します。



3 目的の語を数字キー(ここでは **①**)で選びます。
カタカナ語(見出し語)の詳細画面が表示されます。



読み入力時の参考

- 中点「・」は省略して入れます(ア・カペラ → アカペラ)。
- 長音符「ー」は、ないものと見なして検索を行います。

スペル入力時の参考

- 英字の大文字を入れることができます。見出し語が小文字のときも大文字を入力して検索します。
数字、「一」、「'」、「,」、「.」、「/」、スペース、かな、漢字などは省略して入れます。(例 Co.,Ltd. → COLTD)
- 「&」は「AND」と入力してください。(例 M&A → MANDA)

『漢字源』を使う

漢字源では次の方法で漢字を探することができます。

漢字検索 : 漢字を手書き入力し、その漢字を探す。

部品読み検索 : 漢字を構成する部品の読みから探す。

音訓読み検索 : 漢字の音読み、または訓読みから探す。

部首画数検索 : 部首の画数から部首を探し、その部首を持つ漢字を探す。

総画数検索 : 総画数から漢字を探す。

また、漢字検索以外は**組み合わせ**て探すこともできます。

読みがわからない漢字を手書きで調べる

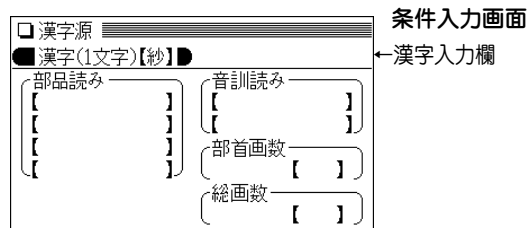
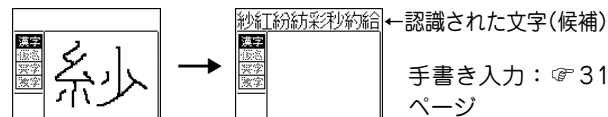
手書きで漢字を入力し、読みなどを調べます。

【例題】「紗」を探します。

1 **メニュー** **0** **1** **4** と押します。

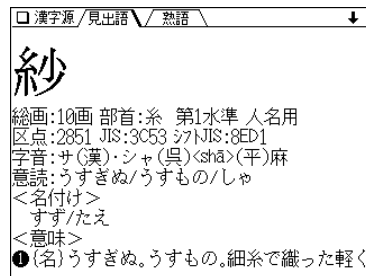
漢字源の条件入力画面が表示されます。

2 漢字入力欄にカーソルがあることを確認し、手書きパッドに調べたい漢字を書きます。



3 漢字入力欄に調べたい漢字が入ったことを確認して**検索/決定**を押します。

漢字が検索され、詳細画面になります。

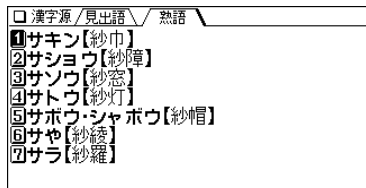


意味などが下に隠れているときは **▼**、**▽** などで表示させます。

漢字の熟語を調べる

画面の上部に **熟語** タブが表示されているときは、漢字に関連した熟語を調べることができます。

- 1 前ページの詳細画面で **切替** を押します。
熟語のリスト(一覧)が表示されます。



- 2 目的の熟語を数字キーで選びます。
詳細画面に熟語の意味などが表示されます。

読みがわからない漢字を部品読みで調べる

部品読みについて

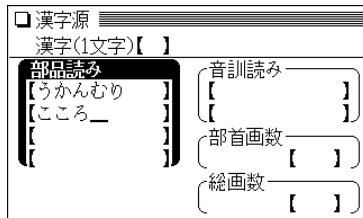
例えば「辞」は下のような部品に分けることができます。これらの部品の読みから漢字を探すことができます。(形から連想される読みや、省略した読みで探せる場合もあります。)

【例】 「舌」 した、ぜつ、したへん
「辛」 からい、つらい、しん、かのと
「立」 たつ、りつ、りゅう、りっとる
「十」 じゅう、とお

どれを入れても検索できます。

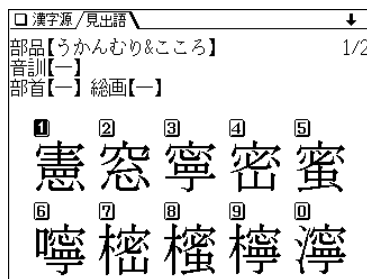
【例題】「寧」を「うかんむり」、「こころ」で探します。

- 1 **メニュー** **0** **1** **4** と押し、**▼** でカーソルを部品読み欄へ移します。
- 2 部品読み欄に部品の読みを入れます。



読みを複数入れるときは **▼** でカーソルを下の欄に移して入れます。

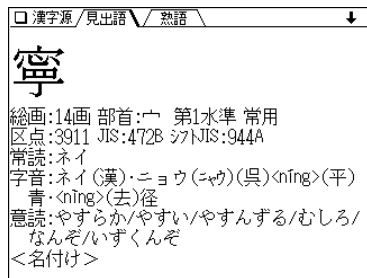
- 3 **検索/決定** を押します。
条件に合った漢字(候補)がリスト表示されます。



画面番号/画面数

候補は1画面に最大10個表示されます。

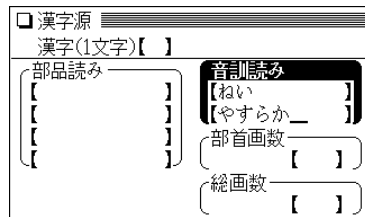
- 4 目的の漢字を数字キー(ここでは (3))で選択します。
漢字(見出し語)の詳細画面が表示されます。



音読みや訓読みから漢字を調べる

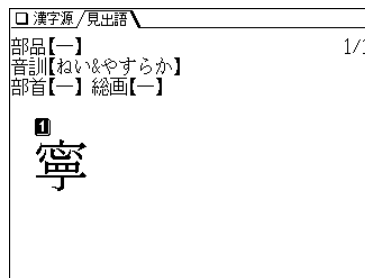
【例題】「寧」を「ねい」と「やすらか」で探します。

- 1 メニュー (0) (1) (4) と押し、(▼) (▶) でカーソルを音訓読み欄へ移します。
- 2 読み(音読み、訓読み)を入れます。



読みを複数入れるときは (▼) でカーソルを下の欄に移して入れます。

- 3 検索/決定 を押します。
条件に合った漢字(候補)がリスト表示されます。



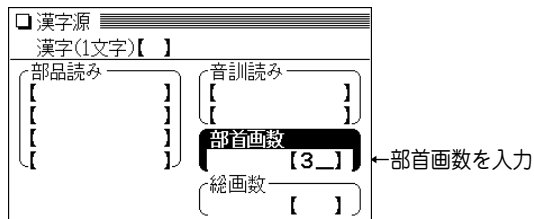
- 4 目的の漢字を数字キー(ここでは (1))で選択します。
漢字(見出し語)の詳細画面が表示されます。

部首画数、総画数で漢字を調べる

【例題】「寧」を部首(宀)の画数(3画)と総画数(14画)で探します。

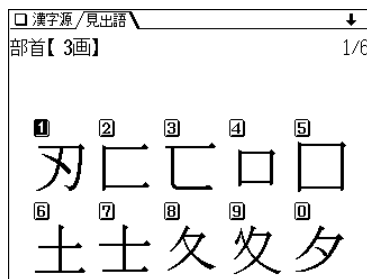
1 **メニュー** **0** **1** **4** と押し、**▼** (**▶**) でカーソルを部首画数欄へ移します。

2 部首画数を入れます。



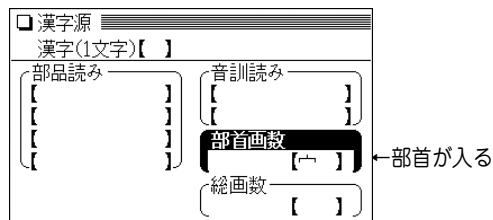
3 **検索/決定** を押します。

条件に合った部首(候補)がリスト表示されます。

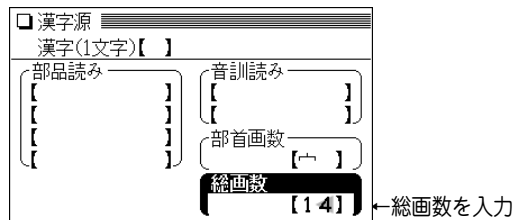


4 **▼** (**▲**) で目的の部首を表示させ、数字キーで選択します。

ここでは **▼** **4** と押します。



5 **▼** でカーソルを総画数欄へ移し、総画数を入れます。



6 **検索/決定** を押します。

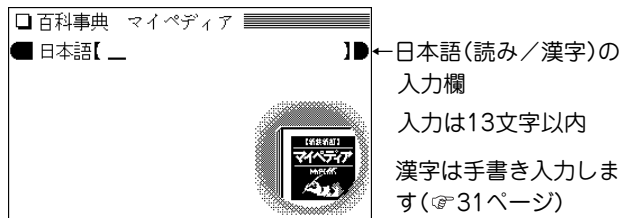
条件に合った漢字(候補)がリスト表示されます。

7 目的の漢字を数字キー(ここでは **3**)で選択します。
漢字(見出し語)の詳細画面が表示されます。

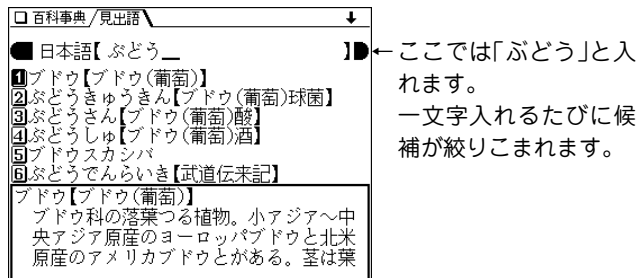
『百科事典 マイペディア』 を使う

言葉の意味などを調べる

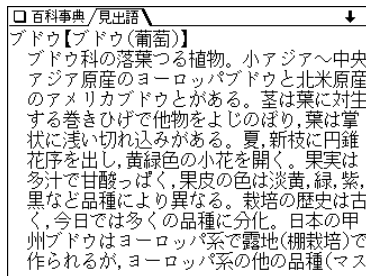
1 **メニュー** **0** **2** **1** と押します。



2 日本語入力欄に調べたい言葉を入れます。



3 目的の語を数字キー(ここでは **①**)で選びます。
詳細画面になり、意味などが表示されます。



検索語入力時の参考

1. カタカナ、ひらがなは区別せずに検索します。
2. ・(中点)は省略して入れます。
例 ア・カペラ → あかぺら
3. 長音「ー」はないものと見なして検索を行います。(「ー」を入れても入れなくても同じ語が検出されます。)

コンテンツに関するお問い合わせは

内容に関するお問い合わせは、FAXもしくは電子メールで下記までご連絡ください。

株式会社 日立システムアンドサービス
〒140-0013 東京都品川区南大井6-24-9
興産大森ビル4F

FAX : 03-3763-0542

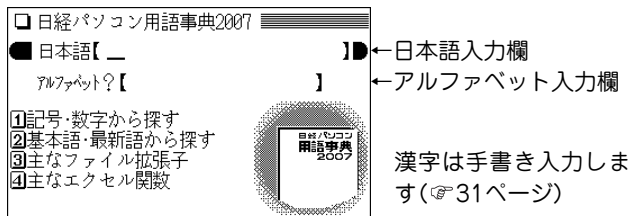
電子メール : hdhinfo@hitachi-system.co.jp

『日経パソコン用語事典 2007』 を使う

言葉を探して意味を調べる

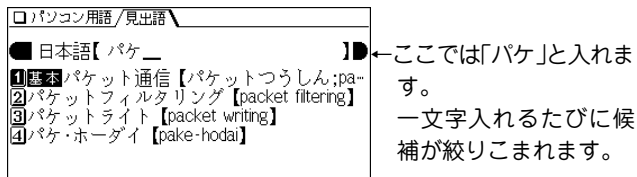
【例題】「パケット通信」を調べます。

1 **メニュー** **0** **3** **1** と押します。

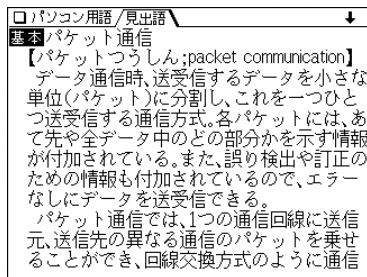


2 入力欄へ調べたい語を入れます。

- アルファベットで探すときは **▽** でアルファベット入力欄へカーソルを移して入れてください。



3 目的の語を数字キー(ここでは **①**)で選びます。
詳細画面が表示されます。



日本語やアルファベットの入力について

- 数字や記号などを入れることはできません。数字や記号から始まる語は「記号・数字から探す」で探してください。
途中で数字や記号がある場合は、その前までの文字を入れ、表示されている候補の中から選んでください。

◆ 詳細画面に **表** マークが表示されたときは、表が収録されています(☞40ページ)。

分類から用語を探す

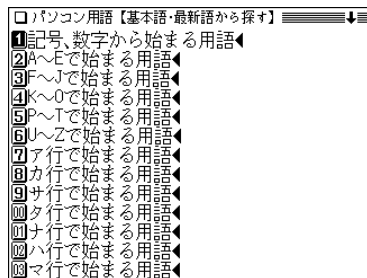
記号や数字から始まる用語、基本語、最新語など、用語の分類から探します。また、ファイル拡張子やExcel関数を調べることができます。

【例題】「ADSL」を探します。

1 **メニュー** **0** **3** **1** と押し、**2** で「基本語・最新語から探す」を選びます。

検索範囲の選択画面が表示されます。

- 他の分類から探す場合は、それぞれ数字キーで選びます。



2 目的の語の先頭文字が含まれる範囲を数字キー(ここでは **2**)で選びます。

用語が一覧表示されます。



3 **▽** **△** で目的の語を探して表示させ、数字キー(ここでは **3**)で選びます。

詳細画面になり、説明などが表示されます。

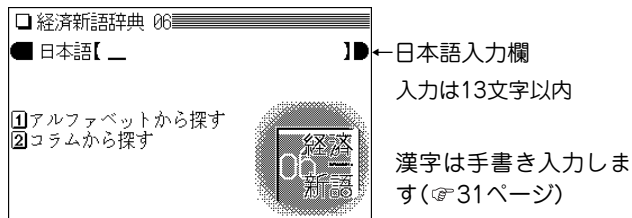
- 見出し語の前に **基本** または **最新** マークが表示されている場合は、それぞれ基本語、最新語を示します。両方のマークが表示される場合もあります。
また、見出し語の前に **Vista** または **Office** と表示されている場合は、Windows Vista または Microsoft Office に関する用語を示しています。

『経済新語辞典 06』を使う

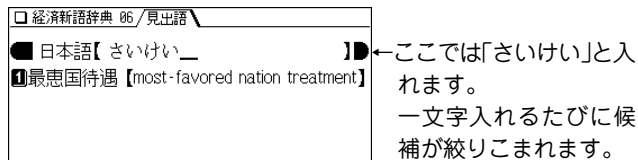
読みなどから用語を探す

【例題】「最恵国待遇」を調べます。

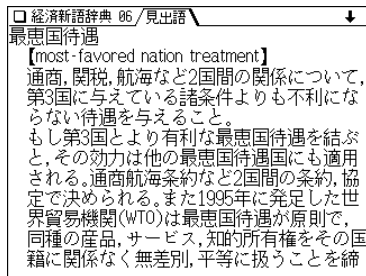
1 **メニュー** **0** **3** **2** と押します。



2 読み入力欄へ調べたい言葉を入れます。



3 用語を数字キー（ここでは **1**）で選びます。
詳細画面が表示されます。

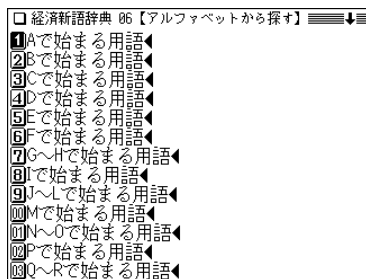


アルファベットから始まる用語を探す

【例題】「DIPファイナンス」を調べます。

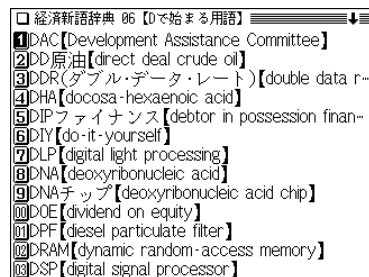
1 **メニュー** **0** **3** **2** と押し、**1** で「アルファベットから探す」を選びます。

検索範囲の選択画面が表示されます。



2 目的の語の先頭文字が含まれる範囲を数字キー(ここでは (4))で選びます。

用語がリスト(一覧)表示されます。



3 用語を数字キー(ここでは (5))で選びます。

詳細画面になり、説明などが表示されます。

コラムを見る

1 (メニュー) (0) (3) (2) と押し、(2) で「コラムから探す」を選びます。

コラムのタイトル選択画面が表示されます。

2 タイトルを数字キーで選びます。

詳細画面になり、コラムの内容が表示されます。

各種の用語辞典を使う

本製品は次の用語辞典を搭載しており、各分野の用語を調べることができます。

ここでは『経営用語辞典』で説明しますが、他の用語辞典も同様の操作で利用できます。

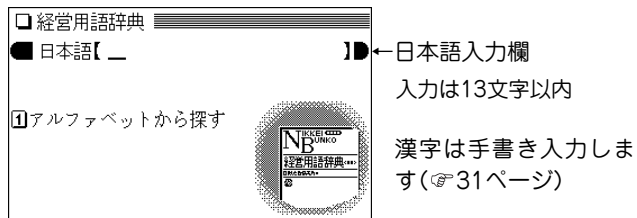
経営用語辞典	株式用語辞典	金融用語辞典
流通用語辞典	保険用語辞典	会計用語辞典
広告用語辞典		

読みや漢字で用語を探す

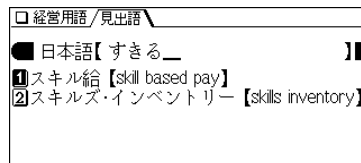
【例題】「スキル給」を調べます。

1 **メニュー** **0** **3** **3** と押します。

- 他の用語辞典を選ぶときは **メニュー** **0** **3** と押した後、**4** ~ **9** を押して選びます。

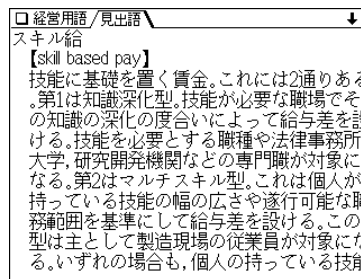


2 入力欄へ調べたい語を入れます。



←ここでは「すきる」と入れます。
一文字入れるたびに候補が絞りこまれます。

3 目的の語を数字キー(ここでは **1**)で選びます。
詳細画面が表示されます。



アルファベットから始まる用語を探す

1 **メニュー** **0** **3** **3** と押し、**1** で「アルファベットから探す」を選びます。

アルファベットから始まる用語がリスト表示されます。

2 目的の語を数字キーで選びます。

詳細画面になり、説明などが表示されます。

カードの使いかた

この電子辞書には、カードスロットが1基、設けられています。

カードスロットには、別売のコンテンツカードを取り付けることができます(本書では、**カード**と記載します)、辞書などのコンテンツを追加することができます。また、市販のSDメモリーカードにMP3形式の音声データを入れて再生することができます。

SDメモリーカード：Secure Digital memory card

カードの取り付けかた／取り外しかた

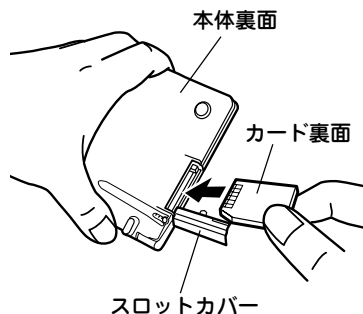
カードの取り付け、取り外しは次の手順で行ってください。

ご注意：

- カードの取り付け、取り外しは、必ず電子辞書の電源を切り、画面が消えていることを確認してから行ってください。電源を入れたまま行くと、カードに記録されているデータが消えることがあります。
- たて続けにカードの取り付け／取り外し操作を行わないでください。データが消えたり、故障したりすることがあります。

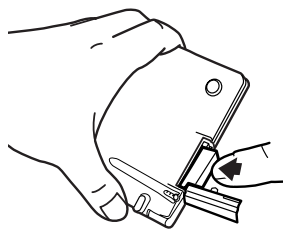
カードを取り付ける

- 1 電子辞書の電源を切ります。
- 2 カードスロットのスロットカバーを開き、図のように電子辞書の裏面とカードの裏面が同じ方向になるようにして、奥まで確実に挿入します。



ご注意：

- 裏表をまちがえないでください。まちがえると、故障したりカードが取り出せなくなったりします。
- スロットカバーを引っばらないでください。無理に引っばると取り付け部が切れ、取り付けられなくなります。



注) カードの取り付け、取り外し時に、爪でカードを弾くように指を離すと、**カードが飛び出すことがあります**ので、ゆっくり押し、ゆっくり離してください。

3 電子辞書の電源を入れます。

「カードのデータを読み込んでいます しばらくお待ちください」と表示した後、メインメニュー画面などになります。

4 **カード** を押します。

装着しているカードのメニュー画面などが表示されます(カードにより表示される内容は異なります)。それぞれの説明書等を参照してご使用ください。

別売の電子辞書専用コンテンツカードの取扱説明書に、「カード内へは、1回だけジャンプすることができます」との説明をしている場合がありますが、それらのカードを本電子辞書に装着したときは、本体と同様のジャンプ機能をご使用いただけません。

カードの使用に関するメッセージが表示された場合は

1. **カードが入っていません**

カード を押したときにこのメッセージが表示された場合はカードが装着されていません。カードを正しく装着してください。(P.112ページ)

2. **このカードは使用できません**

この電子辞書で扱えないカード、データが壊れているなどの理由で、この電子辞書で使用することができません。使用できるカードを装着してください。

電源が切れたり、カードが使えないときは

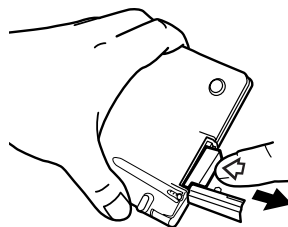
カードを取り付けて電源を入れると、**すぐに電源が切れたり、正しいコンテンツカードを取り付けていても「カードが入っていません」と表示される場合は、電子辞書の電池が消耗している場合があります。**249ページを参照して電池を交換してみてください。

カードを取り外す

1 電子辞書の電源を切ります。

2 スロットカバーを開き、カードの端を指で押し込み、ゆっくり離します。

ロックが外れ、カードが少し出てきます。



注) 爪でカードを弾くように指を離すと、カードが飛び出すことがありますので、ゆっくり押し、ゆっくり離してください。

3 カードを抜き取ります。

4 スロットカバーを元どおりかぶせます。

『MP3 プレーヤー機能』を使う

パソコンなどで、市販のSDメモリーカードにMP3形式の音声データを入れ、そのSDメモリーカードを本製品に装着して再生することができます。

語学学習などにご利用いただけます。

ご注意：

- パソコンなどからSDメモリーカードにMP3データ(ファイル)を入れる方法は、パソコンなど使用機器の説明書をご覧ください。
- 本製品へのSDメモリーカードの取り付け・取り外しは112ページを参照して行ってください。
- 本製品では、1GBを超える容量のSDメモリーカードはご使用になれません。なお、動作確認済みのSDメモリーカードは次のWebサイトでご確認ください。

<http://www.sharp.co.jp/papyrus/>

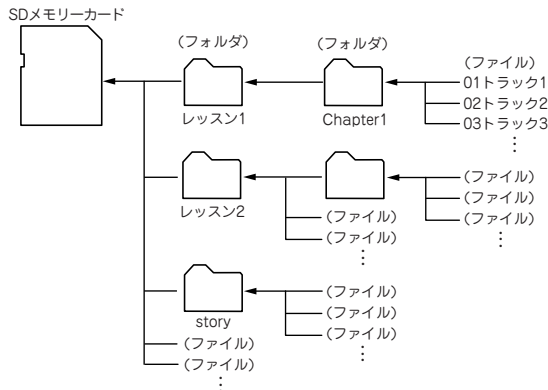
SDメモリーカードのフォーマット(初期化)について

SDメモリーカードのフォーマット(初期化)を行う場合は、この電子辞書で行ってください。パソコン等でフォーマットを行うと、カードが使えなかったり、データの読み取りに通常より多くの時間がかかったりする場合があります。

MP3 データについて

SDメモリーカードに、本製品で再生するためのMP3データを入れる場合、次の内容をお守りください。

- 1 フォルダには200件を超えてMP3データ(ファイル)を入れないでください。本製品では200件までしか表示されません。
 - 2 ファイル名の長さは、一番上のフォルダからファイルまでの、フォルダ名やファイル名の文字数を加えていった合計文字数が半角文字で拡張子を含めて127文字(漢字やかなは61文字+拡張子)以下になるようにしてください。また、数字、英字、全角ひらがな・カタカナ、漢字をお使いください。特殊な記号や文字は表示されません。
- 再生可能ビットレート：32～192Kbps



カードに入れたMP3データは、誤操作・事故・カードの紛失などにより失われることがあります。MP3データは必ずパソコンに保存しておいてください。

MP3 プレーヤー機能の使いかた

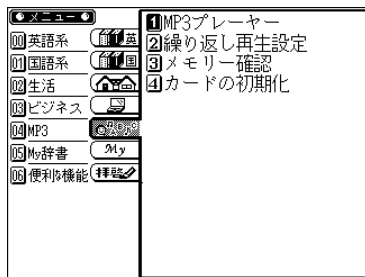
準備をする

- 1 電子辞書の電源を切り、MP3データが入ったSDメモリーカードを取り付けます。

112ページをご覧ください。取り付けてください。

- 2 **メニュー** **0** **4** と押します。

MP3のメニュー画面が表示されます。



MP3のメニュー画面

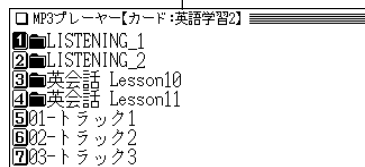
この画面から操作します。

- ◆ **カード** を押した場合、装着されているカードが使用可能な電子辞書専用コンテンツカードであれば、収録されているコンテンツの画面が表示されます。
電子辞書専用コンテンツカードでないときは、上記の画面が表示されます(扱えないカードを除く)。

MP3データを再生する

- 1 MP3のメニュー画面で **1** を押して「MP3プレーヤー」を選びます。

カード内のMP3データ(ファイル)やフォルダがリスト表示されます。

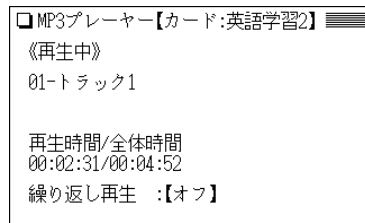


ボリュームラベル(カードにつけられた名前)

- 2 数字キーで再生したいMP3データを選びます。

MP3データの再生が開始されます。

- フォルダ内のデータを選ぶ場合は、数字キーでフォルダを選び、表示されるMP3データやフォルダのリスト表示から選んでください。



ファイル名
再生中のファイルの現在の再生位置(時間)とファイル全体の時間
繰り返し再生の設定状況 (☞ 117ページ)

- **戻る** を押すと再生を終了して、前の画面に戻ります。

再生の操作

次のキーでMP3再生時の操作をします。

- ⏮： 再生中のデータ(ファイル)の先頭へ戻って再生します。先頭から3秒以内に押すと同じフォルダ内で並びが前のデータ※1を再生します。
- ⏪： 同じフォルダ内で並びが次のデータ※2を再生します。
- ⏩： 再生中のデータを少し(約10秒分)戻って再生します。データの先頭に近く、1回分戻れないときはデータの先頭から再生します。
- ⏭： 再生中のデータを少し(約10秒分)送って再生します。データの最後を超えるときは、「繰り返し再生設定」(P.117ページ)の設定に従って、次のデータの再生や同じデータの再生を行います。
- 検索/決定**： 再生の一時停止、解除を交互に行います。

●本プレーヤーは、SDメモリーカードを一つのフォルダと見なして、フォルダと同様に扱います。

※1 フォルダ内の先頭のデータを再生しているときは、並び順で最後のデータを再生します。

※2 フォルダ内の最後のデータを再生しているときは、並び順で先頭のデータを再生します。

ご注意

- 再生中はオートパワーオフ機能が働きません。電池が消耗しますので、再生状態のままでも放置しないでください。
- 本プレーヤー機能では、音声再生速度を変更することはできません(24ページの「音声再生速度の切り替え」で再生速度を切り替えても、本プレーヤー機能の再生速度は切り替わりません)。

＝暗号化データの再生＝

下記のWebサイトで、CDのリスニング教材などを本製品で再生できるようにデータ変換をするソフトウェア「CDデータ転送ソフト」をご案内しています。

<http://www.sharp.co.jp/papyrus/>

このソフトウェアは著作権保護のため、データ(ファイル)を作成するときに、ご自身の名前を登録して暗号化します。この暗号化データは、61ページで本製品に登録した名前と一致した場合にのみ再生することができます。もし、名前の一致しない暗号化データを再生しようとする、次のようなメッセージを一時表示して再生を行いません。

このファイルに設定されている
著作権保護用の名前と、本体に
設定されている名前が異なるため
再生できません

正しく再生させるために、名前は正しく登録してください。

繰り返し再生を設定する

次の繰り返し再生を設定することができます。

オフ： 繰り返し再生を行いません。
再生を開始したフォルダ内のMP3データや暗号化データ*をリスト表示で表示された順番に、最後まで再生して終了します。

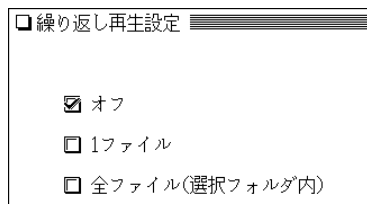
1ファイル： 再生を開始したMP3データ(ファイル)を繰り返し再生します。

全ファイル(選択フォルダ内)： 再生を開始したフォルダ内のMP3データや暗号化データ*をリスト表示で表示された順番に繰り返し再生します。

※ 順番にデータを再生しているとき、名前が一致しない暗号化データがあると、その時点で再生を終了します。

1 MP3のメニュー画面で (2) を押して「繰り返し再生設定」を選びます。

繰り返し設定画面が表示されます。



2 ▼、▲ で“✓”を設定したい項目へ移し (検索/決定) を押します。

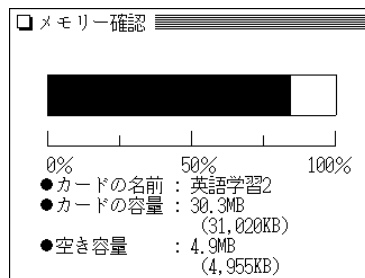
選択した繰り返し再生が設定され、MP3のメニュー画面に戻ります。

カードのメモリーを確認する

カードのメモリー使用量などを確認します。

1 MP3のメニュー画面で (3) を押して「メモリー確認」を選びます。

カードのメモリー確認画面が表示されます。



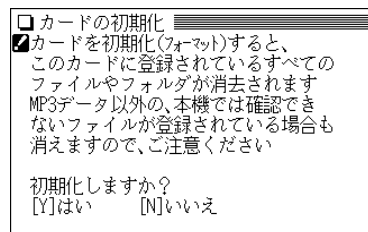
- (戻る) を押すとMP3のメニュー画面に戻ります。

カードを初期化(フォーマット)する

他で使用していたSDメモリーカードを使用したい場合や、内容をすべて消去する場合に初期化(フォーマット)します。カード内のすべての内容が消去されますので、注意してください。

1 MP3のメニュー画面で (4) を押して「カードの初期化」を選びます。

初期化の確認画面が表示されます。



2 (Y) を押します。

カードが初期化され、MP3のメニュー画面に戻ります。

- ◆ カードのLOCK(ロック)スイッチがLOCK側(書き込み禁止)になっているときは、初期化できません。
また、電池が消耗しているときは初期化できません。

『例文検索機能』を使う

※検索対象の辞書は次のとおりです。

- “読み”による検索 : レター (英文ビジネスレター事典)
和英 (グランドコンサイス和英辞典)
- “スペル”による検索 : リーダーズ (リーダーズ英和 & リーダーズ・プラス)
大辞典 (ジーニアス英和大辞典)
和英 (グランドコンサイス和英辞典)
英活 (英和活用大辞典)
ODE (OXFORD英英辞典(ODE))
OALD (OXFORD英英辞典(OALD))
類語 (Thesaurus)
レター (英文ビジネスレター事典)
とっさ (英会話とっさのひとこと辞典)

日本語の読みから例文を調べる

【例題】「うかがう(伺う)」を調べましょう。

1 **メニュー** **0** **6** **1** (または **例文検索**) と押します。

入力画面が表示されます。

□ 例文検索	
日本語【	】
spelling 1?【	】
spelling 2?【	】
spelling 3?【	】

日本語は13文字以内、
スペルは17文字以内で
入力します。

漢字は手書き入力しま
す(☞31ページ)

2 日本語入力欄に「うかがう」と入れ、**検索/決定** を押
します。

単語の候補のリストが表示されます。

□ 例文検索【うかがう】	
1 レター: うかがう【伺う】	
2 和英: うかがう【伺う】	
3 和英: うかがう【窺う】	

- 候補が一つの場合のみはリスト画面は表示されず、例文
が表示されます。

3 目的の語を数字キー(ここでは **2**) で選びます。
見出し語(うかがう)が含まれた例文が表示されます。

□ 例文検索【うかがう【伺う】】	
1 今から伺います I'm on my way over (to see you) now.	
1 ちょっと伺いますが Excuse me, but ...?	
1 その事について一つ伺いたいのですが I have a question, I'd like to ask about that.	
1 あなたの出発の日時を伺いたい What are the date and time of your departure ?	
1 御病氣と伺いましたが I was told you were ill.	
1 私はその件を彼から伺いました	

- ◆ 例文を単語帳に登録して利用することができます。
(☞52ページ)。

「…」などは省略して入れます(…したい → したい)。

英単語を1～3つまで入力し、それらの単語をすべて含んだ例文を検索します。

1 **メニュー** **0** **6** **1** と押した後、**▼** を押してスペルの入力欄へカーソルを移します。

2 「mother」を入れ、▼を押して「father」を入れます。

例文検索

日本語【 】

spelling 1?【mother】

spelling 2?【father_】

spelling 3?【 】

スペルを複数入れるときは   でカーソルを各入力欄へ移して入れます。

3 **検索/決定** を押します。
入力した語が含まれた例文が検索されます。

☐	例文	カタリ	漢語	和英	英語	ローマ字	類語	とち
	♪my father and mother (cf. my father and my aunt) ♪[father] [mother] of the chapel. ♪Experience is the mother [father] of wisdom. 《諺》経験は知恵の母〔父〕 ♪I have no mother nor father. 母も父もない ♪old enough to be sb's mother [father] 母親〔父親〕といってもいいくらい年上である							

←タブ
該当する例文があった辞書が表示されます。

リーダーズの例文表示

4  でタブを切り替え、見たい辞書を選びます。

☐ 例文	辞典	英辞典	英語	ローマ字	和語
>my father and mother >Both his mother and his father will be there. >His mother won't be there, but his father might.					
>close relatives, such as your mother and father, and brothers and sisters >Here "family" denotes mother, father and children. >a foster mother / father / family >a lone mother / parent / father >i want to buy a present for my mother and father.					

OALDの例文表示

スペル入力時の参考

英字の小文字を入れることができます。見出し語が大文字のときは小文字を入力して検索します。

「一」、「'」、「,」、「.」、「/」、スペースなどは省略して入れます。

検索・抽出される例文数

各辞書とも該当する例文があれば、約500例まで抽出されます。
抽出される例文が多い場合は、検索条件(単語)を増やして、抽出される例文を絞り込んでください。

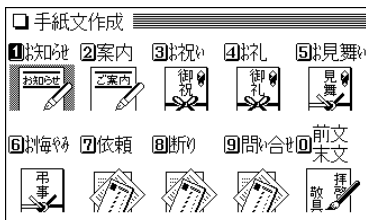
『手紙文作成』を使う

「手紙文作成」を使えば、質問に答えていだけで手紙の文例を作成することができます。実際に手紙を書くときには、作成した文例を参照しながら書くことができます。

手紙文を作成する

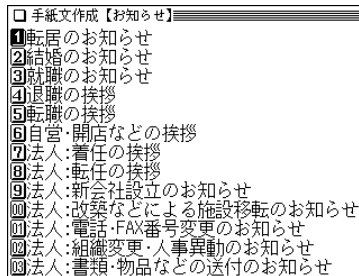
【例題】転居を知らせるはがきの文例を作ってみましょう。

- 1 **メニュー** **0** **6** **2** と押します。
文例の種類選択画面が表示されます。

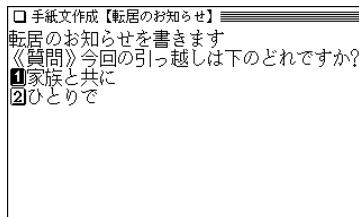


注)
画面のイラストは文例の種類を表すイメージとして使用しています。

- 2 **1** で「お知らせ」を選びます。
タイトルの選択画面が表示されます。



- 3 **1** で「転居のお知らせ」を選びます。
質問が表示されます。



- 4 数字キーで答えを選びます。

- 5 順番に表示される質問の答えを数字キーで選んでいきます。

ただし、時候の挨拶文を選ぶ場合は、画面下に表示されるメッセージにしたがって、**▽**、**△** で採用する挨拶文を表示させ、**検索/決定** を押して採用します。
最後の質問と答えの選択が終わると「作成終了しました」と表示した後、作成した文例が表示されます。

□ 手紙文作成【転居のお知らせ】

【転居のお知らせ】

拝啓 長らくご無沙汰いたしておりますが、
いかがお過ごしでしょうか。

さて、このたび私こと、転勤のため下記の
住所へ転居いたしましたのでお知らせ申し上げ
ます。

付近にお越しの際は、ぜひお立ち寄りくだ
さいますようお願いいたします。

今後ともよろしくお願いいたします。

敬具

(★日付)
(★住所/名前/電話など)

- 隠れている内容は ☐ ☐ や ☐ ☐ で画面を送って確認してください。
- 質問を表示しているときや、作成が終了した直後では、 を押すと1つ前の質問に戻ります。
- 作成終了後、 を押すと文例の種類選択画面に戻ります。
- 文章中の★マークで示された部分は、手紙を書くとき、ご自身の状況に合った内容に書き換えてください。

作成した手紙文（文例）の保存は

作成した手紙文は「しおり」として、最新のものから100件まで記憶されます。

呼び出すときは、手紙文作成の画面で を押し、表示されるリスト（一覧）画面で、見たい文例のタイトルを数字キーで選びます。（☞51ページのしおりの説明）

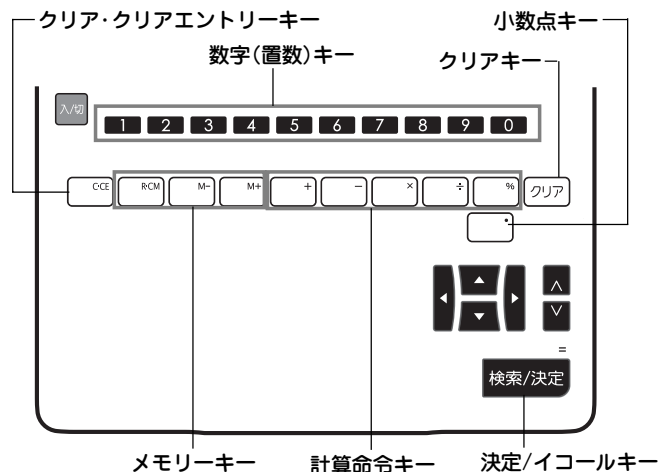
手紙文の作成を中止するときは

- 手紙文作成中に を押したときや、他の機能を選択したときは、手紙文の作成中止を確認する画面が表示されます。このとき、 を押すと手紙文の作成が中止されます。 を押すと、手紙文作成の画面に戻ります。

『便利計算機能』を使う

便利計算機能では、普通の計算の他に、通貨や単位の換算、年号や年齢の計算ができます。

【電卓で主に使用するキー】

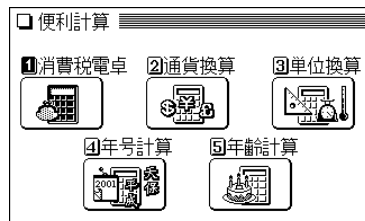


消費税電卓で計算をする

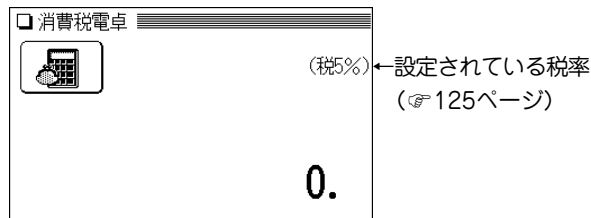
12桁までの加減乗除、税込／税抜計算、メモリー計算などができます。

一般の四則計算などは、この「消費税電卓」で行います。

- 1 **メニュー** **0** **6** **3** と押します。
便利計算の機能選択画面になります。



- 2 **1** を押して「消費税電卓」を選びます。
電卓画面が表示されます。



- 便利計算の機能選択画面に戻るときは **戻る** を押します。

計算を始める前に

- 計算を行う前に、**R・CM** **R・CM** **クリア** と押して、メモリーと表示をクリアしてから始めてください。
- 消費税計算を行うときは税率を確認し、必要なときは設定し直してください(☞125ページ)。
- 負の数が最初にくるときは、減算記号(**—**)を負数シンボル(マイナス)として計算を始めることができます。
- 入力中に数字を入れまちがえたときは **C・CE** を押して、もう一度入れ直してください。

計算の途中や結果を示すため、画面に“＝”、“M+”、“M－”、“+”、“－”、“×”、“÷”が表示されますが、以降の計算例では、これらの表示は省略しています。

“＝”は **=** または **%** を押したとき、その他の“M+”、“+”などは、それぞれのキーを押したときに表示されます。

こんなときはエラーが出ます

計算結果の整数部が13桁以上になったときや、除数が0の除算をしたときなどは、画面に「E」が表示されて、その後の計算ができなくなります。

C・CE を押してエラー状態を解除してください。

次のような概数表示では、小数点は兆の位を示します。

例：4567890123 **×** 4560 **=** ^E20.8295789608
C・CE 20.8295789608
 ↑
 兆の位

	計算例	キ ー 操 作	表示(答)
加減乗除	$(-24) \div 4 - 2 =$	クリア — 24 ÷ 4 — 2 =	- 8.
定数計算	$34 + 57 =$	34 + 57 = (加数が定数となります)	91.
	$45 + 57 =$	45 =	102.
	$68 \times 25 =$	68 × 25 = (被乗数が定数となります)	1' 700.
	$68 \times 40 =$	40 =	2' 720.
パーセント計算	200の10%は?	200 × 10 %	20.
	9は36の何%	9 ÷ 36 %	25.
割 増 割 引	200の10%増しは?	200 + 10 % (または200 × 10 % + =)	220.
	500の20%引きは?	500 — 20 % (または500 × 20 % — =)	400.
べき乗	$4^6 = (4^3)^2 =$	4 × = = × =	4' 096.
逆数計算	$1 / 8 =$	8 ÷ =	0.125
税込計算	25000円の 税込額(5%)	25000 ◀	税込 26' 250.
	税額(5%)	◀	税額 1' 250.
	税抜額が 1000円と500円の 合計額	1000 + 500 =	1' 500.
	税込額(5%)	◀	税込 1' 575.
	税額(5%)	◀	税額 75.

	計算例	キ ー 操 作	表示(答)
税抜計算	44100円の 税抜額(5%)	44100	税抜 42' 000.
	税額(5%)		税額 2' 100.
	税込額が 1050円と525円の 合計額	1050 525	1' 575.
	税抜額(5%)		税抜 1' 500.
メモリー 計 算	税額(5%)		税額 75.
	(累計)	計算の前にメモリーを消去します ↓	※
	25 × 5 =	25 5	M 125.
	→ 84 ÷ 3 =	84 3	M 28.
	+ 68 + 17 =	68 17	M 85.
	(計) =		M 182.
	(定数記憶)		
	12 + 14 =	12 14	M 26.
	135 × (12 + 14) =	135	M 3' 510.
	(12 + 14) ÷ 5 =	5	M 5.2

● キーは を押します。

※ メモリーに0以外の数値が入ると、“M”が表示されます。

、 は の働きもかねています。

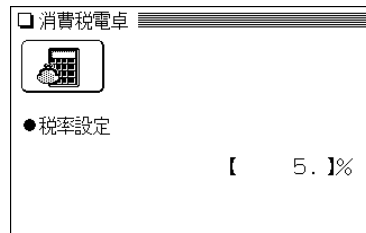
消費税率を変更する

税率の変更があったときに行います。

消費税率はあらかじめ5%に設定されています。

1 電卓画面で を押します。

消費税率を設定する画面が表示されます。



2 税率を入力します。

小数点を数えずに、4桁の範囲で設定できます。

3 を押します。

新しい消費税率が設定され、電卓画面に戻ります。

通貨換算をする

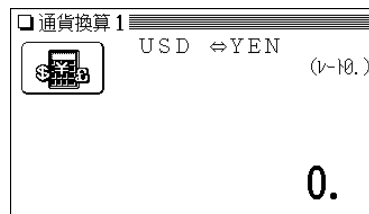
通貨のレートを設定する

「通貨換算 1」から「通貨換算 4」まで、4種類の通貨レートが設定できます。

【例題】「通貨換算1」に「1ドル=122.5円」を設定しましょう。

1 **メニュー** **0** **6** **3** **2** と押します。

通貨換算画面が表示されます。



通貨換算画面

画面は「通貨換算 1」から「通貨換算 4」の4画面あり、**▼**、**▲** で切り替えます。

2 **▼**、**▲** で、レートを設定する画面(ここでは「通貨換算1」)を選び、**△** を押します。

通貨・レート設定画面が表示されます。

3 **▼**、**▲** でカーソル(入力欄)を移動させて、通貨名と通貨レートを入力します。

●通貨名の入力

4文字以内の英大文字で通貨名を入力します。

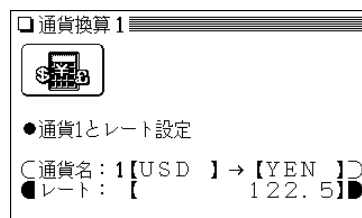
左右の入力項目は **▶**、**◀** でカーソルを移動させて選びます。

- 「通貨換算1」の通貨名の欄には、あらかじめ左側に「USD」(米ドル)、右側に「YEN」(円)が入力されています。

- 左側に基準の通貨名、右側にレートを設定する通貨名を入力します。

●通貨・レートの入力

小数点を数えずに、10桁の範囲で入力できます。



通貨・レート設定画面

- 設定内容を変更するときは、変更したい欄へカーソルを移し、**クリア** で内容を消してから新しい内容を入力してください。

4 **検索/決定** を押します。

通貨・レートが設定されます。

通貨を換算する

事前に前ページの方法で通貨・レートを設定してください。

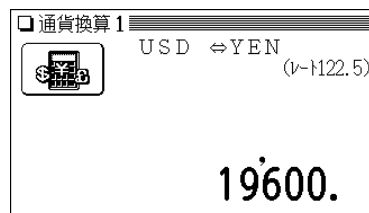
【例題】1ドル=122.5円で通貨レートを設定しているとき、19,600円が何ドルになるか、調べてみましょう。

1 **メニュー** **0** **6** **3** **2** と押します。

通貨換算の画面が表示されます。

2 **▼**、**▲** で通貨換算画面(ここでは「通貨換算 1」)を選びます。

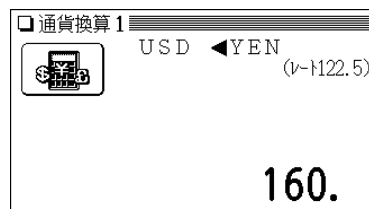
3 換算する金額(ここでは「19600」)を入力します。



入力は、例えば「2450×8=」のような計算をして入れることもできます。

4 **◀** で円(19,600円)をドルに換算します。

• **▶** で左から右の通貨へ、**◀** で右から左の通貨へ換算します。



◀または▶で換算した方向を示す

- 別の金額を換算するときは、そのまま数値を入力するか、**(C・CE)** で数値を消してから、新たに入力します。
- 便利計算の機能選択画面に戻るときは **(戻る)** を押します。

単位換算をする

単位換算機能を使うと、長さや重さ、温度の単位を簡単に換算することができます。

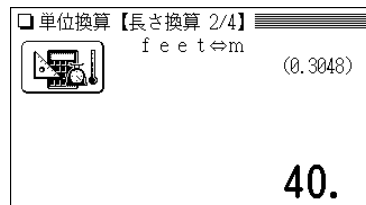
【例題】40フィートは何メートルになるか調べましょう。

1 **メニュー** **0** **6** **3** **3** と押します。

単位換算の入力画面が表示されます。

2 **▼**、**▲** で「長さ換算 2/4 feet⇄m」を選びます。

3 「40」を入力します。

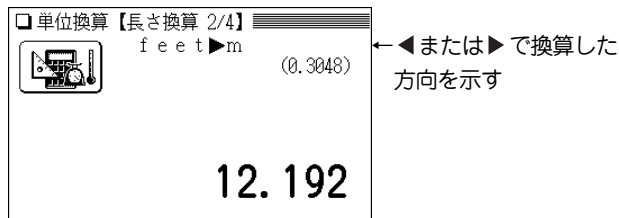


入力は、例えば「25+15=」のような計算をして入れることもできます。

4 **▶** を押します。

40フィートがメートルに換算されます。

- **◀** を押すと、表示数値をメートルとみなして、フィートに換算します。



- 別の数値を換算するときは、そのまま数値を入力するか、**C・CE** で数値を消してから、新たに入力します。
- 別の単位で換算するときは **▼**、**▲** で選びます。
- 便利計算の機能選択画面に戻るときは **戻る** を押します。

換算できる単位

この製品では、次のような単位の換算ができます。

長さ1 inch (インチ) ⇔ cm (センチメートル)

長さ2 feet (フィート) ⇔ m (メートル)

長さ3 yard (ヤード) ⇔ m (メートル)

長さ4 mile (マイル) ⇔ km (キロメートル)

重さ1 常用oz (オンス) ⇔ g (グラム)

重さ2 常用lb (ポンド) ⇔ kg (キログラム)

温度 °F (華氏) ⇔ °C (摂氏)

注：上記単位の「ポンド」は**常用ポンド**、「オンス」は**常用オンス**です。この場合、1ポンドは16オンスになります。
この他に、トロイポンド、トロイオンスなどがあります。

年号計算をする

西暦593年から2087年までの間で、西暦と和暦を換算したり、その年の干支などを調べることができます。

年号の検索には次の2つの方法があります。

西暦または和暦(平成～明治)の年数から調べる：

画面の西暦または和暦を選び、年を入力

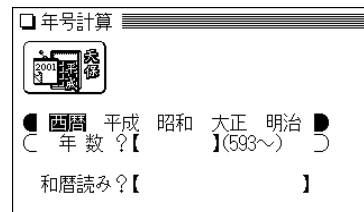
和暦から調べる：

和暦の読みを入力

【例題1】西暦1989年が和暦の何年になるか調べましょう。

1 **メニュー** **0** **6** **3** **4** と押します。

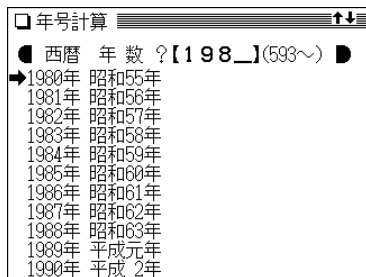
年号計算の入力画面が表示されます。



2 **▶**、**◀** を押して「西暦」を選び、**▼** を押してカーソルを年数の入力欄へ移します。

3 「198」と入力します。

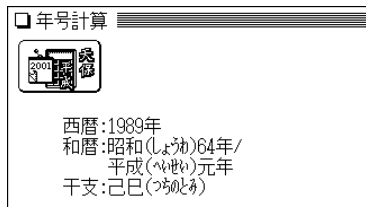
該当する年から順番にリスト(一覧)表示されます。



- 数値を入れまちがえたときは、**後退** や **機能** **削除** で数字を削除して入れ直してください。

4 **▼**、**▲** で“→”マークを目的の「1989年」へ移し(年数を「1989」と入れてもよい)、**検索/決定** を押します。

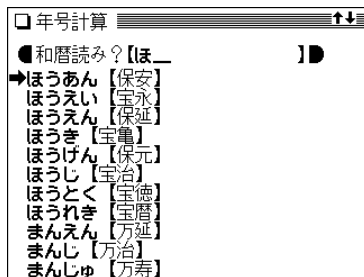
その年の詳細画面が表示されます。



- 詳細画面で **◀**、**▶** を押すと前後の年が表示されます。
- 別の年を調べるときは **クリア** を押して入力画面にします。

【例題2】 宝永2年が西暦の何年にあたるか、調べましょう。

- 1** **クリア** を押して、年号計算の入力画面にします。
- 2** **▼** を2回押して、和暦読みの入力欄へカーソルを移動します。
- 3** 和暦の読み(ここでは「ほ」)を入力します。
「ほ」から始まる和暦が50音順にリスト(一覧)表示されます。



- 4** **▼**、**▲** で“→”マークを目的の和暦「宝永」へ移して(読みを「ほうえい」と入れてもよい)、**検索/決定** を押します。

宝永元年から順番にリスト(一覧)表示されます。

- 5** **▼**、**▲** で“→”マークを目的の年「宝永2年」へ移して **検索/決定** を押します。

その年の詳細画面が表示されます。

- 「平成」の年表示は、仮に「平成」が西暦2087年まで続くものとして表示します。

年齢計算をする

年齢や誕生年(生まれた年)を計算したり、干支などを調べることができます。

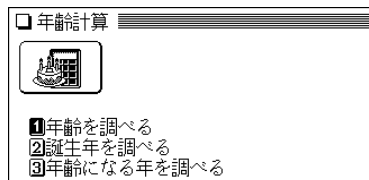
年齢を調べる

誕生年がわかっているとき、何歳になるのかを調べます。

【例題】大正15年生まれの人が、2008年で何歳になるか、調べましょう。

1 **メニュー** **0** **6** **3** **5** と押します。

年齢計算の機能選択画面が表示されます。



年齢計算の
機能選択画面

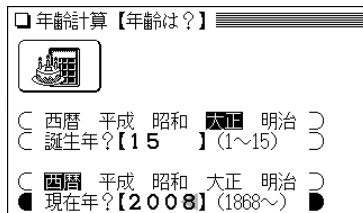
2 **1** を押して、「年齢を調べる」を選びます。

誕生年と現在年の入力画面が表示されます。

3 **▶**、**◀** で「大正」を選び、**▼** を押して生まれた年「15」を入力します。

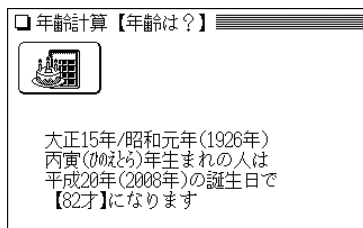
4 **▼** を押して現在年の年号欄へカーソルを移します。
• 和暦で入力するときは **▶**、**◀** で年号を選びます。

5 **▼** を押し、現在年「2008」を入力します。



- 数値を入れまちがえたときには **後退** や **機能** **削除** で数字を削除して入れ直してください。

6 **検索/決定** を押します。



- **戻る** を押すと前の画面に戻ります。
- 別の条件で年齢を調べるときは **クリア** を押して入力画面にします。

こんなときはエラーが出ます

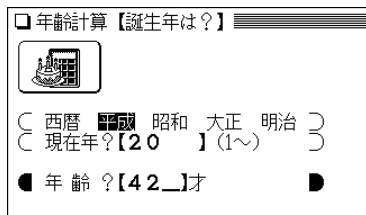
- 誕生年、現在年に、西暦にして1868年～2087年以外になる年を入力したとき
このときは、エラーを示すメッセージが一時表示されますので、入力内容を確認して、修正してください。

生まれた年(誕生年)を調べる

年齢が分かっているとき、何年生まれかを調べます。

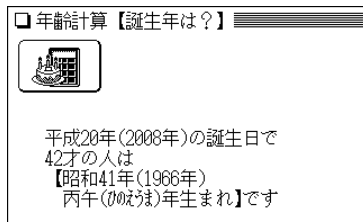
【例題】平成20年で42歳になる人が、何年生まれなのかを調べましょう。

- 1 **メニュー** **0** **6** **3** **5** と押します。
年齢計算の機能選択画面が表示されます。
- 2 **2** を押して「誕生年を調べる」を選びます。
現在年と年齢の入力画面が表示されます。
- 3 **▶**、**◀** で「平成」を選び、**▼** を押して現在年「20」を入力します。
- 4 **▼** を押して年齢の入力欄へカーソルを移し、年齢「42」を入力します。



- 誕生日後の年齢を入れてください。
- 数値を入れまちがえたときには **後退** や **機能** **削除** で数字を削除して入れ直してください。

- 5 **検索/決定** を押します。



- 手順4で誕生日前の年齢を入れたときは、計算結果から1年を引いてください。
- 別の条件で誕生年を調べるときは **クリア** を押して入力画面にします。

こんなときはエラーが出ます

- 現在年に、西暦にして1868年～2087年以外になる年を入力したとき
- 計算の結果、誕生年が西暦1868年より前の年になったとき

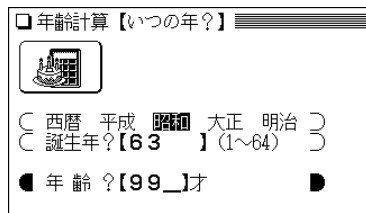
このような場合は、エラーを示すメッセージが一時表示されますので、入力内容を確認して修正してください。

ある年齢になる年を調べる

誕生年がわかっているとき、ある年齢になるのが何年なのかを調べます。

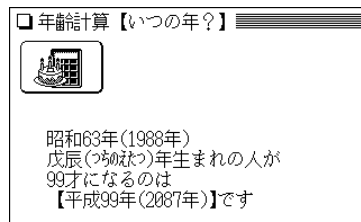
【例題】昭和63年生まれの人が99歳になるのはいつかを調べましょう。

- 1 **メニュー** **0** **6** **3** **5** と押します。
年齢計算の機能選択画面が表示されます。
- 2 **3** を押して「年齢になる年を調べる」を選びます。
誕生年と年齢の入力画面が表示されます。
- 3 **▶**、**◀** で「昭和」を選び、**▼** を押して誕生年「63」を入力します。
- 4 **▼** を押して、年齢の入力欄へカーソルを移し、年齢「99」を入力します。



- 数値を入れまちがえたときには **後退** や **機能** **削除** で数字を削除して入れ直してください。

- 5 **検索/決定** を押します。



- 和暦での年号は、仮に「平成」が続くものとして表示しています。
- 別の条件で調べるときは、**クリア** を押して入力画面にします。

こんなときはエラーが出ます

- 誕生年に、西暦にして1868年～2087年以外になる年を入力したとき
このときは、エラーを示すメッセージが一時表示されますので、入力内容を確認して、修正してください。

= ✕ 毛 =

内蔵コンテンツの凡例(はんれい)など

134

リーダーズ英和辞典 & リーダーズ・プラス

(増補版データも含む)

I 見出し語

- 1.1 a 配列は原則としてアルファベット順としたが、単につづりが異なる語・追込み見出し・同義の複合語は比較的近くに配列される場合は必ずしもこの原則によらず一か所にまとめて示したので注意されたい。また -o- や -i- の付く連結形はほとんどこれらの連結母音を付けない形のところで並記するにとどめたので、そのつもりで検索されたい。(辞書順リストでは、リーダーズ英和、リーダーズ・プラス、増補版ごとに並ぶ。)

b 数字を含む見出し語の配列は、それを数詞で書いた場合の順序とする《たとえば A1 は A one, 4-H club は four-H club》。

- 1.2 つづりが米英で異なるときは米式つづりを主とし、英式つづりを従として示した。米英のつづりの違いは縦線(|)を用い、米英の違いではないときの並記にはコンマ(,)を用いて区別した。異つづりを並記するときには、多くの場合共通する部分をハイフン(-)を用いて略記した。

例: **hon-or | hon-our** 《米では概して honor とつづり、英では概して honour とつづる》

shash-lik, -lick, shas-lik 《米英ともに 3 通りのつづりを用いる》

ep-i-logue, 《米》-log 《米英ともに epilogue のつづりが普通で、米ではさらに epilog ともつづる》

★派生語・複合語についてはいちいち英式つづりは示さず、また -ize と -ise はほとんど -ize のほうだけを示した。

- 1.3 同じつづりの語でも語源が異なるときは別見出しとし、右肩に小文字で番号を付けて区別した。
- 1.4 発音を表記しない見出し語には、本来のつづり字にはないアクセント記号を付けて、発音の強勢アクセントを示した(⇒ II 発音)。
- 1.5 a 分節の切れ目は中点(・)で示した。発音の違いによって分節が異なる語は原則として第一に示した発音によって切った。語頭・語末の 1 音節をなす 1 字は切らないほうが望ましいので示さない。
- b 複合語・派生語については各要素間の切れ目と音節の切れ目が一致するときは、各要素の切れ目にのみ中点あるいはハイフンを示し、各要素の分節は了解されているものと見なして省略した。

- 1.6 省略しうる部分は () 括弧で、言い換えできる部分は [] 括弧で示した。
- 1.7 スワングダッシュ(〜)は追込み見出し・語形変化・成句・用例中などで、本見出しと同一つづりの部分を表わすために用いた。

II 発音

- 2.1 発音は、国際音声記号を用い / / に入れて示した。音声記

号の音価については、「発音記号表」を参照。

- 2.2 リーダーズでは、母音記号の上にアクセント符 /´/ を付けて第1アクセントを示し、/˘/ を付けて第2アクセントを、/˙/ を付けて第3アクセントを示した。
また、リーダーズ・プラスでは母音記号の上にアクセント符 /´/ を付けて第1アクセントを示し、/˘/ を付けて第2アクセントを示した。

例： **add** /æd/
ars nova /á:rz nóuvə/
rep-re-sent /rèprizént/

- 2.3 a 発音の異形 (variant) はコンマ(,) で区切って並記した。その場合、共通の部分はハイフンを用いて省略した。

b 米音と英音が異なる場合は次の形式で示した。

例： **aunt** /ænt; á:nt/ (＝/米 ænt; 英 á:nt/)
 doll /dól, *dó:l/ (＝/米英共通 dól, 米には dó:l もある/)

- c 発音が同じでアクセントだけが異なる場合、各音節を短いダッシュで表わし、アクセントの位置の違いを示した。

例： **gab-ar-dine** /gæbərðì:n, ˘˘˘˘/ (＝/gabərðí:n/)
im-port v /impò:rt/ … -n /˘˘˘˘/ (＝/ímport/)

- 2.4 人・場合によって発音されない音は()内に入れて示した。

例： **at-tempt** /ətém(p)t/ (＝/ətémpt, ətém/)
ただし、/ə/ が省略された場合には、次の音が /l/, /m/, /n/ のいずれかであれば、音節主音 (syllabic) になり、

音節数は不変である。

- 2.5 強い形 (strong form) もあるが弱い形 (weak form) を常用するものは、次のように弱い形を先に示した。

例： **at**¹ /ət, æt, é:t/ **for** /fəʀ, fò:r/

- 2.6 次のような場合は、繰返しを避けて先行させた語のみに発音を示した。

例： **eth-nic** /éθnik/, **-ni-cal** (＝**ethnic** /éθnik/, **ethnical** /éθnik(ə)l/)

- 2.7 同一見出し語内における並記見出し語・変化形・異品詞・追込み見出しにおいては、通例その異なる部分のみを表記し、同じ部分は /-/ で略記した。

- 2.8 複合語のアクセントを示すために、その構成要素としての一つの単語全体の発音を長いダッシュで表わした。

例： **A-bomb** /éɪ˘˘/ (＝/éɪbám/)
ABO blood group /èɪbì:óu ˘˘˘˘/ (＝/èɪbì:óu bláð grù:p/)

- 2.9 a 外来語の発音は近似の英語音で示した。ただし、フランス語とドイツ語に由来するものについては原音を示した場合もある。その場合、F または G を付して、それぞれフランス語またはドイツ語の原音であることを示した。

例： **Ab-é-lard** /ébəlù:rd; F abela:r/ (＝/英語音 ébəlù:rd; フランス語原音 abela:r/)

Augs-burg /s:gzbà:rg, áugzbàərg; G áuksbùrk/ (＝/英語音 s:gzbà:rg, áugzbàərg; ドイツ語原音 áuksbùrk/)

b フランス語の複数形などの発音が主見出しの発音と同一の場合は /—/ で示した。

2. 10 直前の見出し語と発音・つづりおよび分節が同じ場合には、発音・アクセント表記および分節を省略した。なお、大文字と小文字の違いは、ここではつづりの違いとはみなさない。

また、直前の見出しと分節だけが異なる場合には、分節だけを示し発音表記を省略した場合がある。

2. 11 次にあげる種類の見出し語には、つづり字の上にアクセントが示してあるだけで発音表記はないが、構成要素それぞれの発音は独立見出しで与えられているから、その発音を合成し、示されたアクセント型で発音するものとする。

a 二語(以上の)見出し

例: **áction stàtion** 《action, station は独立に見出しとしてあり、発音はそれぞれ /ækʃ(ə)n/, /stèʃ(ə)n/ であるから、これを合成して示されたアクセント型を付与すれば /ækʃ(ə)n stèʃ(ə)n/ となる》

ábsentee bállot 《absentee は単独では /əbs(ə)ntí:/ であるが、全体としては /əbs(ə)nti:bélɔt/ と発音することを示す》

同じ辞典に独立見出しとして記載されていない語については、その部分だけ発音を示した。

例: **Brám-ah lòck** /brú:mə-, *brém-/

b 複合語

例: **bláck·bird**

複合語の構成要素の一部の発音が独立見出しの発音と異なるときはその要素の発音を示した。

例: **bóok·man** /-mən, -mən/ (《=/bókman, bókmən/》) 複合語の発音の一部を示すときは、その要素に第1アクセントがあれば見出し語の上にこれを示し、これ以外は示さない。

c 派生語および屈折形の中で、語幹の発音・つづり・分節に影響を及ぼさず、それ自身一定した発音をもっている接辞の付いているものの発音も省略した。また、所有格および複数の s の発音は省略した。

d 音節の増加をもたらさない文字の付加によってでき上がった語は、発音を示さず、全体の分節とアクセントだけを示した。

派生または屈折によってサイレントの e が脱落したり、y が i に変わったり、子音字が重なったりした場合には、発音を省略してアクセントのみ示したが、初出の場合にかぎって語全体の分節を示した。

e 派生または屈折によって同じ子音字が重なった場合、原則として発音は単一である。

例: **spécial-ly** (《=/spéʃ(ə)li/》)

f 連結形を含む語で、連結形の発音が一定している場合。

例: **hýdro·thérapeútícs**

★(1) 発音を省略した見出しで、構成要素の切れ目(と同時に分節点)を示す中点(・)は構成の順序とは必ずしも関係がない。

(2) 発音を表記しない見出し語に対する発音の異形を示すために /, … / ; … / などを用いた。

例：dí·amíde /, daíéməd/ (=/dáíəmàid, daíéməd/)

2. 12 発音表記を省略できる語でも紛らわしいときには註として発音を添えたものがある。

例：àr·che·týpical /-típ-/

léad time /lí:d-/ , léad·wòrk /léd-/

III 品詞

3. 1 品詞表示の略語については「略語表」を参照。
3. 2 一語で2品詞以上にわたる場合、一を用いて同一項内で品詞の分かれ目を示した。

IV 語形変化

4. 1 不規則な変化形のつづり・発音は()括弧の中で以下のように示した。ただし複合語・派生語については必ずしも示さない。
4. 2 名詞の複数形
- 例：the·sis /θí:səs/ n (pl -ses /-sì:z/)
goose /gú:s/ n (pl geese /gí:s/)
deer /díər/ n (pl ～, ～s)
pi·ano¹ /piénou, pjén-/ n (pl -án·os)
4. 3 a 不規則動詞の過去形；過去分詞；-ing 形
- 例：run /rán/ v (ran /rén/; run; rún·ning)
cut /kát/ v (～; cú·ting)

sing /sín/ v (sang /sén/, 《まれ》sung /sán/; sung)

- b 語幹の子音字を重ねる場合は次のように示した。

例：flip¹ /flíp/vt, vi (-pp-) 《-pp-=flipped; flíp·ping》

pat¹ /pæt/ v (-tt-) 《-tt-=pát·ted; pát·ting》

4. 4 形容詞・副詞の比較級；最上級

単音節語には -er; -est を付け、2音節以上の語には more; most を付けるのを通則とするので、通則に従う変化は示さない。これに反するもの、またはつづり・発音の注意すべきものは次のように示した。

例：good /gúd/ a (bet·ter/bétər/; best /bést/)

big¹ /bíg/ a (bíg·ger; bíg·gest)

V 語義と語法

5. 1 多義語・重要語については、通例 アラビア数字 1 2 3 を用いて語義の分類を示した。さらに上位区分として A B を用い、下位区分として a b c を用いた。
5. 2 訳語の前に [] 括弧を用いて文法・語法上の指示・説明を添えた。

例：[C-] [s-] 《大文字または小文字で始まることを示す》

[the ～] [a ～] 《冠詞 the, a が付く》

[^upl] 《普通は複数形で用いる》, [～s] 《見出しに s が付く》

[<sg>] [<pl>] [<sg/pl>] 《構文上の単数・複数》

[pass] [pp] [pred]

5.3 ㊦の後に続く語は参照すべき見出し語を示し、その語にジャンプできることを示す。語義(の一部)・説明語(句)・相互参照など随所に用いたので十分活用されたい。

5.4 a 用法指示ラベルには〈 〉を用いた(⇒「略語表」)。《古》《まれ》、《スコ》《豪》《方》、《詩》《口》《俗》などの用法指示は絶対的なものではなく、いずれもおおよその傾向を示すにとどまり、またその傾向の程度もまちまちで決して一様ではない。《米》《英》の表記はそれぞれ*, "の記号で示した。《・英古》《・英方》のように中点(・)を付したものはそれぞれ「《英》では《古》」「《英》では《方》」の意を表わす。

b 学術用語などの分野指示には『 』を用いた。『医』『昆』『哲』などの指示は、必ずしも専門用語であることを示すものではない。

c 制度・団体などの国籍を示すのに『 』を用いた。『米』『英』はそれぞれ《米国の》《英国の》の意である。『アイル』は《アイルランドの》の意であり、《アイル》がことばとして Irish であることを示すものと異なる。

5.5 訳語では〈 〉括弧を用いて、動詞の主語・目的語や形容詞と名詞の連結などを示した。

例: **date**¹ … — vt **1 a**〈手紙・文書〉に日付を入れる;
〈事件・美術品など〉の日時[年代]を定める; …
2 *《口》〈異性〉と会う約束をする〈up〉, …とデートする[つきあう]。

5.6 見出し語と連結する前置詞・副詞・接続詞を訳語のあとに〈in, at〉〈on〉〈that〉のように示した。

例: **acquaint** … vt 〈人〉に知らせる, …, 告げる〈with a fact, that, how〉; …

capable … a **1 a** …; 〈…に必要な〉実力[資格]のある〈for〉… **2** … **b** …, 〈…に〉耐えうる, 〈…を〉入れうる〈of〉…

5.7 同意語(synonym)は訳語のあとに()括弧で、反意語(antonym)は(opp. …)の形で、説明語句は訳語の前または後ろに()を用いて示した。

5.8 語義・訳語に用いた()括弧は()内を省略しうること示し, []括弧は先行の語(句)と置き換えうることを示す。

例: **gránd-dúcal** a 大公(妃)の; 帝政ロシアの皇子[皇女]の。(「大公の, 大公妃の; 帝政ロシアの皇子の, 帝政ロシアの皇女の」の意)

5.9 随所に★を用いて, (1)発音・つづり字・語法・文法・慣用その他についての補足的な注意・説明・参考事項などを示し, (2)類語を一か所に列記して各語間の関連を明確にした。

VI 用例と成句

6.1 なるべく多くの語義を収載する方針を採ったために、全体に用例を相当割愛した。用例および成句中での()括弧, []括弧の用法は、見出し語(⇒ 1. 6)および語義・訳語(⇒ 5. 8)の場合と同じである。

a 用例は〈例〉で示し、別画面で表示するようにした。

b 用例は必ずしも全訳せず必要箇所のみを訳出し、また意味が自明であるときはまったく訳を示さないこともある。

6.2 a 用例および成句中に用いた one, one's, oneself は、その位置に文の主語と同一の人または物を表わす名詞または代名詞がはいることを示す。

例: **mas-ter**¹ (の成句) … **make oneself master of** … …に熟達する、…を自由に使いこなす。

b 用例および成句中に用いた sb または sth は、その位置に文の主語と異なる人または物を表わす名詞または代名詞がはいることを示す。

例: **bag**¹ (の成句) … **give [leave] sb the bag to hold** 人を窮境に見捨てる。《たとえば Jack gave her the bag to hold. となる》

VII 語源

7.1 語源は各語の記述の最後に [] 括弧に囲んで示した。記述は、現在の語義・語形の理解に役立つことを主眼とし、必要に応じてセミコロン (;) のあとに説明を加えた。

7.2 [<] は derivation を示す。語源欄最初の(言)語は直接のもとを示すが、最後は最終語源とは限らない。借入経路を省略した場合はコンマを入れて […, < …] で示す。

例: **turban** [MF, < Turk < Pers; cf. tulip]

7.3 直前・直後の語またはその語源欄の参照はそれぞれ (↑) (↓) で示す。

7.4 [?] は語源が不確実または不明の語に付し、必要に応じて初出世紀・関連語などを示す。また、借入源を特定言語に確定できない場合、地域名を () 内に示す。

例: **tag**² (の成句) [C18<?]

VIII 諸記号の用法

8.1 諸種の括弧

a ()

- (1) 括弧内が省略されうること示す (⇒ 1. 6, 2. 4, 5. 8, 6. 1)。
- (2) 見出し語の語形変化を示す (⇒ IV)。
- (3) 同意語・反意語・参照語(句)を示す (⇒ 5. 7)。
- (4) 人の生没年・歴史年代や、漢字のふりがな・仮名の送り漢字などを示す。

b []

- (1) 語(句)の入れ換えを示す (⇒ 1. 6, 5. 8, 6. 1)。
- (2) 語法などの指示を示す (⇒ 5. 2)。

c [] 全記述の末尾において語源を示す (⇒ VII)。語義・句義の末尾において意味の由来を示す。略語中において言語名や外国語のつづりを示す。

d 《 》

- (1) 語義・訳文などの前後に置いて限定的・補足的説明を示す (⇒ 5. 7)。
- (2) 関連語、特に関連形容詞を示す。

e / 発音を示す (⇒ II)。

f < > の用法については 5. 5, 5. 6 を参照。

g 〈 〉の用法については 5. 4 を参照.

h []の用法については 5. 4 を参照.

8. 2 a ハイフンは次のように用いた.

(1) 見出し語

複合語

dóuble-lóck vt …

接頭辞・接尾辞・連結形

ad- // -ics // Russo- // -phobia

一部省略

biò-chémical, -chémic a

生化学の, 生化学的な.

— n [-cal] 生化学製品[薬

品]. **派** **-ical-ly** adv

(2) 見出し語以外

つづり本来のハイフン

fa-mous /féiməs/ a 1 有名

な, 名高い(well-known) …

発音表記の一部省略

ole-ic /oulí:ik, -léi-, óuli-/

a 油の; 『化』 オレイン酸

の.

b (1) ^u, ^o, ^s はそれぞれ usually (通例), often (しばしば), sometimes (時に) を記号化したもので, 次のように用いた.

例: [^up1] 《通例複数で用いる》

[^oP-] 《しばしば P で始まる》

[^u~s, <sg>] 《通例 -s 付きの形で構文上は単数扱い》

なお, 発音表記に用いるときも同じ.

(2) *, " はそれぞれ《米》, 《英》の意.

(3) +(プラス)は派生語などの語義記述の前において, 「記述するまでもない派生的な意味に加えて」の意.

c その他

~ 見出し語と同一のつづりを表わす(⇒ 1. 7).

⇒ 参照すべき項目を示す.

★ 注意事項・一括列記(⇒ 5. 9)

☆ 地名の説明中で, 都市名の前に付けて首都・州都・中心都市を示す.

… 語義・用例・訳文中において, …の所にいろいろな語が該当することを示す. 「instead of…の代わりに」のように英語・日本語の共通部分にはこれを繰り返さない.

。 略語・記号の見出しで, そのもととなった2語以上から成る語句の前に付けて, それが見出しにあることを示す.

例: **BA**『野』^o ➡batting average; 《batting average の見出しがある》.

* 語源の記述で, 例証されないが同族語の対応などから理論的に再建された語形であることを示す.

例: **la-dy** (の成句) …[OE hlæfdige loaf kneader (hlāf bread, *dig- to knead; cf. dough); cf. lord]

略語表

品詞表示

a	adjective	neg	negative
adv	adverb	obj	objective
attrib	attributive	p	past
comb form	combining form	pass	passive
compd	compound	pl	plural
conj	conjunction	poss	possessive
derog	derogatory	pp	past participle
dial	dialect	pred	predicative
dim	diminutive	pref	prefix
euph	euphemism	prep	preposition
fem	feminine	pres p	present participle
fig	figurative	pron	pronoun
freq	frequentative	rflx	reflexive
imit	imitative	sb	somebody
impv	imperative	sg	singular
int	interjection	sth	something
inter	interrogative	suf	suffix
iron	ironical	v auxil	auxiliary verb
joc	jocular	vi	intransitive verb
masc	masculine	voc	vocative
n	noun	vt	transitive verb

用法指示

《詩》	poetical	《米》, *	Americanism
《古》	archaic	《英》, "	Briticism
《廃》	obsolete	《スコ》	Scottish
《口》	colloquial,	《北イング》	North England
	informal	《アイル》	Irish
《文》	literary	《ウェールズ》	Welsh
《俗》	slang	《ニューイング》	New England
《学俗》	school slang	《豪》	Australian
《海俗》	sailors' slang	《ニュ》	New Zealand
《韻俗》	rhyming slang	《インド》	Anglo-Indian
《卑》	vulgar, taboo	《カナダ》	Canadian
《まれ》	rare	《南ア》	South Africa
《幼児》	nursery	《カリブ》	Carib
《方》	dialectal		

分野指示

《医》	医学	《化》	化学
《遺》	遺伝学	《海》	海語, 航海
《印》	印刷	《解》	解剖学
《韻》	韻律学	《画》	絵画
《宇》	宇宙	《楽》	音楽
《映》	映画	《カト》	カトリック
《泳》	水泳	《眼》	眼科(学)
《園》	園芸	《気》	気象(学)
《音》	音声学	《機》	機械

〔旧約〕	旧約聖書	〔修〕	修辞学
〔キ教〕	キリスト教	〔商〕	商業
〔ギ神〕	ギリシア神話	〔晶〕	結晶
〔ギ正教〕	ギリシア正教	〔城〕	築城
〔魚〕	魚類(学)	〔植〕	植物(学)
〔空〕	航空	〔心〕	心理学
〔軍〕	軍事	〔人〕	人類学
〔経〕	経済(学)	〔新約〕	新約聖書
〔劇〕	演劇	〔数〕	数学
〔建〕	建築(学)	〔スポ〕	スポーツ
〔言〕	言語(学)	〔生〕	生物(学)
〔工〕	工学	〔政〕	政治(学)
〔光〕	光学	〔聖〕	聖書
〔鉱〕	鉱物(学), 鉱山	〔生化〕	生化学
〔古ギ〕	古代ギリシア	〔生保〕	生命保険
〔古史〕	古代史	〔染〕	染色, 染料
〔古生〕	古生物	〔測〕	測量
〔古ロ〕	古代ローマ	〔地〕	地質学
〔昆〕	昆虫(学)	〔畜〕	畜産
〔財〕	財政(学)	〔地物〕	地球物理学
〔史〕	歴史(学)	〔彫〕	彫刻
〔歯〕	歯科(学)	〔鳥〕	鳥類(学)
〔紙〕	製紙	〔哲〕	哲学
〔写〕	写真	〔電〕	電気
〔社〕	社会学	〔電算〕	電算機
〔狩〕	狩猟	〔天〕	天文学
〔宗〕	宗教	〔統〕	統計学

〔動〕	動物(学)	〔紡〕	紡績
〔図書〕	図書館(学)	〔簿〕	簿記
〔日〕	日本	〔紋〕	紋章(学)
〔農〕	農業, 農学	〔野〕	野球
〔馬〕	馬術	〔冶〕	冶金
〔バスケ〕	バスケットボール	〔薬〕	薬学
〔バド〕	バドミントン	〔郵〕	郵便, 郵趣
〔美〕	美術	〔窯〕	窯業
〔フェン〕	フェンシング	〔理〕	物理学
〔服〕	服飾	〔力〕	力学
〔フット〕	フットボール	〔林〕	林業
〔プロ〕	プロテスタント	〔倫〕	倫理学
〔保〕	保険	〔レス〕	レスリング
〔ボウル〕	ボウリング	〔労〕	労働
〔ボク〕	ボクシング	〔ロ神〕	ローマ神話
〔法〕	法学, 法律(学)	〔論〕	論理学
〔砲〕	砲術		

言語名の略形

AF	Anglo-French	AmSp	American Spanish
(Afr)	Africa	AN	Anglo-Norman
Afrik	Afrikaans	Arab	Arabic
Akkad	Akkadian	Aram	Aramaic
AL	Anglo-Latin	Assyr	Assyrian
Alb	Albanian	(Austral)	Australia
Amh	Amharic	Bulg	Bulgarian
AmInd	American Indian	CanF	Canadian French

Cat	Catalan	Jpn, Jap	Japanese	Rum.	Rumanian	Slav	Slavonic
Celt	Celtic	L	Latin	Russ	Russian	Sp	Spanish
Chin	Chinese	LaF	Louisiana French	Sc	Scottish	Swed	Swedish
Copt	Coptic	Latv	Latvian	Scand	Scandinavian	Syr	Syriac
Corn	Cornish	LG	Low German	Sem	Semitic	Turk	Turkish
Dan	Danish	Lith	Lithuanian	Serb	Serbian	(WInd)	West Indies
Du	Dutch	M...	Middle / Medieval	Serbo-Croat	Serbo-Croatian	Yid	Yiddish
E	English	MDu	Middle Dutch	Skt	Sanskrit		
Egypt	Egyptian	ME	Middle English				
F	French	MexSp	Mexican Spanish				
Finn	Finnish	MHG	Middle High German				
Flem	Flemish	MLG	Middle Low German				
Frank	Frankish	ModGk	Modern Greek				
Fris	Frisian	ModHeb	Modern Hebrew				
G	German	NL	Neo-Latin				
Gael	Gaelic	Norw	Norwegian				
Gk	Greek	O...	Old				
Gmc	Germanic	ODu	Old Dutch				
Goth	Gothic	OE	Old English				
Haw	Hawaiian	OF	Old French				
Heb	Hebrew	OHG	Old High German				
Hind	Hindustani	ON	Old Norse				
Hung	Hungarian	OS	Old Saxon				
Icel	Icelandic	Pers	Persian				
IE	Indo-European	Pol	Polish				
Ir	Irish	Port	Portuguese				
It	Italian	Prov	Provençal				
Jav	Javanese	Rom.	Romanic				

Shakespeare 作品の略形

All's W	<i>All's Well That Ends Well</i>	Hen VIII	<i>Henry VIII</i>
Antony	<i>Antony and Cleopatra</i>	John	<i>King John</i>
As Y L	<i>As You Like It</i>	Kinsmen	<i>The Two Noble Kinsmen</i>
Caesar	<i>Julius Caesar</i>	Lear	<i>King Lear</i>
Corio	<i>Coriolanus</i>	Love's L L	<i>Love's Labour's Lost</i>
Cymb	<i>Cymbeline</i>	Lucrece	<i>The Rape of Lucrece</i>
Errors	<i>The Comedy of Errors</i>	Macbeth	<i>Macbeth</i>
Hamlet	<i>Hamlet</i>	Measure	<i>Measure for Measure</i>
1 Hen IV	<i>1 Henry IV</i>	Merch V	<i>The Merchant of Venice</i>
2 Hen IV	<i>2 Henry IV</i>	Merry W	<i>The Merry Wives of Windsor</i>
Hen V	<i>Henry V</i>	Mids N D	<i>A Midsummer Night's Dream</i>
1 Hen VI	<i>1 Henry VI</i>		
2 Hen VI	<i>2 Henry VI</i>		
3 Hen VI	<i>3 Henry VI</i>		

Much Ado *Much Ado about
Nothing*
Othello *Othello*
Pericles *Pericles*
Rich II *Richard II*
Rich III *Richard III*
Romeo *Romeo and Juliet*
Shrew *The Taming of the
Shrew*
Sonnets *Sonnets*

Tempest *The Tempest*
Timon *Timon of Athens*
Titus *Titus Andronicus*
Troilus *Troilus and Cressida*
Twel N *Twelfth Night*
Two Gent *The Two Gentlemen
of Verona*
Venus *Venus and Adonis*
Winter's *The Winter's Tale*

Ezra *Ezra*
Gal *The Epistle of Paul the Apostle to the Galatians*
Gen *The First Book of Moses, called Genesis*
Hab *Habakkuk*
Hag *Haggai*
Heb *The Epistle of Paul the Apostle to the Hebrews*
Hos *Hosea*
Isa *The Book of the Prophet Isaiah*
James *The General Epistle of James*
Jer *The Book of the Prophet Jeremiah*
Job *The Book of Job*
Joel *Joel*
John *The Gospel according to St. John*
1 John *The First Epistle General of John*
2 John *The Second Epistle of John*
3 John *The Third Epistle of John*
Jonah *Jonah*
Josh *The Book of Joshua*
Jude *The General Epistle of Jude*
Judges *The Book of Judges*
1 Kings *The First Book of the Kings*
2 Kings *The Second Book of the Kings*
Lam *The Lamentations of Jeremiah*
Lev *The Third Book of Moses, called Leviticus*
Luke *The Gospel according to St. Luke*
Mal *Malachi*
Mark *The Gospel according to St. Mark*
Matt *The Gospel according to St. Matthew*
Mic *Micah*
Nah *Nahum*

英訳聖書 (AV) 書名の略形

Acts *The Acts of the Apostles*
Amos *Amos*
1 Chron *The First Book of the Chronicles*
2 Chron *The Second Book of the Chronicles*
Col *The Epistle of Paul the Apostle to the Colossians*
1 Cor *The First Epistle of Paul the Apostle to the
Corinthians*
2 Cor *The Second Epistle of Paul the Apostle to the
Corinthians*
Dan *The Book of Daniel*
Deut *The Fifth Book of Moses, called Deuteronomy*
Eccles *Ecclesiastes, or the Preacher*
Ephes *The Epistle of Paul the Apostle to the Ephesians*
Esth *The Book of Esther*
Exod *The Second Book of Moses, called Exodus*
Ezek *The Book of the Prophet Ezekiel*

Neh	<i>The Book of Nehemiah</i>
Num	<i>The Fourth Book of Moses, called Numbers</i>
Obad	<i>Obadiah</i>
1 Pet	<i>The First Epistle General of Peter</i>
2 Pet	<i>The Second Epistle General of Peter</i>
Philem	<i>The Epistle of Paul to Philemon</i>
Philip	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Philippians</i>
Prov	<i>The Proverbs</i>
Ps	<i>The Book of Psalms</i>
Rev	<i>The Revelation of St. John the Divine</i>
Rom	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Romans</i>
Ruth	<i>The Book of Ruth</i>
1 Sam	<i>The First Book of Samuel</i>
2 Sam	<i>The Second Book of Samuel</i>
Song of Sol	<i>The Song of Solomon</i>
1 Thess	<i>The First Epistle of Paul the Apostle to the Thessalonians</i>
2 Thess	<i>The Second Epistle of Paul the Apostle to the Thessalonians</i>
1 Tim	<i>The First Epistle of Paul the Apostle to Timothy</i>
2 Tim	<i>The Second Epistle of Paul the Apostle to Timothy</i>
Titus	<i>The Epistle of Paul to Titus</i>
Zech	<i>Zechariah</i>
Zeph	<i>Zephaniah</i>

外典 (Apocrypha)

Baruch	<i>Baruch</i>
Bel and Dragon	<i>The History of the Destruction of Bel and the Dragon</i>

Ecclus	<i>The Wisdom of Jesus the Son of Sirach, or Ecclesiasticus</i>
1 Esd	<i>I Esdras</i>
2 Esd	<i>II Esdras</i>
Judith	<i>Judith</i>
1 Macc	<i>The First Book of the Maccabees</i>
2 Macc	<i>The Second Book of the Maccabees</i>
Pr of Man	<i>The Prayer of Manasses</i>
Rest of Esther	<i>The Rest of the Chapters of the Book of Esther</i>
Song of Three Children	<i>The Song of the Three Holy Children</i>
Susanna	<i>The History of Susanna</i>
Tobit	<i>Tobit</i>
Wisd of Sol	<i>The Wisdom of Solomon</i>

発音記号表

/記号/	例 語	/記号/	例 語
/aɪ/	ice, mine, sky	/ð/	this, other, bathe
/aʊ/	out, bound, cow	/ɛ/	end, bell
/ɑ; ɔ/	ox, cotton	/eɪ/	aim, name, may
/ɑ:/	alms, father, ah	/ɛər, *ær/	air, care, heir, prayer, there
/ɑ:r/	art, card, star	/ə/	ability, silent, lemon, upon, banana
/æ/	attic, hat		
/æ; a:/	ask, branch		
/b/	bed, rubber, cab	/ər/	butter, actor
/d/	desk, rudder, good	/ɜ:r/	earn, bird, stir
/dʒ/	gem, adjective, judge	/ə:, ʌ/	courage, hurry, nourish

/記号/	例 語
/f/	fox, offer, if
/g/	gum, beggar, big
/h/	house, behind
/ɪ/	ink, sit, city
/i/	easy, curious
/i:/	eat, seat, see
/ɪər/	ear, beard, hear
/j/	yes
/k/	call, lucky, desk
/l/	leg, melon, call
/m/	man, summer, aim
/n/	note, dinner, moon
/ŋ/	ink, sing
/ou; əu/	open, most, show
/ɔ(:), ɑ/	dog, orange, soft
/ɔ:/	all, fall, saw
/ɔ:r/	order, cord, more
/ɔɪ/	oil, coin, boy
/p/	pay, upper, cup

/記号/	例 語
/r/	rain, sorry
/s/	cent, fussy, kiss
/ʃ/	ship, station, fish
/t/	top, better, tent
/tʃ/	chair, pitcher, match
/θ/	think, pithy, both
/ʊ/	good
/u/	mutual, sensuous
/u:/	ooze, food, too
/ʊər/	poor, tour
/v/	vine, cover, love
/ʌ/	up, blood
/w/	way
/z/	zoo, busy, lose
/ʒ/	measure, rouge
/˘/	第1アクセント
/˙/	第2アクセント
/˘˙/	第3アクセント

※リーダーズ・プラスでは、以下の音にリーダーズとは異なる表記を使っている。

/記号/	例 語	/記号/	例 語
/ai/	ice, mine, sky	/ou ; əu/	open, most, show
/au/	out, bound, cow	/ɔ(:), ɑ/	dog, orange, soft
/æ(:) ; ɑ:/	ask, branch	/ɔɪ/	oil, coin, boy
/e/	end, bell	/u/	good
/ei/	aim, name, may	/uə(r)/	poor, tour
/eə(r), æə(r)/	air, care, heir, prayer, there	/y/	Bürger, Lunéville (唇をまるめて /i/ を発音する)
/ə:r, ʌ ; ʌ/	courage, hurry, nourish		
/i/	ink, sit, city	/˘/	第1アクセント
/iə(r)/	ear, beard, hear	/˙/	第2アクセント

- ★ (1) 丸括弧： 略しうる音： /stéɪf(ə)n/ = /stéɪfən, stéɪfn/
- (2) /˙/ : 次の子音が音節主音であることを表わす： /kánt˙nənt/ = /kántnənt/.
- (3) /æ; ɑ:/ などのセミコロン(;)の左は米音，右は英音を表わす： ask /æsk/; ɑ:sk/ は米音 /æsk/, 英音 /ɑ:sk/ の意。
- (4) /(:)/ は一般に長母音と短母音の両方の発音があることを表わすが，/ɔ(:)/は，米音 /ɔ:/, 英音 /ɔ/ の意。
- (5) /ɑ:r/ /ɛər, *æ:r/ /ə:r/ /ər/ /ɪər/ /ɔ:r/ /ʊər/ の /r/ は，英音では切れ目なしに母音が続く場合に

のみ発音される /r/ を表わす。すなわち子音の前と語末であとに母音がすぐ続かないときは発音されない。米音では先行する /ə/ に影響を与えてそれとともに /ɝ/ と表わされる「r 音色のついた母音 (r-colored vowel)」になる。また米音では、/aɪr/ は /aɪ/, /ɔɪr/ は /ɔɪ/ と発音される。/ə/ は英音でのみ発音され、米音では発音されない /ə/ を表わす。

(6) /, *.../ /, ".../ の…はそれぞれ「米音[英音]としては…の発音もある」の意 (⇒ 2. 3b).

(7)「発音表記のない本見出し語の発音」については 2. 10, 2. 11 参照。

非英語音およびその他の記号

- /ʏ/ Bürger, Lunéville (唇をまるめて /ɪ/ を発音する)
- /y/ Psychologie (唇をまるめて /i/ を発音する)
- /ø/ feu², Neuchâtel (唇をまるめて /e/ を発音する)
- /œ/ jeunesse, œuf (唇をまるめて /ɛ/ を発音する)
- /ã/ pensée, sans (鼻音化した /a/)
- /ẽ/ Maintenon, vin rosé (鼻音化した /ɛ/)
- /ɔ̃/ bonsoir, garçon (鼻音化した /ɔ/)
- /œ̃/ chacun à son goût (鼻音化した /œ/)
- /ç/ Brecht, nicht wahr (中舌面を硬口蓋に近づけて出す無声摩擦音)
- /x/ Bach, loch (後舌面を硬口蓋に近づけて出す無声摩擦音)
- /ɥ/ ennui, nuit blanche (/y/ に対応する半母音)
- /ɲ/ Bourgogne, Montaigne (口蓋化した /n/)
- /ʉ/ ugh (唇をまるめない /u/; 日本語の「ウ」)
- /ɸ/ phew (両唇をせばめて出す無声摩擦音; 日本語の「フ」の子音)
- /ʔ/ uh-oh /ʔʌʔðu/ (声門閉鎖音; 日本語の「アッ」(驚きの声)の「ッ」の音)
- /◌̥/ hem /m̥m/ (無声化した /m/)

1. 見出し語

A. 見出し語の並べ方

- ① アルファベット順に並べてある。
- ② 同じつづりで語源の異なる語は別見出しとし、右肩に番号をつけた。

bill¹ bill² Bill

B. 重要語の表示

(アメリカ英語のコンピュータコーパスでの頻度調査結果を主な資料として、次のような記号をつけて重要度ランクを示した。)

‡	A ランク	約3500語
*	B ランク	約5400語
無印	C ランク	その他の語

C. いろいろなつづりがある場合

- ① 米国式と英国式のつづりがあるときは、米国式を優先し、英国式つづりは参照見出しとした。

‡ col·or, 《英》-our ... 名

- ② () は省略可能な部分、- は最初のつづりとの共通部分を示す。

- ③ (-) はハイフンつきまたはハイフンなしの1語となることを示す。

D. 分節

- ① 音節の切れ目は、・ (小さい中点) で表示した。
- ② 複数の発音を示した語では、最初に掲げた発音による切り方を示した。米音と英音が異なる場合は、米音による切り方を示した。
1語化した複合語(非分離複合語)では、構成要素の間だけを・で表示し、他の分節の表示は省略した。

E. 分離複合語(2語見出し)

2語以上からなる見出し語(以下「分離複合語」という)は、最初の語の複合語として、アルファベット順に掲げた。

F. 派生語の扱い

～は見出し語まるごとの代用である。

2. 発音

- ① 発音記号は/ /に入れて示した。省略可能な音は()に入れて示した。
第1強勢(ストレス)には ´, 第2強勢には ` を付けた。
- ② 発音の一部を省略するときは、省略部分をハイフン(-)で示した。

③ 品詞によって発音が違うときは、見出し語の直後に一括して掲げた。

④ 米国式と英国式の発音が異なるときは、米音・英音の順で示し、間に|を入れた。ただし、米音と英音が規則的に対応する場合には原則として米音のみを示し、以下の読み替えを行なう。

/ɑ/	→米 /ɑ/	英 /ɔ/
/ɔ(:)/	→米 /ɔ:/	英 /ɔ/
/n(j)u:/	→米 /nu:-/	英 /nju:-/
/ɒ/	→米 /ɒ/	英 /ə/
/ɔ:/	→米 /ɔ:/	英 /ə:/
/ou/	→米 /ou/	英 /əu/
/ɪɒ/	→米 /ɪɒ/	英 /ɪə/
/eɒ/	→米 /eɒ/	英 /eə/
/ʊɒ/	→米 /ʊɒ/	英 /ʊə/
/ɪɔɪ/	→米 /ɪɔɪ/	英 /ɪəɪ/
/eɔɪ/	→米 /eɔɪ/	英 /eəɪ/
/ʊɔɪ/	→米 /ʊɔɪ/	英 /ʊəɪ/
/hw/	→米 /hw/	英 /w/

〔米+〕は「米国ではこの発音もある」の意。

〔英+〕は「英国ではこの発音もある」の意。

⑤ 外国語の場合、英語化した発音があればそれを示した。英語化した発音がない場合は、その外国語で用いられる一般的な発音を示した。

◇ 外国語音を示す場合の言語名は次のような略記を用いた。

Dut.	Dutch	Pol.	Polish
Fr.	French	Port.	Portuguese
Ger.	German	Rus.	Russian
Hung.	Hungarian	Sp.	Spanish
It.	Italian	Swed.	Swedish

⑥ /l/, /m/, /n/, 《英》/r/は、母音なしに子音だけで1つの音節をなす「音節主音的子音(syllabic consonant)」になることがある。そのうち、一般的なものについては/ɫ/ /m/ /n/ /r/で示した。

lo-cal /lóukɫ/

rhythm /ríðm/

cot-ton /kátɒ/

win-er-y /《英》wáɪnɹi/

⑦ 接頭 接尾 連結形 の発音は代表的な発音だけを示した。

3. 語源・由来

① A, Bランクの語を中心に、語源を発音表記の直後に〔 〕に入れて示した。

② 外来語(完全に英語化しているものも含む)は、その由来する言語名を〔フランス〕〔スペイン〕などとして示した。

4. 品詞

品詞は次のように示した。

名	名詞	代	代名詞
動	動詞	自	自動詞
		他	他動詞
助	助動詞	前	前置詞
形	形容詞	副	副詞
間	間投詞	接	接続詞
接頭	接頭辞	接尾	接尾辞
連結形		記号	
略	略語		

5. 語形変化

A. 語形変化の表示の原則

- ① 名詞、動詞、形容詞、副詞の語形変化は、不規則変化と注意を要するもの(子音を重ねる場合など)を、品詞表示のすぐ後に()に入れて示した。
- ② ～は見出し語まるごとの代用、－は見出し語の一部(音節の切れ目から前)の代用である。/～/は(語形変化した場合でも)発音が見出し語と同じであることを示す。

B. 名詞の複数形

(複)と表示した。

C. 動詞の語形変化

動詞の語形変化は

(過去形、過去分詞形；現在分詞形)

のように示した。

- 過去形と過去分詞形が同じ場合は1回だけ表示した。
- 2つ以上の形があるときはorで示した。

D. 形容詞・副詞の比較変化

- ① 1音節の語では -er 型、2音節以上の語では more 型が原則なので、これから外れるもののみを表示した。
 - ・ (しばしば -er 型)とあるのは、
[2音節以上の語で、more 型が多いが、-er型も用いる]
 - ・ (通例 more 型)とあるのは、
[1音節の語で、通例 more 型で用い、時に -er型でも用いる]
 - -yをiに変えて -erをつけるものも単に(-er型)と表示した。
 - -er, -estをつけるとき語尾の子音を重ねるものは(-tt-)
(《英》 -ll-) などと示した。
- ② A, Bランクの語を中心に、形容詞・副詞で通例比較変化しない語・語義には(φ比較)と表示した。

6. 語義・文型表示・語法・いろいろな注記

A. 語義の区分・順序

- ① 語義は**1, 2, 3** ...の数字で区分し、さらに必要に応じて **a, b, c** ...やセミコロン(;)で区切って示した。多くの語義のある語では、**I, II, III** ...で大きな意味ブロックに分けた。

B. 語義の示し方

- ① 訳語のうち省略可能な部分や補足的な部分は()に入れた。
② []は直前の語句と交換ができる語句を示す。
decolorize ... 動 ...脱色[漂白]する
[「脱色する」または「漂白する」の意になる]
③ 語義の定義や内容の直接の説明は《 》に入れて示した。

C. 用法の指示、文法上の注記

さまざまな用法・文法上の注記を[]に入れて示した。

語形

[P～] 見出し語は小文字だが、大文字で用いる。

[p～] 見出し語は大文字だが、小文字で用いる。

名詞の用法

[the ～][a ～][an ～] それぞれの冠詞つきで用いる。

[one's ～] 所有格の人称代名詞 (my, your, his, her, ourなど)つきで用いる。

[～s][～es] 複数形で用いる。

(子音+yで終る音については[～ies]と示した。)

形容詞の用法

[叙述] 叙述用法(predicative use)(be, remainなど連結動詞(copulative verb)の補語となる用法)で用いる。

[限定] 限定用法(attributive use)(名詞の直前[または時に直後]に置いてその名詞を直接修飾する用法)で用いる。

[他動詞的に] 他動詞に由来し、「(…を)…させるような」といった意味で用いる。

動詞の用法

[be ～ed] 受身形で用いる。

[伝達動詞] 直接話法の伝達動詞としての用法を示す。

[be ～ing] 進行形で用いる。

その他

[俗用的に] 専門的な語が本来の専門用語としてでなく通俗的な意味で用いられた場合をいう。

- 間投詞のうちで丁寧さを表したり唐突になることを避けるために、ある程度意識的に使われるものには《談話標識》(Discourse Marker)のラベルをつけた。

D. 文型表示

(S, V, O (またはO₁, O₂), C, M)

① 記号の意味

S＝主語 V＝動詞

O＝目的語 C＝補語

M＝副詞的修飾語句(前置詞句、副詞など)

- ② 不定詞、動名詞、that 節、wh 節などを伴う場合や、ある前置詞を決まって用いる場合などは、それも含めて示した。用いたり用いなかったりする部分は()に入れた。
/ は、その両側の一部分(または全部)が交換可能であることを示す。
- ③ “to do” “doing” という表示は to be, being を含む。to be, being だけのときは “to be” “being” とする。

E. スピーチレベル

語の使われる地域、文体、時代的差異などに関するスピーチレベルは、《 》に入れて示した。主なものは次のとおり(指示のない語は普通に用いられる一般語である)。

社会的差異

《非標準》 非標準英語(標準英語には特に表示しない)

レジスター(標準英語内における機能的差異)

《正式》 堅い書き言葉・話し言葉(時に《文》に通じる)
 《略式》 くだけた書き言葉・話し言葉
 《俗》 俗語、非常にくだけた話し言葉
 《性俗》 性的な俗語(下品な語、タブーとされる語も含む)
 《文》 文語、堅い書き言葉(時に《古》《詩》に通じる)
 《詩》 詩で用いる言葉
 《まれ》

性的・年齢的・人種的差異

《男性語》 《女性語》
 《学生語》 《小児語》

《黒人語》 米国の黒人特有の言葉

地域的差異

《方言》 ある地域でだけ用いる。(《英方言》とあれば英国のある地域でのみ用いる言葉)
 《米》 米国およびカナダでのみ用いる。
 《英》 英国およびオーストラリア・ニュージーランドでのみ用いる。
 《カナダ》 カナダでのみ用いる。
 《豪》 オーストラリアでのみ用いる。
 《NZ》 ニュージーランドでのみ用いる。
 《南ア》 南アフリカ共和国でのみ用いる。
 《イング》 イングランド方言
 《北イング》 北部イングランド方言
 《スコット》 スコットランド方言
 《アイル》 アイルランド方言

その他、必要に応じていろいろな地域名を用いた。

時代的差異

《やや古》 《古》 《廃》

視覚方言

《視覚方言》 方言的・非標準的な発音を反映したつづりで表記した語

その他

《愛称》 《揭示》 《Eメール》

F. P C

- ① 性差別・人種差別・障害者差別等につながりうる語句には、非差別的表現を、《PC》という表示をつけて掲げた。(PC=politically correctness)

assemblyman 議員(《PC》assembly member)

- ② 特定の人種・民族や同性愛者などを見下した文脈で用いられ、侮辱的と受け取られる語には《侮蔑》という表示をつけて、特に使用上の注意を促した。

G. 専門語

専門的な語、決まった分野で用いられる語では、分野を〔 〕で示し、以下のものについては略号を用いた。

〔植〕	植物名・植物学
〔動〕	動物名・動物学
〔魚〕	魚類・魚類学
〔米史〕	米国史
〔英史〕	英国史
〔南ア史〕	南アフリカ史
〔豪史〕	オーストラリア史
〔NZ史〕	ニュージーランド史
〔アメフト〕	アメリカン=フットボール
〔アングリカン〕	アングリカン=チャーチ

◇他の分野名では、例えば「生態学」→「生態」のように「学」を省略したことがある。

H. 人名・動植物名・化合物

- ① 人名項目では、性別を ♂ (male 男性), ♀ (female 女性) で示した。
- ② 動植物名の項目は、単独の種の場合は、和名の後、説明の前に()内に学名を記載した。
- ③ 化合物は、必要に応じて語義の後に()で化学式を記載した。

I. 選択制限・連語関係

- ① 動詞の主語・目的語などにどのような内容の語がくるかを、〈 〉で示した。また、その語と一緒によく用いられる前置詞(場合により動名詞・不定詞など)を、語義の後に〔 〕に入れて示した。それに対応する訳語も〔 〕で示した。

fire … 動 … 1 〈人か〉〈銃・弾丸など〉を〔…めがけて〕

発射する, 発砲する, 〈矢〉を放つ[at, into, on, upon]

- ② 動詞としばしばいっしょに用いる副詞辞は、語義の後に()に入れて示した(同義語があるときはその後)。

figure … 動 … 1 …を計算する, 合計する(up)

J. いろいろな注記・記号

- ① 語義の後の()内に同義語または言い換え可能な英語を示した。
- ② 語義・訳語についての関連情報や語法説明・語のイメージなどは◆ 〈 〉に入れて示した。
- ・「次の句」とあれば、同じ語義の用例(◇例)に句があることを示す。

- ③ 必要に応じて、次のような表示を用いていろいろな情報を収録した。

[関連] [語法]

[文化] [事情]

[類] 類義語

[比較] 日本語と英語の比較

[表現] 主に英語で表現する場合に役立つ知識

cf. …を参照せよ

→ …を見よ(直接関連する情報が他の箇所にある場合)

⇔ 反意語・対になる語

7. 用例

A. 用例

- ① 見出し語と同じものを～で示した。
- ② 語形変化した形については～s, ～es, ～ed, ～ing のようにした。語尾の y を i に変えて es をつけるものは～ies とした。
- ③ [] は、直前の語と交換が可能であることを示す。
- ④ 英語とその訳の両方に[]があるときは、[]の前の語同士、[]の中の語同士が原則として対応している(これは注記などでも同じ)。

eclipse ... **名** 1 (の例)... a sólar [lúnar] ～ 日[月]食

[a solar eclipse が「日食」, a lunar eclipse が「月食」となることを示す]

()はその部分が省略可能であることを示す。英語とその訳の両方に()があるときは、対応している。

- ⑤ 用例の出典や発言者を示す場合は、〈 〉で示した。聖書・シェイクスピアの作品については、11. 12. に示す略語を用いた。
- ⑥ 重要語については用例の言い換えを = で(または言い換え不可についての情報を[×]で)示した場合がある。言い換えに用いた等号(=)は「ほぼ同じことをこのようにもいえる」といったかなり幅のある記号である。

B. イントネーション、強勢など

- ① イントネーションや強勢によって意味の違いが生じる場合など、必要に応じて用例にイントネーションや強勢を示した。
- (1) ˋ(下降調) 通例平叙文で用いられ、文の完結を示す。断定的口調。疑問文では同意や情報を求める場合に用いられる。
- (2) ˊ(上昇調) 通例疑問文で用いられ、質問・勧誘・依頼などを表す。また文中で、文が未完結であることを示す。
- (3) ˊˋ(下降上昇調) 通例文頭の文副詞・挿入句[節]で用いる。文尾では対比とか話し手の含みのある態度を示す。
- (4) ˊ(部分下降調) 中途半端な下降で、未完結あるいは話し手のちゅうちょなどを表す。
- ② ∴によって、若干の休止があることを示した。

8. [C] と [U]

名詞には、数えられるものに [C] (countable), 数えられないものに [U] (uncountable) の記号をつけた。

A. [C] [U] の意味

- ① [C] 名詞は、単数形ではa, an(またはthe, my, any)などの決定詞が必要であり、複数形にすることができる。
- ② [U] 名詞は、冠詞(または他の決定詞)なしで用いることができ、複数形にならない。いわゆる物質名詞、抽象名詞、集合名詞などがこれに含まれる。特にa, anがつくときは[a ~], また[しばしばa ~][しばしば ~s]は[or a ~][or ~s]などと示した。
- ③ [C] [U] は [C] 性の方が強いことを表している。
- ④ [U] [C] は [U] 性の方が強いことを表している。
- ⑤ [U] 名詞の注記([種類] [C])
[U] 名詞であっても、その種類を問題にするときに [C] 扱いになることがある。これを「chalk  [U] ([種類] [C]) チョーク」のように注記した。この場合、チョークの種類を問題にするときは [C] となり、chalks of different colors(異なった色のチョーク)のように複数形が用いられる。
- ⑥ [U] [C] はつけない場合
[the ~][a ~][~s][the ~s][one's ~]などとあるものは常にこの形で用いられることを示す。この場合 [U] [C] はつけない。

9. [S] と [D]

A. [S] と [D]

動詞・形容詞の重要語義に [S] (stative), [D] (dynamic)の表示をした。

[S] = 人が自分の意志でコントロールできない状態・出来事を表す。

[D] = 人が自分の意志でコントロールできる行為・状態を表す。

B. 動詞・形容詞の用法と [S] [D]

1. 人を主語にした [S] 動詞・形容詞は、通例進行形・命令形で用いることができない。
 2. 人を主語にした [D] 動詞・形容詞は、通例進行形・命令形で用いることができる。
 3. 無生物主語の [S] 動詞・形容詞は、永続的な状態を表す場合、通例進行形で用いることができない。命令形は用いない。
 4. 無生物主語の [S] 動詞・形容詞は、一時的な状態を表す場合、進行形で用いることができる。むしろ進行形が普通である。命令形は用いない。(3, 4 の区別は該当する動詞にそれぞれ注記してある。)
- ◇無生物主語の [D] 動詞はない。

10. 成句・句動詞

A. 成句の掲げ方

- ① 成句は各品詞ごとに掲げた。
- ② 配列はアルファベット順である。

B. 成句に用いた記号

- ① Oは動詞・前置詞の目的語を示す(ただし、目的語ではなくても便宜上名詞・代名詞の入る場所にOを用いた場合がある)。
- ② one'sは成句の主語と同じものが人称代名詞(my, your, her, theirなど)になって入ることを示す。その他の場合はO'sとする。oneselfは再帰代名詞(myself, yourself, herselfなど)が入ることを示す。
- ③ < > [] () [] の意味は単語の語義の場合(6. B., 6. H.)と同じである。[] が成句見出しと訳の両方にあるときは、用例の場合(7. A. ③ 参照)と同じように、英語とその訳を対応させて用いるのを原則とした。
- ④ 重要語に相当する成句には*印をつけた。句動詞では、必要により [S] [D] を付した。

C. 成句を扱う場所

- ① 名詞を含む成句は、原則として句の中で最初に出てくる名詞の見出し語のところで扱う。それ以外は、その成句の中でもっとも重要な語またはもっとも特徴的な語の見出し語のところで扱う。

- ② 成句は、「成句検索」を用いれば直接検索できる。

D. 成句の機能表示

- ① 「動詞+前置詞または副詞辞」からなる句動詞には成句としての機能(品詞に準ずるもの)を次のように表示した。

[自] 自動詞+副詞辞：目的語をとらない。

[他] 他動詞+副詞辞：他動詞なので目的語をとる。原則として副詞辞は目的語の前にも後にも置かれる(～ O up / ～ up Oのいずれも可)。ただしOが代名詞の場合は通例 ～ O up のみ可。

◇まれに副詞辞ではなく前置詞の場合もここに入れた。

[自*] [～ on O] 自動詞+前置詞：目的語は前置詞の目的語である。

- ② 句動詞以外でも、形や訳語からわかりにくいものは[名][副][接]のように機能表示をした。

E. 相互参照など

他の成句と同じ意味のときは＝を用いて次のように示した。(arm¹の項で)

give one's right árm = give one's EARs.

[give one's earsと同じ意味であり、それはear(大文字になっている)の項に説明があることを示す]

11. Shakespeare 作品名の略表記

Ado	<i>Much Ado about Nothing</i>
AWW	<i>All's Well that Ends Well</i>
Ant	<i>Antony and Cleopatra</i>
AYL	<i>As You Like It</i>
LC	<i>A Lover's Complaint</i>
Cor	<i>Coriolanus</i>
Cym	<i>Cymbeline</i>
Err	<i>The Comedy of Errors</i>
Ham	<i>Hamlet</i>
1H4	<i>The First Part of King Henry IV</i>
2H4	<i>The Second Part of King Henry IV</i>
H5	<i>The Life of King Henry V</i>
1H6	<i>The First Part of King Henry VI</i>
2H6	<i>The Second Part of King Henry VI</i>
3H6	<i>The Third Part of King Henry VI</i>
H8	<i>The Famous History of the Life of King Henry VIII</i>
JC	<i>Julius Caesar</i>
Jn	<i>The Life and Death of King John</i>
LLL	<i>Love's Labours Lost</i>
Lr	<i>King Lear</i>
Luc	<i>The Rape of Lucrece</i>
Mac	<i>Macbeth</i>
MM	<i>Measure for Measure</i>
MND	<i>A Midsummer Night's Dream</i>
MV	<i>The Merchant of Venice</i>
Oth	<i>Othello, the Moore of Venice</i>
Per	<i>Pericles, Prince of Tyre</i>
PhT	<i>The Phoenix and the Turtle</i>

PP	<i>The Passionate Pilgrim</i>
R2	<i>The Tragedy of King Richard II</i>
R3	<i>The Tragedy of King Richard III</i>
Rom	<i>Romeo and Juliet</i>
Shr	<i>The Taming of the Shrew</i>
Son	<i>Sonnets</i>
TGV	<i>The Two Gentlemen of Verona</i>
Tim	<i>Timon of Athens</i>
Tit	<i>Titus Andronicus</i>
Tmp	<i>The Tempest</i>
TN	<i>Twelfth Night</i>
Tro	<i>Troilus and Cressida</i>
Ven	<i>Venus and Adonis</i>
Wiv	<i>The Merry Wives of Windsor</i>
WT	<i>The Winter's Tale</i>

12. 英訳聖書書名の略表記

Acts	<i>Acts of the Apostles</i>
Amos	
1 Chr.	<i>The First Book of the Chronicles</i>
2 Chr.	<i>The Second Book of the Chronicles</i>
Col.	<i>Epistle to the Colossians</i>
1 Cor.	<i>The First Epistle to the Corinthians</i>
2 Cor.	<i>The Second Epistle to the Corinthians</i>
Dan.	<i>Daniel</i>
Deut.	<i>Deuteronomy</i>
Eccles.	<i>Ecclesiastes</i>
Eph.	<i>Epistle to the Ephesians</i>

Esther
 Exod. *Exodus*
 Ezek. *Ezekiel*
 Ezra
 Gal. *Epistle to the Galatians*
 Gen. *Genesis*
 Hab. *Habakkuk*
 Hag. *Haggai*
 Heb. *Epistle to the Hebrews*
 Hos. *Hosea*
 Isa. *Isaiah*
 Jas. *Epistle to James*
 Jer. *Jeremiah*
 Job
 Joel
 1 John *The First Epistle General of John*
 2 John *The Second Epistle of John*
 3 John *The Third Epistle of John*
 John *Gospel according to St. John*
 Jonah
 Josh. *Joshua*
 Jude *The General Epistle of Jude*
 Judg. *Judges*
 1 Kgs. *The First Book of the Kings*
 2 Kgs. *The Second Book of the Kings*
 Lam. *Lamentations*
 Lev. *Leviticus*
 Luke *Gospel according to St. Luke*
 Mal. *Malachi*
 Mark *Gospel according to St. Mark*

Matt. *Gospel according to St. Matthew*
 Mic. *Micah*
 Nah. *Nahum*
 Neh. *Nehemiah*
 Num. *Numbers*
 Obad. *Obadiah*
 1 Pet. *The First Epistle General of Peter*
 2 Pet. *The Second Epistle General of Peter*
 Phil. *Epistle to the Philippians*
 Philem. *Epistle to Philemon*
 Prov. *Proverbs*
 Ps. *Psalms*
 Rev. *Revelation*
 Rom. *Epistle to the Romans*
 Ruth
 1 Sam. *The First Book of Samuel*
 2 Sam. *The Second Book of Samuel*
 S. of S. *Song of Songs [Solomon]*
 1 Thess. *The First Epistle to the Thessalonians*
 2 Thess. *The Second Epistle to the Thessalonians*
 1 Tim. *The First Epistle to Timothy*
 2 Tim. *The Second Epistle to Timothy*
 Tit. *Epistle to Titus*
 Zech. *Zechariah*
 Zeph. *Zephaniah*

グランドコンサイス和英辞典 凡例

1 見出し語

1. 現代かなづかいで50音順に並べた。
2. 長音符号のついたつづり字は次のような順序に配列した。
クルー → クール
3. 接辞は次のような順序に配列した。
ちゅう 注 → ちゅうー 駐ー → ーちゅう 一中
4. 同じ言葉が続いた場合は、清音 → 濁音 → 半濁音 の順に配列した。
5. 促音・拗音などがきた場合は普通の文字の後に配列した。

2 派生語

見出し語から派生する形容詞、副詞、動詞などは▶をつけて示した。

3 複合語

見出し語を含む複合語は原則として[複合]以下に50音順に列記する。但し「い 胃」のように見出し語が漢字1文字で表記されるようなものは、これを第一要素として含む語も複合語とはせず見出し語扱いとした。

4 語義の分類

大分類には①②③の語義番号を用いた。さらに検索のうえから必要と思われる箇所には〈〉で語義内容を指示した。

5 訳語

1. 訳語の綴りは米式を採用し、英米で語が異なる場合は〔米〕〔英〕の表示を付した。
2. 英語訳語の並列にはセミコロン(;)を使用し、訳語の前の()でその注解を示した。人名の場合、原則として姓を太字で示してからカンマで区切って名を記すが、同姓の人物が複数いる場合は姓を統一の訳語として表示する。
3. 可算名詞には a、an をつけ、可算名詞にも不可算名詞にもなるものには (a)、(an) をつけた。民族名、部族名については原則としてその1員を訳語とし、a、an をつけた。

6 語源

日本語にはいっている英語以外の外来語についてはなるべくその語源を示した。

7 品詞

訳語(句)の前に、特に a、v. などと表示した場合は、訳語が形容詞、動詞であることを示す。(→ 略語解)

8 用例

¶ 以下に列記する。用例中で使用するスワングダッシュ(〜)は見出し語部分と一致する。複合語の用例中에서도見出し語に相当する部分のみに 〜 を使用する。

9 かつこの用法

1. ある語(句)がよく前置詞、that 節、不定詞、動名詞などを従える場合はこれを()に入れて示した。また前置詞の目的語の選択制限として a person や a thing を同()内に示す場合もある。
2. 動詞の目的語など、使用例を直接《 》内に示した。また《 》は訳語などの後の説明にも使用する。
3. [] 前の語(句)との言換え、発音記号
4. () 省略可能部分
5. [] スピーチレベル、用法表示
6. [] 専門語ラベル

10 記号類

1. [慣用] 日本語の慣用表現
2. [解説] 英語による解説記述
3. [関連] 見出し語を含まないが、これと関連する日本語表現
4. [参考] 見出し語と関係のある英語情報
5. [複合] 見出し語を含む複合語
6. ⇔ 参照

11 略語解

品詞

- a. (adjective 形容詞)
- ad. (adverb 副詞)
- int. (interjection 間投詞)
- n. (noun 名詞)
- pl. (plural 複数形)
- prep. (preposition 前置詞)
- pron. (pronoun 代名詞)
- v. (verb 動詞)
- vi. (intransitive verb 自動詞)
- vt. (transitive verb 他動詞)

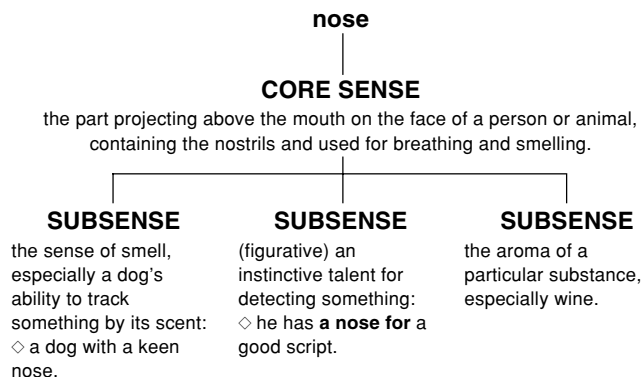
語源

Chin.	(Chinese)	It.	(Italian)
Du.	(Dutch)	Kor.	(Korean)
F.	(French)	L.	(Latin)
G.	(German)	Port.	(Portuguese)
Gk.	(Greek)	Russ.	(Russian)
Heb.	(Hebrew)	Skt.	(Sanskrit)
Hind.	(Hindustani)	Sp.	(Spanish)

『米』米語 『英』英語 『話』口語 『俗』俗語
『豪』オーストラリア英語 『古』古語

構成：Core sense と Subsense

各見出し語の最初に記載される品詞は、その見出し語の主要な品詞で、bagとballoonでは名詞の意味を動詞の意味より先に表記し、babbleとbakeでは動詞の意味を、名詞の意味より先に表記しています。



各品詞の中で最初に表記される語義がcore sense (=中核的意味)で、core sense が2つ以上ある場合には、太字の番号で表記しました。

core senseとは、Oxford English Corpus やその他の言語データベースの研究と分析により確立されたもので、現在のネイティブ・スピーカーの一般的な使い方であり、語義どおりで中心的な意味です。しかし言葉の意味は時間の経過と共に変化し、また、

現在もっとも使われている意味が比喩的なものである場合があり、必ずしも core sense は、最も使われている意味と同じとは限りません。

core sense には、他の関連した subsense (=派生的意味) への入り口としての役割もあります。これらの subsense は core sense の下にまとめました。

これらの subsense と、これらの上に表記した core sense の間には論理的関係があり、この関係に応じた意味の配列には工夫をしています。本辞典の使用者は、見出し語の内容や関連する意味を、容易に検索できるだけでなく、複数の意味がどのように関係し、その関係より、言語がどのように成り立っているのかということも理解できます。

core sense と subsense の関係には、下記のようなものがあります。

(a) core sense の比喩的拡張

HEADWORD: logjam

CORE SENSE: a crowded mass of logs blocking a river.

SUBSENSE: *figurative* a situation that seems irresolvable:

◇EXAMPLE: ◇the president can use his power to **break the logjam** over this issue.

SUBSENSE: *figurative* a backlog:

◇EXAMPLE: ◇keeping a diary may ease the logjam of work.

HEADWORD: bankrupt

CORE SENSE: (of a person or organization) declared in law as unable to pay their debts.

SUBSENSE: *figurative* completely lacking in a particular good quality:

◇EXAMPLE: ◇their cause is morally bankrupt.

(b) core sense が特殊化したケース

HEADWORD: ball¹

CORE SENSE: a single throw, kick, or other movement of the ball in the course of a game, in particular:

SUBSENSE: *Cricket* a delivery of the ball by the bowler to the batsman.

SUBSENSE: *Baseball* a pitch delivered outside the strike zone which the batter does not attempt to hit.

HEADWORD: basement

CORE SENSE: the floor of a building which is partly or entirely below ground level.

SUBSENSE: *Geology* the oldest formation of rocks underlying a particular area.

(c) その他の拡張や意味の変化、core sense の一つ以上の要素を保持したケース

HEADWORD: bamboo

CORE SENSE: [mass noun] a giant woody grass which is grown chiefly in the tropics.

SUBSENSE: the hollow jointed stem of this plant, used as a cane or to make furniture and implements.

HEADWORD: management

CORE SENSE: the process of dealing with or controlling things or people.

SUBSENSE: [treated as sing. or pl.] the people managing a company or organization, regarded collectively:

◇ **EXAMPLE:** ◇ management were extremely cooperative.

HEADWORD: ambassador

CORE SENSE: an accredited diplomat sent by a state as its permanent representative in a foreign country.

SUBSENSE: a representative or promoter of a specified activity:

◇ **EXAMPLE:** ◇ he is a good ambassador for the industry.

見出し語の多くは core sense は一つしかありませんが、中には複雑なものや複数の core sense を持つものもあります。この場合、それぞれの core sense は番号を表記し、core sense に関連した複数の subsense を表記する場合があります。

専門的語彙

辞書の重要な用途の一つとして、一般の読者にはなじみのない専門用語の説明をすることにあります。従来多くの辞書では、ある専門家が別の専門家向けに書いたような、一般の読者には理解しにくい語義が表記されることが多くありました。本辞典の主な目的の一つとして、専門的語彙の理解を妨げる障壁を打ち壊すことにありました。

本辞典では、専門家のための高いレベルの専門知識と正確さを保ちつつ、一般の読者に適した分かりやすい情報を提供することが課題となり、いくつかの専門用語(特に植物や動物、化学物質)の見出し語では、専門的な情報を、その他の語義や説明と切り離し〈NOTE〉に記載しました。

例: **balloonfish, benzopyrene**

また、その他の場合には、語義の中に追加説明をしました。

例: **curling, cuttlebone**

他の語彙の場合も同様に、このような記載は適切で興味深い情報を提供することを目的としており、ただ定義するだけでなく、現実の世界においてその語が生起する文脈を記述し、説明すること

も狙いです。このタイプの追加情報は相当な量がある場合、**<NOTE>** で示しました。

例：earth, Eocene

動物と植物の取り扱いについては、全世界の動物と植物について詳細な調査と徹底的な見直しを行い、これまで一般的な辞書には収録されたことのない多数の見出し語を収録しました。これらの提示方法は、本辞典の専門的語彙の一般的な方針に従い、見出し語は専門的な情報を提供するだけでなく、外見その他の特徴や習性、薬効や料理での用途、神話上の意味や名前の由来など、動植物の典型的な生息地や分布についても、日常的な言葉で記載しました。

例：mesosaur, kowari, hiba

百科事典的資料

英国の辞書の中には、人物や地名、その他の固有名詞の見出し語を掲載しないものがありますが、それは単語と事実の違いに基づき、辞書は単語を扱い、百科事典やその他の参考図書は、事実を扱うとしているからです。この区分けは、理論上興味深いものですが、実際にはShakespeare や England 等の名称は、drama や language のように単語と事実が重なりあう部分が多くあり、英語の一部として、大きな辞書には記載されています。

本辞典では単語と名前の分類について、従来の分類にとらわれず、人々が実際に必要としていると考えられる、全ての語彙を表記し、定義方法や、追加資料を **<NOTE>** に記載しました。

本辞典には、地名の見出し語が、4,500件以上、人名等が4,000件、その他固有名詞が3,000件収録されています。見出し語に

は、人物の出生・死亡年月日やフルネームなど基本的事実や、その人物の人生や重要性などの背景の状況を記載しました。また、国など、いくつかの非常に重要な百科事典的項目は、さらに詳しく、**<NOTE>** に追加情報を記載しました。

文法

近年、文法は過去数十年に比べて大きく脚光を浴び、英国内外の公立学校で、重要な学習事項の一つとして再び教えられています。さらに、ある単語の異なる意味は異なる語彙・統語的振る舞いを示す認識もあり、本辞典は、もっとも重要なものを各単語の意味の該当するところに記載し、単語の意味と言語使用の手引きになるようにしました。

例えば、bomb という語は、直接目的語を取るか取らないか、直接目的語を取らず義務的な副詞句を取るかなど、文法事項だけでこの動詞の主な意味を区別することができます。

CORE SENSE: attack *(a place or object)* with a bomb or bombs:

◇ EXAMPLE: ◇ they bombed *the city* at dawn.

GRAMMAR: [with obj.]

(*内は、カッコ[]で示した内容の例文中の該当する場所を示しています。)

CORE SENSE: Brit. *informal*/move very quickly:

◇ EXAMPLE: ◇ we were bombing *down the motorway* at breakneck speed.

GRAMMAR: [no obj., with adverbial of direction]

(*内は、例文中の副詞句を示しています。)

CORE SENSE: *informal* (of a film, play, or other event) fail badly:

◇EXAMPLE: ◇it just became another big-budget film that bombed.

GRAMMAR: [no obj.]

これらの表記は個々の意味に限らず、言語そのものの構造を説明することを目的としている本辞典では特に重要ですので、各単語の文法には特別な注意を払い、文法構造を明確に示し、可能ならば、語の統語的振る舞いは直接的に表記しました。例えば、ある動詞が前置詞を従えて句動詞として現れる場合には、この句動詞を語義の前に太字で表記しました。

例: **build (build on)**

ある語が典型的に用いられる連語関係に関しては、例文の中で、太字で表記しました。

例: **cushy (a cushy number), end (ended up in, end up with)**

専門用語は、使用の最小限に努めましたが、文法事項を説明する為には、若干の専門用語が必要です。以下に一般読者には、なじみの薄い用語を紹介します。すべての用語は、本辞典のそれぞれの見出し語で定義し説明しました。

名詞に関連した用語

名詞と名詞の意味は、本辞典では一般的に[mass noun](=不可算名詞)か[count noun](=可算名詞)のどちらかに分類されます。[mass noun]とは、通常、複数形では見られず、不定冠詞‘a’のついた単数形で用いられない名詞です。例えば、通常“bacon”とは言いますが、“a bacon”や“three bacons”とは言いません。

一方[count noun]とは、shirt, shirts のように不定冠詞“a”をつけて使え、複数形を取れる名詞です。

本辞典では、[mass noun]の表記がない場合は、すべての名詞は可算名詞とみなしています。

[count noun]は、同一語が既に記載されている不可算名詞の用法のほかに、複数形をとる用法を持つ場合に表記しています。しかし、不可算名詞によっては、ある特定の状況では複数形を取ることができる場合があります。例えば、名詞‘cheese’は普通は、不可算名詞として振る舞いますが、チーズの種類を言うときには複数形を取ります。

本辞典では、スペースと簡潔性から、特に重要な用法を収録しています。このような複数形をとれる不可算名詞の主な種類を以下に記載します。

1 種類を表す場合

・食べ物と飲み物

例: **yogurt/yogurts, pasta/pastas, rum/rums**

・植物

例: **clover/clovers, barley/barleys**

・布

例: **gingham/ginghams, silk/silks**

・特定の言語、科目

例: **English/Englishes, music/musics**

・金属と合金

例: **steel/steels, solder/solders**

・岩石

例: **granite/granites, lava/lavas, clay/clays**

・ 化合物

例 : **fluoride/fluorides, hydride/hydrides**

・ その他の物質や材料

例 : **rind/rinds, soil/soils, sealskin/sealskins, suncream/suncreams**

2 複数のまとまりや単位からなる場合(特に食べ物や飲み物など)

例 : **lager(glasses/bottles of lager = lagers), paella(portions of paella = paellas)**

3 色を表す場合

例 : **pink/pinks, scarlet/scarlets, grey/greys**

4 その他

・ 行為または過程

例 : **completion(an instance of completing a property sale = completions), genocide(an act of genocide = genocides), lambing(an act of lambing = lambings)**

・ 外科手術

例 : **circumcision/circumcisions**

・ 感情、痛み、感覚

例 : **backache/backaches, grief(an instance of cause of grief= griefs)**

5 特定の土地

例 : **bogland/boglands, terrain/terrains**

その他の名詞に関連した用語

[as modifier] : 別の名詞の前に置いて、その意味を修飾できる名詞を表します。

例 : **boom, bedside**

[treated as sing.] : 複数形ですが、動詞の単数形とともに使われる名詞を表します。

例 : **mumps is one of the major childhood diseases of 'mumps', genetics has played a major role in this work of 'genetics'**

[treated as sing. or pl.] : 見出し語の意味や形を変えることなく、動詞の単数形・複数形のどちらとも一緒に使うことができる名詞を表します。(一般的に集合として考えられる人々のグループを表すことから、集合名詞と呼ぶこともあります。)

例 : **the government are committed to this policy the government is trying to gag its critics**

[in sing.] : 可算名詞として使われますが、複数形がまったく見られない名詞や、まれにしか見られない名詞を表します。

例 : **an ear for rhythm and melody of the ear**

動詞に関連した用語

[with obj.] : 直接目的語をとる動詞(他動詞)を表します。(直接目的語の種類は、語義の内に表記しました。)

例 : **belabour**

[no obj.] : 直接目的語をとらない動詞(自動詞)を表します。

例 : **bristle**

[with adverbial] : 義務的な副詞句をとる動詞を表します。義務的な副詞句とは、典型的な前置詞句のことをいい、これが無いと文章が不自然に聞こえたり、奇妙に聞こえたりするものをいいます。

例 : **barge** の次の **barge into**

形容詞に関連した用語

[attrib.] : 通常、限定的に使用される形容詞(修飾する名詞の前に来る形容詞)を表します。

例 : **certain man** における **certain** (the man is certain ではありません。これは全く意味が異なります。)なお、限定用法は、特に専門分野で多く用いられる形容詞では標準的な用法ですので、本辞典では、そのような場合は[attrib.]を表記していません。

[predic.] : 通常、叙述的に使われる形容詞(動詞の後に来る形容詞)を表します。

例 : **the door was ajar** の **ajar**
(the ajar door とは言いません。)

[postpositive] : 後置的に使われる形容詞(修飾する名詞のすぐ後にくる形容詞)を表します。後置用法は標準的な言語からの借用が多くあり、このような用法は英語では一般的ではありません。

例 : **there were prizes galore for everything** の **galore**

副詞に関連した用語

[sentence adverb] : 文や節の外側に位置して、文または節全体について意見を述べたり、動作の形態というよりは、文または節の意味内容に対する話し手または書き手の態度を表したりする副詞であることを表します。文副詞は話し手や書き手の視点を表現することが最も多いが、参照分野を明記することによって文脈を設定するために使われることもあります。

例 : **certainly**

[as submodifier] : 形容詞や他の副詞を修飾するために使われることを表します。

例 : **comparatively**

標準英語

本辞典に収録された語や意味は、特に明記しない限り全て標準英語ですが、単語の中には特定の文脈でのみ適切なものもありますので、文脈の種類を下記のとおり表記しました。なお、この言語における特定の使用レベルを専門用語で「レジスター」と呼びます。

formal	: 通常、公文書のような文脈における記述にのみ使われる。
Informal	: 通常、友人の間で交わされる会話や手紙のような文脈においてのみ使われる。
dated	: 英語を話す大多数の人には、もはや使われない。しかし、時折、特に更に古い世代の間で使われる。
archaic	: 現在では使わない非常に旧式の言葉。時々、古い雰囲気を出すために利用する。また、現在でも広く読まれる過去の作品に見られる。
historical	: 現在でも使うが、現在では見られなくなった習慣などを指すときに使われる。 例: baldric , almoner
literary	: 主に、「高尚な」スタイルで書かれた文学に見られる。
technical	: 通常、専門用語としてのみ使う。特定の内容に限定されない。
rare	: 一般的には使用しない。
humorous	: ユーモラスな表現に使う。
dialect	: 一般的には使わないが、特定の地域では今でも広く使われる。
offensive	: 使用者の意図に関わらず、人種的な意味で、人の気持ちを不愉快にさせる可能性が高い言葉。
derogatory	: 相手を見下して意見を伝える、意図的に人の気持ちを不愉快にさせる言葉。
euphemistic	: 不快なものやタブーに対して直接言い及ぼさず、間接的に表現する言葉。
vulgar slang	: タブーとされる性行為や排泄など、肉体的機能を指す、不愉快にさせる言葉。

世界の英語

英語は、世界中の3億を超える人々によって第一言語として話され、そして、更に数百万による第二の言語として使われています。それは、取引、外交、スポーツ、科学、技術、及び、無数の他の分野における国際コミュニケーションの言語で、主に、イギリス英語、アメリカ及びカナダ英語、オーストラリア及びニュージーランド英語、南アフリカ英語、インド英語、西インド諸島及び東南アジア英語に分類され、これらの地域に、地方の方言も見られます。

例えば、イギリス英語の中で、スコットランド及びアイルランド英語には、長い歴史と多くの弁別的素性があり、特定の北米英語やそれ以外の英語にも影響を与えています。本辞典のような辞書の有効範囲は、目的とする範囲を考慮すると、概して局所的な方言の変化より、むしろ世界全体の標準語の語彙に制限されなければなりません。さまざまな地域の標準の文脈でいられる、何千の言葉も収録しています。

例: **bakkie**, **larrikin**, **ale**, **history-sheeter**, **sufferation**

このような語を収録する理由として、「正しい」英語は、英国、特にオックスフォードやロンドンだけで話されるという伝統的で偏狭な考えから抜け出すことにありました。これを支援していただいたのが、英語を話す世界中のコンサルタントからなるネットワークです。彼らは特別な地域の英語の、全ての側面に関する情報を多くは毎日、電子メールで提供し、答えてくれました。多くの場合は、主な目的としてイギリス英語でよく知られる標準の特定の単語や意味、表現が、どこか他で用いられるかを見出すことにありました。しかしながら、実際にはそれ以外にも、ネット

ワークによる調査を通じて、部分的に似た世界各地の英語の複雑な関わりがありました。本辞典では、単語及び意味に、14,000を超える地域表記を記載しています。これに対して、表記のないものが10倍以上あります。

これら複雑な関わり合いについては、スペースと情報提示の明確さという理由から、単純化して掲載せざるを得ませんでした。

例えば、'chiefly Brit'という表現は、アメリカ英語では一般的に使用されませんが、米国の一部地域で用いられている可能性があります。また、'US'という表現は、おそらく米国に起源があり、古くから米国で使用されていますが、イギリス英語では一般的に使用されません。しかし、例えば、オーストラリアや南アフリカ英語など、他の地域においては使用されている可能性もあります。同様に、'Brit.'は、イギリス英語ではよく使用されますが、標準のアメリカ英語では使用されません。しかし、この場合も他の地域では使用されている可能性があります。

つづり

英語のつづりは、不規則で不合理で、現在の発音とは間接的にしか関連していないと言われています。本辞典では、特に変則的なつづりや、ネイティブ・スピーカーにも難しいつづりを以下に要約しました。

いろいろなつづり

本辞典の各単語は、標準のイギリス英語のつづりを採用しています。他に、例えばアメリカ英語の標準的つづりがある場合は、見出し語の最初に示され、そして、アルファベットの位置が標準のイギリス英語のつづりから3語以上離れている場合は、相互参照

できるようにしています。

例： **filo/phylo, aluminium/aluminum**

その他、古いつづりや古風なつづり、略式のつづりなどについては、標準的なつづりを参照できるようにしていますが、標準的なつづりの見出し語には記載していません。

例： **Esquimau/Eskimo**

-ise or -ize?

多くの動詞は、-ise または -ize で終わります。-ize という形は英語では16世紀以来、英語の中で使用され、一部の人が考えるようなアメリカ英語の特有語法ではなく、代替的な形の -ise は、一般的に、アメリカ英語よりも、むしろイギリス英語で見られます。この種の動詞では、-ize と -ise のどちらも受け入れられています。

本辞典では -ize のつづりを使い、-ise は同様に等しく正しい代替出来るつづりと示しました。しかし、次のような一部の単語では -ise が義務的となります。

1. より大きな単語要素の一部を形成する場合

例： **compromise** における **-mise(=sending)**,
surprise における **-prise(=talking)**

2. 語幹に -s- を含む名詞に対応する動詞

例： **advertise, televise**

ハイフネーション

英語における標準のつづりは決定されていますが、ハイフネーションの用法は、つづりに比べると、そうではありません。標準英語では、いくつかの一般法則で進められ、これらの概説は下記のとおりです。

名詞複合語のハイフネーション：例えば airstream、air stream、air-stream などの名詞複合語は、どれが正しいのか決める明確な規則がなく、どの形も使用されています。

しかしながら、現代英語では、名詞複合語にハイフネーションを使用しない傾向があります。(ただし、文法機能を示すために使う場合は別です。)

例えば air-stream より airstream が、air-raid より air raid が好まれます。この傾向はイギリス英語にもアメリカ英語にも見られます。ハイフネーションを使用しない場合、アメリカ英語では1語で表し、イギリス英語では2語で表します。例えば buck-tooth の場合、イギリス英語では buck tooth、アメリカ英語では bucktooth が最も一般的な表現になります。

本辞典では、スペースを節約し混乱を回避するために、3つの表記方法のうち、イギリス英語のものを見出し語として採用しました。しかしながら、これは、その他の形が誤っている、あるいは使われないということではありません。

文法機能：ハイフンは特定の文法機能を果たすために使用されています。独立した2語からなる名詞複合語が別の名

詞の前に置かれそれを修飾するために使われる場合、その名詞複合語(例：credit card)にハイフンを入れるのが一般的です。例えば、I used my credit card ですが、この credit card が名詞修飾をすると、credit-card debt になります。この種の規則的な交替は、本辞典の例文にもありますが、見出し語の中では特に明記していません。同様の交替は、well intentioned のような複合形容詞にも見られます。動詞の後で叙述的に使われる場合は、形容詞にハイフンを使いませんが、名詞の前で限定的に使われる場合はハイフンを入れます。例えば、叙述用法では his remarks were intentioned ですが、well intentioned が限定的に用いられると

a well-intentioned remark になります。

動詞複合語に関しては、beta testのように、名詞複合語が2語ある場合、そこから派生する動詞には、例えば、beta-test : the system was beta-tested のように、ハイフンを入れるのが、通常の一般的規則となります。

同様に、動詞的名詞および動詞形容詞は、例えば、glass-making, nation-building のように、名詞複合語や形容詞複合語よりも、ハイフンが用いられることが多くあります。

‘take off’ や ‘take over’、‘set up’ などの句動詞にはハイフンは入れませんが、句動詞から作られた名詞には、ハイフンを入れるか、一語で書くことが多くなっています。

例： **the plane accelerated for take-off; a hostile takeover; he didn't die, it was a set-up.**

これらの動詞形にも、food available to take-away のようにハイフンを入れる傾向はありますが、これは良い書き方とは言えず、避けるべきです。

語尾変化

他のヨーロッパ言語に比べて、英語には比較的、語尾変化が少なく、存在しても著しく規則的です。

我々は大部分の名詞に -s を加え複数形を作り、大部分の動詞に -ed を加えて過去形、または過去分詞形を作り、-ing を加えて現在分詞形を作りました。しかし、時には困難も起こります。例えば、短い強勢のある母音の後の子音は、-ed または -ing を加える前に、子音を重ねる必要があります。

例： **hum, hums, humming, hummed**

更に、一般に他の言語から借用された言葉は、その国の語尾変化に従うため、それらの言語に熟練していない英語を話者にとって問題となります。

本辞典では、こうした問題を、以下の方針に基づき、語尾変化を記載しました。

動詞

次の形は規則的として、本辞典では各変化形を記載していません。

- ・語幹に -s がつく三人称単数形、または、-s、-x、-z、-sh、軟音の -ch で終わる語幹に -es が付く場合。

例： **find → finds change → changes**

- ・語末の 'e' が落ち、語幹に -ed が付く過去形と過去分詞形や、語幹に -ing が付く現在過去分詞形。

例： **change → changed change → changing**

その他、下記については、各変化形を示しました。

- ・子音を重ねて語尾変化する動詞。

例： **bat → batting, batted**

- ・-y で終わり、それを -i に変えて語尾変化する動詞。

例： **try → tries, tried**

- ・過去形と過去分詞形が -ed の規則的パターンに従わない動詞。

例： **feel → felt awake → awoke, awoken**

- ・-ing が付くが、最後の e を保持する現在分詞形 (g の発音が軟音のままであることを明確にするため)。

例： **singe → singeing**

名詞

複数形が -s (あるいは、-s、-x、-z、-sh、軟音の -ch で終わる場合は -es) をつけることで形成されるものは、規則的と見なし複数形は記載していません。その他、下記については各複数形を示しました。

- ・-i または -o で終わる名詞。

例： **agouti → agoutis albino → albinos**

- ・ラテン語に由来するか、そう思われる -a、um、-us で終わる名詞。

例： **alumna → alumnae spectrum → spectra**

alveolus → alveoli

- ・-y で終わる名詞。

例：fly → flies

- ・複数形が二種類以上ある名詞。

例：storey → storeys, stories

- ・複数形が語幹の変化する名詞。

例：foot → feet

- ・複数形と単数形が同じ名詞。

例：sheep → sheep

形容詞

比較級と最上級については、次の語形を規則的とみて、本辞典では各変化形を特別に記載していません。

- ・1音節からなる語で、-er と -est が付く場合。

例：great → greater, greatest

- ・1音節からなる語で、黙音 e で終わり、その -e が落ちて -er と -est が付く場合。

例：brave → braver, bravest

- ・‘more’ と ‘most’ が付くことによって、比較級と最上級を作る単語。

その他の場合、特に次のものについては、比較級と最上級のそれぞれを示しました。

- ・最後の子音を重ねることによって、比較級と最上級を作る形容詞。

例：hot → hotter, hottset

- ・2音節からなる語で、-es と -est によって比較級と最上級をつくる形容詞(典型的な例としては、-y で終わる形容詞とその否定形)。

例：happy → happier, happiest

unhappy → unhappier, unhappiest

発音

一般的に、英語のネイティブ・スピーカーは、bake, baby, beach, bewilder, boastful, budget などの、普通の日常的な単語の発音には、特に説明を必要としていませんので、本辞典では、そのような単語や複合語、派生語の発音を表記していません。

一方で、baba, ganoush, baccalaureate, beatific, bijouterie, bucolic, buddleia のような、あまり馴染みの無い単語は問題になることがあります。特に Chechnya, Kieslowski, Althusser 等の地名など、外国の人名や地名には、発音が困難なものがあります。

本辞典では、英語のネイティブ・スピーカーが発音する上で、問題が起きるとされる語には発音を表記しました。特に、外国の単語や名前、科学やその他の専門用語、稀にしか使わない語、強勢のパターンが変化している語、標準の発音について、代替の発音が存在するか議論のある語などに、発音の表記をしました。

本書では、国際音標文字(IPA)を使って英国南部で話される英語の標準的発音(容認発音 = Received PronunciationまたはRP)を表記しています。本辞典の発音表記は、実際に現代英語で話されている発音を反映しているため、1930年代の放送局や、パブリックスクールの標準的発音を基にしたような伝統的な音声体系とは異なります。

本辞典では原則的にイギリス南部の発音を採用していますが、その他の英語を話す地域では、標準的な話し言葉に、さまざまな発音があります。

発音記号とその音価は下記のとおりです。

多音節単語では、記号 ' の次の音節に強勢があります。(例：
kə'baɪ) , は第2強勢です。(例：,kala'brɪ:s)

子音：b, d, f, h, k, l, m, n, p, r, s, t, v, w, z は、通常の英語の音価を持ちます。その他の記号は以下とおりに用います。

g	get	x	loch	ð	this	j	yes
tʃ	chip	ŋ	ring	ʃ	she		
dʒ	jar	ə	thin	ʒ	decision		

Vowels

<i>short vowels</i>	<i>long vowels</i> (: indicates length)	<i>diphthongs</i>	<i>triphthongs</i>
a	cat	ɑ: arm	ʌɪə fire
ɛ	bed	ɛ: hair	aʊə sour
ə	ago	ə: her	
ɪ	sit	i: see	
i	cosy	ɔ: saw	
ɒ	hot	ɪə near	
ʌ	run	ɔɪ boy	
u	put	ʊə poor	

/l/, /m/, /n/ の前の (ə) は、母音と子音によってではなく音節子音
l, m, n によって音節が実現されます。(r) は、母音が続くときに、
時々発音されることのある r です。

外国語の発音

他言語の単語や成句については、英語として自然かどうかに関わらず、常に英語化された発音が与えられています。英語化された発音とは、他言語話者ではない人、標準英語のネイティブ・スピーカーが使用する発音のことをいいます。また、主にフランス語、オランダ語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、スペイン語などから取り入れられた言葉については、発音が英語化されたものとはかなり違う場合や、外国語の発音が多くくの英語話者によく知られている場合には、その外国語の発音も記載しました。外国の地名の現地地形を、英語化して表記した場合には、その言語の発音のみを記載しました。

外国語の発音表記は、各国の規格に基づいています。地域の違いは表記していませんが、スペイン語については、カスティリア語とラテンアメリカで使われるスペイン語に明らかな違いがある場合は、両方の発音を表記しました。外国語の発音表記の多くは、英語と同じ表記で、英語のRP (容認発音) と類似した音値を持っています。外国語の音に対応する表記が英語に無い場合は、以下のとおり、発音記号を英語の発音表記に追加表記しています。

子音

ç	(German)	Ehrlich, gemütlich
ʝ	(French)	Monseigneur, Auvergne, Daubigny
	(Italian)	Emilia-Romagna
	(Portuguese)	Minho
	(Spanish)	España, Buñuel
β	(Spanish)	Bilbao
ɣ	(Spanish)	Burgos

ʎ	(Italian)	Cagliari
ʒ	(Hungarian)	Magyarország
ʀ	French 'r'	Anvers, Arles
ʀ	all other values of 'r' in other featured languages.	(German) Braunschweig (Italian) Alberti (Russian) Grozny (Spanish) Algeciras, zarzuela

u	(French)	Anjou	
	(Italian)	Duccio	
	(Spanish)	Asunción	
y	(French)	cru	y: (German) gemütlich
ʏ	(German)	München	
j	(Irish)	Dáil	
	(Russian)	Arkhangelsk	
ʷ	(French)	Horta	

Vowels

Short vowels

		long vowels (: indicates length)
ɐ	(German) Abitur	a: (Dutch) Den Haag
ɑ	(Dutch) Nederland	(German) Aachen
e	(French) abbé	e: (German) Wehrmacht
	(Italian) Croce	(Dutch) Nederland
	(Spanish) Albacete	(Irish) Gaeltacht
o	(French) auberge	o: (German) verboten
	(Italian) Palio	(Hungarian) Brassó
	(Spanish) Cortes	
ɔ	(French) Bonnard	
	(German) durchkomponiert	
	(Greek) Dhilos	
	(Hungarian) Brassó	
	(Italian) Borgia	
œ	(French) Pasteur	
ø	(French) Montreux	ø: (German) Gasthöfe

nasalized vowels

(~ indicates nasality)

ã	pincette	} used for anglicized French pronunciations
õ	cordons bleu	
ɑ̃	(French) Danton, Lac Lemans	
ɛ̃	(French) Amiens, Rodin	
œ̃	(French) Verdun	
ɔ̃	(French) arrondissement	

diphthongs

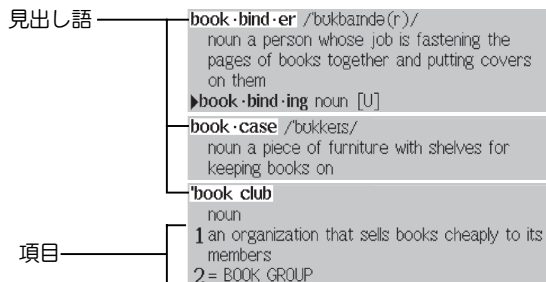
aɪ	(German) Gleichschaltung
----	--------------------------

OXFORD現代英英辞典(OALD)

この辞典の項目の概要

単語を探す

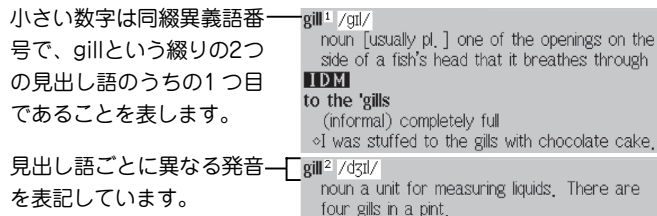
この辞典では、見出し語をアルファベット順に配列して項目を記載しています。複合語・派生語は各々の項目に、アルファベット順で記載しています。



見出し語の中には複数の品詞形を持つものがあります。



英語には、同じ綴りで異なる発音をする単語があります。



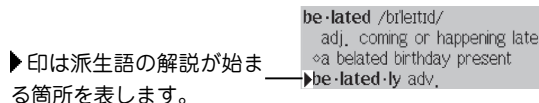
また英語には、いろいろな綴りがある単語があります。このような単語についての解説は最も頻繁に使われる綴りで表記しています。



あまり頻繁に使われない綴りの見出し語からは、相互参照で主に使われる見出し語へ導きます。

ban·nis·ter
= BANISTER

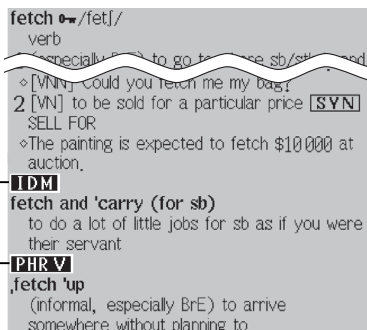
動詞の米語変化形や不規則変化形も同様に扱います。他の単語からの派生語は、元になる単語(基語)の意味から容易に理解できるので、単独の見出し語にはなりません。これらの単語は基語と同じ項目に、別途印を付けて表記されます。



慣用句や句動詞は、別途記号を付けて表記しています。

記号 **IDM** は慣用句の説明を表します。

記号 **PHR V** は句動詞の説明を表します。

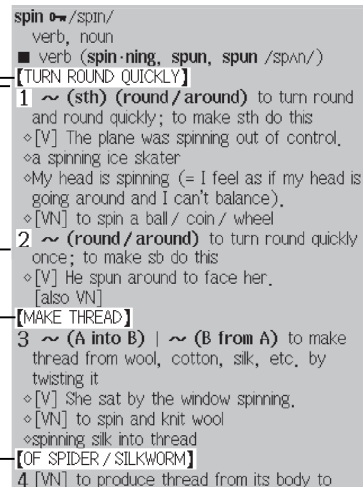


意味を探す

単語には項目が非常に長くなるものがあります。見つけたい意味のおおよその予測ができる場合は、項目すべてを最初から読む必要はありません。

ショートカットに背景や一般的な意味を表記します。

意味が似ているものは同じショートカットに表記します。



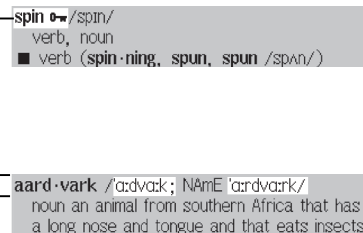
Oxford 3000™ (学習基本語彙3000語)

「OXFORD現代英英辞典 第7版」の中で説明に使われる単語は、オックスフォード大学出版局と専門家からなる編集チームが選んだ基本的な3000の単語で構成された、英語学習者がコミュニケーションを行う上で最も重要な基本語です。その3000語を“Oxford 3000™”と呼びます。

単語を理解し、使用する

見出し語の中で **0** 記号の付いた単語は Oxford 3000 に含まれるもので、学習者がコミュニケーションを行う上で最も重要な基本語です。

アメリカ英語で発音が異なる場合。



アクセント符号は複合語の
アクセント位置を表します。

ˌbaby ˈgrand
noun a small GRAND PIANO

動詞の不規則変化と発音。
名詞の場合は不規則複数形
も表記します。

この単語と共に使える前置
詞、副詞と構文。

cling /kɪŋ/
verb (clung, clung /kɪŋ/) [V]
1 ~ (on) to sb/sth | ~ on / together to
hold on tightly to sb/sth
◊ survivors clinging to a raft
◊ She clung on to her baby.
◊ Cling on tight!
◊ They clung together, shivering with cold.
→ note at HOLD
2 ~ (to sth) to stick to sth
◊ a dress that clings (= fits closely and shows
the shape of your body)
◊ The wet shirt clung to his chest.
◊ The smell of smoke still clung to her clothes.
3 ~ (to sb) (usually disapproving) to stay
close to sb, especially because you need
them emotionally
◊ After her mother's death, Sara clung to her
aunt more than ever.

例文を◇印で表記します。

使用例を表すラベル
(スタイルラベル)

形容詞の比較級と最上級

hearty /ˈhɑːti; NAmE ˈhɑːti/
adj., noun
■ adj. (heart-ier, hearti-est)
1 [usually before noun] showing friendly feelings
for sb
◊ a hearty welcome
2 (sometimes disapproving) loud, cheerful and
full of energy
◊ a hearty and boisterous fellow
◊ a hearty voice
3 [only before noun] (of a meal or sb's
APPETITE) large; making you feel full

形容詞の使用例

dock /dɒk; NAmE dɔːk/
noun, verb

■ noun
1 [C] a part of a port where ships are repaired
, or where goods are put onto or taken off
them
◊ dock workers
◊ The ship was in dock.
→ see also DRY DOCK
2 docks [pl.] a group of docks in a port and
the buildings around them that are used for
repairing ships, storing goods, etc.
3 [C] (NAmE) = JETTY
4 [C] (NAmE) a raised platform for loading
vehicles or trains
5 [C] the part of a court where the person
who has been accused of a crime stands or
sits during a trial
◊ He's been in the dock (= on trial for a crime
) several times already.
6 [U] a wild plant of northern Europe with large
thick leaves that can be rubbed on skin that
has been stung by NETTLES to make it less
painful
◊ dock leaves
■ verb
1 if a ship docks or you dock a ship, it sails
into a HARBOUR and stays there
◊ [V] The ferry is expected to dock at 6.
[also VN]
2 if two SPACECRAFT dock, or are docked,
they are joined together in space
◊ [VN] Next year, a technology module will be
docked on the space station.
[also V]
3 [VN] ~ sth (from / off sth) to take away

名詞の固定形

名詞の種類別解説

例文中の一般的な言い回し
を強調文字で表記します。

Oxford 3000 に収録され
ていない定義で使用する
単語。

動詞のパターンコード

語彙を構築する

本辞典には、語彙の構築や、創造的な言葉の使用に役立つ情報が収録されています。

同義語と反意語を、記号を付けて表記します。

stable ➡ /steɪbl/

adj., noun, verb

■ adj.

1 firmly fixed; not likely to move, change or fail
[SYN] STEADY

- ◊ stable prices
- ◊ a stable relationship
- ◊ This ladder doesn't seem very stable.
- ◊ The patient's condition is stable (= it is not getting worse).

2 (of a person) calm and reasonable; not easily upset [SYN] BALANCED

- ◊ Mentally, she is not very stable.

3 (technical) (of a substance) staying in the same chemical or ATOMIC state

- ◊ chemically stable

[OPP] UNSTABLE

▶ **sta·bly** /steɪbli/ adv.

■ noun

1 a building in which horses are kept

■ verb (VN) to put ~ keep a horse in a stable

◊ Where do you stable your pony?

《WORD FAMILY》

- stable adj. (≠ unstable)
- stability n. (≠ instability)
- stabilize v.

WORD FAMILY は見出し語に関連した単語の集まりです。

NOTE には正しい単語の選択方法や難解な文法の説明が記載されています。

単語は使用頻度の高い順に配列しています。

(usually disapproving) working for sb or for an organization, often secretly

NOTE

SYNONYMS

[pay]
foot the bill • pick up the bill/tab

These words all mean to give sb money for work they have done or goods they have supplied.

pay to give sb money for work, goods, services, etc. ◊ I'll pay for the tickets. ◊ Her

相互参照により、本辞典内の別の箇所にある記載へと導きます。

see also は類似もしくは関連した意味を持つ単語へ導きます。

compare は対照的な意味を持つ単語へ導きます。

bear ➡ /beə(r); NAmE ber/

verb, noun

■ verb (bore /boɪ(r)/ borne /bɔ:n; NAmE born /bɔ:n/)

■ noun

1 a heavy wild animal with thick fur and sharp CLAWS (= pointed parts on the ends of its feet). There are many types of bear

- ◊ a black bear
- see also GRIZZLY BEAR, POLAR BEAR, TEDDY BEAR

2 (finance) a person who sells shares in a company, etc., hoping to buy them back later at a lower price—compare BULL—see also BEARISH

略語・記号の説明

1. 省略形

abbr.	: 省略形、短縮形	AustralE	: オーストラリア英語
adj.	: 形容詞	BrE	: イギリス英語
adv.	: 副詞	CanE	: カナダ英語
C	: 可算名詞	EAfrE	: 東アフリカ英語
conj.	: 接続詞	IndE	: インド英語
det.	: 限定詞	IrishE	: アイルランド英語
n.	: 名詞	NAmE	: 北アメリカ英語
pl.	: 複数形	NEngE	: イングランド北部英語
pp	: 過去分詞形	NZE	: ニュージーランド英語
prep.	: 前置詞	SAfrE	: 南アフリカ英語
pron.	: 代名詞	ScotE	: スコットランド英語
pt	: 過去形	SEAsianE	: 東南アジア英語
sb	: だれか(somebody)	US	: アメリカ英語
sing.	: 単数形	WAfrE	: 西アフリカ英語
sth	: 何か(something)	WelshE	: ウェールズ英語
symb	: シンボル		
U	: 不可算名詞		
v.	: 動詞		

● 記号

～	: 見出し語の出だしの言葉に置き換えるもの
■	: 見出し語で新しい語法の部分を示す
▶	: 見出し語で派生語の部分
・	: 見出し語で、音節の区切りを表す
◇	: 例文
×	: 文法的に誤った英語、語法上不適切な表現

IDM	: 見出し語で慣用句の部分
PHR V	: 見出し語で句動詞の部分
SYN	: 同意語・類義語
OPP	: 反意語
Oxford 3000	: Oxford 3000 に収録された単語を表す

2. スタイルラベル

本辞典では、特定の態度や場で使われる語には、ラベルをつけています。以下にそれぞれの意味を表示していますので、適切な語の使用に役立ててください。

approving	同意や賞賛の感情を示すときに用いる表現。
disapproving	不賛成や軽蔑の感情を示すときに用いる表現。
figurative	文字どおりではなく、暗喩的な意味を示す表現。
formal	厳粛な場や公式な場でのみ用いられる表現。日常会話での使用は不適切。
humorous	ユーモラスな表現。
informal	友人同士、あるいはくつろいだ場や非公式の場で用いられる表現。形式ばった場での使用は不適切。
ironic	本来の意味と反対または、まったく違った意味で使う。
literary	文学やフィクションで主に用いられる言語。
offensive	非常に侮辱的な表現。とくに人種や宗教、性別、身体障害に関して用いる。通常使うべきでない表現。
rare	一般的には使われない言語。たいてい別の語で言い換えられる。

slang	非常にくだけた表現。主に口語で用いられ、同年代や同業者など限定された集団の中で、通常使われる。
taboo	タブー語 多くの人々が不愉快、衝撃的と感じるであろう単語。これらの単語の使用は避けるべき。 例：bloody、shitなど。
technical	特定の分野の専門家によって使われる言語。
AmE	アメリカ英語の表現。
BrE	イギリス英語の表現。
dialect	ブリテン諸島の地方特有の表現。ここではアイルランドやスコットランドは含まない。
old-fashioned	現代では使用されなくなりつつある表現。
old use	現代では使用されなくなった表現。
saying	ことわざなど良く知られた決まり文句や伝統的な表現。

3. verb patterns

本辞典では、動詞を用法別に22の型に分類し、ラベルで表示しています。各記号の意味は以下のとおりです。

▼ 自動詞

[V]	動詞のみ
[V+adv. / prep.]	動詞+副詞または前置詞句

▼ 他動詞

[VN]	動詞+名詞句(補語)
[VN+adv. / prep.]	動詞+名詞句+副詞または前置詞句

▼ 他動詞+2つの目的語

[VNN]	動詞+名詞句+名詞句
-------	------------

▼ 連結動詞

[V-ADJ]	動詞+形容詞
[V-N]	動詞+名詞句
[VN-ADJ]	動詞+名詞句+形容詞
[VN-N]	動詞+名詞句+名詞句(目的補語)

▼ 節や句とともに使われる動詞

[V that] [V (that)]	動詞+that節
[VN that] [VN (that)]	動詞+名詞句+ that 節
[V wh-]	動詞+ wh- 節
[VN wh-]	動詞+名詞句+ wh- 節
[V to]	動詞+ to 不定詞
[VN to]	動詞+名詞句+ to 不定詞
[VN inf]	動詞+名詞句+原形不定詞
[V -ing]	動詞+現在分詞
[VN -ing]	動詞+名詞句+現在分詞

▼ 動詞+直接話法

[V speech]	動詞+直接話法
[VN speech]	動詞+名詞句+直接話法

OXFORD Thesaurusガイド(類語)

類語のアレンジ

各見出し語のもとに、類語は「類語セット」として **1、2** … などの番号がつけられて収録されています。

複数の意味を持つ見出し語には個々のニュアンスごとに類語セットが用意されています。また、セミコロンで区切ってさらに詳しい定義付けがされているものも記載されています。

類語セットは、見出し語に最も近いと思われる意味を持つ言葉から順に並べられており、通常は“コア類語”(core synonym)として太い大文字で記されています。

一つのコア類語だけでは見出し語の意味を正確に反映しないときは、二つ以上のコア類語があげられます。例えば“audience”という見出し語を例に取ってみると、“SPECTATORS”と“LISTENERS”の二つのコア類語があげられます。

そしてまた、異なる二つの類語は見出し語の持つわずかな意味の違いをはっきりさせるでしょう。例えば“prosperous”が見出し語の場合、まず最初にあげられるコア類語は“THRIVING”、次に“flourishing”や“successful”のような、そのコアの意味に準じた類語が示されます。そして、その後につづくセミコロン以下で、もう一つのコア類語“AFFLUENT”があげられ、“wealthy”や“rich”のような二つ目のコアに準じた類語が続きます。

類語を使用するときのガイド

本辞典にあるほとんどの類語は標準的な英語ですが、いくつかの語は特定の文脈でのみ使われます。それらは類語セットの最後に集められ以下のようなラベルで表示されています。

〈informal〉 例 abysmal, dodgy など

： くれた会話及び文章につかわれる言葉

〈formal〉 例 forsake, remit など

： 公式文書などの文語表現につかわれる言葉

〈technical〉 例 absorbent, absorption など

： 特定の専門分野で使われる言葉。〈Medicine〉、〈Nautical〉等と表示されている。

〈poetic/literary〉 例 dissimilar, divers など

： 詩または文学などでのみ使用される言葉

〈dated〉 例 correctly, scoundrel など

： もはや通常の英語表現ではないが、古い世代の人たちによって現在もつかわれる言葉

〈historical〉 例 donation, anchorite など

： 現在も使われるが、史話などの中のみ用いられる言葉

〈humorous〉 例 enjoyment, alteration など

： 主にユーモアを含む言葉

〈archaic〉 例 anchorite, fruitless など

： 表現効果のため以外には現在ではつかわれない古い言葉

〈rare〉 例 postpone, alms など

：現在も以前もあまり使われていない言葉

使用が特定の地域に限定される類語もまた、使用する地域名が以下のようなラベルで表示されています。

：イギリス 〈Brit.〉、北アメリカ 〈N. Amer.〉、アメリカ合衆国 〈US〉、カナダ 〈Canadian〉、オーストラリア 〈Austral.〉、ニュージーランド 〈NZ〉、南アフリカ 〈S. Afr.〉、西インド諸島地域 〈W. Ind.〉。

トレードマーク及び所有権のステータスについて

この辞典にはトレードマークである、あるいはそうでなくても、所有権があると主張されている言葉が記載されていますが、その所有権を無効化する法的な目的や意図、その他法的地位に関して判断を下すものではありません。

ある言葉が所有権の資格を持つという根拠が編集者にある場合、その言葉に 〈trademark〉 のラベルを付けますが、それによりこれらの言葉について、法的ステータスを決定したり暗に意味するものではありません。

主な特長

- ① assign
▶verb
- ② 1 **EX** a young doctor was assigned the task:
ALLOCATE, allot, give, set; charge with, entrust with.
2 **EX** she was assigned to a new post:
APPOINT, promote, delegate, commission, post, co-opt; select for, choose for, install in;
〈Military〉 detail.
3 **EX** we assign large sums of money to travel budgets:
EARMARK, designate, set aside, reserve, appropriate, allot, allocate, apportion.
4 **EX** he assigned the opinion to the Prince:
ASCRIBE, attribute, put down, accredit, credit, chalk up, impute; pin on, lay at the door of.
5 **EX** he may assign the money to a third party:
TRANSFER, make over, give, pass, hand
- ③ over/down, convey, consign;
〈Law〉 attorn, devise.

- ① ▶マークの後ろに見出し語の品詞を示す。
- ② ニュアンスの違いがわかるように、それぞれ**EX** マークをつけて例文を示す。
- ③ 類語の組み合わせをこのように表記する(この場合は、"hand over" と "hand down")。

bag

▶noun

- 1 **EX** I dug around in my bag for my lipstick:
HANDBAG, shoulder bag, clutch bag, evening bag, pochette;
- ④-----<(N. Amer.) pocketbook, purse;
 <historical> reticule, srip.
- 2 **EX** she began to unpack her bags:
SUITCASE, case, valise, portmanteau, holdall, grip, overnighter; backpack, rucksack, knapsack, haversack, kitbag, duffel bag; satchel;
- ⑤-----**(bags)** luggage, baggage.

▶verb

- 1 **EX** locals bagged the most fish:
CATCH, land, capture, trap, snare, ensnare; kill, shoot.
- 2 **EX** he bagged seven medals:
GET, secure, obtain, acquire, pick up; win, achieve, attain; commandeer, grab, appropriate, take;
 <informal> get one's hands on, land, net.

- ④ 特定の地域で使われる意味が類語となる語を示すラベル(略語の説明は182ページを参照)。
- ⑤ 見出し語の形が変わったときの類語を後ろに示す。

infrequent

▶adjective

- ⑥-----**RARE**, uncommon, unusual, exceptional, few (and far between), like gold dust, as scarce as hens' teeth; unaccustomed, unwonted; isolated, scarce, scattered; sporadic, irregular, intermittent;
 <informal> once in a blue moon;
 <dated> seldom.
- ⑧-----**OPPOSITES** common.

- ⑥ コア類語(見出し語と意味が最も近いと思われる語)。
- ⑦ 類語のグループの表記。(この場合は、"few"と"few and far between"の二つが見出し語に対しての類語となる)
- ⑧ 見出し語の反対の意味を持つ言葉。これらのほとんどは見出し語として存在するので、そこで更に幅広く選択できる。

lip

▶noun

- 1 **EX** the lip of the crater:
EDGE, rim, brim, border, verge, brink.
- 2 <informal> **EX** I'll have no more of your lip!:
INSOLENCE, impertinence, impudence, cheek, rudeness, audacity, effrontery, disrespect, presumptuousness;
 <informal> mouth;
 <Brit, informal> sauce, backchat.
- ⑨-----**RELATED TERMS** labial, labio-.

- ⑨ 語句、接頭辞および接尾辞など、見出し語と関わりのある語ではあるが類語とは呼べない言葉。

- **night and day**
ALL THE TIME, around the clock, {morning, noon, and night}, {day in, day out}, ceaselessly, endlessly, incessantly, unceasingly, interminably, constantly, perpetually, continually, relentlessly; <informal> 24-7.
- ⑩.....

⑩ 括弧 { } で囲まれた表現がそのまま見出し語の類語となるケース。

- plant**
 ▶noun
 1 ex garden plants:
 flower, vegetable, herb, shrub, weed;
 (plants) vegetation, greenery, flora, herbage, verdure.
- ⑪..... <Table> **Types of Plant**
 <Table> **Parts of a Plant**
- ⑫..... See table at
 <Table> **FLOWER(1)**,
 <Table> **FLOWER(2)**,
 <Table> **FRUIT**,

⑪ <Table> は、見出し語に関連のある情報が収録されていることを示す(後ろに関連情報のタイトルが示される)。

⑫ See table at に続く <Table> は、関連のある他の見出し語(ここでは FLOWER)の収録情報を見ることができることを示す。

〈 〉と《 》の違い

- assign**
 ▶verb
 1 ex a young doctor was assigned the task:
ALLOCATE, allot, give, set; charge with, entrust with.
 2 ex she was assigned to a new post:
APPOINT, promote, delegate, commission, post, co-opt; select for, choose for, install in;
 ⑬..... <Military> detail.
 3 ex we assign large sums of money to travel budgets:

⑬ 〈 〉は類語となる意味の範囲を示すラベル。

この例では、後ろに示される語(detail)の Military な意味での使用が、見出し語 assign の類語となる。

- lip**
 ▶noun
 1 ex the lip of the crater:
EDGE, rim, brim, border, verge, brink.
 ⑭..... 2 <informal> ex I'll have no more of your lip!:
INSOLENCE, impertinence, impudence, cheek, rudeness, audacity, effrontery, disrespect, presumptuousness;
 <informal> mouth;
 <Brit, informal> sauce, backchat.
 -RELATED TERMS labial, labio-,

⑭ 《 》は見出し語の意味の範囲を示すラベル。

この例では、見出し語 lip の informal な意味に対応する類語が後ろに示される。

OXFORD Collocations ガイド (連語)

【コロケーションとは？】

コロケーションとは、ある言語の単語が組み合わされて、自然な話し言葉や、書き言葉が生み出されることを意味します。例えば、英語の strong wind や heavy rain は、通常 heavy wind や strong rain とは言いません。中級前あるいは初級レベルの学習者でも、これらの4つの単語をすべて知っていますが、使用語彙としてそれらの単語を正しく組み合わせるには、高い言語能力が要求されます。ネイティブにとっては、これらの組み合わせは予測できますが、学習者にとっては、決してそうではありません。

言語における単語の組み合わせは、see a man, see a car, see a book などの全く自由なものから、not see the wood for the trees のような完全に決まった慣用句といったものまでを範囲とした、連続変異上にあります。たとえば、not see the wood for the trees という慣用句は、ただ決まった形であるというだけでなく、意味的には wood や trees とは何の関連もありません。この連続変異の間には、動詞 see がとることのできる名詞の範囲があって、この中には、意味に関していえば予測もできず、不明瞭でもないものが含まれています。これらは、see a film (初級学習者は see が文字通りの意味ではないことを反映して、区切りをつけないでかたまりとして学ぶ) などのかなり「弱い」コロケーションから、see a doctor のような「中ぐらいの」コロケーションを通して、see danger, see reason, see the point のような「より強い」コロケーションまで変化します。

これらの言葉の組み合わせはすべてコロケーションと呼ぶことができ、これは連続変異の両端にある極端なものとは区別して考えます。英語での伝達能力に絶対必要なのが、このような組み合わせで特に「中ぐらいの」コロケーションの組み合わせのものです。

【なぜコロケーションが重要なのか？】

コロケーションは、英語全体に渡って存在します。自然な会話言葉や、書き言葉の英語には、全くコロケーションのないものはありません。たとえ基本的な理解に問題がなくても、正しいコロケーションを選択することにより、学生の会話や作文は、さらに自然なネイティブのようになります。学生が、strong rain と述べても、理解してもらえるでしょうが、笑いを誘い、訂正されることになるかもしれません。ただそれはあまり大きな問題ではないでしょう。確かに言えることは、試験の場合では、低い評価を受けることになるということです。

それより重要なことは、コロケーションが豊富だと、言葉がもっと正確になるということです。英語の単語、特に一般的な単語は、多くの意味を包含しています。全く明確な意味のものもあれば、意味が次第に変化するものもあります。

文章の前後関係における正確な意味は、周囲の単語や中心の単語に組み合わせたコロケーションにより、文脈が確定されます。最適のコロケーションを選ぶ学生は、よりはっきりと自身の言いたいことを表現することができ、一般的な意味だけではなく、もっと正確なことを伝えることができます。

【略語・記号の説明】

1. 省略形

- ADJ.** : 形容詞(または、形容詞と同じ働きをする名詞)
ADV. : 副詞
PREP. : 前置詞
QUANT. : 数量詞(=物の量/数を表わす言葉)
etc. : その他(=など)
sb : だれか(somebody)
sth : 何か(something)

●記号

- ~ : 見出し語の出だしの言葉に置き換えるもの
TM : 製造会社に属する登録商標
例) Hammond organTM など、話すときや書くときに普通に使用される

2. スタイルラベル

本辞典の中で一般的に使用されるラベルは、二つの単語を組み合わせたコロケーションに適用し、個々の単語には適用しません。下記の用法指示は、特定の傾向を表わすコロケーションか、特定の状況において適切なコロケーションに使用します。

- disapproving** 不賛成や軽蔑の感情を示すときに用いる表現。
figurative 文字どおりではなく、暗喩的な意味を示す表現。
formal 厳粛な場や公式な場でのみ用いられる表現。日常会話での使用は不適当。

historical 過去に存在した物事や概念を表わし、すでに存在しない(debtor's prison)か、あるいは、現在それに相当するものは違う名前を持つ。(circulating library は、現在の言葉ではlending library)しかし、過去について話すときには、この歴史的用語は今でも使用される。

humorous ユーモラスな表現。

informal 友人同士、あるいはくつろいだ、ないしは非公式の場で使用される表現。形式ばった場での使用は不適切。

ironic 本来の意味とは反対または、まったく違った意味で使う。

literary 文学やフィクションで主に用いられる言語。

offensive 人や国などに対する非常に侮辱的な表現。

old-fashioned 現在では使用されなくなりつつある表現。作家の中には、特にフィクションの特定効果を求めて使用する場合がある。

saying ことわざなどよく知られた決り文句や伝統的な表現。

taboo 多くの人が卑猥、衝撃的と考える表現。使用は避けること。コロケーションとして有力な場合のみ記載するが、これらの語句は、コロケーションでも、常に禁忌語である。

technical 特定の分野の専門家によって使われる用語。

下記のラベルも特定分野の用語です。

business(ビジネス)、**law**(法律)、**medical**(医療)、**science**(科学)、**computing**(コンピューター)、**mathematics**(数学)、**military**(軍隊)、**sport**(スポーツ)

【見出し語のガイド】

・名詞

意味番号と短い定義により、
mountainの異なる意味を区別する。

mountainと連語を成す形容詞または形容詞のような働きをする名詞。

数量詞：物の量及び数を意味する言葉。

mountainの前に来る動詞及び後ろに続く動詞。

- mountain** noun
- 1 very high hill
- ADJ.
 - big, great, high, huge, large, lofty, massive, tall, towering
 - small
 - steep
 - low
 - beautiful, dramatic, fine, majestic, spectacular
 - surrounding The surrounding mountains make the city difficult to evacuate.
 - distant
 - isolated, remote
 - inland
 - jagged, rocky, rugged
 - snow-capped, snow-covered, snowy
 - holy the holy mountain of the Lapp community
- QUANT.
- chain, range a chain/range of mountains
- VERB + MOUNTAIN
- ascend, climb, come/go up, scale
 - come/go down, descend, walk down
 - walk in We enjoy walking in the mountains.
 - cross (over)
- MOUNTAIN + VERB
- rise, soar, tower The mountains here rise to well over 2 000m.
 - fall The mountains fall to the east to the flat expanse of the plateau.
 - surround sth Towering mountains surrounded the village.
 - shake The earth tremor made the mountains shake.

mountainの後ろに続く名詞。

連語は、意味またはカテゴリーによりグループ分けされる。

mountainと結合する前置詞。

mountainを含む一般的な句。

- MOUNTAIN + NOUN
 - chain, range
 - area, country, environment, region Between the two towns was 50 miles of mountain country.
 - height We crossed the rugged mountain heights.
 - pass, path, road, route, track
 - landscape, scenery
 - crag, face, flank, peak, ridge, side, slope, top, valley, wall
 - cave
 - lake, stream
 - air Many people come to the resort simply to enjoy the fresh mountain air.
- sickness
- boot
- goat, gorilla, hare, sheep
- PREP.
 - across/over/through the ~ a pass through the mountains down/up a/the ~ She arranged to meet the others halfway up the mountain, in the ~s This type of goat lives high up in the mountains.
- PHRASES
 - the flank/side/slope of a mountain, the foot/bottom/top of a mountain
- 2 large amount/number of sth
- ADJ.
 - great
 - debt
 - paper
 - butter, food, etc. They revealed a solution to reduce Europe's butter mountain.
- VERB + MOUNTAIN
 - generate
 - reduce
- PHRASES
 - a mountain of paper/paperwork The enquiry generated a mountain of paperwork.

・形容詞

famousの前に来る動詞。

famous adj.

• VERBS

• be

• become

• **make sb/sth** The school was made famous by its association with Charles Dickens.

famousと連語を成す副詞。

• ADV.

• really, very

• quite

• **internationally, locally** internationally famous rock stars

• **justly, rightly** The city is justly famous for its nightclubs.

famousの後ろに続く前置詞。

• PREP.

• **as** He was famous as both a teacher and a scientist. **for** The town became famous for its lace.

famousを含む一般的な句。

• PHRASES

• **rich and famous** One day I'll be rich and famous, you'll see! **world famous** He became a world famous conductor.

・動詞

remindと連語を成す副詞。

remind verb

• ADV.

• **constantly, frequently, repeatedly**

• **gently** She gently reminded him that the baby was getting cold and should be taken indoors.

remindの前に来る動詞。

• VERB + REMIND

• **not have to, not need to** I'm sure I don't need to remind you that we have lost our last ten matches.

• **serve to** An event like this serves to remind us that we do not have control over nature.

remindの後ろに続く前置詞。

• PREP.

• **about** I rang to remind him about the party. **of** She looked at her watch to remind him of the time.

remindを含む一般的な句。

• PHRASES

• **keep reminding sb**

PHRASAL VERBS

• **remind sb of sb/sth**

動詞句は、見出し語の最後で別に取り扱う。

• ADV.

• **forcefully, forcibly, sharply, strongly, vividly** The building reminded me strongly of my old school.

・見出し語のその他の特徴

コロケーション pitch blackの使用について、短い使用上の注意により制限を示す。

black adj.

• ADV.

• **very** The sky looks very black.

• **all** His hands were all black from messing about with the car.

• ADJ.

• **jet, pitch** (used about the night) She had beautiful jet-black hair. ♦ It was pitch black outside.

見出し語に関連する語の説明などがNOTEとして収録されている。

< NOTE

humorous, formal, low, figurative等のラベルの意味は186ページのスタイルラベルを参照ください。

abode noun

- ADJ.
 - **humble** (humorous) Welcome to my humble abode.
- VERB + ABODE
 - **take up your** (formal or humorous) I had been invited to take up my abode at Government House.
- PHRASES
 - **of no fixed abode** (law) (= without a permanent address) An 18-year-old man of no fixed abode appeared at Teesside magistrates court yesterday.
 - **the right of abode** (law) (= the right to live in a place)

個別の句の意味を短く説明する。

wilderness noun

- ADJ.
 - last
 - great
 - barren, desert, desolate
 - frozen
 - uncharted
 - unspoilt
 - political (figurative) the man who brought the party back from the political wilderness
- VERB + WILDERNESS
 - **transform** They transformed the wilderness into a garden.
 - **explore** They set out to explore the earth's last great wilderness, Antarctica.
- WILDERNESS + NOUN
 - **years** (figurative) His wilderness years (= when he was out of politics and the public eye) in the 1990s were spent in North America.
- PREP.
 - **in the ~** We were hopelessly lost in the wilderness.

etc.は、他の国名も、aristocracyと連語を成すことを示す。

aristocracy noun

- ADJ.
 - British, French, etc.
 - landed, landowning
 - local
- PHRASES
 - a member of the aristocracy

この辞典の使い方

この辞典は、英語の語義、発音、語源などを調べる辞典ではなく、各単語が習慣的にどのような語と結びついて用いられるかを、理解しやすい分類に従って検索するために編集された辞典です。そのために、一般的な英和辞典のもつさまざまな要素は最小限にとどめ、ほとんどを語と語の結びつきを示す用例の提示にあてています。この辞典を効果的にご利用いただくために、ぜひ以下の解説をお読みください。

I この辞典の構造

A 見出し語の種類とコロケーションの分類

本辞典では、主に次の3種類の見出し語がある。

- (1) 名詞
- (2) 動詞
- (3) 形容詞

この中では、名詞がいちばん数も記述も多く、以下、動詞、形容詞と続く。このことから、本辞典が名詞を中心にして、コロケーション (collocation) を集めた辞書であるという性格がご理解いただけると思う。

また、上記 (1) - (3) のほかに、適宜、副詞、前置詞、代名詞なども扱うが、それらは数としてはあまり多くない。

以下に、上記 (1) から (3) までの見出し語の下でどのようなタイプの用例を扱うか、その分類を個別に具体的に見ていく。

《注》用例中では、その見出し語自体は斜体で示し、見出し語と結びつく、その用例の核となる単語は太字で表記する。

1. 名詞見出し

a) 〈動詞+〉

その名詞を目的語に取る他動詞・他動詞句を、その動詞の原形のアルファベット順に配列する。

《注》〈動詞+〉で扱う動詞は、(1) 1語の他動詞、(2) 「他動詞+副詞」の句動詞、の2種が原則だが、(3) 「自動詞+前置詞」の組み合わせで他動詞的に用いられるものなどもここに含まれる。

b) 〈+動詞〉

その名詞が主語になってどのような述語動詞を従えるかを、その動詞の原形のアルファベット順に配列する。

《注》〈+動詞〉で扱うものは、(1) 単独の[1語の]動詞のほかに、(2) 句動詞、(3) 動詞を含む成句、などがある。

c) 〈形容詞・名詞+〉

その名詞を修飾する形容詞、形容詞的に用いられる名詞・名詞句を、その形容詞(など)の原級のアルファベット順に配列する。

《注》〈形容詞・名詞+〉の項では、普通の形容詞・名詞のほかに形容詞的に用いられる過去分詞、現在分詞なども含める。

《注》名詞を修飾する形容詞および形容詞相当語句は限定用法だけでなく、叙述用法も含む。

d) 〈前置詞+〉

その名詞の前にどのような前置詞・前置詞句がくるかを、その前置詞・前置詞句のアルファベット順に配列する。

《注》〈前置詞+〉では、1語の前置詞のほかに、according to, because of, due to, instead of などの前置詞句も適宜ひとまとまりの前置詞として扱う。これは名詞見出しのみならず、動詞見出しの〈+前置詞〉、形容詞見出しの〈+前置詞〉においても同様。

e) 〈+前置詞〉

その名詞の後にどのような前置詞・前置詞句がくるかを、その前置詞・前置詞句のアルファベット順に配列する。

2. 動詞見出し

a) 〈副詞 1〉

その動詞を修飾する一般的な副詞を、その副詞のアルファベット順に配列する。

b) 〈副詞 2〉

about, along, down, in, off, on, out, over, through, up など、副詞にも前置詞にも用いることが可能で副詞として用いられている一群の副詞を、その副詞のアルファベット順に配列する。

c) 〈+前置詞〉

その動詞と結びつく前置詞・前置詞句を、その前置詞・前置詞句のアルファベット順に配列する。

3. 形容詞見出し

a) 〈副詞〉

その形容詞を修飾する副詞・副詞句を、その副詞・副詞句のアルファベット順に配列する。

b) 〈+前置詞〉

その形容詞と結びつく前置詞・前置詞句を、その前置詞・前置詞句のアルファベット順に配列する。

B 統語的結合について

上記IAの「コロケーションの分類」とは別に、英語を書く際に参考になると思われる下記の統語的結合を、必要と思われる見出し語について、正規のコロケーションの分類の後ろに表記する。

1. 名詞見出し

a) 〈+to do〉

to 不定詞が名詞に対して形容詞的に付加されるもので、原則として次の3種類。(1) 動詞との派生で関連する名詞に対して付加され、その動詞の意味に対して目的語または副詞的限定語の関係にあるもの、(2) 形容詞との派生で関連する名詞に付加され、その意味に対し副詞的限定語の関係にあるもの、(3) 「意向・権能・手段・時機・理由」などを意味する名詞に付加されてその意味を限定するもの。

b) 〈+that節〉

that 節が、名詞に続いて、その名詞の内容を述べる同格節をなしたり、その名詞に含まれる動詞的意味の対象を述べたりするもの。

c) 〈+wh.〉

疑問の内容を表わす wh-word が名詞のあとに続く場合、wh-に導かれる陳述が従節の形式をなす場合もあり、また to 不定詞を用いた名詞句の形式で表わされる場合もある。

2. 動詞見出し

a) (+to do)

動詞が他動詞で、その目的語として to 不定詞を取るものと、動詞が自動詞で、to 不定詞がその補語または副詞的修飾語となっているものを扱う。また、便宜上、「+目的語+to do」の形式(動詞が目的語とさらに目的補語としての to 不定詞を従えるもの)もこの項目で扱う。

b) (+doing)

動名詞を目的語に取る他動詞を扱う。また、便宜上、「+目的語+doing」の形式もこの項目で扱う。後者にあつては、doing は動名詞で、前の目的語がその動詞に対して論理上の主語と見なされるものと、現在分詞で、目的補語として用いられている場合とがある。

c) (+that節)

接続詞 that に導かれる従節を扱う。

d) (+wh.)

wh-word が主として他動詞の目的語となっている従節を導く場合を扱う。ここで扱う wh-word は、what, who (whom, whose), which, when, where, why, how, whether のほかに if などにも含まれる。

e) (+ -self)

再帰代名詞 (-self) を目的語に取る動詞を扱う。

f) (+補)

主格補語を従える動詞、および目的補語を従える動詞を扱う。

3. 形容詞見出し

a) (+to do)

形容詞のあとに to 不定詞が続く形を扱う。この型では、to 不定詞は、(1) 形容詞の意味の適応範囲を制限したり、その対象を示したりするもの、(2) 形容詞の意味に対して原因や理由を表わすもの、などがある。

b) (+that節)

形容詞のあとに、対象や原因などとなる事柄を述べる that 節が続く場合を扱う。接続詞の that は比較的平易な文で特に日常多く用いられる形容詞のあとではしばしば省略される。

c) (+wh.)

what, who (whom, whose), which, when, where, why, how, whether のほかに if などに導かれる節および句を扱う。

C (雑)について

各見出し語は、その品詞に応じて、指定された分類の用例を掲載し、なおかつ必要な場合は、その後さらに「統語的結合」欄を配してある。しかし、指定の分類にも「統語的結合」にもうまく収まらないが、その見出し語にとっては重要と思われる句や表現もある。それらの表現は、各見出し語のいちばん最後に(雑)という欄を設け、そこに収録する。

II 凡例

A 見出し語

見出し語はアルファベット順に配列してある。この辞典の性質上、同一の単語であっても、品詞が異なる場合は、名詞、動詞、形容詞の順に別見出しとして配列し、見出し語の右肩に小文字で番号を付けて区別した。

average¹ *n.* 平均; 標準。

average² *v.* 平均すると…である。

average³ *adj.* 平均の、並みの。

つづり字が米英で異なるときは米式のつづりを前に、英式のつづりを後ろに置く。

color¹, 《英》 **colour** *n.* (1) 色, 色彩; 色合; 絵の具; 血色; 紅潮; …。

color², 《英》 **colour** *v.* 彩色する, 染める, 塗る; 潤色する; 顔を赤らめる。

また、見出し語に異つづりがある場合は、以下のように一般的なつづりを前に置き、併記した。

omelet, omelette *n.* オムレツ。

B 品詞表示

見出し語の品詞は、太字で示した見出し語の直後に斜体で示した。本辞典で用いている品詞表示は以下のとおり。

n. …noun 名詞

v. …verb 動詞

adj. …adjective 形容詞

上記のほかに、少数だが以下の品詞表示も用いられている。

adv. …adverb 副詞

pron. …pronoun 代名詞

prep. …preposition 前置詞

int. …interjection 間投詞

C 語形変化

名詞見出しの複数形は原則として表示しない。ただし、-o で終わる名詞、ギリシャ・ラテン語系の語の複数語尾などは使用者の便を考慮して適宜表記した。

aficionado *n.* (*pl.* ~s) 愛好者, ファン。

analysis *n.* (*pl.* -ses) 分析; 精神分析。

antenna *n.* (*pl.* ~s) アンテナ; (*pl.* -nae, ~s) 〔動物〕触角, (カタツムリの)角。

appendix *n.* (*pl.* ~es, -dices) 付録; 盲腸。

aura *n.* (*pl.* ~s, *aurae*) 雰囲気, 香気, 感じ, 輝き。

動詞・形容詞・副詞などの語形変化は表示しない。

D 語義

1. 本辞典での語義の扱い

本辞典は一般の英和辞典と異なり、単語の意味を調べる辞典ではない。従って、見出し語のあとに表記する訳語は、見出し語のもつすべての語義を網羅した、語の厳密な意味での definition ではなく、以下に列挙される用例全体を見渡しての大きな「意味の indicator (指標)」と考えていただきたい。

2. 語義の区分

類似した語義の言い換え・羅列はコンマ(,)で区切り、意味が大きく離れるときはセミコロン(;)で区切る。

use² *v.* 用いる, 利用する; 消費する; 扱う。

そして、語の意味が大きく複数に分かれるときは適宜(1)(2)…と分類した。

end¹ *n.*

(1) 端, 末, 終わり, 最後; 死。

(2) 目的, 成果。

E 用例について

1. 用例順

用例は別画面で表示するようにし、太字で表記した語の原形・原級のアルファベット順に配列した。

2. 用例間の区切り

各用例は改行によって区切る。

3. 【類】について

用例にはすべて日本語訳を与えるのを原則とする。ただし、1つの用例とほぼ同一の、もしくは類似した用法の例が続く場合、【類】として英語のみ表記し、日本語訳を省いた。その場合は、直前の用例の訳を参照されたい。

4. 引用

聖書・文学作品などからの引用は以下の書式で表記した(別記「英訳聖書書名の略形」および「シェイクスピア作品名の略形」を参照)。

《注》ただし、引用された用例が原典とずれている場合には、以下のように (cf. …) を加えて注意を喚起した。

その他の引用は適宜日本語訳の後に示した。

5. 用例中の one, sb および sth について

用例中でさまざまに入れ替えが可能な「人」あるいは「もの」を表示して、one/one's 《主語と同一人のとき》, sb (=somebody)/sb's (=somebody's) 《主語と異なる人のとき》, sth(=something), またその所有格としての sth's を用いる。

go fishing on one's day off 休みの日に釣りに行く

come **to** an *arrangement* with sb about… …について人と話がまとまる

order sb's *arrest* 人の逮捕を命じる

examine sth **from** a *scientific aspect* ものを科学的な面から調べる

F さまざまな指示・記号について

1. 単数・複数扱い

[単数扱い]……複数形の見出し語、またはその語義の一部が単数扱いされることを示す。

[複数扱い]……複数形の見出し語、またはその語義の一部が複数扱いされることを示す。

acoustics *n.* [単数扱い]音響学; [複数扱い]音響効果.

[*pl.*]……見出し語, またはその語義の一部が複数形で用いられることを示す. 特に断りのないときは「複数扱い」.

[*sing.*]……見出し語, またはその語義の一部が単数形で用いられることを示す. 特に断りのないときは「単数扱い」.

effect *n.* (3) [*pl.*] 家財, 動産.

《注》この際, [通例 *pl.*] [しばしば *pl.*] などの修飾語がつくことがある.

2. 専門語表記

専門語の表示には〔 〕を用いる. 『物理』『経済』『電算』『動物』などのようにできるだけ明示的に表記したので, 特に専門語表示一覧表は設けなかった. なお, 『商標』『掲示』『号令』なども, 便宜的に同じ記号を使って表記した.

illegal entry 『法律』(住居)不法侵入

No entry by this door. 『掲示』この入口からは入れません

No entry for unaccompanied children. 『掲示』付き添いのないお子さまの入場お断り

G 語の使用域・スピーチレーベルについて

本辞典で使用している使用域ならびにスピーチレーベルは原則的に以下のとおり.

《米》《英》《口語》《文語》《卑》《戯言》《諺》《小児語》《反語》
《皮肉》《比喩》《婉曲》

《注1》《米》《英》などの使用域は絶対的なものではなく, 「主として米で用いられる」「主として英で用いられる」の意で

用いていることが多い.

《注2》用例はスピーチレーベルを付していない標準的なものを中心にして, より文語的な表現, より形式ばった表現, より堅い書き言葉的な表現などに対して《文語》という表示をつけた. そして逆に, より口語的な表現, よりくだけた表現, より話し言葉的な表現などに対して《口語》という表示をつけた. なお, 本辞典では《俗語》という表示は採用していない. これは, 《口語》と《俗語》との境界線はきわめて不分明であることに加え, 《俗語》は時の経過とともに《口語》に移行することが多いので, 俗語的表現のうち日本人にとって有用と思われるものに《口語》という指示をつけて表記し, 反対に, あまりに俗語的と思われる表現については, これを一般の英和辞典に譲って, 本辞典では取り扱わなかった.

H 記号の使用法

1. () について

a) 省略可能な語句に用いる. たとえば

He is *efficient in* (performing) his duties. は “He is *efficient in* performing his duties.” と “He is *efficient in* his duties.” の意.

b) 訳語などの補足説明に用いる.

These photographs are very good for a **first effort**. 初めて(カメラを手にした)にしてはこれらの写真は見事だ

2. [] について

言い換えに用いる。たとえば

in good [poor] health は “in good health” または “in poor health” の意。

3. 《 》 について

補足説明に用いる。

pack¹ *n.*

〈形容詞・名詞+〉…a **day pack** デイバック《日帰り用の小型ナップザック》…

英訳聖書 (A.V.) 書名の略形

<i>Acts</i>	<i>The Acts of the Apostles</i>
<i>Amos</i>	<i>Amos</i>
<i>1 Chron.</i>	<i>The First Book of the Chronicles</i>
<i>2 Chron.</i>	<i>The Second Book of the Chronicles</i>
<i>Col.</i>	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Colossians</i>
<i>1 Cor.</i>	<i>The First Epistle of Paul the Apostle to the Corinthians</i>
<i>2 Cor.</i>	<i>The Second Epistle of Paul the Apostle to the Corinthians</i>
<i>Dan</i>	<i>The Book of Daniel</i>
<i>Deut.</i>	<i>The Fifth Book of Moses, called Deuteronomy</i>
<i>Eccles.</i>	<i>Ecclesiastes, or the Preacher</i>
<i>Ephes.</i>	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Ephesians</i>
<i>Esth.</i>	<i>The Book of Esther</i>
<i>Exod.</i>	<i>The Second Book of Moses, called Exodus</i>
<i>Ezek.</i>	<i>The Book of the Prophet Ezekiel</i>
<i>Ezra</i>	<i>Ezra</i>
<i>Gal.</i>	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Galatians</i>
<i>Gen.</i>	<i>The First Book of Moses, called Genesis</i>
<i>Hab.</i>	<i>Habakkuk</i>
<i>Hag.</i>	<i>Haggai</i>
<i>Heb.</i>	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Hebrews</i>
<i>Hos.</i>	<i>Hosea</i>
<i>Isa.</i>	<i>The Book of the Prophet Isaiah</i>
<i>James</i>	<i>The General Epistle of James</i>
<i>Jer.</i>	<i>The Book of the Prophet Jeremiah</i>

<i>Job</i>	<i>The Book of Job</i>
<i>Joel</i>	<i>Joel</i>
<i>John</i>	<i>The Gospel according to St. John</i>
<i>1 John</i>	<i>The First Epistle General of John</i>
<i>2 John</i>	<i>The Second Epistle of John</i>
<i>3 John</i>	<i>The Third Epistle of John</i>
<i>Jonah</i>	<i>Jonah</i>
<i>Josh.</i>	<i>The Book of Joshua</i>
<i>Jude</i>	<i>The General Epistle of Jude</i>
<i>Judges</i>	<i>The Book of Judges</i>
<i>1 Kings</i>	<i>The First Book of the Kings</i>
<i>2 Kings</i>	<i>The Second Book of the Kings</i>
<i>Lam.</i>	<i>The Lamentations of Jeremiah</i>
<i>Lev.</i>	<i>The Third Book of Moses, called Leviticus</i>
<i>Luke</i>	<i>The Gospel according to St. Luke</i>
<i>Mal.</i>	<i>Malachi</i>
<i>Mark</i>	<i>The Gospel according to St. Mark</i>
<i>Matt.</i>	<i>The Gospel according to St. Matthew</i>
<i>Mic.</i>	<i>Micah</i>
<i>Nah.</i>	<i>Nahum</i>
<i>Neh.</i>	<i>The Book of Nehemiah</i>
<i>Num.</i>	<i>The Fourth Book of Moses, called Numbers</i>
<i>Obad.</i>	<i>Obadiah</i>
<i>1 Pet.</i>	<i>The First Epistle General of Peter</i>
<i>2 Pet.</i>	<i>The Second Epistle General of Peter</i>
<i>Philem.</i>	<i>The Epistle of Paul to Philemon</i>
<i>Philip.</i>	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Philippians</i>

<i>Prov.</i>	<i>The Proverbs</i>
<i>Ps.</i>	<i>The Book of Psalms</i>
<i>Rev.</i>	<i>The Revelation of St. John the Divine</i>
<i>Rom.</i>	<i>The Epistle of Paul the Apostle to the Romans</i>
<i>Ruth</i>	<i>The Book of Ruth</i>
<i>1 Sam.</i>	<i>The First Book of Samuel</i>
<i>2 Sam.</i>	<i>The Second Book of Samuel</i>
<i>Song of Sol.</i>	<i>The Song of Solomon</i>
<i>1 Thess.</i>	<i>The First Epistle of Paul the Apostle to the Thessalonians</i>
<i>2 Thess.</i>	<i>The Second Epistle of Paul the Apostle to the Thessalonians</i>
<i>1 Tim.</i>	<i>The First Epistle of Paul the Apostle to Timothy</i>
<i>2 Tim.</i>	<i>The Second Epistle of Paul the Apostle to Timothy</i>
<i>Titus</i>	<i>The Epistle of Paul to Titus</i>
<i>Zech.</i>	<i>Zechariah</i>
<i>Zeph.</i>	<i>Zephaniah</i>

外典 (Apocrypha)

<i>Baruch</i>	<i>Baruch</i>
<i>Bel and Dragon</i>	<i>The History of the Destruction of Bel and the Dragon</i>
<i>Ecclus.</i>	<i>The Wisdom of Jesus the Son of Sirach, or Ecclesiasticus</i>
<i>1 Esd.</i>	<i>I. Esdras</i>
<i>2 Esd.</i>	<i>II. Esdras</i>

<i>Judith</i>	<i>Judith</i>
<i>1 Macc.</i>	<i>The First Book of the Maccabees</i>
<i>2 Macc.</i>	<i>The Second Book of the Maccabees</i>
<i>Pr. of Man.</i>	<i>The Prayer of Manasses</i>
<i>Rest of Esther</i>	<i>The Rest of the Chapters of the Book of Esther</i>
<i>Song of Three Children</i>	<i>The Song of the Three Holy Children</i>
<i>Susanna</i>	<i>The History of Susanna</i>
<i>Tobit</i>	<i>Tobit</i>
<i>Wisd. of Sol.</i>	<i>The Wisdom of Solomon</i>

Shakespeare 作品の略形

<i>All's W</i>	<i>All's Well That Ends Well</i>
<i>Antony</i>	<i>Antony and Cleopatra</i>
<i>As Y L</i>	<i>As You Like It</i>
<i>Caesar</i>	<i>Julius Caesar</i>
<i>Corio</i>	<i>Coriolanus</i>
<i>Cymb</i>	<i>Cymbeline</i>
<i>Errors</i>	<i>The Comedy of Errors</i>
<i>Hamlet</i>	<i>Hamlet</i>
<i>1 Hen IV</i>	<i>1 Henry IV</i>
<i>2 Hen IV</i>	<i>2 Henry IV</i>
<i>Hen V</i>	<i>Henry V</i>
<i>1 Hen VI</i>	<i>1 Henry VI</i>
<i>2 Hen VI</i>	<i>2 Henry VI</i>
<i>3 Hen VI</i>	<i>3 Henry VI</i>

<i>Hen VIII</i>	<i>Henry VIII</i>
<i>John</i>	<i>King John</i>
<i>Kinsmen</i>	<i>The Two Noble Kinsmen</i>
<i>Lear</i>	<i>King Lear</i>
<i>Love's L L</i>	<i>Love's Labour's Lost</i>
<i>Lucrece</i>	<i>The Rape of Lucrece</i>
<i>Macbeth</i>	<i>Macbeth</i>
<i>Measure</i>	<i>Measure for Measure</i>
<i>Merch V</i>	<i>The Merchant of Venice</i>
<i>Merry W</i>	<i>The Merry Wives of Windsor</i>
<i>Mids N D</i>	<i>A Midsummer Night's Dream</i>
<i>Much Ado</i>	<i>Much Ado about Nothing</i>
<i>Othello</i>	<i>Othello</i>
<i>Pericles</i>	<i>Pericles</i>
<i>Rich II</i>	<i>Richard II</i>
<i>Rich III</i>	<i>Richard III</i>
<i>Romeo</i>	<i>Romeo and Juliet</i>
<i>Shrew</i>	<i>The Taming of the Shrew</i>
<i>Sonnets</i>	<i>Sonnets</i>
<i>Tempest</i>	<i>The Tempest</i>
<i>Timon</i>	<i>Timon of Athens</i>
<i>Titus</i>	<i>Titus Andronicus</i>
<i>Troilus</i>	<i>Troilus and Cressida</i>
<i>Twel N</i>	<i>Twelfth Night</i>
<i>Two Gent</i>	<i>The Two Gentlemen of Verona</i>
<i>Venus</i>	<i>Venus and Adonis</i>
<i>Winter's</i>	<i>The Winter's Tale</i>

スーパー大辞林（凡例）

1. 見出し

- 1 見出しは現代仮名遣いによる。
- 2 和語・漢語は平仮名、外来語は片仮名で表示。
- 3 見出しの中の「・」は活用する語の語幹と語尾との区切りを示す。
「○」は、○以下が語幹語尾の区別のできない活用語であることを示す。

2. 歴史的仮名遣い

歴史的仮名遣いが見出しと異なる場合は、見出しの次に、異なる部分をひらがなで示した。見出しと一致する部分は一の記号で省略した。

3. アクセント

現代語の見出しには共通語としてのアクセントを示した。
→「この辞書のアクセント表示」参照

4. 表記形

- 1 【 】の中に標準的な書き表し方を示した。
【 】の中の漢字が「常用漢字表」にないものには「▶」、その漢字が「常用漢字表」にはあるが、見出しに相当する音訓が示されていないものには「▷」を付した。「常用漢字表」の「付表」の語は〈 〉で囲んで示した。

- 2 送り仮名は、内閣告示「送り仮名の付け方」の通則に基づいて示した。
- 3 外来語については【 】の中に綴りを示した。ギリシャ語・梵語等はローマ字綴りに直した。

5. 品詞・活用

- 1 見出し語の品詞・活用の種類を（ ）の中に略語で示した。但し、名詞には品詞表示を省略した。
→「略語・記号一覧」参照
- 2 動詞には活用の行を示した。
- 3 主な助動詞には活用を示した。
- 4 スルは、サ変動詞としての用法があることを示す。

6. 文語形

活用語で口語形と文語形の異なるものは、口語形見出しのあとに ☒ として活用の種類と文語形を示した。

7. 解説

- 1 現代語として用いられる意味・用法を先に、古語としての意味・用法をあとに記述した。
- 2 専門用語については《 》の中に適宜その分野を示した。
→「略語・記号一覧」参照
- 3 解説をすべて他の見出しで行なっている場合は ☞ 解説：で示し、参照項目はその見出しを ☞ で示した。

8. 用例

- 1 用例は語釈のあとに「」で囲んで示した。
- 2 用例中の見出し語に相当する部分は一で略した。
活用語は、語幹の部分を一・で略した。語幹語尾の区分のできない語は略していない。
- 3 出典名・作者名は、適宜略称を用いて示した。

略語・記号一覧

○品詞欄

(名)	名詞	(形シク)	形容詞シク活用
(代)	代名詞	(形動)	形容動詞
(動五)	動詞五段活用	(形動ナリ)	形容動詞ナリ活用
(動五〔四〕)	動詞口語五段活用・文語四段活用	(形動タリ)	形容動詞タリ活用
(動四)	動詞四段活用	(ト タル)	「～と」(副)「～たる」(連体詞)の形で用いられるもの
(動上一)	動詞上一段活用	(連体)	連体詞
(動上二)	動詞上二段活用	(副)	副詞
(動下一)	動詞下一段活用	(接続)	接続詞
(動下二)	動詞下二段活用	(感)	感動詞
(動力変)	動詞力行変格活用	(助動)	助動詞
(動サ変)	動詞サ行変格活用	(格助)	格助詞
(動ナ変)	動詞ナ行変格活用	(接助)	接続助詞
(動ラ変)	動詞ラ行変格活用	(副助)	副助詞
(動特活)	動詞特別活用	(係助)	係助詞
(形)	形容詞	(終助)	終助詞
(形ク)	形容詞ク活用		

(間投助)	間投助詞
(並立助)	並立助詞
(準体助)	準体助詞
(接頭)	接頭語

(接尾)	接尾語
(連語)	連語
(枕詞)	枕詞
スル	サ変動詞の用法

○専門用語

《哲》	哲学	《数》	数学
《論》	論理学	《物》	物理学
《倫》	倫理学	《化》	化学
《仏》	仏教	《天》	天文学
《言》	言語学	《地》	地学
《心》	心理学	《気》	気象学
《法》	法律	《電》	電気工学
《経》	経済	《機》	機械工学
《教》	教育	《建》	建築
《医》	医学	《音》	西洋音楽
《生》または《生物》	生物学	《美》	美学・美術
《生理》	生理学		

○記号

① ② ③…	アクセント
《 》	主に使用する漢字
文	文語形
季	季語

[可能]	可能動詞
[派生]	派生語
[慣]	慣用句
⇒ 対義語:	対義語
⇒	参照項目
⇒ 解説:	解説

アクセント表示

- (1) 見出し語のうち、現代語および現代でも使用されることのある語にアクセントを示した。ただし、方言、古語、人名・地名・作品名などのいわゆる固有名詞、仏教その他特殊な専門用語、および付属語には原則として示さなかった。また、二語以上の要素から成る語で一語化の度合いが薄く、それぞれの構成要素のアクセントから類推できると思われる語にも示さなかったものが多い。
- (2) 本辞典で示したアクセントは、現在テレビ・ラジオなどで用いられている全国共通語のアクセントである。
- (3) アクセントは単語ごとに、高く発音される部分から低く発音される部分へ移る境目の音が何番目の音であるかを①②③…によって示した。低くならない語は④とした。動詞・形容詞など活用する語は、見出し語としての終止形のアクセントのみを示した。また「十人十色」(ジューニン・トイロ)(傍線の部分を高く発音する)などのように、一つの見出し語に二つのアクセントの単位を含むものは①ー①のように示した。
- なお、例えば「うらとりひき」では③④と示しているが、これは、③にアクセントがある場合も、④にアクセントがある場合もある、ということを示している。

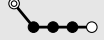
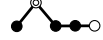
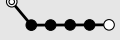
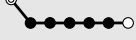
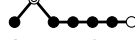
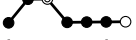
○この辞書のアクセント表示

- 日本語のアクセントは、単語を発音するときに、その単語の中の個々の「拍」を高く発音するか低く発音するかによって決まる。「拍」というのは日本語の音の長さの単位で、「シャ・チュ・キョ」などの拗音はカナ2字で1拍である。現在、東京

の言葉を基盤として日本全国で共通に使われている「全国共通語」では、アクセントの種類は、語の拍数によって決まっている。

- アクセントの種類は大きく「平板式」と「起伏式」とに分けられる。
- 共通語ではすべての単語において、1拍目と2拍目との間に音の高低の変化がある。
- 平板式は2拍目で高くなったあと、高低の変化がなく、アクセントは一種類だけである。
- 起伏式は、音が低くなったあとに続く部分には音の高低の変化がない。起伏式をさらに細かく分けるときは、1拍目だけ高く、あとは低いものを「頭高型」といい、2拍語で2拍目が高くその語に続いて発音される助詞などは低い場合など、単語の最後の拍が高くてそのあとで音が低くなるものを「尾高型」、その他の起伏式のアクセントを「中高型」という。
- 動詞・形容詞など「活用のある語」は、活用形によってアクセントがかわる。

図 日本語のアクセントの型

	平板式	起伏式					
		頭高型	中高型・尾高型 ()				
	⑦	①	②	③	④	⑤	⑥
一拍語	 ナ 名	 キ 木					
二拍語	 ミズ 水	 アキ 秋	 ハナ 花				
三拍語	 カイシャ 会社	 デンキ 電気	 オカシ お菓子	 オトコ 男			
四拍語	 ダイガク 大学	 ブンガク 文学	 ユキグニ 雪国	 サイジキ 歳時記	 オトオト 弟		
五拍語	 チュウゴクゴ 中国語	 シャアベット シャーベット	 フキウリツ 普及率	 ヤマノボリ 山登り	 コガタバス 小型バス	 モモノハナ 桃の花	
六拍語	 ケンブツニン 見物人	 ケンモホロロ けんもほろろ	 オマワリサン お巡りさん	 キンコンシキ 金婚式	 コクゴジテン 国語辞典	 タンサンガス 炭酸ガス	 ジュウイチガツ 十一月

⑦ 平板式：二拍目で高くなってから高低の変化がない

① 起伏式・頭高型：一拍目だけ高く、あとは低い

② 起伏式・中高(尾高)型：二拍目だけ高く、あとは低い

③ 起伏式・中高(尾高)型：二～三拍目が高く、あとは低い

④ 起伏式・中高(尾高)型：二～四拍目が高く、あとは低い

⑤ 起伏式・中高(尾高)型：二～五拍目が高く、あとは低い

⑥ 起伏式・中高(尾高)型：二～六拍目が高く、あとは低い

【文節・活用形のアクセント例】

- 本辞典では、現代語のほとんどの項目にアクセントを示してある。しかし、実際に発音されるときは、助詞・助動詞や接辞を伴ったり、活用形であったりすることが多い。ここには文節の形や活用形の場合のアクセントのおもな例を掲げた。傍線は高く発音する部分であり、　のところで下がることを示す。

平板式名詞「みず〔水〕」

ミズサエ 水さえ
ミズシカ 水しか
ミズスラ 水すら
ミズダ 水だ
ミズダソーダ 水だそうだ
ミズダロー 水だろう
ミズデショー 水でしょう
ミズデス 水です
ミズデワ 水では
ミズナド 水など
ミズニワ 水には
ミズノ 水の
ミズバカリ 水ばかり
ミズマデ 水まで
ミズヨリ 水より

起伏式名詞「よる〔夜〕」

ヨルサエ 夜さえ
ヨルシカ 夜しか
ヨルスラ 夜すら
ヨルダ 夜だ
ヨルダソーダ 夜だそうだ

ヨルダロー 夜だろう
ヨルデショー 夜でしょう
ヨルデス 夜です
ヨルデワ 夜では
ヨルナド 夜など
ヨルニワ 夜には
ヨルノ 夜の
ヨルバカリ 夜ばかり
ヨルマデ 夜まで
ヨルヨリ 夜より

平板式動詞「くらべる〔比べる〕」

クラベ¹(クラベ) 比べ(連用形)
クラベサセル 比べさせる
クラベズライ 比べづらい
クラベタ 比べた
クラベタイ 比べたい
クラベタリ 比べたり
クラベテ 比べて
クラベナイ 比べない
クラベナガラ 比べながら
クラベニクイ 比べにくい
クラベマス 比べます

クラベヨ 比べよ
クラベヨー 比べよう
クラベラレル 比べられる
クラベル 比べる(終止形・連体形)
クラベルカラ 比べるから
クラベルケレド 比べるけれど
クラベルソーダ 比べるそうだ
クラベルダロー 比べるだろう
クラベルデショー 比べるでしょう
クラベルナ 比べるな(禁止)
クラベルノデ 比べるので
クラベルホド 比べるほど
クラベルヨーダ 比べるようだ
クラベルラジイ 比べるらしい
クラベレバ 比べれば
クラベロ 比べろ
クラベワ 比べは(しない)

起伏式動詞「しらべる〔調べる〕」

シラベ 調べ(連用形)
シラベサセル 調べさせる
シラベズライ 調べづらい
シラベタ 調べた
シラベタイ 調べたい
シラベタリ 調べたり
シラベテ 調べて
シラベナイ 調べない
シラベナガラ 調べながら
シラベニクイ 調べにくい

シラベマス 調べます
シラベヨ(シラベヨ) 調べよ
シラベヨー 調べよう
シラベラレル 調べられる
シラベル 調べる(終止形・連体形)
シラベルカラ 調べるから
シラベルケレド 調べるけれど
シラベルソーダ 調べるそうだ
シラベルダロー 調べるだろう
シラベルデショー 調べるでしょう
シラベルナ 調べるな(禁止)
シラベルノデ 調べるので
シラベルホド 調べるほど
シラベルヨーダ 調べるようだ
シラベルラジイ 調べるらしい
シラベレバ 調べれば
シラベロ 調べろ
シラベワ 調べは(しない)

平板式形容詞「つめたい〔冷たい〕」

ツメタイ 冷たい(終止形・連体形)
ツメタイカラ 冷たいから
ツメタイケレド 冷たいけれど
ツメタイシ 冷たいし
ツメタイソーダ 冷たいそうだ
ツメタイダロー 冷たいだろう
ツメタイデショー 冷たいでしょう
ツメタイデス 冷たいです

ツメタイト 冷たいと
ツメタイナ 冷たいな
ツメダイノ 冷たいの
ツメダイノデ 冷たいので
ツメタイバカリ 冷たいばかり
ツメタイホド 冷たいほど
ツメダイヤラ 冷たいやら
ツメタイヨーダ 冷たいようだ
ツメタイラジイ 冷たいらしい
ツメダクッタ 冷たかった
ツメタガル 冷たがる
ツメタカロー 冷たかろう
ツメタク 冷たく(連用形)
ツメダクテ 冷たくて
ツメタクナイ 冷たくない
ツメダクワ 冷たくは
ツメタゲ 冷たげ
ツメダケレバ 冷たければ
ツメタサ 冷たさ
ツメタゾーダ 冷たそうだ

ウレシーデス 嬉しいです
ウレシート 嬉しいと
ウレシーナ 嬉しいな
ウレシーノ 嬉しいの
ウレシーノデ 嬉しいので
ウレシーバカリ 嬉しいばかり
ウレシーホド 嬉しいほど
ウレシーヤラ 嬉しいやら
ウレシーヨーダ 嬉しいようだ
ウレシーラシイ 嬉しいらしい
ウレシカッタ 嬉しかった
ウレシガル 嬉しがる
ウレシカロー 嬉しかろう
ウレシク 嬉しく(連用形)
ウレシクテ 嬉しくて
ウレシクナイ 嬉しくない
ウレシクワ 嬉しくは
ウレシゲ 嬉しげ
ウレシケレバ 嬉しければ
ウレシサ 嬉しさ
ウレシゾーダ 嬉しそうだ

起伏式形容詞「うれしい[嬉しい]」

ウレシイ 嬉しい(終止形・連体形)
ウレシーカラ 嬉しいから
ウレシーケレド 嬉しいけれど
ウレシーシ 嬉しいし
ウレシーゾーダ 嬉しいそうだ
ウレシードロー 嬉しいだろう
ウレシードショー 嬉しいでしょ
う

スーパ－大辞林 付表・絵図

【付表】

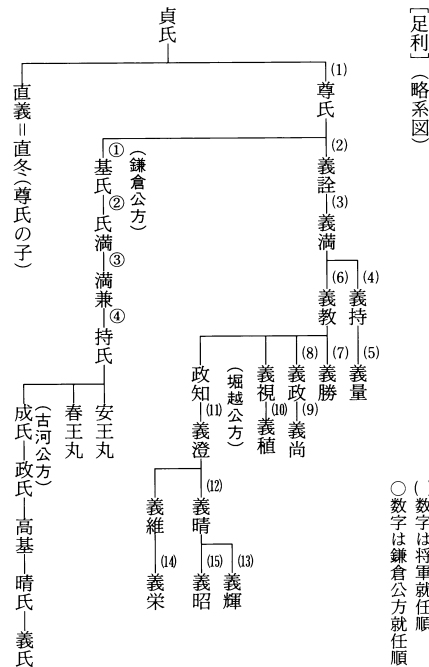
足利	206	川	212
アメリカ合衆国	206	気化熱	212
アルカリ金属	207	強弱記号	212
アルキル基	207	ギリシャ文字	212
SI (SI接頭語)	207	空気	213
SI (基本単位)	207	クラシックレース	213
SI (補助単位)	207	血液	213
干支	208	血液型	213
江戸幕府(将軍)	208	県花	214
江戸幕府(職制)	208	県鳥	214
エネルギー消費	208	県木	215
炎色反応	209	合金	215
オリンピック	209	鉱物	215
蔭位	209	国営公園	215
音名	210	国際連合専門機関	216
海溝	210	国定公園	216
海水	210	国立公園	216
海洋	210	酒	217
華氏温度	211	執権	217
賀寿	211	尺貫法	217
歌舞伎十八番	211	十二支	218
鎌倉幕府(将軍)	211	出世魚	218
鎌倉幕府(職制)	211	食中毒	218
		食品添加物	218

自律神経	219	六曜	226
震度	219	惑星	226
繊維	219		
速度標語	219		
誕生石	219		
地質時代	220		
茶	220		
中華人民共和国			
(行政区分)	220		
月	220		
伝染病	221		
電池	221		
電波	221		
東海道五十三次	221		
二十四節気	222		
日本十進分類法	222		
年齢	222		
発想標語	222		
ハロゲン	222		
ビタミン欠乏症	223		
人	223		
比熱	223		
物理量	224		
北条氏	225		
湖	225		
ローマ数字	225		

【絵図】

アルキメデスの螺旋線	227
極座標	227
クラインの壺	227
三角関数	227
三垂線の定理	227
対数螺旋線	227
同位角	227
放物線	227

【足利】



【アメリカ合衆国】

[アメリカ合衆国] (州一覧)

州区分	州都	州区分	州都
北東部	ミシガン	ランシング	
	ミズーリ	ジェファーソンシティ	
	ミネソタ	セントポール	
南部	アーカンソー	リトルロック	
	アラバマ	モンゴメリー	
	オクラホマ	オクラホマシティ	
	ケンタッキー	フランクフォート	
東部	テキサス	オースチン	
	テネシー	ナッシュビル	
	ミシSSIPPI	ジャクソン	
	ルイジアナ	バトンルージュ	
西部	アイダホ	ボイシ	
	アリゾナ	フェニックス	
	コロラド	デンバー	
	ニューメキシコ	サンタフェ	
南東部	ネバダ	カーソンシティ	
	モンタナ	ヘレナ	
	ユタ	ソルトレイクシティ	
	ワイオミング	シャイアン	
中西部	アイオワ	デモイン	
	イリノイ	スプリングフィールド	
	インディアナ	インディアナポリス	
	ウィスコンシン	マディソン	
太平洋岸部	オハイオ	コロンバス	
	カンザス	トピーカ	
	サウスダコタ	ビーア	
	ネブラスカ	リンカーン	
本土外	ノースダコタ	ビスマーク	

【アルカリ金属】

[アルカリ金属]

元素名	記号	原子量	融点(°C)	密度(g/cm ³)	炎色反応
リチウム	Li	6.9	180	0.53	紅
ナトリウム	Na	23.0	98	0.97	黄
カリウム	K	39.1	63	0.86	赤紫
ルビジウム	Rb	85.5	40	1.53	深赤
セシウム	Cs	132.9	28	1.87	青
フランシウム	Fr	(223)			

【アルキル基】

[アルキル基]

メチル基	CH ₃ ー	ヘキシル基	C ₆ H ₁₃ ー
エチル基	C ₂ H ₅ ー	ヘプチル基	C ₇ H ₁₅ ー
プロピル基	C ₃ H ₇ ー	オクチル基	C ₈ H ₁₇ ー
ブチル基	C ₄ H ₉ ー	ノニル基	C ₉ H ₁₉ ー
ペンチル基	C ₅ H ₁₁ ー	デシル基	C ₁₀ H ₂₁ ー

【SI（基本単位）】

[SI]（基本単位）

量	名称	記号
長さ	メートル	m
質量	キログラム	kg
時間	秒	s
電流	アンペア	A
熱力学温度	ケルビン	K
物質량	モル	mol
光度	カンデラ	cd

【SI（SI接頭語）】

[SI]（SI接頭語）

名称		記号	倍数
エクサ	exa	E	10 ¹⁸
ペタ	peta	P	10 ¹⁵
テラ	tera	T	10 ¹²
ギガ	giga	G	10 ⁹
メガ	mega	M	10 ⁶
キロ	kilo	k	10 ³
ヘクト	hecto	h	10 ²
デカ	deca	da	10 ¹
デシ	deci	d	10 ⁻¹
センチ	centi	c	10 ⁻²
ミリ	milli	m	10 ⁻³
マイクロ	micro	μ	10 ⁻⁶
ナノ	nano	n	10 ⁻⁹
ピコ	pico	p	10 ⁻¹²
フェムト	femto	f	10 ⁻¹⁵
アト	atto	a	10 ⁻¹⁸

【SI（補助単位）】

[SI]（補助単位）

量	名称	記号
平面角	ラジアン	rad
立体角	ステラジアン	sr

55	戊午	43	壬子	37	庚子	31	甲午	25	戊子	19	壬午	13	庚子	7	甲子	〔干支①〕 〔六十干支表〕
56	己未	50	癸丑	44	丁未	38	辛丑	32	乙未	26	己丑	20	辛未	8	乙丑	
57	庚申	51	甲寅	45	戊申	39	壬寅	33	丙申	27	庚寅	21	戊寅	9	丙寅	
58	辛酉	52	乙卯	46	己酉	40	癸卯	34	丁酉	28	辛卯	22	己卯	16	丁卯	
59	壬戌	53	丙辰	47	庚戌	41	甲辰	35	戊戌	29	壬辰	23	庚辰	17	甲辰	
60	癸亥	54	丁巳	48	辛亥	42	乙巳	36	己亥	30	癸巳	24	辛巳	18	己巳	

[江戸幕府] (將軍)			
代	將軍氏名	在職年代	没年
1	徳川家康	1603-1605	1616
2	徳川秀忠	1605-1623	1632
3	徳川家光	1623-1651	1651
4	徳川家綱	1651-1680	1680
5	徳川綱吉	1680-1709	1709
6	徳川家宣	1709-1712	1712
7	徳川家継	1713-1716	1716
8	徳川吉宗	1716-1745	1751
9	徳川家重	1745-1760	1761
10	徳川家治	1760-1786	1786
11	徳川家斉	1787-1837	1841
12	徳川家慶	1837-1853	1853
13	徳川家定	1853-1858	1858
14	徳川家茂	1858-1866	1866
15	徳川慶喜	1866-1867	1913

【江戸幕府（職制）】

將軍

大老

老中

側用人

若年寄

寺社奉行

京都所司代

大坂城代

大番頭

大目付

町奉行（江戸）

勘定奉行

城代（駿府・二条など）

町奉行（京都・大坂・駿府）

奉行（日光・佐渡・山田・奈良・堺・長崎など）

代官

郡代

〔エネルギー消費〕(単位は1時間あたりのkJ)

行動	エネルギー消費量
横になっているとき	231
眠っているとき	189
静座しているとき	294
読書	315
座っての談話	399
立っての談話	420
掃除	672
歩行(時速 4 km)	672
歩行(時速 6 km)	966
かけ足	1,722
階段上り	3,318
軽い体操	588
強度の体操	1,470
中距離ランニング	6,552
短距離ランニング	31,794

208

【炎色反応】

【炎色反応】

元素	炎色	青色コバルトガラスを通した色
ルビジウム	深赤	赤紫
セシウム	青紫	紫青
インジウム	藍	紫
タリウム	黄緑	青紫
ナトリウム	黄	無色
カリウム	赤紫	紫
カルシウム	橙赤	橙緑
バリウム	緑	青
ストロンチウム	深赤	紫
銅	青緑	青紫
リチウム	深赤	赤紫
ガリウム	青	紫青
スズ	淡青	淡紫

【オリンピック】

【オリンピック】

回	開催年	開催地	日本の参加者数
1	1896	アテネ	—
2	1900	パリ	—
3	1904	セントルイス	—
4	1908	ロンドン	—
5	1912	ストックホルム	4
6	1916	第1次世界大戦のため中止	
7	1920	アントワープ	18
8	1924	パリ	28
9	1928	アムステルダム	56
10	1932	ロサンゼルス	192
11	1936	ベルリン	249
12	1940	第2次世界大戦のため中止	
13	1944	第2次世界大戦のため中止	
14	1948	ロンドン	(不参加)
15	1952	ヘルシンキ	103
16	1956	メルボルン ストックホルム(馬術)	162 5
17	1960	ローマ	219
18	1964	東京	437
19	1968	メキシコシティ	215
20	1972	ミュンヘン	219
21	1976	モントリオール	268
22	1980	モスクワ	(不参加)
23	1984	ロサンゼルス	308
24	1988	ソウル	337
25	1992	バルセロナ	377
26	1996	アトランタ	
27	2000	シドニー	

【蔭位】

【蔭位】			
官人	嫡子	庶子	嫡孫
一位	從五位下	正六位上	正六位上
二位	正六位下	從六位上	從六位上
三位	從六位上	從六位下	從六位下
四位	正七位上	從七位上	正七位上
五位	從七位上	從七位下	
六位	正八位上	從八位上	
七位	從八位上	從八位下	
八位	從八位上	從八位下	
九位	從八位上	從八位下	
十位	從八位上	從八位下	
十一位	從八位上	從八位下	
十二位	從八位上	從八位下	
十三位	從八位上	從八位下	
十四位	從八位上	從八位下	
十五位	從八位上	從八位下	
十六位	從八位上	從八位下	
十七位	從八位上	從八位下	
十八位	從八位上	從八位下	
十九位	從八位上	從八位下	
二十位	從八位上	從八位下	
二十一位	從八位上	從八位下	
二十二位	從八位上	從八位下	
二十三位	從八位上	從八位下	
二十四位	從八位上	從八位下	
二十五位	從八位上	從八位下	
二十六位	從八位上	從八位下	
二十七位	從八位上	從八位下	
二十八位	從八位上	從八位下	
二十九位	從八位上	從八位下	
三十位	從八位上	從八位下	
三十一位	從八位上	從八位下	
三十二位	從八位上	從八位下	
三十三位	從八位上	從八位下	
三十四位	從八位上	從八位下	
三十五位	從八位上	從八位下	
三十六位	從八位上	從八位下	
三十七位	從八位上	從八位下	
三十八位	從八位上	從八位下	
三十九位	從八位上	從八位下	
四十位	從八位上	從八位下	
四十一位	從八位上	從八位下	
四十二位	從八位上	從八位下	
四十三位	從八位上	從八位下	
四十四位	從八位上	從八位下	
四十五位	從八位上	從八位下	
四十六位	從八位上	從八位下	
四十七位	從八位上	從八位下	
四十八位	從八位上	從八位下	
四十九位	從八位上	從八位下	
五十位	從八位上	從八位下	
五十一位	從八位上	從八位下	
五十二位	從八位上	從八位下	
五十三位	從八位上	從八位下	
五十四位	從八位上	從八位下	
五十五位	從八位上	從八位下	
五十六位	從八位上	從八位下	
五十七位	從八位上	從八位下	
五十八位	從八位上	從八位下	
五十九位	從八位上	從八位下	
六十位	從八位上	從八位下	
六十一位	從八位上	從八位下	
六十二位	從八位上	從八位下	
六十三位	從八位上	從八位下	
六十四位	從八位上	從八位下	
六十五位	從八位上	從八位下	
六十六位	從八位上	從八位下	
六十七位	從八位上	從八位下	
六十八位	從八位上	從八位下	
六十九位	從八位上	從八位下	
七十位	從八位上	從八位下	
七十一位	從八位上	從八位下	
七十二位	從八位上	從八位下	
七十三位	從八位上	從八位下	
七十四位	從八位上	從八位下	
七十五位	從八位上	從八位下	
七十六位	從八位上	從八位下	
七十七位	從八位上	從八位下	
七十八位	從八位上	從八位下	
七十九位	從八位上	從八位下	
八十位	從八位上	從八位下	
八十一位	從八位上	從八位下	
八十二位	從八位上	從八位下	
八十三位	從八位上	從八位下	
八十四位	從八位上	從八位下	
八十五位	從八位上	從八位下	
八十六位	從八位上	從八位下	
八十七位	從八位上	從八位下	
八十八位	從八位上	從八位下	
八十九位	從八位上	從八位下	
九十位	從八位上	從八位下	
九十一位	從八位上	從八位下	
九十二位	從八位上	從八位下	
九十三位	從八位上	從八位下	
九十四位	從八位上	從八位下	
九十五位	從八位上	從八位下	
九十六位	從八位上	從八位下	
九十七位	從八位上	從八位下	
九十八位	從八位上	從八位下	
九十九位	從八位上	從八位下	
一百位	從八位上	從八位下	

【音名】

	日本	イタリア	フランス	ドイツ	アメリカ イギリス	〔音名〕 (各国の幹音名)
	ハ	ド do	ユット ut	ツェー C	シー C	
	ニ	レ re	レ ré	デー D	デー D	
	ホ	ミ mi	ミ mi	エー E	イー E	
	ヘ	ファ fa	ファ fa	エフ F	エフ F	
	ト	ソル sol	ソル sol	ゲー G	ジー G	
	イ	ラ la	ラ la	アー A	エイ A	
	ロ	シ si	シ si	ハー H	ビー B	

【海溝】

〔海溝〕(世界の主な海溝)	
海溝名	最深部(m)
マリアナ海溝	10920
トンガ海溝	10800
フィリピン海溝	10057
ケルマデック海溝	10047
伊豆・小笠原海溝	9780
千島・カムチャツカ海溝	9550
北ニューヘブリデス海溝	9175
ニューブリテン海溝	8940
ヤップ海溝	8650
プエルトリコ海溝	8605
南サンドウィッチ海溝	8325
サンクリストバル海溝	8322
チリ海溝	8170
バラオ海溝	8054
日本海溝	8020
アリューシャン海溝	7679

【海水】

〔海水〕(海水 1 kg中に含まれる主な塩分)	
成分	含有量(g)
塩化ナトリウム	28.01
塩化マグネシウム	3.81
硫酸マグネシウム	1.75
硫酸カルシウム	1.28
硫酸カリウム	0.81

【海洋】

〔海洋〕(世界の主な海洋)		
海洋名		面積(10 ⁶ km ²)
大洋	太平洋	165.246
	大西洋	82.441
	インド洋	73.443
地中海 (陸地間の海)	北極海	14.090
	濠洲地中海*	8.143
	アメリカ地中海**	4.319
	ヨーロッパ地中海、黒海	2.966
	ハドソン湾	1.232
沿海	紅海	0.438
	バルト海	0.422
	ペルシャ湾	0.239
	ベーリング海	2.268
	オホーツク海	1.528
	東シナ海	1.249
	日本海	1.008
	アンダマン海	0.798
	北海	0.575
	セントローレンス湾	0.238
	カリフォルニア湾	0.162
	その他	0.253

* スンダ列島、フィリピン、ニューギニア島、オーストラリアで囲まれる地中海

** カリブ海、メキシコ湾等の総称

【華氏温度】

〔華氏温度〕（華氏—摂氏温度換算表）

華氏温度(°F)—摂氏温度(°C)							
F	°C	F	°C	F	°C	F	°C
110	43.33	80	26.67	50	10.00	20	-6.67
108	42.22	78	25.56	48	8.89	18	-7.78
106	41.11	76	24.44	46	7.78	16	-8.89
104	40.00	74	23.33	44	6.67	14	-10.00
102	38.89	72	22.22	42	5.56	12	-11.11
100	37.78	70	21.11	40	4.44	10	-12.22
98	36.67	68	20.00	38	3.33	8	-13.33
96	35.56	66	18.89	36	2.22	6	-14.44
94	34.44	64	17.78	34	1.11	4	-15.56
92	33.33	62	16.67	32	0.00	2	-16.67
90	32.22	60	15.56	30	-1.11	0	-17.78
88	31.11	58	14.44	28	-2.22	-2	-18.89
86	30.00	56	13.33	26	-3.33	-4	-20.00
84	28.89	54	12.22	24	-4.44	-6	-21.11
82	27.78	52	11.11	22	-5.56	-8	-22.22

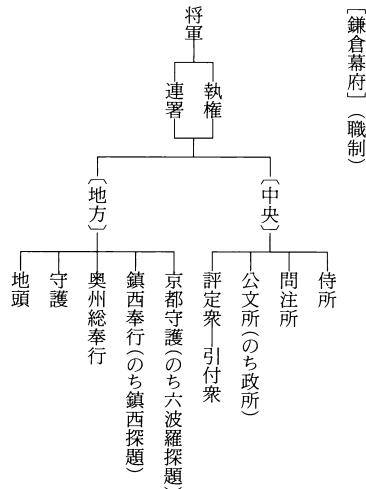
【賀寿】

〔賀寿〕									
上寿	白寿	卒寿	米寿	半寿	傘寿	喜寿	古希	還暦	
一〇〇歳	九九歳	九〇歳	八八歳	八一歳	八〇歳	七七歳	七〇歳	六一歳	
(数え年)									

【歌舞伎十八番】

外郎売	助六	勧進帳	象引	燗	不動	暫	鳴神	不破
うしろうり	すけろく	かんじんちょう	ぞうひき	うわなり	ふどう	しばらく	なるかみ	ふわ
鎌鼬	蛇柳	解酩	毛抜	七つ面	関羽	景清	矢の根	押戻
かまひげ	じゃやなぎ	げだつ	けぬき	ななつめん	かんう	かけきよ	やのね	おしもとし

【鎌倉幕府(職制)】



【鎌倉幕府(將軍)】

〔鎌倉幕府〕（將軍）

代	將軍氏名	在職年代	没年
1	源頼朝	1192—1199	1199
2	源頼家	1202—1203	1204
3	源実朝	1203—1219	1219
4	九条頼経	1226—1244	1256
5	九条頼嗣	1244—1252	1256
6	宗尊親王	1252—1266	1274
7	惟康親王	1266—1289	1326
8	久明親王	1289—1308	1328
9	守邦親王	1308—1333	1333

【川】

[川] (日本の主な河川)

名称	流域面積 (km ²)	幹川流路延長 (km)
利根川	16,840	322
石狩川	14,330	268
信濃川	11,900	367
北上川	10,150	249
木曾川	9,100	227
十勝川	9,010	156
淀川	8,240	75
阿賀野川	7,710	210
最上川	7,040	229
天塩川	5,590	256
阿武隈川	5,400	239
天竜川	5,090	213
雄物川	4,710	133
米代川	4,100	136
富士川	3,990	128

【気化熱】

[気化熱]

物質	沸点 (°C)	気化熱 (cal/g)	(kJ/mol)
アンモニア	-33.4	326.4	23.3
一酸化炭素	-191.5	51.56	6.04
エチルアルコール	78.3	200	38.6
塩素	-34.6	69	20.41
酸素	-182.96	51	6.8
水銀	356.58	70.6	58.1
水素	-252.87	107.8	0.904
窒素	-195.8	48.8	5.58
ヘリウム	-268.9	5	0.084
水	100	539.8	40.66
メチルアルコール	64.7	263	35.27

【強弱記号】

[強弱記号]

	記号	名称	意味
*	<i>ppp</i>	ピアノニッシシモ	できるだけ弱く
	<i>pp</i>	ピアノニッシモ	ごく弱く
	<i>p</i>	ピアノ	弱く
01	<i>mp</i>	メゾピアノ	やや弱く
	<i>mf</i>	メゾフォルテ	やや強く
*	<i>f</i>	フォルテ	強く
	<i>ff</i>	フォルティッシモ	ごく強く
	<i>fff</i>	フォルティッシッシモ	できるだけ強く
02	∧, >	アクセント	アクセントをつけて
	≪	クレッシェンド	だんだん強く
*	≻	ディミヌエンド	だんだん弱く
		デクレッシェンド	
03	<i>fp</i>	フォルテピアノ	強くただちに弱く
	<i>sf, sfz</i>	スフォルツァンド	その音だけを強く

【ギリシャ文字】

[ギリシャ文字]

A	α	アルファ
B	β	ベータ
Γ	γ	ガンマ
Δ	δ	デルタ
E	ε	エプシロン
Z	ξ	ゼータ
H	η	エータ(イータ)
Θ	θ	テータ(シータ)
I	ι	イオタ
K	κ	カッパ
Λ	λ	ラムダ
M	μ	ミュー
N	ν	ニュー
Ξ	ξ	クシー(クサイ)
O	ο	オミクロン
Π	π	パイ
P	ρ	ロー
Σ	σ	シグマ
T	τ	タウ
Υ	υ	ユブシロン
Φ	φ	フィー(ファイ)
X	χ	キー(カイ)
Ψ	ψ	プシー(プサイ)
Ω	ω	オメガ

【空気】

[空気①] (空気の組成)

成分	体積%
窒素	N ₂ 78.085
酸素	O ₂ 20.948
アルゴン	Ar 0.9380
二酸化炭素	CO ₂ 0.033
ネオン	Ne 0.00182
ヘリウム	He 0.000524
クリプトン	Kr 0.000114
水素	H ₂ 0.00005
キセノン	Xe 0.000009

【クラシックレース】

[クラシックレース]

(イギリス)

レース名	出走馬	距離(ハロン)	開催地	創設年
1000ギニー	4 歳牝	8	ニューマーケット	1814
2000ギニー	4 歳牡・牝	8	ニューマーケット	1809
オークス	4 歳牝	12	エプソム	1779
ダービー	4 歳牡・牝	12	エプソム	1780
セントレジャー	4 歳牡・牝	14F+127yds	ドンカスター	1776

* F=ハロン, yds=ヤード

(日本)

レース名	出走馬	距離(m)	開催地	創設年
桜花賞	4 歳牝	1600	阪神競馬場	1939
皐月賞	4 歳牡・牝	2000	中山競馬場	1939
オークス	4 歳牝	2400	東京競馬場	1938
日本ダービー	4 歳牡・牝	2400	東京競馬場	1932
菊花賞	4 歳牡・牝	3000	京都競馬場	1938

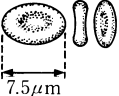
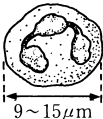
【血液型】

[血液型] (ABO 式血液型の遺伝)

両親の組み合わせ	子の血液型
O×O	O
O×A	A, O
O×B	B, O
O×AB	A, B
A×A	A, O
A×B	A, B, AB, O
A×AB	A, B, AB
B×B	B, O
B×AB	A, B, AB
AB×AB	A, B, AB

【血液】

[血液] (その成分とはたらき)

成 分	有 形 成 分			液 状 成 分
	赤 血 球	白 血 球	血 小 板	血 漿
形・大きさ	 7.5μm	 9~15μm	 1~5μm	液体
個数(mm ³)	男500万, 女450万	6000~1万	20万~30万	血液の全容量の55%
はたらき	酸素の運搬	食作用	血液の凝固	物質や血球の運搬

【県花】

〔県花〕（都道府県の花）

都道府県名	花名	都道府県名	花名	都道府県名	花名
北海道	ハマナス	石川	クロユリ	岡山	モモ
青森	リンゴ	福井	スイセン	広島	モミジ
岩手	キリ	山梨	フジザクラ	山口	夏ミカンの花
宮城	ミヤギノハギ	長野	リンドウ	徳島	スダチ
秋田	フキノトウ	岐阜	レンゲソウ	香川	オリーブ
山形	ベニバナ	静岡	ツツジ	愛媛	ミカン
福島	ネモトシャクナゲ	愛知	カキツバタ	高知	ヤマモモ
茨城	バラ	三重	ハナショウブ	福岡	ウメ
栃木	ヤシオツツジ	滋賀	シャクナゲ	佐賀	クスノキの花
群馬	レンゲツツジ	京都	シダレザクラ	長崎	ウンゼンツツジ
埼玉	サクラソウ	大阪	サクラソウ・ウメ	熊本	リンドウ
千葉	ナノハナ	兵庫	ノジギク	大分	ブンゴウメ
東京	ソメイヨシノ	奈良	ナラヤエザクラ	宮崎	ハマユウ
神奈川	ヤマユリ	和歌山	ウメ	鹿児島	ミヤマキリシマ
新潟	チューリップ	鳥取	二十世紀ナシのはな	沖縄	デイゴ
富山	チューリップ	島根	ボタン		

【県鳥】

〔県鳥〕（都道府県の鳥）

都道府県名	鳥名	都道府県名	鳥名	都道府県名	鳥名
北海道	タンチョウ	石川	イヌワシ	岡山	ホトギス
青森	ハクチョウ	福井	ツグミ	広島	アビ
岩手	キジ	山梨	ウグイス	山口	ナベヅル
宮城	ガン	長野	ライチョウ	徳島	シラサギ
秋田	ヤマドリ	岐阜	ライチョウ	香川	ホトギス
山形	オシドリ	静岡	サンコウチョウ	愛媛	コマドリ
福島	キビタキ	愛知	コノハヅク	高知	ヤイロチョウ
茨城	ヒバリ	三重	シロチドリ	福岡	ウグイス
栃木	オオルリ	滋賀	カイツブリ	佐賀	カササギ
群馬	ヤマドリ	京都	オオミズナギドリ	長崎	オシドリ
埼玉	シラコバト	大阪	モズ	熊本	ヒバリ
千葉	ホオジロ	兵庫	コウノトリ	大分	メジロ
東京	ユリカモメ	奈良	コマドリ	宮崎	コシジロヤマドリ
神奈川	カモメ	和歌山	メジロ	鹿児島	ルリカケス
新潟	トキ	鳥取	オシドリ	沖縄	ノグチゲラ
富山	ライチョウ	島根	オオハクチョウ		

【県木】

【県木】（都道府県の木）

都道府県名	木名	都道府県名	木名	都道府県名	木名
北海道	エゾマツ	石川	アテ	岡山	アカマツ
青森	ヒバ	福井	マツ	広島	モミジ
岩手	ナンブアカマツ	山梨	カエデ	山口	アカマツ
宮城	ケヤキ	長野	シラカバ	徳島	ヤマモモ
秋田	アキタスギ	岐阜	イチイ	香川	オリーブ
山形	サクランボ	静岡	モクセイ	愛媛	マツ
福島	ケヤキ	愛知	ハナノキ	高知	ヤナセスギ
茨城	ウメ	三重	ジングウスギ	福岡	ツツジ
栃木	トチノキ	滋賀	モミジ	佐賀	クスノキ
群馬	クロマツ	京都	キタヤマスギ	長崎	ヒノキ・ツバキ
埼玉	ケヤキ	大阪	イチョウ	熊本	クスノキ
千葉	イヌマキ	兵庫	クスノキ	大分	ブンゴウメ
東京	イチョウ	奈良	スギ	宮崎	フェニックス
神奈川	イチョウ	和歌山	ウバメガシ	鹿児島	カイコウズ・クスノキ
新潟	ユキツバキ	鳥取	ダイセンキャラボク	沖縄	リュウキュウマツ
富山	タテヤマスギ	島根	クロマツ		

【合金】

【合金】（その種類と用途）

成分	名称	特徴・用途
Cu-Zn	黄銅	さびにくく加工が容易。加工材料
Cu-Sn	青銅	硬く美しい。銅像・機械類
Fe-Ni-Cr	ステンレス	さびにくく硬い。屋外・台所用品
Al-Cu-Mn-Mg	ジュラルミン	軽くてじょうぶ。航空機体
Pb-Sn-Bi	ヒューズ	融点が高い。電気の安全器
Ni-Ti	形状記憶合金	もとの形にもどる。温度センサー
Al-Ni-Co	（アルニコ磁性体）	保磁力が強い。永久磁石

【鉱物】

【鉱物】（主な鉱物の分類）

種類	鉱物例
元素鉱物	自然金
硫化鉱物	黄銅鉱
ハロゲン化鉱物	蛍石
酸化鉱物	鋼玉
硝酸塩鉱物	硝石
炭酸塩鉱物	方解石
ホウ酸塩鉱物	ホウ砂
硫酸塩鉱物	石膏
タングステン酸塩鉱物、 モリブデン酸塩鉱物	灰重石 黄鉛鉱
リン酸塩鉱物、 ヒ酸塩鉱物、 バナジン酸塩鉱物	リン灰石 ミメット鉱 カルノー石
ケイ酸塩鉱物	正長石

【国営公園】

国営公園	国営公園	国営公園	国営公園	国営公園
備北丘陵	武蔵丘陵森林	常陸海浜	越後丘陵	滝野すずらん丘陵
明石海峡	淀川河川	飛鳥歴史	木曾三川	アルプスあづみの
昭和記念	沖縄記念	吉野ヶ里歴史	海の中道海浜	讃岐まんのう

【国際連合専門機関】

〔国際連合専門機関〕

国際労働機関 (ILO)
国連食糧農業機関 (FAO)
国連教育科学文化機関 (UNESCO)
世界保健機関 (WHO)
国際復興開発銀行 (IBRD) = 世界銀行
国際開発協会 (IDA)
国際金融公社 (IFC)
国際通貨基金 (IMF)
国際民間航空機関 (ICAO)
万国郵便連合 (UPU)
国際電気通信連合 (ITU)
世界気象機関 (WMO)
国際海事機関 (IMO)
世界知的所有権機関 (WIPO)
国際農業開発基金 (IFAD)
国際連合工業開発機関 (UNIDO)

【国定公園】

丹沢大山	比婆道後帝釈
明治の森高尾	水ノ山後山那岐山
南房総	高野竜神
水郷筑波	金剛生駒
越後三山只見	大和青垣
佐渡弥彦米山	明治の森箕面
蔵王	琵琶湖
南三陸金華山	室生赤目青山
鳥海	鈴鹿
栗駒	若狭湾
男鹿	愛知高原
早池峰	三河湾
津軽	飛騨木曾川
下北半島	揖斐関ヶ原養老
大沼	天竜奥三河
日高山脈襟裳	八ヶ岳中信高原
二セコ積丹小樽海岸	妙義荒船佐久高原
網走	越前加賀海岸
暑寒別天売焼尻	能登半島
	西中国山地
	北長門海岸
	秋吉台
	剣山
	室戸阿南海岸
	石鎚
	北九州
	玄海
	壱岐対馬
	耶馬日田英彦山
	九州中央山地
	祖母傾
	日南海岸
	奄美群島
	日豊海岸
	奄美群島
	沖縄海岸
	沖縄戦跡

【国立公園】

日光	山陰海岸	上信越高原	大山隠岐
磐梯朝日	吉野熊野	秩父多摩	瀬戸内海
陸中海岸	伊勢志摩	小笠原	足摺宇和海
十和田八幡平	白山	富士箱根伊豆	阿蘇くじゅう
支笏洞爺	南アルプス	中部山岳	雲仙天草
釧路湿原			霧島屋久
大雪山			西海
阿寒			西表
知床			
利尻礼文サロベツ			

【酒】

〔酒②〕（製造法による分類）

醸造酒	清酒	
	ビール	
	果実酒	ワイン
		リング酒
	紹興酒	
蒸留酒	焼酎	
	ウイスキー	
	ブランデー	
	スピリット	茅台酒
		テキーラ
		ラム
		ジン
混成酒	ウオツカ	
	味噌	
	白酒	
	薬酒	
	リキュール	

【執権】

〔執権②〕（鎌倉幕府執権表）

代	執権氏名	在職年代	没年
1	北条時政	1203—1205	1215
2	北条義時	1205—1224	1224
3	北条泰時	1224—1242	1242
4	北条経時	1242—1246	1246
5	北条時頼	1246—1256	1263
6	北条長時	1256—1264	1264
7	北条政村	1264—1268	1273
8	北条時宗	1268—1284	1284
9	北条貞時	1284—1301	1311
10	北条師時	1301—1311	1311
11	北条宗宣	1311—1312	1312
12	北条熙時	1312—1315	1315
13	北条基時	1315—1315	1333
14	北条高時	1316—1326	1333
15	北条貞顕	1326—1326	1333
16	北条守時	1326—1333	1333

【尺貫法】

〔尺貫法〕（換算表）

長さ					
	尺	間	町	里	メートル
尺	1	0.166666	0.0027777	0.000077	0.30303
間	6	1	0.016666	0.000462	1.81818
町	360	60	1	0.027777	109.09
里	12960	2160	36	1	3927.27

面積						
	平方尺	坪	畝	反	町	平方メートル
平方尺	1	0.027777	0.000926	0.000092	0.000009	0.091827
坪(歩)	36	1	0.033333	0.003333	0.000333	3.30579
畝	1080	30	1	0.1	0.01	99.1736
反(段)	10800	300	30	1	0.1	991.736
町	108000	3000	300	10	1	9917.36

体積					
	合	升	斗	石	立方メートル
合	1	0.1	0.01	0.001	0.00018
升	10	1	0.1	0.01	0.001804
斗	100	10	1	0.1	0.018039
石	1000	100	10	1	0.18039

質量				
	匁	斤	貫	グラム
匁	1	0.00625	0.001	3.75
斤	160	1	0.16	600
貫	1000	6.25	1	3750

【十二支】	亥	戌	酉	申	未	午	巳	辰	卯	寅	丑	子	【十二支】
	い	いぬ	とり	さる	ひつじ	うま	み	たつ	う	とら	うし	ね	
	ガイ	ジュツ	ユウ	シン	ビ	ゴ	シ	シン	ボウ	イン	チュウ	シ	
	猪	犬	鶏	猿	羊	馬	蛇	竜	兎	虎	牛	鼠	

【食中毒】

〔食中毒〕（原因別分類）

種類	原因
細菌性食中毒	
感染型	サルモネラ 腸炎ビブリオ 病原性大腸菌
毒素型	ボツリヌス菌 ブドウ球菌
化学性食中毒	
	メチルアルコール 重金属 ヒ素 有機合成化合物
自然毒食中毒	
植物性	毒草 毒キノコ
動物性	フグ 南方毒魚 下痢性貝毒

【出世魚】

〔出世魚〕（代表的な出世魚の成長名）

（単位はcm）

魚名	稚魚・幼魚	若魚・未成年	成魚	特大魚	呼称地
スズキ	コッパ(小型のもの)	セイゴ(15～25) フッコ(30～40)	スズキ(60以上)		全国
ボラ	ボラコ(約3) イキナゴ(約6)	コボラ(9～12) イナ(約15)	ボラ オオボラ(大型のもの)		高知
	オボコ(3～9) イナッコ(約10) スバシリ(約10)	イナ(10～25)	ボラ(30～50)	トド(50以上)	東京
ブリ	ツバス(10～15)	ハマチ(30～40) メジロ(約60)	ブリ(80以上)		大阪
	モジャコ(3～8)	ワカナ(15～20) ハマチ(25～45)	メジロ(50～60) ブリ(約70以上)		高知
	ワカシ(約15)	イナダ(30～40) ワラサ(約60)	ブリ(90以上)		東京

【食品添加物】

〔食品添加物〕

名称	目的	主な物質
結着剤	一定の水分を保持させる	リン酸塩など
糊料	滑らかさ、粘りを与える	アルギン酸、カゼインなど
殺菌料	腐敗・変性の原因となる細菌を殺す	過酸化水素など
着色料	色を整える	タール系合成色素、カラメルなど
着香料	匂いをつける	脂肪酸エステル、芳香族アルコールなど
発色剤	食品中の物質と反応して安定した色をつける	亜硝酸塩、硝酸塩など
漂白剤	色を白くする	亜塩素酸ナトリウムなど
膨張剤	ガスにより多孔性にする	炭酸水素ナトリウムなど
保存料	腐敗・変性の原因となる細菌の繁殖を抑える	安息香酸、ソルビン酸など

【自律神経】 [自律神経] (自律神経のはたらき)

	交感 神経	副交感 神経
心臓の拍動	促進	抑制
消化器官の運動	抑制	促進
瞳孔の開閉	散大	縮小
胃・小腸・脾臓	抑制	促進
の分泌腺		
唾液腺の分泌	促進	促進
体幹・四肢の血管	収縮	なし
汗の分泌	促進	なし
立毛筋	収縮	なし

【震度】 [震度] (気象庁震度階級)

階級	名称	説明
0	無感	人体に感じないで地震計に記録される程度。
1	微震	静止している人や、特に地震に注意深い人だけに感ずる程度の地震。
2	軽震	大ぜいの人に感ずる程度のもので、戸障子がわずかに動くのがわかる程度の地震。
3	弱震	家屋がゆれ、戸障子がガタガタと鳴動し、電灯のようなつり下げ物は相当ゆれ、器内の水面の動くのがわかる程度の地震。
4	中震	家屋の動揺が激しく、すわりの悪い花びんなどは倒れ、器内の水はあふれ出る。また、歩いている人にも感じられ、多くの人々は戸外に飛び出す程度の地震。
5	強震	壁に割れ目が入り、墓石・石どうろが倒れたり、煙突・石垣などが破損する程度の地震。
6	烈震	家屋の倒壊は30%以下で、山くずれが起き、地割れを生じ、多くの人々が立っていることができない程度の地震。
7	激震	家屋の倒壊が30%以上に及び、山くずれ、地割れ、断層などを生ずる。

【繊維】 [繊維] (その種類と性質)

種類	切れにくさ	弾力性	熱での分解と軟化(°C)	酸	アルカリ	虫
綿	やや強	弱	150(分解)	弱	強	やや強
麻	強	弱	200(分解)	弱	強	やや強
羊毛	弱	強	130(分解)	強	弱	弱
絹	やや強	やや強	235(分解)	やや強	弱	弱
ナイロン	強	強	180(軟化)	やや強	強	強
ポリエステル	強	強	約239(軟化)	強	強	強
アクリル	やや強	強	約215(軟化)	強	強	強
レーヨン	やや弱	弱	約280(分解)	弱	強	強

【速度標語】

[速度標語]

標語	名称	意味
largo	ラルゴ	非常にゆっくりと
lento	レント	ゆっくりと
adagio	アダージョ	ゆるやかに
andante	アンダンテ	歩く速さで
moderato	モデラート	中くらいの速さで
allegro	アレグロ	快速に
vivace	ビバーチェ	生き生きと速く
presto	プレスト	急速に

【誕生石】

[誕生石]

1月	ガーネット
2月	アメシスト
3月	アクアマリン ブラッドストーン
4月	ダイヤモンド
5月	エメラルド
6月	真珠 ムーンストーン
7月	ルビー
8月	橄欖石、紅瑪瑙 縞瑪瑙
9月	サファイア
10月	オパール
11月	トパーズ
12月	トルコ石 ラピスラズリ

【地質時代】 [地質時代] (区分)

代	紀	世	年
先カンブリア時代			
古生代	カンブリア紀		→ 5億7500万年前
			→ 5億900万年前
			→ 4億4600万年前
	シルル紀		→ 4億1600万年前
			→ 3億6700万年前
	石炭紀		→ 2億8900万年前
中生代	二疊紀		→ 2億4700万年前
			→ 2億1200万年前
	ジュラ紀		→ 1億4300万年前
			→ 6500万年前
新生代	第三紀	古第三紀	暁新世
			始新世
			漸新世
	新第三紀	中新世	→ 2400万年前
			→ 510万年前
			鮮新世
	第四紀	更新世	→ 170万年前
			→ 1万年前
			完新世

【茶】 [茶②] (製造法による分類)

不発酵茶	蒸し製	煎茶
		玉露
		抹茶(ひき茶)
		番茶
		ほうじ茶、玄米茶
		蒸し製玉緑茶
半発酵茶	釜炒り製	釜炒り製玉緑茶
		中国緑茶
		パオチョン茶
発酵茶	ウーロン茶	紅茶

【中華人民共和国(行政区分)】

[中華人民共和国] (行政区分)

	省・自治区・直轄市	政府所在地		省・自治区・直轄市	政府所在地
華北	北京市	北京	中南	湖北省	武漢
	天津市	天津		湖南省	長沙
	河北省	石家荘		広東省	広州
	山西省	太原		海南省	海口
	内モンゴル自治区	フフホト	西南	広西チワン族自治区	南寧
東北	遼寧省	瀋陽		四川省	成都
	吉林省	長春		貴州省	貴陽
	黒竜江省	ハルビン		雲南省	昆明
華東	上海市	上海	西北	チベット自治区	ラサ
	江蘇省	南京		陝西省	西安
	浙江省	杭州		甘肅省	蘭州
	安徽省	合肥		青海省	西寧
	福建省	福州		寧夏回族自治区	銀川
	江西省	南昌		新疆ウイグル自治区	ウルムチ
中南	山東省	済南		(台湾省)	(台北)
	河南省	鄭州			

【月】

〔月③〕	(陰暦月異名)
一月	睦月(むつき)
二月	如月(きさらぎ)
三月	弥生(やよい)
四月	卯月(うづき)
五月	皐月(さつき)
六月	水無月(みなづき)
七月	文月(ふみづき)
八月	葉月(はづき)
九月	長月(ながつき)
十月	神無月(かみなづき)
十一月	霜月(しもつき)
十二月	師走(しわす)

【伝染病】

〔伝染病〕（法律的分類）

法定伝染病 コレラ・赤痢・腸チフス・パラチフス・痘瘡・
発疹チフス・猩紅熱・ジフテリア・流行性脳
脊髄膜炎・ペスト・日本脳炎

指定伝染病 急性灰白髄炎（ポリオ）・ラッサ熱

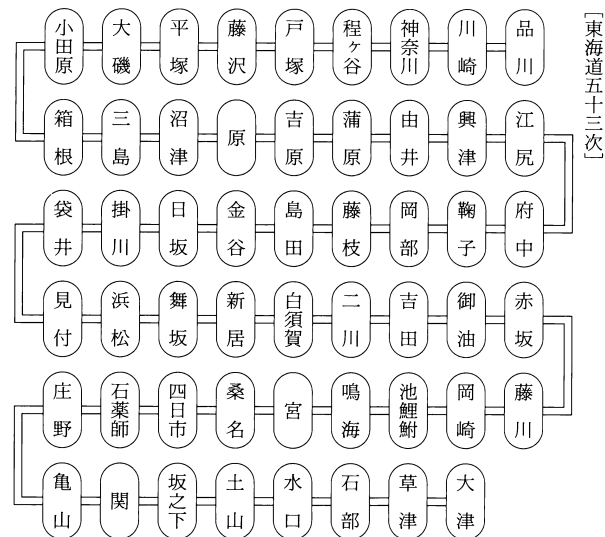
届出伝染病 インフルエンザ・狂犬病・炭疽病・伝染性
下痢症・百日咳・麻疹（はしか）・急性灰白
髄炎（ポリオ）・破傷風・マラリア・恙虫病・フ
ィラリア症・回帰熱・黄熱

【電波】

〔電波〕（電波の分類）

周波数帯の略称	メートルの区分	周波数の範囲
VLF (超長波)	ミリアメートル波	3～30kHz
LF (長波)	キロメートル波	30～300kHz
MF (中波)	ヘクトメートル波	300～3000kHz
HF (短波)	デカメートル波	3～30MHz
VHF (超短波)	メートル波	30～300MHz
UHF (極超短波)	デシメートル波	300～3000MHz
SHF (極超短波)	センチメートル波	3～30GHz
EHF	ミリメートル波	30～300GHz
サブミリメートル波	サブミリメートル波	300～3000GHz

【東海道五十三次】



【電池】

〔電池〕

種類	起電力 (V)	構造	特徴・用途
マンガン乾電池	1.5	⊖ Zn NH ₄ Cl MnO ₂ ・C ⊕	安価：一般用、時計、懐中電灯
アルカリマンガン乾電池	1.5	⊖ Zn (Hg) KOH MnO ₂ ・C ⊕	高出力：ラジカセ、玩具
リチウム乾電池	2.9	⊖ Li LiClO ₄ + 有機溶媒 MnO ₂ ・C ⊕	小型：マイク、カメラ、ラジオ
水銀電池	1.4	⊖ Zn KOH HgO ⊕	小型：腕時計、カメラ
Ni-Cd	1.2	⊖ Cd KOH Ni ₂ O ₃ ・C ⊕	充電可能：ラジコン、ワープロ
鉛蓄電池	2.0	⊖ Pb H ₂ SO ₄ PbO ₂ ⊕	大容量：自動車、非常電源

【二十四節気】

[二十四節気]			
季節	名称	概略日付	黄経
春	立春	2月4日	315°
	雨水	2月19日	330°
	啓蟄	3月6日	345°
	春分	3月21日	0°
	清明	4月5日	15°
	穀雨	4月20日	30°
夏	立夏	5月6日	45°
	小満	5月21日	60°
	芒種	6月6日	75°
	夏至	6月22日	90°
	小暑	7月8日	105°
	大暑	7月23日	120°
秋	立秋	8月8日	135°
	処暑	8月24日	150°
	白露	9月8日	165°
	秋分	9月23日	180°
	寒露	10月9日	195°
	霜降	10月24日	210°
冬	立冬	11月8日	225°
	小雪	11月23日	240°
	大雪	12月8日	255°
	冬至	12月22日	270°
	小寒	1月6日	285°
	大寒	1月20日	300°

【日本十進分類法】

[日本十進分類法] (主類)	
000	総記
100	哲学
200	歴史
300	社会科学
400	自然科学
500	技術、工学
600	産業
700	芸術
800	語学
900	文学

【年齢】

[年齢] (年齢の異名)	
七十歳	從心(じゅうしん)
六十歳	耳順(じじゅん)
五十歳	知命(ちめい)
四十歳	不惑(ふわく)
三十歳	而立(じりつ)
二十歳	弱冠(じやうかん)
十五歳	志学(しがく)

【発想標語】

[発想標語]		
標語	名称	意味
animato	アニマート	いきいきと
con brio	コン・ブリオ	活気をもって
cantabile	カンタービレ	歌うように
dolce	ドルチェ	甘く、柔らかに
espressivo	エスプレッシーボ	表情豊かに
grave	グラーベ	荘重に
grazioso	グラツィオーソ	優美に
lamentabile	ラメンタービレ	悲しげに
maestoso	マエストーソ	威厳をもって
con moto	コン・モート	動きをつけて
passionato	パッションアート	熱情的に
semplice	センプリチェ	装飾なしで
tranquillo	トランクィットロ	穏やかに
vivo	ビーボ	活発に

【ハロゲン】

[ハロゲン]							
名称	元素記号	原子量	分子式	融点(°C)	沸点(°C)	状態	色
フッ素	F	19.0	F ₂	−219.6	−188	気体	淡黄色
塩素	Cl	35.5	Cl ₂	−101	−34.6	気体	黄緑色
臭素	Br	79.9	Br ₂	−7.2	58.8	液体	赤褐色
ヨウ素	I	126.9	I ₂	113.6	184.4	固体	黒紫色
アスタチン	At	(210)					

【ビタミン欠乏症】

[ビタミン欠乏症]

症状		
脂溶性ビタミン		
ビタミンA	夜盲症、角膜乾燥症、粘膜の乾燥角化	
ビタミンD	佝僂病、骨軟化症	
ビタミンE	不妊症(ネズミ)	
ビタミンK	血液凝固障害	
水溶性ビタミン		
ビタミンB ₁	脚気、多発性神経炎	
ビタミンB ₂	口角炎、舌炎、脂漏性皮膚炎	
ニコチン酸	ペラグラ	
ビタミンB ₆	脂漏性湿疹、口唇炎、口角炎、貧血	
パントテン酸	皮膚炎、末梢神経障害(ネズミ、ニワトリ)	
ビオチン	皮膚炎(ネズミ)	
ビタミンB ₁₂	悪性貧血	
葉酸	悪性貧血	
ビタミンC	壊血病	

【比熱】

[比熱] (1J=0.24cal)

	物質	温度(°C)	比熱(J/g・K)
気体	空気(乾燥)	20	1.006
	酸素	16	0.922
	水蒸気	100	2.051
	水素	0	14.191
	二酸化炭素	16	0.837
液体	エチルアルコール	0	2.29
	オリーブ油	7	1.97
	海水	17	3.93
	ベンゼン	10	1.42
	水	0	4.2174
固体	アルミニウム	0	0.880
	金	0	0.128
	コンクリート	室温	約0.84
	砂	0	約0.8
	鉄	0	0.435
	木材	20	約1.25

【人】

[人①] (ヒトの元素組成と化学組成)

元素組成(生重量%)			化学組成(生重量%)	
酸素	O	65	無機物	
炭素	C	18	水	65~67
水素	H	10	無機塩類	4~5
窒素	N	3	有機物	
カルシウム	Ca	2	タンパク質	15~16
リン	P	1.1	脂質	13~14
その他		0.9	核酸・炭水化物など	1

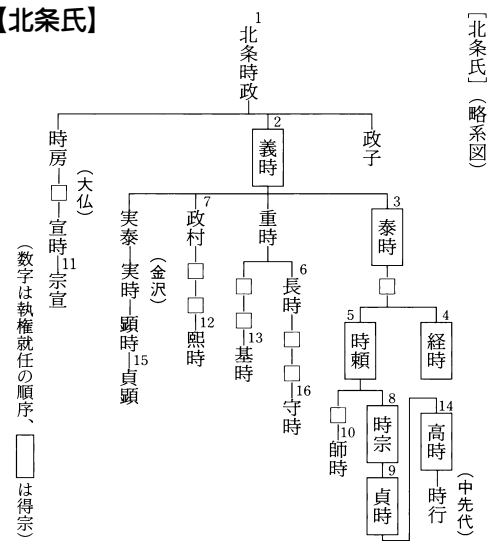
【物理量】

〔物理量〕（主な例）

物理量	主な記号	単位の名称	単位記号
長さ	x, l	メートル	m
質量	m	キログラム	kg
時間	t	秒	s
面積	S	平方メートル	m ²
体積	V	立方メートル	m ³
速度	v	メートル毎秒 キロメートル毎時	m/s km/h
角速度	ω	ラジアン毎秒	rad/s
加速度	a	メートル毎秒毎秒	m/s ²
力	f	ニュートン	N
運動量	mv	キログラムメートル毎秒	kg・m/s
力積	ft	ニュートン秒	N・s
仕事 エネルギー	W E	ジュール	J
仕事率 電力	P	ワット	W
圧力	p	ニュートン毎平方メートル 気圧 パスカル	N/m ² atm Pa
温度	t	ケルビン セルシウス度	K °C
熱量	Q	ジュール	J
比熱	c	ジュール毎キログラム・ケルビン	J/kg・K
周波数 振動数	f	ヘルツ	Hz

振幅	A	メートル	m
波長	λ	メートル	m
周期	T	秒	s
電気量	Q	クーロン	C
電界の強さ	E	ニュートン毎クーロン ボルト毎メートル	N/C V/m
電気容量	C	ファラド	F
電流	I	アンペア	A
電圧	V	ボルト	V
電気抵抗	R	オーム	Ω
抵抗率	ρ	オーム・メートル	$\Omega \cdot m$
磁界の強さ	B	テスラ ニュートン毎アンペア・メートル	T N/Am

【北条氏】



【湖】

〔湖〕（日本の主な湖）

名称	面積(k㎡)	最大水深(m)	湖沼型	透明度
琵琶湖	670.5	103.8	中栄養	5.8
霞ヶ浦	167.6	7.3	富栄養	1.2
サロマ湖	150.4	19.6	富栄養	7.0
猪苗代湖	103.3	93.5	酸栄養	10.5
中海	86.8	17.1	富栄養	1.1
屈斜路湖	79.4	117.5	酸栄養	9.0
穴道湖	79.2	6.0	富栄養	1.4
支笏湖	78.4	360.1	貧栄養	18.0
洞爺湖	70.7	179.7	貧栄養	13.0
浜名湖	65.0	12.2	中栄養	2.0
小川原湖	62.2	24.4	中栄養	3.5
十和田湖	61.0	326.8	貧栄養	12.5
能取湖	58.4	23.1	富栄養	7.0
風蓮湖	57.5	13.0	貧栄養	3.7
北浦	35.2	7.0	富栄養	0.9

【ローマ数字】

〔ローマ数字〕

1	I	8	VIII
2	II	9	IX
3	III	10	X
4	IV	50	L
5	V	100	C
6	VI	500	D
7	VII	1000	M

【六曜】

旧曆日					6・12	5・11	4・10	3・9	2・8	1・7	旧曆月
25	19	13	7	1	赤口	大安	仏滅	先負	友引	先勝	六
26	20	14	8	2	先勝	赤口	大安	仏滅	先負	友引	
27	21	15	9	3	友引	先勝	赤口	大安	仏滅	先負	
28	22	16	10	4	先負	友引	先勝	赤口	大安	仏滅	
29	23	17	11	5	仏滅	先負	友引	先勝	赤口	大安	曜
30	24	18	12	6	大安	仏滅	先負	友引	先勝	赤口	

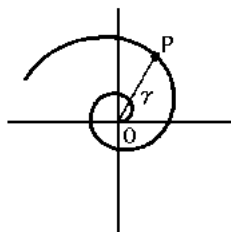
〔六曜〕〔早見表〕

【惑星】

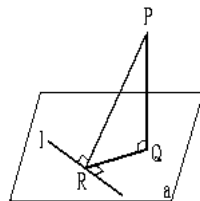
〔惑星①〕

惑星	赤道半径 (km)	軌道長半径 (天文単位)	平均密度 (g/cm ³)	公転周期 (太陽年)	自転周期 (日)
水星	2440	0.3871	5.43	0.2409	58.65
金星	6052	0.7233	5.24	0.6152	243.02
地球	6378	1.0000	5.52	1.0000	0.9973
火星	3397	1.5237	3.93	1.8809	1.0260
木星	71492	5.2026	1.33	11.862	0.414
土星	60268	9.5549	0.69	29.458	0.444
天王星	25559	19.2184	1.27	84.022	0.718
海王星	24764	30.1104	1.64	164.774	0.671
冥王星	1137	39.5402	2.13	247.796	6.387

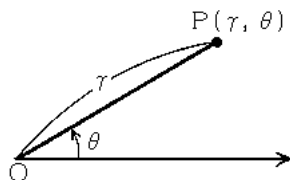
【アルキメデスの螺線】



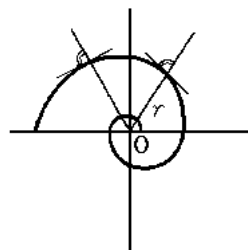
【三垂線の定理】



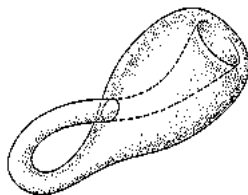
【極座標】



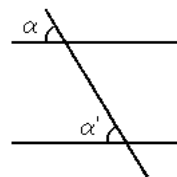
【対数螺線】



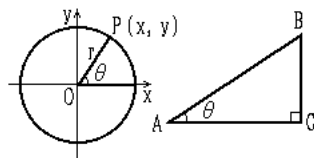
【クラインの壺】



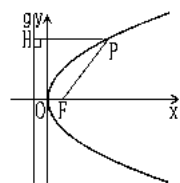
【同位角】



【三角関数】



【放物線】



類語新辞典（凡例）

『角川類語新辞典』は、ひとつには、表現したい言葉が見つからない、また、思い浮かぶ言葉はあるが、もっと別な言葉で表現したいという人のための、もうひとつには、ある言葉を、他の似た言葉や対義語と対比させたり、具体的な用例によって言葉の学習や理解を深めたい人のための辞典です。この辞典の各項目には、次のような内容が順に記述してあります。

1. 収録範囲

この辞典には、日常生活に必要な現代語を中心に、単語のみならず複合語・連語・慣用語・ことわざ・故事成語の類を含む約五万語を収録した。

2. 分類・配列

(1) すべての語彙は、図書分類法にならった十進分類法方式による「語彙分類体系表」に基づき、大分類(1桁目)・中分類(2桁目)小分類(3桁目)の三桁の数字によって分類し、必要に応じてさらにa・b・c…により細分化した。この分類によって、共通の意味を持つ語(類語)が一箇所に集まるようになっている。

〈例〉0《自然》→ 00《天文》→ 002《空》→

002a《空》 広さから見た空

(2) 語彙の配列は「体系表」における分類番号順によった。また最小分類項目(小分類、またはa b c…)内では、おおむね一般的な意味を持つ語から特殊な語の順で掲げた。

〈例〉001《宇宙》 すべての天体を含む空間

【宇宙】うちゅう

【天地】てんち

【天地】あめつち

【天壤】てんじょう

3. 見出し語

(1) 見出し語は【 】でくって掲げ、各語の本来の意味が理解しやすいように、和語も原則として漢字をあてた。

(2) 「体系表」による、大・中・小分類、およびa・b・c…の各分類項目は、そのまま見出しの役割を兼ねており、語釈も簡単に施してあるが、それらの語も改めて見出し語として掲出した。

〈例〉001《宇宙》 すべての天体を含む空間

【宇宙】うちゅう 〔常〕

○「宇」は天地四方、「宙」は過去・現在・未来

(3) 同じ語群の中では、意味の共通性を重視し、意味が共通であるならば、他の品詞の語でも並べて掲出した。

〈例〉【動く】【動き】【運動】 【美しい】【美】【美麗】

(4) 意味の共通性によらずに、検索の便宜上から妥当と思われる語群中に所属させた語がある。意味の遠いものはおおむね最後に置いたが、特に区別したい語には*印を付した。

〈例〉【白雲】【黒雲】【*青雲】

(5) 一語で複数の意味を持つ語は、それぞれの箇所に別々に出し、相互に参照すべき番号を付した。

4. 意味の解説

各見出し語の下には、それぞれの語の読み・位相・対意語・参照番号・用例・語釈などの順に、簡潔な解説を施した。

- (1) 見出し語と同じ読み方で別表記のある場合は、〈 〉を用いて適宜示した。また別の読み方などのある場合は“[…]とも”の形で示してある。

〈例〉【脅す】おどす…〈威す〉 【依怙地】いこじ…「えこじ」とも

- (2) 外来語についてはその原綴を示し、原語名は略号で注記した。注記のないものは英語である(和は和製英語)。

〈例〉【イデオロギー】 Ideologie 独

【スカイ】sky

【ナイトー】nighter 和

- (3) 各語の適切な用法や語義の違いを一層明確にするために、すべての語に位相を示した。⇒ 略語(位相)一覧参照。

- (4) 必要に応じて⇔を用いて、対意語(反対語・対照語)を掲げた。

〈例〉【軽んじる】… ⇔重んじる

- (5) 同一語が他の意味分類の中にも立項されている場合、そのいずれからも相互にその語が検索できるよう分類番号で参照させるようにした。

- (6) 用例としては、適切な作例をできるだけ圧縮した形で掲げ、見出し語部分は「一」で示した。

〈例〉【勧誘】 加入を一する。一を断る。保険一員

- (7) 用例中の単語が他の語とも置き換えられる場合は、その語を[]にくくって併せ掲げるようにした。また必要に応じて()を用いて、用例の意味を補ったり、出典を示したりし

た。

〈例〉【天体】 一写真[望遠鏡]

【天外】 奇想一(着想が奇抜なこと)

【万】 一の犬とぶらひ見に行く(枕草子)

- (8) 語義は○印を付して解説した。特に隣接する語群との微妙な差異を明らかにするよう努めた。ただし分類項目の中で取り上げられている語については、多くの場合語釈を省いた。

- (9) その他に[注][参考]などの欄を適宜設け、他の語との意味や用法の微妙な相違などを中心に、語釈の欄のみでは尽くせない補足的な解説(比喩的な意味・用法・語源・参考事項など)を施した。

5. 検索の方法

- (1) 見出し語の読み、表記によって求める語にたどりつくことができる。この方法は、自分の思い浮かぶ語ではなく、もっと別な表現をしたい場合に、自分の知っている言葉を検索することで、多くの類語にたどりつく方法である。

- (2) 分類番号により求める語にたどりつくことができる。

- (3) 「体系表」の意味分類によって、求める語にたどりつくことができる(分類メニュー検索)。(2)(3)とも、自分の言いたいと思うことが表現しにくい場合に、関係のある分野を見ることが求める語にたどりつく方法である。

略語(位相)一覧表

【略語】	【語義】	【語例】
〔常〕	日常語	学{がっこう}
〔口〕	口語	尖{とん}がる
〔文〕	文語	濡{そぼ}つ
〔文章〕	文章語	学窓{がくそう}
〔雅〕	雅語	夕月夜{ゆうづくよ}
〔俗〕	俗語	ばてる
〔隠〕	隠語	さつ
〔方〕	方言	がめつい
〔古風〕	古風な表現	朋輩{ほうばい}
〔男〕	男性語	俺{おれ}
〔女〕	女性語	お下地{したじ}
〔幼〕	幼児語	おっばい
〔天〕	天文・気象	星雲{せいうん}
〔地〕	地理・地学	段丘{だんきゅう}
〔動〕	動物	柴犬{しばいぬ}
〔植〕	植物	桜桃{おうとう}
〔数〕	数学	未知数{みちすう}
〔理〕	物理・化学	反作用{はんさよう}
〔医〕	医学	臨床{りんしょう}
〔生〕	生理学	器官{きかん}
〔哲〕	哲学	止揚{しよう}
〔心〕	心理学	躁鬱質{そううつしつ}
〔仏〕	仏教	涅槃{ねはん}
〔キ〕	キリスト教	修道院{しゅうどういん}

【略語】	【語義】	【語例】
〔法〕	法律	契約{けいやく}
〔経〕	経済	約定{やくじょう}
〔軍〕	軍事	空母{くうぼ}
〔農〕	農林業	水稻{すいとう}
〔服〕	服飾	フレア
〔料〕	料理	ポタージュ
〔美〕	美術	デフォルメ
〔音〕	音楽	弦楽器{げんがっき}

語彙(ごい)分類体系表

【自然】

大分類	中分類	小分類									
0 自然	00 天文	000 天文	001 宇宙	002 空	003 天体	004 太陽	005 月	006 星	007 地球	008 朝夕	009 昼夜
	01 暦日	010 季節	011 春	012 夏	013 秋	014 冬	015 節気	016 年	017 月	018 週	019 日
	02 気象	020 気象	021 寒暖	022 晴曇	023 雨	024 雪	025 露霜	026 雲	027 霧霞	028 風	029 天変地異
	03 地勢	030 地勢	031 陸地	032 山	033 平野	034 海	035 湖沼	036 川	037 泉	038 岸	039 島
	04 景観	040 景色	041 風土	042 用地	043 耕地	044 森林	045 庭園	046 墓地	047 道路	048 海流	049 波
	05 植物	050 植物	051 樹木	052 草	053 芽	054 茎	055 枝葉	056 花	057 果実	058 樹皮果皮	059 細胞
	06 動物	060 生物	061 動物	062 魚介	063 虫類	064 器官	065 脚尾	066 筋骨	067 内臓	068 卵	069 性
	07 生理	070 生命	071 生死	072 成育	073 発病	074 生理	075 呼吸	076 血行	077 排出	078 分泌	079 生殖
	08 物質	080 万物	081 物体	082 物質	083 酸塩	084 栄養	085 水	086 空気	087 金属	088 鉱物	089 塵埃
	09 物象	090 物象	091 反応	092 燃焼	093 熱	094 煮沸	095 光	096 音	097 波動	098 力	099 電気

【自然】

大分類	中分類	小分類									
1 性状	10 位置	100 位置	101 こそあと	102 点	103 内外	104 前後左右	105 上下	106 入り口	107 周辺	108 遠近	109 方向
	11 形状	110 形	111 点線	112 面	113 角	114 立体	115 模様	116 長短	117 大小	118 広狭	119 擬態語
	12 数量	120 数	121 数量	122 度	123 度量衡	124 年齢	125 有無	126 多少	127 全部	128 単複	129 幾ら
	13 実質	130 実質	131 構造	132 疎密	133 繁簡	134 軽重	135 強弱	136 硬軟	137 濃淡	138 乾湿	139 新古
	14 刺激	140 刺激	141 明暗	142 光沢	143 色彩	144 風味	145 匂い	146 冷温	147 痛痒	148 喧騒	149 擬声語
	15 時間	150 時間	151 時機	152 時刻	153 期間	154 常時	155 遅速	156 先後	157 終始	158 今昔	159 時代
	16 状態	160 状態	161 調子	162 隆盛	163 過激	164 安危	165 難易	166 明瞭	167 不変	168 気配	169 地味
	17 価値	170 価値	171 価格	172 良否	173 適不適	174 有用	175 真偽	176 正否	177 精粗	178 美醜	179 雅俗
	18 類型	180 類型	181 種類	182 特徴	183 箇条	184 系統	185 正副	186 類例	187 特異	188 同一	189 相応
	19 程度	190 程度	191 標準	192 等級	193 並み	194 限度	195 大要	196 細大	197 一層	198 大体	199 こんな

【自然】

大分類	中分類	小 分 類									
2 変動	20 動揺	200 運動	201 動揺	202 震動	203 傾斜	204 転倒	205 回転	206 滑り	207 弾み	208 翻り	209 浮動
	21 移動	210 移動	211 旋回	212 進退	213 通過	214 渡り	215 接近	216 指向	217 昇降	218 飛翔	219 流動
	22 離合	220 離合	221 混合	222 交錯	223 接触	224 付着	225 接続	226 並列	227 集散	228 堆積	229 下垂
	23 出没	230 出し入れ	231 抜き差し	232 埋没	233 見え隠れ	234 露出	235 包囲	236 開閉	237 浮沈	238 浸透	239 注ぎ
	24 変形	240 変形	241 破壊	242 伸縮	243 拡大	244 曲折	245 起伏	246 角立ち	247 締まり	248 畳み	249 巻き
	25 変質	250 変質	251 凝固	252 乾燥	253 濃縮	254 清濁	255 美化	256 色付き	257 腐敗	258 強化	259 散乱
	26 増減	260 生成	261 残存	262 増減	263 加除	264 満ち欠け	265 過不足	266 補充	267 総括	268 包含	269 限定
	27 情勢	270 情勢	271 勢い	272 発生	273 成否	274 興亡	275 盛衰	276 進歩	277 変動	278 混乱	279 緊張
	28 経過	280 経過	281 過程	282 開始	283 到来	284 断続	285 存廃	286 進捗	287 進み	288 繰り上げ	289 短縮
	29 関連	290 関係	291 独立	292 対応	293 本末	294 因果	295 影響	296 均衡	297 適合	298 類似	299 勝り

【人事】

大分類	中分類	小 分 類									
3 行動	30 動作	300 動作	301 全身動作	302 立ち居	303 俯仰	304 横臥	305 手の動作	306 足の動作	307 歩行	308 疾走	309 口の動作
	31 往来	310 道筋	311 往復	312 去来	313 出入り	314 発着	315 乗降	316 運行	317 逃亡	318 巡回	319 滞在
	32 表情	320 表情	321 笑い	322 泣き	323 目の動き	324 声	325 感嘆	326 身震い	327 狼狽	328 気取り	329 凄み
	33 見聞	330 見聞	331 目撃	332 聴取	333 提示	334 合図	335 表現	336 描写	337 署名	338 読み	339 書き
	34 陳述	340 発言	341 沈黙	342 進言	343 談話	344 相談	345 議論	346 問答	347 説明	348 演説	349 主張
	35 寝食	350 生活	351 居住	352 在宅	353 寝起き	354 食事	355 炊事	356 装い	357 美容	358 掃除	359 裁縫
	36 労役	360 行為	361 実行	362 成敗	363 労働	364 従業	365 休業	366 営業	367 仕事	368 職業	369 産業
	37 授受	370 授受	371 需給	372 徴収	373 取捨	374 貸借	375 預け	376 交換	377 集配	378 選択	379 所有
	38 操作	380 操作	381 使用	382 処置	383 設置	384 包装	385 積載	386 運搬	387 押し	388 突き	389 打撃
	39 生産	390 生産	391 製造	392 修繕	393 装飾	394 建造	395 土木	396 耕作	397 牧畜	398 狩猟	399 採取

【人事】

大分類	中分類	小分類									
4 心情	40 感覚	400 感じ	401 意識	402 狂気	403 酔い	404 睡眠	405 疲労	406 飢渴	407 味見	408 痛み	409 痙攣
	41 思考	410 心	411 思考	412 判断	413 認識	414 比較	415 識別	416 信疑	417 過誤	418 証明	419 立案
	42 学習	420 学習	421 練習	422 模倣	423 記憶	424 研究	425 調査	426 搜索	427 試験	428 計算	429 出題
	43 意向	430 意	431 欲望	432 願望	433 注意	434 用意	435 決意	436 奮起	437 執着	438 勤怠	439 忍耐
	44 要求	440 要求	441 頼み	442 諾否	443 許否	444 認否	445 賛否	446 協力	447 交渉	448 約束	449 権利
	45 誘導	450 勧誘	451 奨励	452 命令	453 束縛	454 誘導	455 指導	456 欺瞞	457 妨害	458 救助	459 保護
	46 闘争	460 闘争	461 紛争	462 競争	463 勝敗	464 攻防	465 討伐	466 征服	467 叛服	468 復讐	469 侵害
	47 栄辱	470 褒貶	471 賞罰	472 叱責	473 非難	474 尊敬	475 尊重	476 感謝	477 栄辱	478 自尊	479 驕り
	48 愛憎	480 人情	481 愛憎	482 恋愛	483 思慕	484 好悪	485 威嚇	486 同情	487 恩恵	488 親近	489 待遇
	49 悲喜	490 感情	491 感動	492 苦楽	493 悲喜	494 安心	495 満足	496 焦慮	497 恐怖	498 怒り	499 驚き

【人事】

大分類	中分類	小分類									
5 人物	50 人称	500 人称	501 自称	502 対称	503 他称	504 不定称	505 自他	506 公私	507 人	508 接尾辞	509 接辞
	51 老若	510 老若	511 男女	512 幼児	513 少年	514 青年	515 成人	516 老人	517 障害者	518 病人	519 死人
	52 親族	520 家族	521 夫婦	522 父母	523 子	524 孫	525 兄弟	526 祖父母	527 先祖	528 親族	529 伯父伯母
	53 仲間	530 仲間	531 成員	532 相手	533 友人	534 恋人	535 主客	536 住民	537 民衆	538 国民	539 民族
	54 地位	540 君臣	541 主従	542 首長	543 治者	544 目上目下	545 師弟	546 将卒	547 貴賤	548 貧富	549 労資
	55 役割	550 創始者	551 首脳	552 担当者	553 当事者	554 使者	555 所有者	556 仕手	557 筆者読者	558 役者	559 選手
	56 生産的 職業	560 業者	561 作業員	562 職人	563 運送人	564 乗務員	565 商人	566 農民	567 牛飼い	568 猟師	569 樵
	57 サービスの 職業	570 役人	571 軍人	572 教育家	573 文筆家	574 芸術家	575 俳優	576 僧侶	577 医者	578 事務員	579 使用人
	58 人物	580 偉人	581 賢者	582 第一人者	583 勇者	584 働き者	585 趣味人	586 変人	587 善人	588 賊	589 罪人
	59 神仏	590 神仏	591 天帝	592 化身	593 天使	594 仙人	595 靈魂	596 魔物	597 鬼	598 化け物	599 憑き物

【人事】

大分類	中分類	小 分 類									
6 性 向	60 体格	600 身体	601 胴体	602 手足	603 乳房	604 皮膚	605 体毛	606 体格	607 健康	608 病気	609 不全
	61 容貌	610 顔	611 容貌	612 頭	613 目	614 鼻	615 耳	616 毛髪	617 ほくろ	618 口	619 歯
	62 姿態	620 姿態	621 裸	622 上品	623 威厳	624 美麗	625 男性的	626 魅惑的	627 可愛げ	628 滑稽	629 若気
	63 身振り	630 身振り	631 機敏	632 乱暴	633 平静	634 茫然	635 足取り	636 話し振り	637 笑い方	638 目付き	639 食べ振り
	64 態度	640 態度	641 熱心	642 積極的	643 執拗	644 入念	645 慎重	646 悠長	647 真面目	648 勇敢	649 贅沢
	65 対人 態度	650 人当たり	651 有縁	652 親疎	653 愛想	654 親切	655 寛厳	656 高慢	657 丁重	658 公平	659 公然
	66 性格	660 性格	661 習性	662 温和	663 善良	664 無欲	665 強情	666 剛健	667 気長	668 陽気	669 好色
	67 才能	670 力	671 能力	672 知恵	673 賢愚	674 敏感	675 学識	676 趣味	677 技量	678 巧拙	679 業績
	68 境遇	680 境遇	681 身上	682 地位	683 貴賤	684 貧富	685 運命	686 禍福	687 安否	688 災難	689 繁忙
	69 心境	690 気持ち	691 愉快	692 上機嫌	693 安楽	694 安心	695 無気味	696 満足	697 優越感	698 好き嫌い	699 痛切

【文化】

大分類	中分類	小 分 類									
7 社 会	70 地域	700 範囲	701 跡形	702 場所	703 土地	704 領土	705 都道府県	706 都会	707 村落	708 郷里	709 世界
	71 集団	710 群集	711 集会	712 加入	713 団体	714 軍隊	715 党派	716 界	717 家庭	718 社会	719 国家
	72 施設	720 施設	721 役所	722 学校	723 公共施設	724 仕事場	725 駅港	726 城塞	727 社寺	728 住居	729 店舗
	73 統治	730 支配	731 統治	732 治乱	733 機関	734 掟	735 犯罪	736 検挙	737 訴訟	738 裁判	739 刑罰
	74 取引	740 経済	741 取引	742 売買	743 騰落	744 損得	745 収支	746 費用	747 貨財	748 賃金	749 税
	75 報道	750 報道	751 伝達	752 発表	753 流布	754 評判	755 音信	756 通信	757 編集	758 印刷	759 出版
	76 習俗	760 習俗	761 流行	762 伝承	763 文化	764 儀式	765 慶弔	766 参拝	767 宗教	768 信仰	769 行事
	77 処世	770 処世	771 経歴	772 籍	773 相続	774 結婚	775 学事	776 出処進退	777 任免	778 推挙	779 栄達
	78 社交	780 交際	781 出会い	782 招致	783 同伴	784 送迎	785 出欠	786 訪問	787 応対	788 仲介	789 挨拶
	79 人倫	790 間柄	791 人道	792 道徳	793 節操	794 恩義	795 奉仕	796 信頼	797 善悪	798 罪惡	799 姦淫

【文化】

大分類	中分類	小 分 類									
8 学 芸	80 学術	800 学問	801 分科	802 論説	803 主義	804 奥義	805 資料	806 題目	807 著作	808 作品	809 翻訳
	81 論理	810 論理	811 事柄	812 実体	813 概念	814 意味	815 要点	816 概要	817 理由	818 目的	819 方法
	82 記号	820 記号	821 文字	822 名称	823 番号	824 図表	825 式	826 暦	827 干支	828 単位	829 助数詞
	83 言語	830 言葉	831 音韻	832 文法	833 単語	834 接辞	835 文句	836 話	837 諺	838 洒落	839 修辞
	84 文書	840 文章	841 章節	842 文体	843 表記	844 原稿	845 文書	846 書簡	847 刊行物	848 書物	849 目録
	85 文学	850 芸術	851 文学	852 詩歌	853 創作	854 説話	855 小説	856 構想	857 記録	858 戯曲	859 文芸用語
	86 美術	860 美術	861 絵画	862 図画	863 書芸	864 写真	865 撮影	866 肖像	867 彫刻	868 工芸	869 意匠
	87 音楽	870 音楽	871 演奏	872 歌謡	873 歌唱	874 楽曲	875 調子	876 音階	877 拍子	878 旋律	879 声域
	88 芸能	880 芸	881 演劇	882 映画	883 出演	884 興行	885 見世物	886 芸当	887 舞踊	888 諸芸	889 武芸
	89 娯楽	890 娯楽	891 遊び	892 見物	893 旅行	894 散歩	895 納涼	896 遊猟	897 ゲーム	898 スポーツ	899 球技用語

【文化】

大分類	中分類	小 分 類									
9 物 品	90 物資	900 物品	901 物資	902 紙	903 木材	904 石材	905 鉄材	906 燃料	907 油	908 肥料	909 屑粕
	91 薬品	910 薬剤	911 医薬類	912 薬品類	913 農薬類	914 化粧品類	915 香料	916 塗料	917 染料	918 接着剤	919 火薬
	92 食品	920 食物	921 穀物	922 飯	923 料理	924 食品	925 調味料	926 食肉	927 野菜	928 菓子	929 飲料
	93 衣類	930 衣料	931 糸	932 織物	933 衣服	934 衣服部分	935 衣服付属	936 帽子	937 履き物	938 寝具	939 装身具
	94 建物	940 建物	941 部屋	942 建物部分	943 建物付属	944 建具	945 敷物	946 幕	947 日覆い	948 門	949 塀垣
	95 家具	950 道具	951 卓	952 箱類	953 容器	954 籠	955 袋	956 食器	957 冷暖房具	958 灯火	959 家庭用具
	96 文具	960 学用品	961 筆記具	962 帳面	963 本巻物	964 玩具	965 人形	966 遊戯具	967 運動具	968 楽器	969 鐘
	97 標識	970 標識	971 記章	972 碑	973 旗	974 札	975 貨幣	976 くじ	977 指針	978 印章	979 飾り物
	98 工具	980 工具	981 錠鍵	982 ハンドル	983 針ねじ	984 棒竿	985 輪	986 管	987 針金	988 農具	989 刃物
	99 機械	990 機械	991 原動機	992 電気機具	993 光学器械	994 計器	995 兵器	996 乗り物	997 車両	998 船舶	999 航空機

漢字源(JIS版)

親字について

収録の範囲

親字(見出しになっている漢字)は、JIS(日本工業規格)の「情報交換用漢字符号」(X-0208-1990)に掲載されている第一水準、第二水準の漢字6,355字を収録した。

部首について

部首の分け方は「康熙字典」(1716年に完成した中国の字書)に準じている。ただし、その漢字の成り立ちから判断して他の部首に入れた漢字もある。また「康熙字典」では同じ部首であったが、二つにわけたものもある。

(例 刀部と刂部、心部と忄部、手部と扌部)

親字見出しについて

- ①『常用』、『人名用』はそれぞれその漢字が常用漢字・人名用漢字であることを示す。『一年』『二年』『三年』『四年』『五年』『六年』はその漢字が学年配当漢字(いわゆる学習漢字)であり、その学年に配当されていることを示している。
- ②『常読』は、「常用漢字表」に示されている音訓を示した。訓読みで『・』からあとを送りがなを示す。
- ③『字音』は、漢字音(音読み)を示す。()内は歴史的かな遣いをあらわし、(漢)・(呉)・(慣)などは、漢音・呉音・慣用音などの区別を示す。
- ④『音読』は意味読み(訓読み)を示す。
- ⑤旧字体は、「常用漢字表」に示される以前の字体で、JIS漢字

中にあるもののみを示した。「常用漢字表」に示された新字体が、二つ以上の旧字体の音と意味をもっている場合は、(A)、(B)で区別した。

- ⑥異体字は、音と意味が同じで形が違う漢字を示した。

〈意味〉について

- ①親字の意味を①②③…の順に記述した。その際、その漢字の成り立ちに基づく原義(本来の意味)を第一として、順次、派生した意味に及ぶようにした。
- ②用法上から分類した品詞名を①②③…の後に示した。その際の品詞の分類は、漢語の文法で一般に使われるものによった。
- ③品詞の後の()内は歴史的かな遣いをあらわし、またその漢字が漢文訓読の際、サ変動詞・形容動詞・副詞に用いられるものは、その形を品詞の前に()で示した。
- ④漢字本来の意味と異なった日本語特有の意味がある場合は、(国)をつけて、①②③…の順に記述した。その際、品詞名は省略した。
- ⑤その漢字の意味に、同義(同じ意味)・類義(似た意味)・反義(反対の意味)または対義(対称の意味)の漢字がある場合はそれを(同)(類)(対)として示した。

〈解字〉と〈単語家族〉について

- ①漢字の成り立ちを〈解字〉で解説した。その際、その漢字の六書(リクショ)(漢字の四つの造字法と二つの使用法)を冒頭に示した。
- ②漢字の成り立ちや、意味がさらによく理解できるように、〈単語家族〉の欄で同じ系統の漢字をまとめて解説した。

〈類義〉について

意味が似ている漢字の使い方の違いを〈類義〉の欄で解説した。

〈異字同訓〉について

訓が同じで、意味に違いがある漢字の用法を、国語審議会漢字部会資料によって解説した。

JISコードについて

その漢字のコードを区点コード、JIS16進コード、シフトJISコードの順で示した。

ピンインについて

〈字音〉欄に〈 〉で、その漢字の現代中国のペキン語による発音を、中国の「漢語ピンイン方案」によるローマ字綴りで示した。

熟語について

収録の範囲

- ① 中国の主な古典にみえる語句、故事成語、地名などを収録した。
- ② 日本の主な古典にみえる語句及び、現代生活に必要と思われる難読の語も収録した。
- ③ 仏教の経典にみえる主な仏教語も収録した。

配列の方法

熟語の読みの五十音順に示す。

見出しの体裁

同音の漢字による書きかえ(国語審議会漢字部会資料に基づく)字が使用されている場合、書きかえ前の漢字を{ }でくくって

示した。

〈例〉【画(劃)然】(カクゼン)

意味の記述

- ① 意味の記述は原義に近い順に❶❷❸…とした。
- ② 日本語特有の意味がある場合は、(国)をつけて記述した。
- ③ その熟語が仏教語・俗語である場合は(仏)(俗)の記号で示した。(俗)には宋・元・明代の俗語から現代中国語まで含まれる。
- ④ その熟語と偏(ヘン)や旁(ツクリ)が異なるだけで、同音同義の熟語は次のように示した。
〈例〉【偏旁】(ヘンポウ)の説明文中において = 偏傍・扁旁と表記。
- ⑤ 一字目が同じで、意味が同じ熟語は、{ }をつけて示した。
〈例〉【倫次】(リンジ)の説明文中において{倫序(リンジョ)}と表記。
- ⑥ その熟語と同義(同じ意味)・類義(似た意味)・反義(反対の意味)または対義(対称の意味)の熟語がある場合は、それぞれ(同)(類)(対)として示した。
- ⑦ 人名については(人)に続けて解説した。
- ⑧ 書物については(書)に続けて解説した。
- ⑨ 熟語の中の故事成語は、(故)で示す。

略語・記号一覧

(呉)	呉音
(漢)	漢音
(唐)	唐宋音
(慣)	慣用音
(平)	平声
(上)	上声
(去)	去声
(入)	入声
{名}	名詞
{動}	動詞
{形}	形容詞
{副}	副詞
{助動}	助動詞
{接統}	接統詞
{感}	感動詞
{指}	指示詞
{前}	前置詞
{代}	代名詞
{疑}	疑問詞
{助}	助辞・接頭辞・接尾辞
{単位}	単位詞
{数}	数詞
(国)	日本語特有の意味

(仏)	仏教語
(俗)	俗語
(同)	同音同義の漢字・熟語
(類)	同義の漢字・熟語
(対)	反義の漢字・熟語
(人)	主要な人名の説明
(書)	主要な書籍の説明
(故)	故事に関係のある熟語
▷	補足説明
=	偏や旁が異なるだけで同音同義の熟語
{ }	親字が同じ熟語で、意味も同じ熟語
[]	表せない漢字の読み
常用	常用漢字
人名用	人名用漢字
国字	日本製の漢字
〈意味〉	親字の意味
〈解字〉	漢字の成り立ち
〈単語家族〉	同じ系統の漢字の説明
〈類義〉	意味が似ている漢字の説明
〈異字同訓〉	訓が同じで意味に違いがある漢字の用法
〈参考〉	使用にあたっての注意すべき点
〈名付け〉	名前をつけるときに使う読み方
〈難読〉	読み方の難しい熟語
〈注〉	他の親字の熟語を参照

百科事典 マイペディア

1. 本文について

(1) 収録本文データについて

マイペディア電子辞書版に収録している本文データは2006年8月に編集・制作したものです。調査のタイミングやその後の法制変更・情勢変化などによって、収録内容の一部が最新でない場合があります。

(2) 表示について

本文の記述において、ごく希に次のように表示されることがあります。

とうしょうへい → 【とう】小平

これはJ I S (第一、第二水準)には無い漢字について、その読みで表示しています。

2. 見出しについて

(1) 最初に現代かなづかいによる振りがなを、次に漢字・ひらがな・カタカナ・欧字・数字による本見出しを示します。

- ・おおやま【大山】
- ・おもろそうし【おもろさうし】
- ・アキレスけん【アキレス腱】
- ・エスジーエムエル【SGML】

(2) 動植物名はカタカナを本見出しとし、必要に応じて()内に相当する漢字を入れています。

- ・サクラ【サクラ(桜)】

・マツ【マツ(松)】

・クジラ【クジラ(鯨)】

・キツネ【キツネ(狐)】

(3) 外国語および一般にカタカナ書きが通用する外来語はカタカナを本見出しとし、長音は「ー」を用いています。ヴ・ヂ・ヅは原則として使用していません。また固有名詞を含む複合語などには分離記号「・」(中黒)を入れ、複数の人名は「＝」でつないでいます。

・アスワン・ダム

・ジェームズ＝ランゲセツ【ジェームズ＝ランゲ説】

(4) 人名の生没年は原則として本見出しの次に示しています。

・うえすぎけんしん【上杉謙信】(1530－1578)

(5) 人名の生没年については次の記号を用いて年代を表します。

・前…西暦紀元前

・後…西暦紀元後

・ころ…〇〇年ごろ

・?…〇〇年らしいが不確実

・か…〇〇年か××年のどちらか

・/…新旧両暦によるもの

(6) 日本地名のうち、都道府県、支庁、区、市町村の別、温泉などは[]で区別しています。

・いわて【岩手[県]】

・おかやま【岡山[市]】

(7) 外国地名のうち自然地形の項目(山・山脈・川・湖・島・諸島など)と、州・省などは次のように表しています。

・オピ【オピ[川]

・ミズーリ【ミズーリ[州]

(8) 株式会社は[株]で表しています。

(9) 数字や欧字の入る見出しは次のように扱っています。

・にょんディー【2,4-D】

・オーイーシーディー【OECD】

・アルファセン【α線】

・くく【九九】

列しています。

(7) 同音同字の項目は、地名→人名→一般名詞の順としています。

(8) 同音同字の日本地名は、自然地名→歴史地名→行政地名→その他、の順とし、それぞれその所属する都道府県の順(ほぼ北から南へ)としています。

(9) 同音同字の外国地名は、国名→自然地名→地方名→行政地名→その他、の順とし、自然地名は()内の五十音順に配列しています。

(10) 同音同字の人名は、架空人名→実在人名の順としています。

(11) 同音の国王は1世→2世→…の順に配列しています。

(12) 同音同字の一般名詞は、原則として()内に部門を記して区別し、ほぼ次の順に配列しています。

哲学→心理→宗教→政治→法律→経済→商業・貿易→社会→歴史→考古→人類→民俗・風俗→家庭→娯楽→スポーツ→美術→音楽→舞踊→演劇→文学→言語→医学→生物→植物→動物→農業→林業→畜産→水産→単位→数学→物理→化学→天文→地学→土木→建築→機械→電気→交通→通信→冶金→製造

3. 本文の配列について

(1) 五十音順に従って配列し、清音→濁音→半濁音の順としています。

(2) 促音・拗音も音順にかぞえ、清音の次に配列しています。

(3) 中黒の「・」と長音の「ー」は音順にかぞえませんでした。中黒と長音のないものとあるものとは前者を先に配列しています。

(4) フ行のフ・エ・ヲはそれぞれア行のイ・エ・オのところに配列していますが、本見出しにはフ・エ・ヲの字を用いています。

(5) 同音の項目は、数字→欧字→カタカナ→ひらがな→漢字の順としています。

(6) 同音の漢字項目は、第1字めの画数の少ないものから順に、同じ画数のときは第2字めの画数の少ないものから配

4. 文体・用字用語などについて

(1) 漢字まじりひらがな口語文とし、かなづかいはおおむねく現代かなづかい>に従っています。漢字は原則として常用漢字を用いていますが、固有名詞、歴史的用語、原典からの引用などは例外としています。

- (2) 元素、化合物、動植物、鉱物などは学術用語集に従ってカタカナ書きとしています。
- (3) 年代、月日は原則として西暦を用いていますが、必要に応じて日本・中国その他の暦年も使用しています。
- (4) 度量衡の単位は、原則としてメートル法を用いていますが、慣用に従って尺貫法・ヤードポンド法を用いた場合もあります。
- (5) 記号・略記号は次のようにしています。

・作品名は《 》で囲んでいます。

《平家物語》《リア王》

・法令・引用文その他は〈 〉で囲んでいます。

・度量衡の単位記号は次のようにしています。

〔長さ〕

μm(マイクロメートル、ミクロン) km(キロメートル)
m(メートル) cm(センチメートル) mm(ミリメートル)

〔面積〕

a(アール) ha(ヘクタール)

〔体積〕

l(リットル) ml(ミリリットル)

〔質量〕

kg(キログラム) g(グラム) mg(ミリグラム)
t(トン)

〔その他〕

hPa(ヘクトパスカル) W(ワット) kWh(キロワット時)
cal(カロリー) J(ジュール) Hz(ヘルツ)

・次の記号は一般に使用しています。

% °C K ° ' " (度分秒) cc Hg

5. 地名項目について

- (1) 日本地名項目において使用した統計のうち、人口は《平成15年3月31日 住民基本台帳人口要覧》(国土地理協会)、面積は《平成10年10月1日 全国都道府県市区町村別面積調》(日本地図センター)、《平成15年 全国市町村要覧》(日本地図センター)、製造品出荷額は《平成13年 工業統計表市町村編》(経済産業調査会)によります。
- (2) 外国地名項目の人口データは、可能なかぎり各地域・国の最新データによります。地域・国により調査の年が異なるため、統計年にはばらつきがあります。

英文ビジネスレター事典

この事典は、キーワードで引く英文ビジネスレター表現集を中心に、レター作成に欠かせない基礎知識、ビジネスの各場面に応じたモデルレター、さらに、最近のビジネスシーンに対応したファクス・Eメールのレターの書き方から成っています。

●キーワードで引く英文ビジネスレター表現集

使用頻度の特に高い表現は決まり文句として分かりやすく掲げています。項目のほとんどに解説を設けて、ビジネスレターで用いる際の注意やそれぞれの語・表現のニュアンスの違い、語法解説などを施してあります。また、類義表現を  で示して相互参照(ジャンプ)できるようにしています。

決まり文句では、代名詞が一人称の場合、便宜的に we/our/us で統一して示してあります。また、that 節が続くものは that が省略可能なものでも that を入れてあります。

●用いている記号類について

() : 補足説明、または省略可能

[] : 直前の語句と言い換え可能

/ : 同義の語句や表現の並記

 : 参照

●英文ビジネスレターの基礎知識

英文ビジネスレターを作成するに当たって、心得ていなければならない基本的な知識について解説しています。

●モデルレター30例

合計30の英文ビジネスレターの文例を紹介しています。ここで取り上げたものは、ビジネスの各場面で用いられる模範的な代表例で、実際の状況に即して応用のきく文面になっています。POINTにその項目のレターを作成するにあたって押さえるべき重要なポイント、語釈と応用例に重要な表現、注意を要する表現の語釈と言い換え例を示しています。

●ファクス・Eメールのレター

特にEメールでメッセージを送るときに注意すべき事項や、知っておくと便利な事柄を中心に解説し、ファクス2例、Eメール8例の文例を紹介しています。

学研 パーソナルカタカナ語辞典

パーソナルカタカナ語辞典編集要旨

見出し語の表記

- 1 原則として平成3年内閣告示「外来語の表記」の趣旨にしたがいながら、新聞などで一般的によく使われている表記を用いた。
- 2 エ行やオ行の長音は、原則として「エー」「オー」の表記を優先にしている。ただし、慣用として「エイ」や「オウ」が一般的なものは、それにしがつたものもある。
(例) ボール・ペン ボウリング(スポーツ)
- 3 原語がvのものは「ヴ」を用いず「バ」行を用いた。ただし、商標や固有名詞のものは「ヴ」にしがつた。
(例) ビレッジ イヴ・サンローラン
- 4 原語のdi、tiには「ジ」「ディ」「チ」「ティ」の2通りの表記法があるが、慣例にしがつた。
(例) ジレンマ ディレクトリー
- 5 語末の長音は、理化学用語などでは省略されることが多いが、長音のままとした。
(例) コンピューター
- 6 複合語は、原語が分かれている場合にだけ・を置いた。

配列

- 1 配列は、カタカナ部分だけでなく、漢字・数字・アルファベットまでもカナに変えた読みで五十音順とした。
- 2 長音符(ー)の読みと・は省略して、配列した。
(例) グリーンGDP(ぐりんじでいび)
- 3 同じ読みで長音符のある語とない語では、ないものを前に置いた。
- 4 清音、濁音、半濁音の順番に配列した。

- 5 原語の異なる同音語や同じつづりでも語源の異なる語は別見出し語とし、右肩に123…の数字を付けて区別した。

原語の表記

- 1 原語は見出し語の直後に【 】にくくって入れた。
- 2 原語名を原語の直後に置いて示した。ただし、原語が英語のものはそれを表記していない。また、商標や地名などは、原語名を省略した。
- 3 原語の英語は、基本的にイギリス式つづりよりもアメリカ式つづりを採用した。
- 4 ギリシャ語、ロシア語、中国語など、特殊な文字をもつ原語については、ローマ字化して示した。
- 5 植物の属名など学名表記が一般的なものはラテン語で表した。
- 6 漢字・平仮名とカタカナが混じったもので、原語が特定できないものは、その部分をダッシュで省略した。
(例) ミサイル療法【missile -】
- 7 原語のないもの、示しようのないものは原語表記をしていないものがある。
- 8 商標に関しては、全部が大文字のものでも、本辞典では語頭のみ大文字で表記した。

和製語

- 1 和製語のものは【 】内の原語の後に **和** を入れた。
- 2 原語が変化したものや省略されたものは、その語に「<」を用いて記し、和製語と同じ扱いとした。
(例) ジルバ【<jitterbug】
- 3 漢字や仮名の混じった語は、**和** を入れていない。
- 4 複数の外国語からなる複合語は+を用いて表した。
(例) アルペン・スキー【Alpen トイツ + ski **和**】

- 5 原語はその外国語としては成立するが、意味が極めて日本独自の内容で用いられているものなどには、本文中に「和製用法」の記述を入れた。

本文中の語義と記号

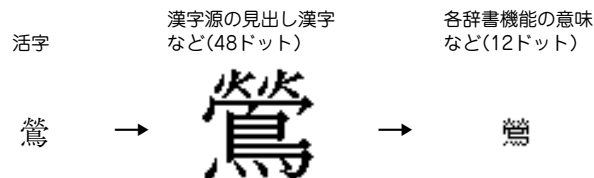
- 1 語義に複数の意味があるときは、①②③…を用いて示した。
- 2 補注と記号
 - * 同義のカタカナ語、略語・記号などを示した。
 - ◇ 用例を示した。
 - ◆ 語源や類語解説、補足説明などを必要に応じて記述した。
 - ⇒ 参照語を示した。
 - ⇒ 解説: 見出し語と同義であり、くわしい解説があることを示した。
 - ⇒ ⇔ 反対語、対語を示した。
 - 【 】 原義や他の外国語での表記など、原語上の注記を与えた。
- 3 分野表記
必要に応じて《 》でくくり、特定分野などの表示をした。
宇…宇宙 気…気象 経…経済・経営 航…航空
鉱…鉱物 社…社会学 宗…宗教 心…心理
生化…生化学 俗…俗語 地…地学 天…天文学
電…電気 電算…コンピューター 美…美術 服…服飾
理…物理 アメフト…アメリカン・フットボール
フィギュア…フィギュア・スケート 造語…造語成分など
- 4 商標に関しては、多くを《商標》として記したが、主に商品名にとどめ、企業名などはその表記を省略した。

参 考

字形について

- この製品に使われている漢字の字形はJIS-X0208-1990の漢字表に準拠していますので、一般の辞典などで採用されている文字と字形が異なるものがあります。
- ただし、JISの漢字表以外の漢字も一部含まれています。
- また、限られたドット数で文字を構成しているため、一部の漢字は略字を用いています。

【例】



コンテンツ(辞書など)の表現の違いについて

- この製品は、基本的に各コンテンツ(辞書など)の内容を変更することなく収録しています。このため、同じ語を別々の辞書などで引いた場合、表現などに違いがあることがあります。

コンテンツの内容について

- この製品に収録されている各コンテンツで書籍が刊行されているものの内容は、基本的に書籍版の内容を変更することなく収録しておりますが、画面表示の都合、その他の事情により、各出版社の監修に基づいて一部内容を変更していることがあります。

機能別利用可／不可コンテンツ

文字サイズの切り替えと保持グループ

文字サイズは、各グループごとに詳細画面／リスト画面それぞれで切り替え・保持されます。

グループ	切り替え可能画面	文字サイズ (ドット)
第1群コンテンツ	詳細(1件表示)画面	16↔12↔9 ↓ 24↔48
	リスト画面※1	16↔12
第2群コンテンツ	詳細(1件表示)画面	16↔12↔9 ↓ 24
	例、解説、NOTEウィンドウ等※2	
	リスト画面※1	16↔12↔9
ジャンプウィンドウ W検索ウィンドウ※3	詳細画面	12↔9 ↓ 16↔24
	リスト画面	16↔12↔9※4
便利計算(年号計算)	詳細(1件表示)画面	16↔12
	リスト画面	

※1 しおりや単語帳のリスト画面を含みます。また、リスト画面にレビューウィンドウが表示されている場合は、その文字サイズも含みます。

※2 例、解説ウィンドウは英和辞典、和英辞典で表示されます。NOTEウィンドウは英英辞典で表示されます。

※3 W検索ウィンドウの入力画面は16ドット文字固定です。

※4 英語によるジャンプや検索でのみ9ドット文字で表示できます。

〈第1群コンテンツ〉

スーパー大辞林

類語新辞典

漢字源★1

百科事典 マイベディア

〈第2群コンテンツ〉

リーダーズ英和 & リーダーズ・プラス

ジーニアス英和大辞典

グランドコンサイス英和辞典

OXFORD英英辞典(ODE)

OXFORD英英辞典(OALD)

Thesaurus(類語辞典)

Collocations(連語辞典)

英和活用大辞典

TOEIC® テスト 英単語・熟語マスタリー2000

TOEIC® テストの英文法

英会話とっさのひとこと辞典

英文ビジネスレター事典

パーソナルカタカナ語辞典

日経パソコン用語事典2007

経済新語辞典 06

経営用語辞典

株式用語辞典

金融用語辞典

流通用語辞典

保険用語辞典

会計用語辞典

広告用語辞典

★1 漢字源は、詳細画面の見出し漢字は48ドット文字に固定されます。また、熟語詳細画面の見出し漢字は24ドットより小さい文字では表示されません。漢字リスト画面は切り替えできません。

注: 詳細画面に図、化学式、数式などが収録されている場合、それらに含まれる文字や数字などの大きさは変わらないことがあります。

早見機能が使えないコンテンツ

早見機能は、下記のコンテンツでは使えません。

ジーニアス英和大辞典 成句検索	スーパー大辞林分野別の慣用語
OXFORD英英辞典(ODE) 成句検索	パーソナルカタカナ語辞典
OXFORD英英辞典(OALD) 成句検索	(手紙文作成)
Thesaurus 成句検索	(便利計算)
英和活用大辞典 連語検索	
TOEIC® テスト 英単語・熟語マスタリー2000	

ズーム機能が使えるコンテンツ

下記コンテンツの詳細画面で使うことができます。

スーパー大辞林	百科事典 マイペディア
類語新辞典	(手紙文作成)
漢字源	

“?”、“～”が使えるコンテンツ

“?”、“～”は、下記のコンテンツで使えます。

リーダーズ英和&リーダーズ・ブラス	英和活用大辞典
ジーニアス英和大辞典	英文ビジネスレター事典
グラントコンサイス和英辞典	スーパー大辞林(逆引き、分野別除く)
OXFORD英英辞典(ODE)	類語新辞典
OXFORD英英辞典(OALD)	パーソナルカタカナ語辞典
Thesaurus(類語辞典)	百科事典 マイペディア
Collocations(連語辞典)	日経パソコン用語事典2007
	経済新語辞典 06

経営用語辞典
株式用語辞典
金融用語辞典
流通用語辞典

保険用語辞典
会計用語辞典
広告用語辞典

一括検索できるコンテンツ

・“日本語”入力時の検索対象コンテンツ

グラントコンサイス和英辞典	経済新語辞典 06
英会話とっさのひとこと辞典	経営用語辞典
英文ビジネスレター事典	株式用語辞典
スーパー大辞林	金融用語辞典
類語新辞典	流通用語辞典
パーソナルカタカナ語辞典	保険用語辞典
漢字源*	会計用語辞典
百科事典 マイペディア	広告用語辞典
日経パソコン用語事典2007	

※ 漢字源は、完全一致検索のときにのみ検索対象になります。絞り込み検索では検索されません。

・“スペル”入力時の検索対象コンテンツ

リーダーズ英和&リーダーズ・ブラス	TOEIC® テスト 英単語・熟語マスタリー2000
ジーニアス英和大辞典	英会話とっさのひとこと辞典
OXFORD英英辞典(ODE)	英文ビジネスレター事典
OXFORD英英辞典(OALD)	スーパー大辞林(略語)
Thesaurus(類語辞典)	パーソナルカタカナ語辞典(略語)
Collocations(連語辞典)	日経パソコン用語事典2007
英和活用大辞典	

あいまいな語の一括検索できるコンテンツ

・“日本語”入力時の検索対象コンテンツ

グランドコンサイス和英辞典	パーソナルカタカナ語辞典
英文ビジネスレター事典	百科事典 マイペディア
スーパー大辞林	日経パソコン用語事典2007
類語新辞典	経済新語辞典 06

・“スペル”入力時の検索対象コンテンツ

リーダーズ英和 & リーダーズ・ブラス	Collocations(連語辞典)
ジーニアス英和大辞典	英和活用大辞典
OXFORD英英辞典(ODE)	英文ビジネスレター事典
OXFORD英英辞典(OALD)	スーパー大辞林(略語)
Thesaurus(類語辞典)	パーソナルカタカナ語辞典(略語)
	日経パソコン用語事典2007

しおり機能がないコンテンツ

次のコンテンツには、しおり機能がありません。

TOEIC® テスト 英単語・熟語マス TOEIC® テストの英文法
タリー2000

注:「手紙文作成機能」は、コンテンツではありませんがしおり機能が使えます。

ジャンプできるコンテンツ

各コンテンツ(辞書など)から**太字**で示すコンテンツへジャンプすることができます。

※一部ジャンプできない場合もあります。

リーダーズ英和 & リーダーズ・ブラス	スーパー大辞林
ジーニアス英和大辞典	類語新辞典
グランドコンサイス和英辞典	パーソナルカタカナ語辞典
OXFORD英英辞典(ODE)	漢字源
OXFORD英英辞典(OALD)	百科事典 マイペディア
Thesaurus(類語辞典)	日経パソコン用語事典2007
Collocations(連語辞典)	経済新語辞典 06
英和活用大辞典	経営用語辞典
TOEIC® テスト 英単語・熟語マス タリー2000	株式用語辞典
TOEIC® テストの英文法	金融用語辞典
英会話とっさのひとこと辞典	流通用語辞典
英文ビジネスレター事典	保険用語辞典
	会計用語辞典
	広告用語辞典

単語帳があるコンテンツと登録できる語

リーダーズ英和&リーダーズプラス（見出し語、成句、用例、解説）
 ジーニアス英和大辞典（見出し語、複合・派生語、成句、用例、解説）
 グランドコンサイス和英辞典（見出し語）
 OXFORD英英辞典(ODE)（見出し語、NOTE）
 OXFORD英英辞典(OALD)（見出し語、NOTE）
 Thesaurus(類語)（見出し語、成句、Table）
 Collocations(連語)（見出し語、NOTE）
 英和活用大辞典（見出し語）
 英会話とっさのひとこと辞典（見出し語）
 英文ビジネスレター事典（見出し語）
 スーパー大辞林（見出し語、成句）
 類語新辞典（見出し語）
 パーソナルカタカナ語辞典（見出し語）
 漢字源（見出し漢字）
 百科事典 マイペディア（見出し語）
 日経パソコン用語事典2007（見出し語）
 経済新語辞典 06（見出し語）
 経営用語辞典（見出し語）
 株式用語辞典（見出し語）
 金融用語辞典（見出し語）
 流通用語辞典（見出し語）
 保険用語辞典（見出し語）
 会計用語辞典（見出し語）
 広告用語辞典（見出し語）
 （例文検索（検索した例文））

「他の辞書で調べる」で調べられるコンテンツ

手書きパッドに表示される「他の辞書で調べる」ボタンにタッチして調べられるコンテンツを示します。

※手書きパッドに「他の辞書で調べる」が表示されない、または薄く表示される画面では検索できません。

リーダーズ英和&リーダーズ・プラス	パーソナルカタカナ語辞典
ジーニアス英和大辞典	漢字源
グラントコンサイス和英辞典	百科事典 マイペディア
OXFORD英英辞典(ODE)	日経パソコン用語事典2007
OXFORD英英辞典(OALD)	経済新語辞典 06
Thesaurus(類語辞典)	経営用語辞典
Collocations(連語辞典)	株式用語辞典
英和活用大辞典	金融用語辞典
TOEIC® テスト 英単語・熟語マスター2000	流通用語辞典
英文ビジネスレター事典	保険用語辞典
スーパー大辞林	会計用語辞典
	広告用語辞典

参考にしてほしいこと

この製品は精密な電子機器です。長くご愛用いただくための注意点など、参考にしていただきたいことをまとめています。よく読んで正しく使ってください。

電池交換のしかた

電池が消耗すると、電源が切れて入らなくなったり、音が鳴らなくなったり、カードの初期化ができなくなったりします。必ず以降の内容をよくお読みのうえ、電池交換は十分注意して行ってください。

使用している電池

種 類	形 名	個 数
アルカリ乾電池 単 4 形	LR03	2 本

※ 指定している電池以外は使用しないでください。電池容量、電圧が異なるため、誤動作や故障の原因となります。

ご注意

冒頭の「安全にお使いいただくために」もよく読んでお取り扱いください。

- 製品を長時間使わないときは電池を取り外しておいてください。
- 消耗した電池をそのままにしておきますと、液もれにより製品を傷めることがあります。
- 付属の電池は工場出荷時に入れていますので、所定の連続使用時間に満たないうちに寿命が切れることがあります。

電池の交換時期

画面右上に“”が表示されたとき、または電源を入れたときに「電池を交換してください」とのメッセージが表示された場合は電池が消耗しています。速やかに電池を交換してください。

メモ 電池について

- 電池の使用時間は、約140時間です(常温25℃で連続表示のとき)。
- ※ 電池の種類(メーカー)、使用温度、使用状態によっては電池の寿命が短くなります。

電池の交換手順

1 電源を切ります。

2 本体裏面の電池ふたスイッチを“解除”側にします。

3 電池ふたを矢印の方向に水平に引いて外します。

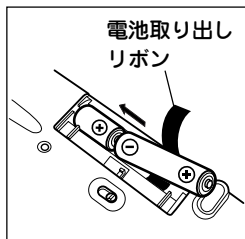
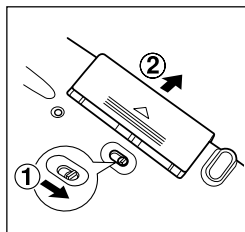
4 消耗した電池を取り出します。
リボンの先端を引き、2本とも取り出してください。

5 新しい電池を入れます。

2本とも新しい電池に交換してください。また、向きをまちがえないように入れてください。

- リボンの上から電池を入れます。リボンの先端が電池の下に隠れないようにしてください。

6 電池ふたをもとどおり水平に差し込んで取り付けます。



7 電池ふたスイッチを“ロック”側にします。

8 本体を開き、**入/切** を押して電源が入ることを確認してください。

もし、電源が入らないときは2～8の手順をもう一度行い、電池を入れ直してください。

それでも電源が入らないときは次ページのリセット操作を行ってください。

9 画面に従って、手書きパッドの調整、表示濃度の調整、キータッチ音の設定などを行ってください(4ページの手順7以降を参照)。

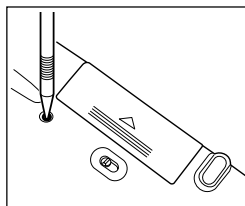
異常が発生したときの処理

ご使用中に強度の外来ノイズや強いショックを受けた場合など、ごくまれに **クリア** も含めたすべてのキーが働かなくなるなどの異常が発生することがあります。このときは、以下のリセット操作をしてください。

リセット操作

- 1** 本体裏側のリセットスイッチをボールペンなどで押します。
初期化の確認画面が表示されます。

●リセットスイッチの操作に、先の折れやすいものや先のとがったものは使用しないでください。



- 2** 本体を開き、下記のように表示されていることを確認して **[N]** キーを押します。

初期化すると、メニューカスタマイズ/単語帳/しおり/各種設定の内容が消えて初期状態になります
(コンテンツのデータは消えません)
(登録された名前・暗証番号も消えません)初期化しますか?

[Y]はい [N]いいえ

●[Y]キーを押すと初期化します
●[N]キーを押すと初期化しません

←名前を登録しているときにのみ表示

手書きパッドの調整画面が表示されます。

- 3** 画面に従って、手書きパッドの調整、表示濃度の調整、キータッチ音の設定など行ってください(4ページの手順7以降を参照)。

異常を知らせるメッセージが表示されたときは

電源を入れたときなどに、

❑初期化されていないか
異常が発生しています

リセットを押してください

など表示される場合があります。

このような場合は左のリセット操作の手順2で、**[N]** キーの代わりに **[Y]** キーを押して、この製品を初期化してください。

- この操作により、単語帳の登録データ、電卓のメモリー、しおりの内容が消去され、メニューカスタマイズの設定内容、My辞書の設定内容、通貨換算の設定内容、「各種設定」の設定内容、消費税電卓の税率(初期状態：5%)などが初期の状態に戻ります。

ローマ字 → かな変換表

あ行	A	I	U	E	O
ぁ行	XA	XI	XU	XE	XO
か行	KA CA	KI	KU CU QU	KE	KO CO
さ行	SA	SI SHI	SU	SE	SO
た行	TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
っ行			XTU		
な行	NA	NI	NU	NE	NO
は行	HA	HI	HU FU	HE	HO
ま行	MA	MI	MU	ME	MO
や行	YA		YU		YO
ゃ行	XYA		XYU		XYO
ら行	RA LA	RI LI	RU LU	RE LE	RO LO
わ行	WA	WYI(ゐ)		WYE(ゑ)	WO(を)
ゐ行	XWA				
ん	N	NN	NX		

う行			VU		
が行	GA	GI	GU	GE	GO
ざ行	ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
だ行	DA	DI	DU	DE	DO
ば行	BA	BI	BU	BE	BO
ぱ行	PA	PI	PU	PE	PO

注) 表中の行名は、つづりを探し易くするために便宜上つけた名称です。

いえ行				YE	
うぁ行	WHA	WI WHI		WE WHE	WHO
きゃ行	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
くぁ行	QA KWA	QI KWI QWI		QE KWE QWE	QO KWO QWO
しゃ行	SHA SYA	SYI	SHU SYU	SHE SYE	SHO SYO
ちゃ行	CHA CYA TYA	CYI TYI	CHU CYU TYU	CHE CYE TYE	CHO CYO TYO
つぁ行	TSA	TSI		TSE	TSO
てゃ行	THA	THI	THU	THE	THO
とう行			TWU		
にゃ行	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ行	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
ふぁ行	FA HWA	FI HWI FYI		FE HWE FYE	FO HWO
ふゃ行	FYA		FYU		FYO
みゃ行	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ行	RYA LYA	RYI LYI	RYU LYU	RYE LYE	RYO LYO
うぁ行	VA	VI		VE	VO
うゅ行			VYU		
ぎゃ行	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
ぐぁ行	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
じゃ行	JA JYA ZYA	JYI ZYI	JU JYU ZYU	JE JYE ZYE	JO JYO ZYO
ぢゃ行	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
でゃ行	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
どう行			DWU		
びゃ行	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ行	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

撥音(はつおん)の入力

“ん”の次に母音または“Y”がくるときや、“ん”で終わるときは“NN”と入力する。または“N”の後ろに“X”をつける。

ほんやく → HONNYAKU (HONXYAKU)

はんい → HANNI (HANXI)

ほん → HONN (HONX)

●上記以外るとき

ほんき → HONKI

促音(そくおん)の入力

“N”以外の子音を重ねる。または“XTU”と入力する。

けっか → KEKKA (KEXTUKA)

とっきゅう → TOKKYUU (TOXTUKYUU)

変換できないローマ字のつづりを入れたときは

この製品は、ローマ字のつづりを入力する場合、1字入力するごとに、かなに変換できる候補の有無を確認し、一致すればかなに変換します。もし、候補がないときは、先頭の文字を削除して候補の有無を確認します。それでも候補がない場合は、もう1字削除して確認します。

	入力操作	表示
例 1	Q W →	q w
	A →	わ (q が削除され w a を変換)
例 2	K Y →	k y
	W →	w (k y が削除され w が残る)
	O →	を (w o を変換)

仕 様

形 名	PW-LT300
品 名	電子辞書
表 示	320×240ドット液晶表示
手書きパッド	128×96ドット液晶表示
電卓機能	計算桁数：12桁 消費税電卓（税込／税抜計算、加減乗除、メモリ、パーセント計算など） 通貨換算、単位換算、年号計算、年齢計算
MP3プレーヤー機能	MP3データ再生（SDメモリーカードに収録したMP3データ、暗号化データを再生） 再生可能ビットレート：32～192Kbps
電 源	3V ㊄ (DC)：アルカリ乾電池 単4形(LR03)2本
消費電力	0.88 W
使用時間	約140時間（カード非装着、使用温度25℃で連続表示の場合） 約 90時間（カード非装着、使用温度25℃で、1時間あたり表示状態を55分、検索*を5分間行った場合） 約 55時間（カード非装着、使用温度25℃で、1時間あたり表示状態を55分、検索を4分間、音声出力を1分間行った場合） 約 5時間（使用温度25℃、中間音量でSDメモリーカードに収録したMP3データをイヤホンで連続再生した場合）

* 検索：英和辞典で、1秒1キー操作で“dictionary”と入力し **検索/決定** を押す操作のくり返し。

注：使用環境や使用方法、カードの種類により、使用時間が短くなることがあります。

出力端子	イヤホン端子(3.5Φ)
使用温度	0℃～40℃
外形寸法	突起部含む：幅141.9×奥行108.3×厚さ18.7mm 突起部含まず：幅141.8×奥行107.8×厚さ15.5mm (最薄部厚さ11.9mm)

質 量	約259g(電池、タッチペンを含む)
付 属 品	アルカリ乾電池 単4形2本、タッチペン(本体に装着)、イヤホン、取扱説明書*、英文簡易説明書、お客様ご相談窓口のご案内

※ 日本語以外の説明書はございません。

収 録 数

リーダーズ英和辞典	：約270,000語
リーダーズ・プラス	：約190,000語 (増補版データ：約1,600語)
ジーニアス英和大辞典	：約255,000語句
グランドコンサイス和英辞典	：約320,000項目
OXFORD英英辞典(ODE)	：語数…約355,000語 例文…約66,000例
OXFORD英英辞典(OALD)	：語数…約183,500語 例文…約85,000例
OXFORD Thesaurus	：約365,000語
OXFORD Collocations	：語数…約9,000語 例文…約150,000例
英和活用大辞典	：約38万用例

TOEIC® テスト英単語・熟語 マスタリー2000	: 単語熟語…約2,000単語熟語
TOEIC® テストの英文法	: 600項目
英会話とっさのひとこと辞典	: 例文…約8,000例
英文ビジネスレター事典	: 収録項目…約1,600項目 収録例文…約4,000例
スーパー大辞林	: 約252,000項目
類語新辞典	: 約50,000語
パーソナルカタカナ語辞典	: 約28,000語
漢字源 (JIS版)	: 漢字…6,355字 (JIS第1/2水準) 熟語…約45,000語
百科事典 マイペディア	: 項目…約65,680項目 図……約320図
日経パソコン用語事典2007	: 約4,100項目
経済新語辞典 06	: 約3,800語
経営用語辞典	: 約720語
流通用語辞典	: 約530語
株式用語辞典	: 約670語
広告用語辞典	: 約1,060語
会計用語辞典	: 約820語
金融用語辞典	: 約820語
保険用語辞典	: 約1,060語

この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONTおよびLCロゴマークは、シャープ株式会社の登録商標です。

ただし記号など、一部LCフォントでないものもあります。



- ◆ この製品では、9ドットの文字に縦、横1ドットずつの空白領域を含めた「10×10ドットLCフォント」を採用しています。

アフターサービスについて

保証について

1. この製品には取扱説明書の巻末に保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
2. 保証期間は、お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
3. 保証期間後の修理は…
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は電子辞書の補修用性能部品を製品の製造打切後7年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

1. 異常があるときは使用をやめて、お買いあげの販売店にこの製品を **お持込み** のうえ、修理をお申しつけください。ご自分での修理はしないでください。
2. アフターサービスについてわからないことは…
お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お問い合わせは

この製品についてのご意見、ご質問は、もよりのお客様ご相談窓口へお申しつけください。

付属の「お客様ご相談窓口のご案内」とおり、全国にお客様ご相談窓口を設けております。

よくあるご質問

ご 質 問 内 容	対 応 方 法 (回 答)
メイン表示や手書きパッドの表示が 濃い・薄い	(メニュー) (0) (6) (7) と押して各種設定画面にし、(5) を押して濃度調整画面にして、メイン表示と手書きパッドをそれぞれ調整します(☞24ページ)。
キータッチ音は消せますか	キータッチ音の「鳴る(入)／鳴らない(切)」を切り替えるときは、(メニュー) (0) (6) (7) と押して各種設定画面にし、(2) を押します(☞23ページ)。
調べたい語が出てこない	次のことを確認してみてください。 - 読みかたは正しいですか。別の読みかたではありませんか。 「つ」と「っ」など、大きい文字と小さい文字がまちがって入力されていませんか。 「ば」と「ぱ」など、濁音や半濁音がまちがって入力されていませんか。 「づ」と「ず」、「ぢ」と「じ」などの使いかたが違っていませんか。
調べたい単語が出てこない	単語は変化形ではありませんか。変化形で出てこないときは原形で調べてみてください。
読みのわからない漢字の調べかたは...	手書き入力や部品の読み、部首画数、総画数で調べることができます(☞102ページ)。
“?”や“~”が使える機能は?	ワイルドカード“?”、ブランクワード“~”は、スーパー大辞林、英和辞典、和英辞典、英英辞典などで使えます(☞38ページ)。逆引き大辞林などでは使えません。
ローマ字で思うように入力できない	252～253ページをご参照いただいて入力してください。 読みの入力などで (A) や (S) を押しても何も入らないときは、「50音かな入力」方法になっていると思われます。(メニュー) (0) (6) (7) と押して各種設定画面にし、(3) を押してかな入力方法を切り替えてみてください(☞23ページ)。
「50音かな入力」ができない キーを押すと「っっっ…」と小さい「っ」が入る	かなの入力方式が「ローマ字かな入力方式」になっていると思われます。 (メニュー) (0) (6) (7) と押して各種設定画面にし、(3) を押してかな入力方法を切り替えてみてください(☞23ページ)。

ご 質 問 内 容	対 応 方 法 (回 答)
消費税の税率が変わってしまったら... レートが変わったら...	消費税の税率や、通貨の換算レートは変更することができます。125ページをご覧ください。 いただき、設定を変更してご使用ください。
国名などが変わっている 古いデータになっている	この製品は、書籍版のコンテンツ(辞書など)のデータを収録しておりますので、その辞書などの記述に合わせております。
オプションで辞書などのデータをパソコンに 取り込んだり、印刷する機器はありませんか	辞書などの内容は各出版社等の著作物であり、著作権保護のうえから、そのようなオプション機器は用意しておりません。
検索したリストに同じ見出し語が複数個表示 されることがあるのはなぜ...	1つの見出し語に複数の語が収録されている場合、個々の語に対して検索を行うので、同じ見出し語が複数個表示されることがあります。
ジャンプ機能で、ほかの辞書などにもあるは ずの語へジャンプできない	辞書などにより見出し語などに使われる文字の種類や表記のしかたが違うことがあり、このような場合は違う言葉と判断されるためジャンプできません。 例 表記の違い: 御願(スーパー大辞林) 願(和英)
充電式電池は使えますか？	お使いいただくことはできません。アルカリ乾電池をご使用ください。 充電式電池とアルカリ乾電池では、電圧や電気特性が異なるため、誤動作や故障の原因となります。
英和辞典などで数字を含む見出し語を引く 方法は？	見出し語の読みどおりにアルファベットで入力して検索します。 例 2 → two 3 → three 20 → twenty
手書きパッドで、タッチした位置と文字が 書かれる位置がずれている	手書きパッドの位置調整をしてください(☞ 25ページ)。

ご 質 問 内 容	対 応 方 法 (回 答)
音声の再生ができない	本体左側の音量調整ダイヤルが小さい音量になっていませんか。調整してみてください(📖 45ページ)。 電池が消耗している可能性があります。乾電池を交換してみてください(📖 250ページ)。 本体のイヤホン端子にイヤホンのプラグが接続されていませんか。接続されているとスピーカーから音が出ません。
CDデータ転送ソフトで作成したデータ(ファイル)が再生できない	データに登録した名前と本製品に登録した名前(📖 61ページ)は一致していますか。名前が一致していないと再生できません。

故障かな?と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。それでも具合の悪いときは256ページの「アフターサービスについて」をご覧くださいのうえ修理を依頼してください。

こんなとき	ここをお確かめください
電源が入らない	● 電池が消耗していませんか(㊞249ページ)。 ● 電池が正しい向きで取り付けられていますか(㊞250ページ)。 ● 表示濃度の調整が淡くなりすぎていませんか(㊞24ページ)。 ※ 上記のどれでもないときは本体裏側のリセットスイッチを押してください(㊞251ページ「異常が発生したときの処理」)。
メイン表示や手書きパッドの表示が淡い(濃い)	● 表示濃度が見やすい濃さに調整されていますか(㊞24ページ)。
すべてのキーが働かない	● 本体裏側のリセットスイッチを押してください(㊞251ページ)。
キーを押したときや手書きパッドにタッチしたとき“ピッ”と鳴らない	● キータッチ音が「切」になっていませんか(㊞23ページ)。
キー入力で文字が入らない 正しく入らない	● かな入力方法が切り替わっていませんか。かな入力方式を切り替えてみてください(㊞23ページ)。
手書き文字が正しく認識されない 手書き入力の方法は?	● 31～34ページをご参照ください。33ページの「手書き入力のご注意」に手書きするときにご注意いただきたい点も掲載しております。
自動的に電源が切れる	● この製品には、しばらく使わないと自動的に電源が切れるオートパワーオフ機能がついています。 電源が切れるまでの時間は変更することができます(㊞23ページ)。
電源を入れると、デモ(商品紹介)の確認画面や「ひとこと英会話」が表示される	● オープニング設定画面で「表示なし」に設定してください(㊞26ページ)。

● 製品についてのお問い合わせは・・

お客様相談センター
 **0120-303-909**

フリーダイヤルがご利用いただけない場合は

東日本相談室

TEL **043-351-1822**

FAX **043-299-8280**

西日本相談室

TEL **06-6792-1583**

FAX **06-6792-5993**

《受付時間》 月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時 （年末年始を除く）

● 修理のご相談は・・

製品に付属の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ

<http://www.sharp.co.jp/>

シャープ株式会社

本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492